

---

**第8期新座市高齢者福祉計画・  
新座市介護保険事業計画策定のための  
アンケート調査結果報告書**

---

令和2年3月  
新座市



## はじめに

新座市では、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を築くため、「新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画」を策定し、事業の推進を図っています。

今後、高齢社会がますます進展し、団塊の世代が全て75歳以上となる2025（令和7）年を展望する中で、介護サービスの基盤整備とともに、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築することが求められています。

そこで新座市では、介護予防・日常生活支援総合事業を市が中心となって展開し、住民等の多様な主体が参画を図り、多様なサービスを充実させることにより、地域の実情に応じた支え合いの体制づくりを推進しているところです。

このような中、この度、新座市では、高齢者の状態像・ニーズ及び地域やその地域に居住する高齢者ごとの課題、さらには必要となるサービスを把握・分析するため、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「在宅介護実態調査」及び「在宅生活改善調査」を実施させていただきました。

この調査結果報告書は、調査の結果を取りまとめ、分析し、高齢者の生活実態や心身の状況、家族等介護者の就労状況等を集約したものであり、第8期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画（令和3年度～5年度）を策定する上での貴重な資料として活用させていただきます。

終わりに、今回の介護保険に関するアンケート調査に御協力いただきました皆様に、深く御礼申し上げます。

令和2年3月

新座市長 並 木 まさる 傑



# 目次

<b>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果</b> .....	1
調査の概要 .....	3
<b>第1章 基本集計</b> .....	9
問1 家族や生活状況について.....	11
問2 からだを動かすことについて.....	14
問3 食べることについて.....	19
問4 毎日の生活について.....	23
問5 地域での活動について.....	26
問6 たすけあいについて.....	31
問7 健康について.....	38
問8 認知症の相談窓口の把握について.....	41
問9 成年後見制度の把握について.....	42
問10 介護予防について.....	43
問11 介護保険制度について.....	47
<b>第2章 日常生活圏域と高齢者</b> .....	49
<b>テーマ1 家族と生活</b> .....	51
1 家族構成 .....	51
2 介護・介助の必要度.....	54
3 介護・介助の主な原因と主な介護者.....	57
4 主観的な経済状態.....	59
<b>テーマ2 からだを動かすこと</b> .....	62
1 運動器の機能低下のある高齢者.....	62
2 転倒リスクのある高齢者.....	63
3 閉じこもり傾向のある高齢者.....	64
4 外出について.....	65
<b>テーマ3 食べること</b> .....	70
1 低栄養の傾向.....	70
2 口腔機能の低下.....	71
3 歯数の状況と義歯の有無.....	72
<b>テーマ4 毎日の暮らし</b> .....	73
1 認知機能の低下.....	73
2 手段的日常生活動作の低下.....	74

<b>テーマ5 地域活動</b> .....	75
1 地域活動への参加.....	75
<b>テーマ6 たすけあい</b> .....	77
1 支え合い .....	77
2 よく会う友人・知人との関係.....	81
3 在宅医療について.....	82
4 医療・介護の場について.....	84
<b>テーマ7 健康</b> .....	87
1 主観的健康感.....	87
2 主観的幸福感.....	88
3 うつ傾向 .....	89
4 喫煙習慣 .....	91
5 現在治療中の病気の有無.....	92
<b>テーマ8 認知症相談窓口</b> .....	94
<b>テーマ9 成年後見制度</b> .....	96
<b>テーマ10 介護予防</b> .....	98
1 介護予防への取り組み.....	98
2 日常的に困っていること.....	104
<b>テーマ11 介護保険制度</b> .....	105
<b>資料 調査票</b> .....	109



<b>在宅生活改善調査結果</b> .....	161
<b>調査の概要</b> .....	163
<b>テーマ1 過去1年の間に、自宅等から、居場所を変更している人はどの程度いるのか？</b> ....	165
(1) 自宅等から、居場所を変更した利用者の行き先別の人数.....	165
(2) 自宅等から、居場所を変更した利用者の要介護度.....	165
<b>テーマ2 現在、自宅等に住み、生活の維持が難しくなっている人はどの程度いるのか？</b> .....	166
<b>テーマ3 現在、自宅等での生活の維持が難しくなっている人はどのような人か？</b> .....	167
<b>テーマ4 自宅等で、現在の生活の維持が難しくなっている理由(1)～(6)</b> .....	168
(1) 現在の介護で生活の維持が難しくなっている理由：本人の状態に属する理由 .....	168
(2) 現在の介護で生活の維持が難しくなっている理由：本人の意向に属する理由 .....	169
(3) 現在の介護で生活の維持が難しくなっている理由：家族等介護者の意向・負担等に属する理由..	170
(4) 「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な介護内容 .....	171
(5) 「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な介護内容.....	172
(6) 「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な介護内容 .....	173
<b>テーマ5 自宅等で、現在の生活の維持が難しくなっている人たちに、必要なサービスは何か？</b> .....	174
(1) 生活の改善を期待できるサービス.....	174
(2) 生活を改善できると思う具体的なサービス.....	175
(3) 住まい・施設等のサービスの緊急度.....	176
<b>テーマ6 特養やその他施設等に入所・入居できていないのは何故か？</b> .....	177
(1) 特養以外の施設等に入所・入居できていない理由.....	177
(2) 特養に入所できていない理由.....	178
<b>資料 調査要綱及び調査票</b> .....	179



# 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果



# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、第8期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画の策定にあたる基礎資料として、要介護認定を受けていない高齢者を対象に、地域の抱える課題の特定（地域診断）に資することなどを目的として実施しました。からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目を調査し、健康長寿社会を実現する手がかりを地域の皆様と共有することもねらいとしています。

## 2 調査対象者

対象者	対象者数
令和元年12月1日現在、65歳以上で、要介護認定を受けていない高齢者から無作為抽出（要支援者、事業対象者含む）	7,951人

## 3 調査方法

郵送配布・郵送回収による記名式調査

## 4 調査期間

令和2年1月17日～1月31日

## 5 回収結果

対象者数	有効回収数	有効回収率
7,951人	5,837人	73.4%

## 6 報告書を見る際の留意点

- (1) 数値処理：小数点をもつ数値の表記は、小数点第二位以下を四捨五入して算出しました。このため回答率の表記で内数の和が表示上の合計と一致しない場合があります。
- (2) 文字表記：図表及び文章中で、設問文及び選択肢の一部を省略して用いている場合があります。
- (3) 第2章テーマ分析の各項では、分析主旨を活かすため、設問の分類集約を行っている場合があります。
- (4) 第2章グラフの比率表示では、比率グラフ表示において「無回答」の表示を省略しました。さらにグラフの可読性を高めるため、3.0%未満の数値の表記を省略している場合があります。

## 7 基本属性

### (1) 性別・年齢構成別 回答者数及び回収率

#### ■性別・年齢層別 回答者数 (人、%)

区分	65～74 歳			75 歳以上				総数	
	65～69 歳	70～74 歳	計	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上		計
男性	499	688	1,187	803	515	95	12	1,425	2,612
	19.1%	26.3%	45.4%	30.7%	19.7%	3.6%	0.5%	54.6%	100.0%
女性	628	794	1,422	1,039	617	120	27	1,803	3,225
	19.5%	24.6%	44.1%	32.2%	19.1%	3.7%	0.8%	55.9%	100.0%
総数	1,127	1,482	2,609	1,842	1,132	215	39	3,228	5,837
	19.3%	25.4%	44.7%	31.6%	19.4%	3.7%	0.7%	55.3%	100.0%

#### ■年齢層別・性別 回収率

区分	男性			女性			総数		
	配布(人)	回収(人)	率(%)	配布(人)	回収(人)	率(%)	配布(人)	回収(人)	率(%)
65～69 歳	851	499	58.6%	916	628	68.6%	1,767	1,127	63.8%
70～74 歳	1,005	688	68.5%	1,105	794	71.9%	2,110	1,482	70.2%
計	1,856	1,187	64.0%	2,021	1,422	70.4%	3,877	2,609	67.3%
75～79 歳	1,036	803	77.5%	1,321	1,039	78.7%	2,357	1,842	78.2%
80～84 歳	623	515	82.7%	762	617	81.0%	1,385	1,132	81.7%
85～89 歳	122	95	77.9%	153	120	78.4%	275	215	78.2%
90 歳以上	23	12	52.2%	34	27	79.4%	57	39	68.4%
計	1,804	1,425	79.0%	2,270	1,803	79.4%	4,074	3,228	79.2%
総数	3,660	2,612	71.4%	4,291	3,225	75.2%	7,951	5,837	73.4%

### (2) 性別・認定別 回答者数及び回収率

#### ■性別・認定別 回答者数 (人、%)

区分	一般高齢者		認定別			総数
	事業対象者※	要支援 1	要支援 2	計		
男性	2,548	7	42	22	64	2,612
	97.5%	0.3%	1.6%	0.8%	2.5%	100.0%
女性	3,102	18	69	54	123	3,225
	96.2%	0.6%	2.1%	1.7%	3.8%	100.0%
総数	5,650	25	111	76	187	5,837
	96.8%	0.4%	1.9%	1.3%	3.2%	100.0%

※本報告書において事業対象者は、一般高齢者として算出しています。

■認定別・性別 回収率

(人、%)

区分	男性			女性			総数		
	配布 (人)	回収 (人)	率(%)	配布 (人)	回収 (人)	率(%)	配布 (人)	回収 (人)	率(%)
一般高齢者	3,574	2,548	71.3%	4,127	3,102	75.2%	7,701	5,650	73.4%
(内・事業対象者)	(9)	(7)	(77.8%)	(18)	(18)	(100.0%)	(27)	(25)	(92.6%)
要支援1	55	42	76.4%	91	69	75.8%	146	111	76.0%
要支援2	31	22	71.0%	73	54	74.0%	104	76	73.1%
計	86	64	74.4%	164	123	75.0%	250	187	74.8%
総数	3,660	2,612	71.4%	4,291	3,225	75.2%	7,951	5,837	73.4%

(3) 性別・家族構成別 回答者数及び回収率

■性別・家族構成別 回答者数

(人、%)

区分	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	総数
男性	312	1,285	182	352	405	76	2,612
	11.9%	49.2%	7.0%	13.5%	15.5%	2.9%	100.0%
女性	600	1,224	74	613	572	142	3,225
	18.6%	38.0%	2.3%	19.0%	17.7%	4.4%	100.0%
総数	912	2,509	256	965	977	218	5,837
	15.6%	43.0%	4.4%	16.5%	16.7%	3.7%	100.0%

■家族構成別・年齢層別 回答者数

(人、%)

区分	65～74歳			75歳以上					総数
	65～69歳	70～74歳	計	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計	
1人暮らし	155	187	342	278	241	41	10	570	912
	17.0%	20.5%	37.5%	30.5%	26.4%	4.5%	1.1%	62.5%	100.0%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	420	732	1,152	834	445	70	8	1,357	2,509
	16.7%	29.2%	45.9%	33.2%	17.7%	2.8%	0.3%	54.1%	100.0%
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	120	57	177	46	28	5	0	79	256
	46.9%	22.3%	69.1%	18.0%	10.9%	2.0%	0.0%	30.9%	100.0%
息子・娘との2世帯	158	222	380	305	212	55	13	585	965
	16.4%	23.0%	39.4%	31.6%	22.0%	5.7%	1.3%	60.6%	100.0%
その他	247	238	485	295	155	37	5	492	977
	25.3%	24.4%	49.6%	30.2%	15.9%	3.8%	0.5%	50.4%	100.0%
無回答	27	46	73	84	51	7	3	145	218
	12.4%	21.1%	33.5%	38.5%	23.4%	3.2%	1.4%	66.5%	100.0%
総数	1,127	1,482	2,609	1,842	1,132	215	39	3,228	5,837
	19.3%	25.4%	44.7%	31.6%	19.4%	3.7%	0.7%	55.3%	100.0%

(4) 性別・日常生活圏域別 回答者数

■性別・日常生活圏域別 回答者数

(人、%)

区分	東部 第一	東部 第二	西部		南部	北部 第一	北部 第二	総数	
			西部地区	西新地区					
男性	377	399	554	268	286	407	468	407	2,612
	14.4%	15.3%	21.2%	10.3%	10.9%	15.6%	17.9%	15.6%	100.0%
女性	492	498	612	298	314	509	614	500	3,225
	15.3%	15.4%	19.0%	9.2%	9.7%	15.8%	19.0%	15.5%	100.0%
総数	869	897	1,166	566	600	916	1,082	907	5,837
	14.9%	15.4%	20.0%	9.7%	10.3%	15.7%	18.5%	15.5%	100.0%

■日常生活圏域別・年齢層別 回答者数

(人、%)

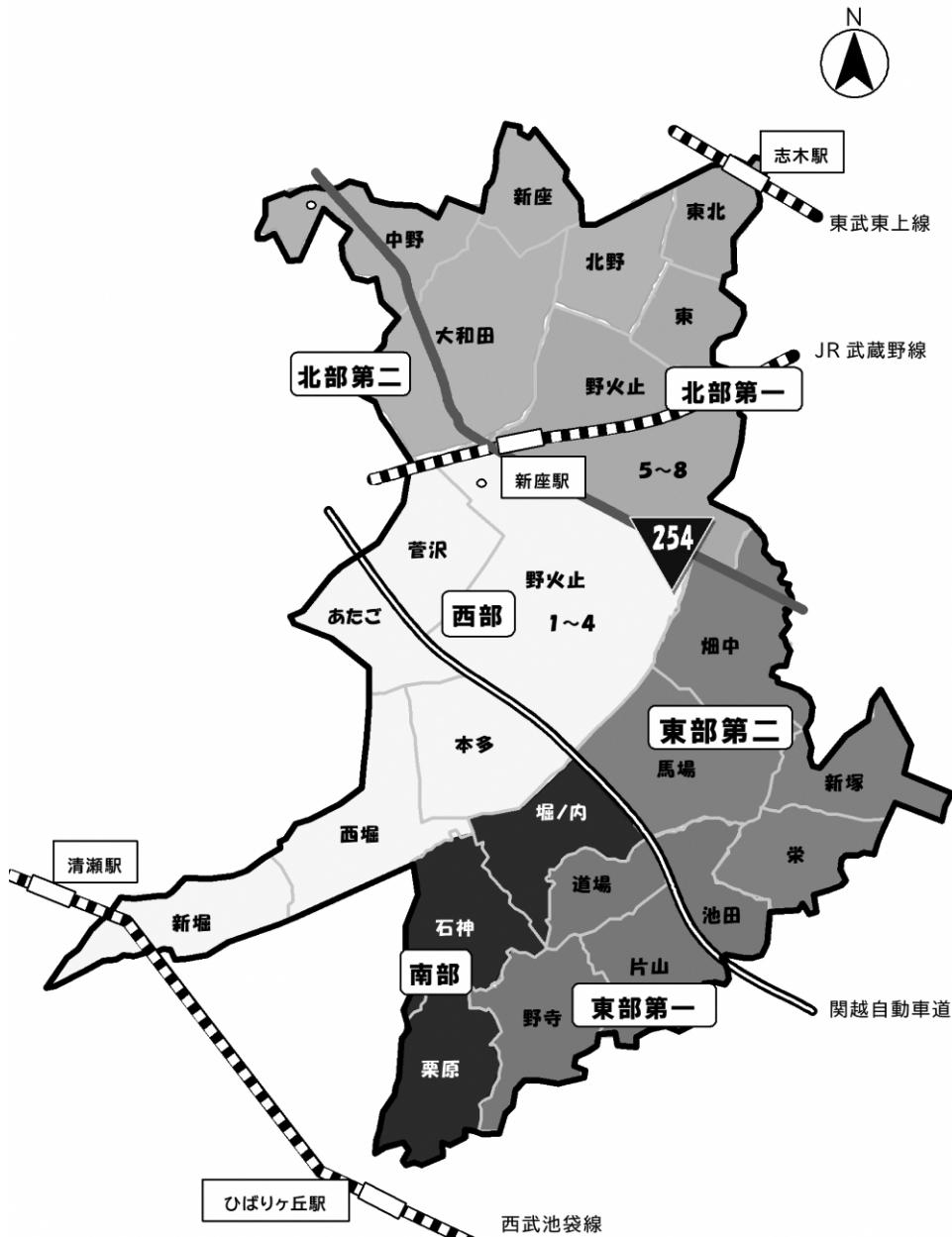
区分	65～74歳			75歳以上					総数
	65～69歳	70～74歳	計	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計	
東部第一	162	218	380	254	162	61	12	489	869
	18.6%	25.1%	43.7%	29.2%	18.6%	7.0%	1.4%	56.3%	100.0%
東部第二	179	226	405	307	184	1	0	492	897
	20.0%	25.2%	45.2%	34.2%	20.5%	0.1%	0.0%	54.8%	100.0%
西部	227	313	540	406	220	0	0	626	1,166
	19.5%	26.8%	46.3%	34.8%	18.9%	0.0%	0.0%	53.7%	100.0%
西部地区	101	163	264	195	107	0	0	302	566
	17.8%	28.8%	46.6%	34.5%	18.9%	0.0%	0.0%	53.4%	100.0%
西新地区	126	150	276	211	113	0	0	324	600
	21.0%	25.0%	46.0%	35.2%	18.8%	0.0%	0.0%	54.0%	100.0%
南部	170	235	405	264	151	80	16	511	916
	18.6%	25.7%	44.2%	28.8%	16.5%	8.7%	1.7%	55.8%	100.0%
北部第一	218	278	496	311	193	71	11	586	1,082
	20.1%	25.7%	45.8%	28.7%	17.8%	6.6%	1.0%	54.2%	100.0%
北部第二	171	212	383	300	222	2	0	524	907
	18.9%	23.4%	42.2%	33.1%	24.5%	0.2%	0.0%	57.8%	100.0%
総数	1,127	1,482	2,609	1,842	1,132	215	39	3,228	5,837
	19.3%	25.4%	44.7%	31.6%	19.4%	3.7%	0.7%	55.3%	100.0%

※「西部」：(5) 地域について、参照

## (5) 地域について

本報告書においては、市内6地区の日常生活圏域のうち、地域包括支援センターの配置により、西部地区を2つに分け、7地域に分類し集計結果を示しました。

圏域名	センター名称	含まれる地区
東部第一地区	東部第一地域包括支援センター	池田・道場・片山・野寺
東部第二地区	東部第二地域包括支援センター	畑中・栄・馬場・新塚
西部地区	西部地域包括支援センター	本多・あたご・菅沢・野火止一～四丁目
	西堀・新堀地域包括支援センター	西堀・新堀 ※本報告書においては西新と省略します。
南部地区	南部地域包括支援センター	石神・栗原・堀ノ内
北部第一地区	北部第一地域包括支援センター	東北・東・野火止五～八丁目
北部第二地区	北部第二地域包括支援センター	中野・大和田・新座・北野







# 第1章 基本集計

---

全設問の単純集計結果

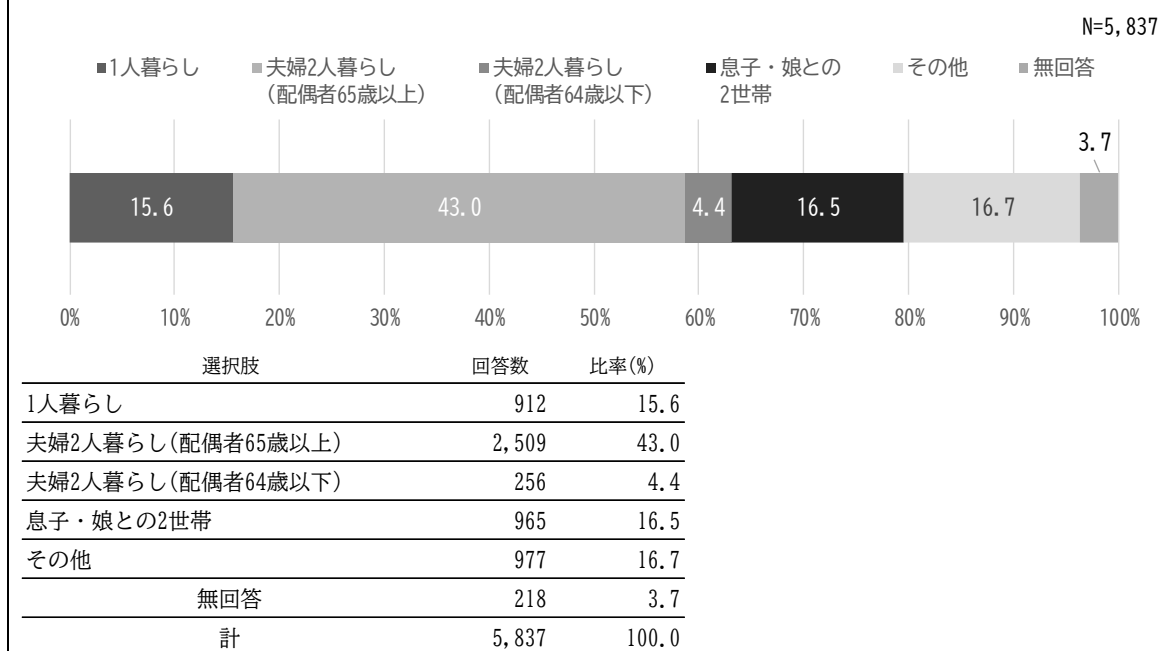


# 問1 家族や生活状況について

## (1) 家族構成

家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が43.0%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が16.5%となっています。

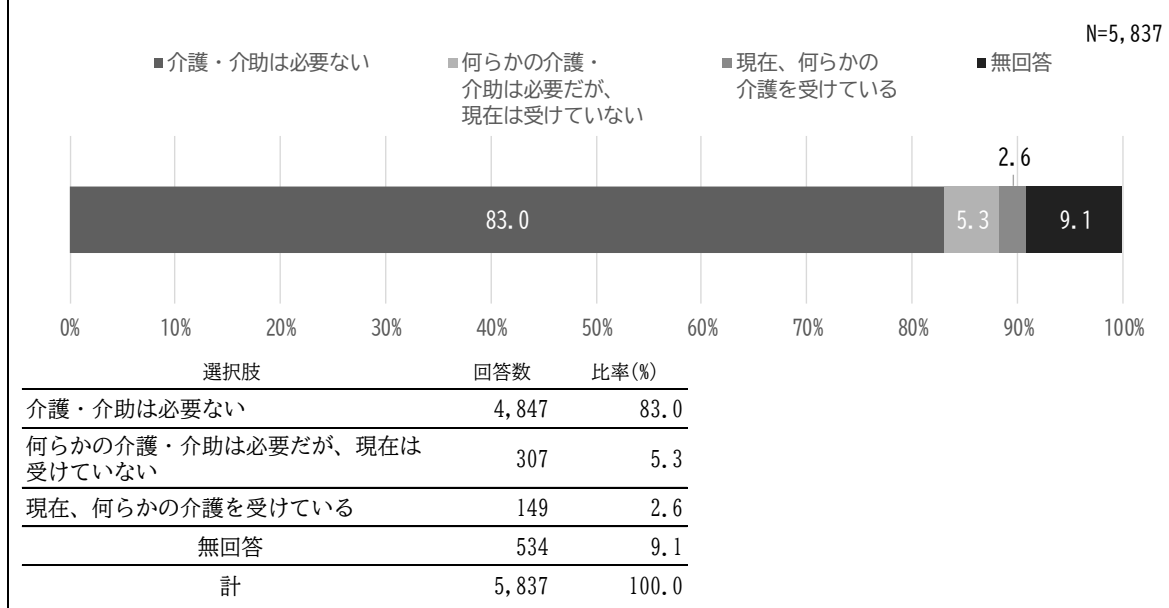
図1 家族構成 [問1 (1)]



## (2) 普段の生活での介護・介助の必要度

普段の生活での介護・介助の必要度については、「介護・介助は必要ない」が83.0%と最も高くなっています。

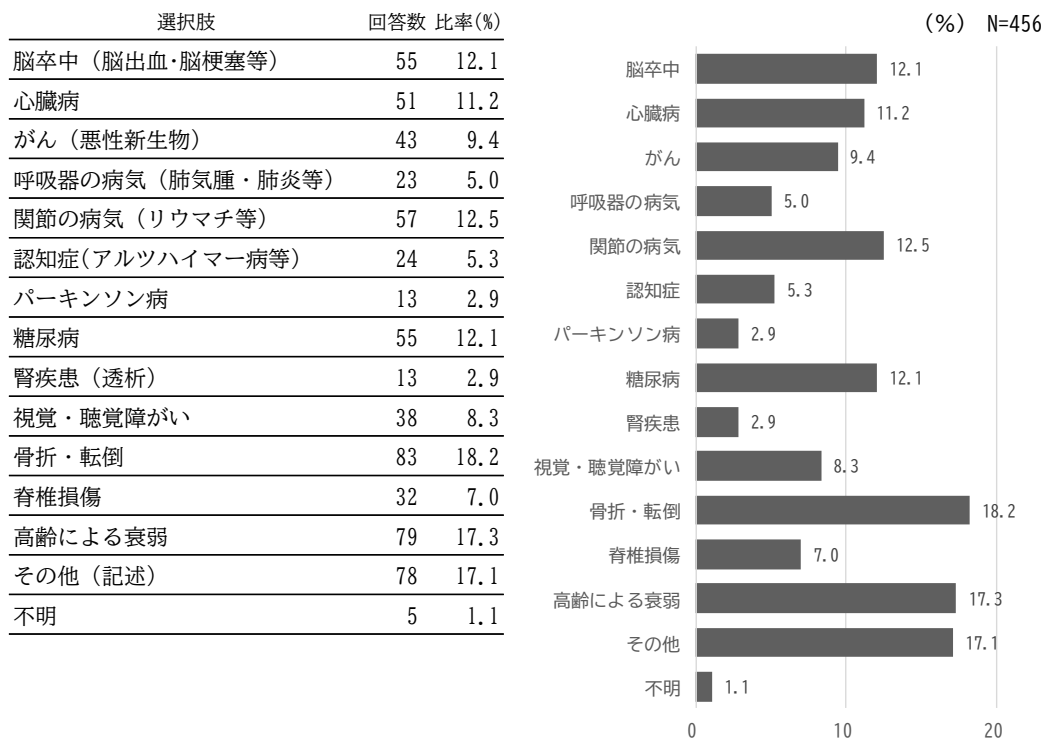
図2 普段の生活での介護・介助の必要度 [問1 (2)]



### ① 介護・介助が必要になった主な原因

介護・介助が必要になった主な原因については、「その他」を除くと「骨折・転倒」が18.2%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」が17.3%となっています。なお「その他」で比較的多いのは、腰痛や膝の痛み、脊柱管狭窄症やその手術後、橋本病など難病、精神疾患などとなっています。

図3 介護・介助が必要になった主な原因 [問1(2)①] (複数回答)

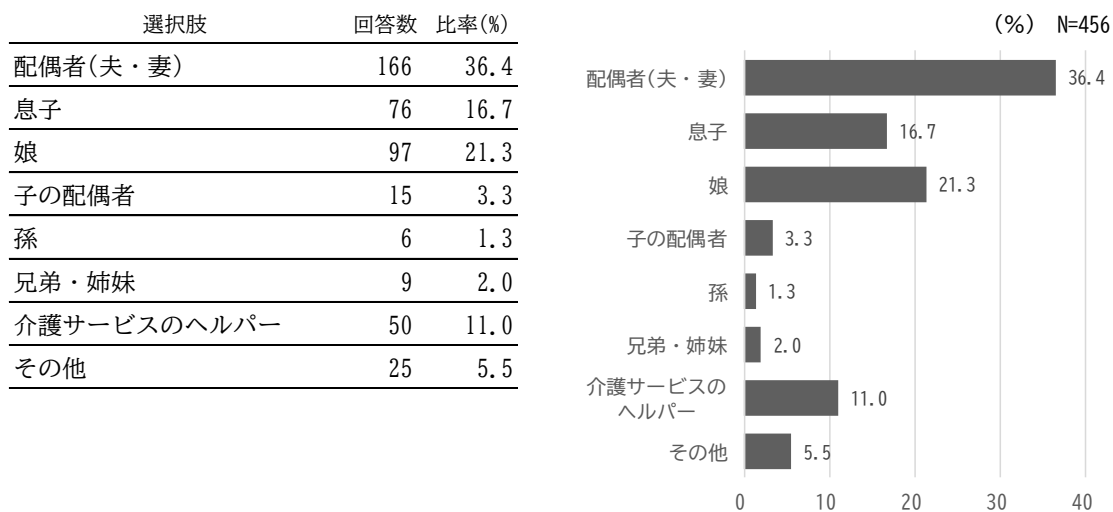


※母数 N : 問1(2)、「2」または「3」回答数 456 件

### ② 主な介護・介助者

主にどなたの介護、介助を受けているかについては、「配偶者 (夫・妻)」が36.4%と最も高く、次いで「娘」が21.3%、「息子」が16.7%となっています。

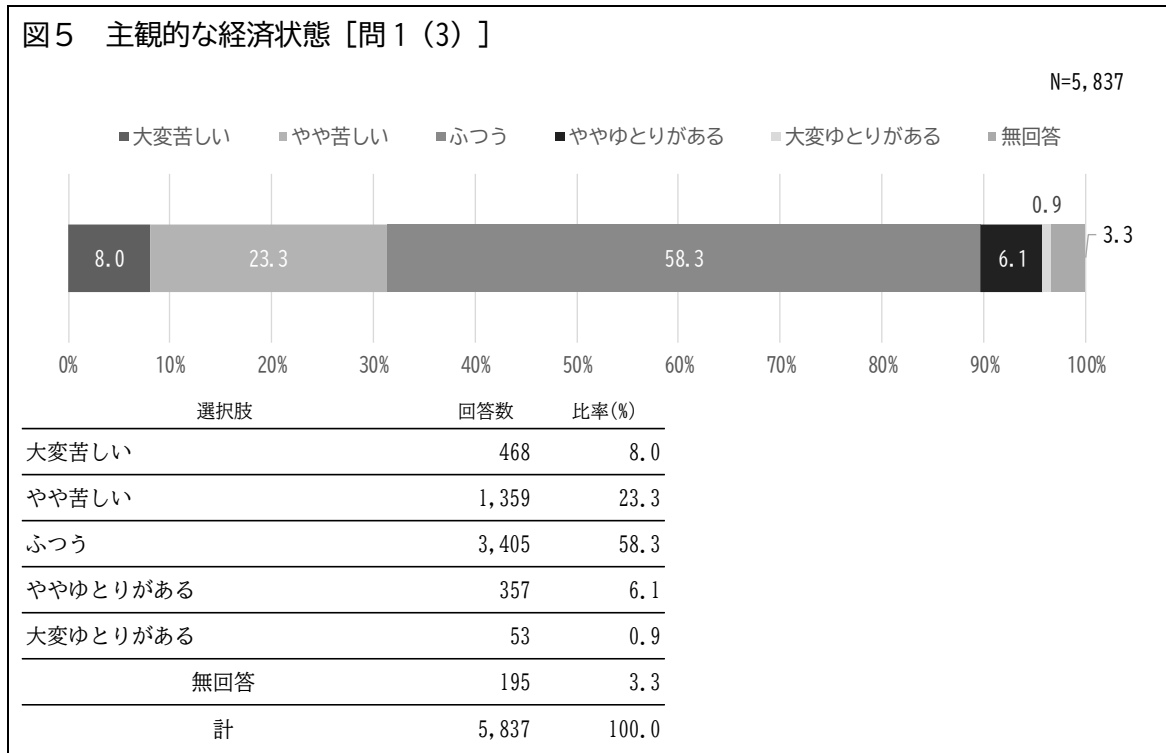
図4 主な介護・介助者 [問1(2)②] (複数回答)



※母数 N : 問1(2)、「2」または「3」回答数 456 件

### (3) 主観的な経済状態

主観的な経済状態については、「ふつう」が58.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」が23.3%となっています。

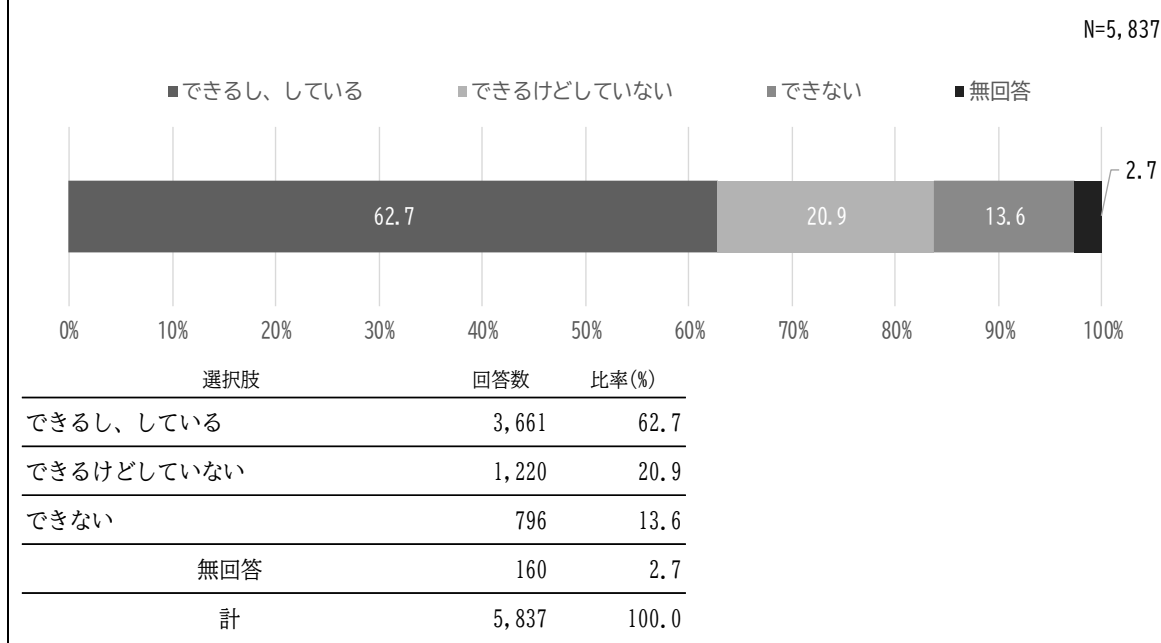


## 問2 からだを動かすことについて

### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇る

階段を手すりや壁をつたわずに昇る動作については、「できるし、している」が62.7%と最も高くなっています。

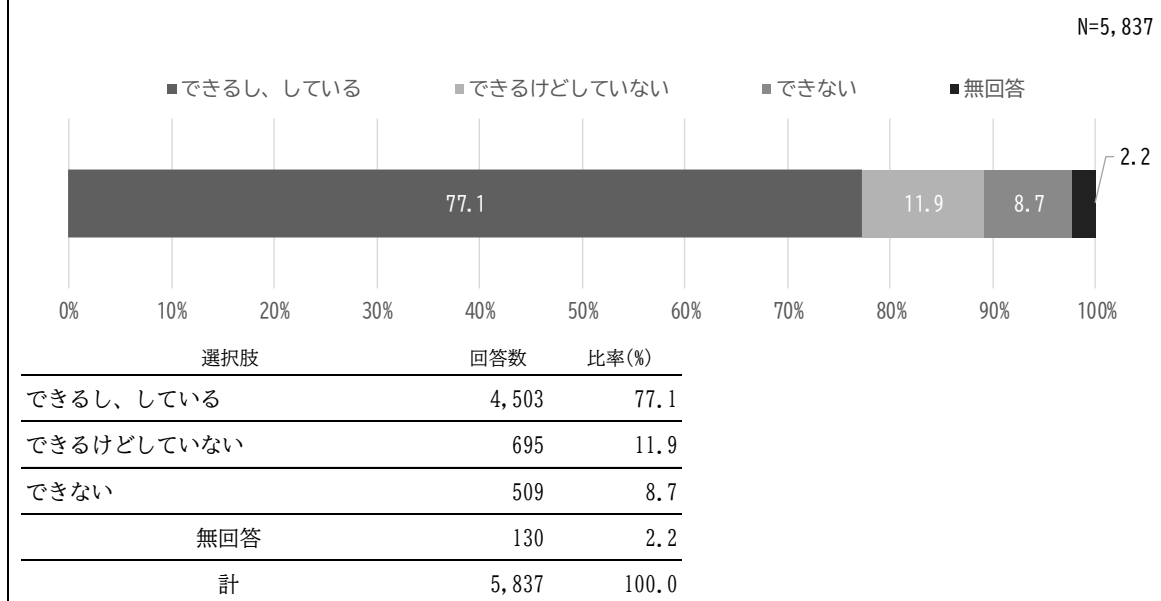
図6 階段を手すりや壁をつたわずに昇る [問2 (1)]



### (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる動作については、「できるし、している」が77.1%と最も高くなっています。

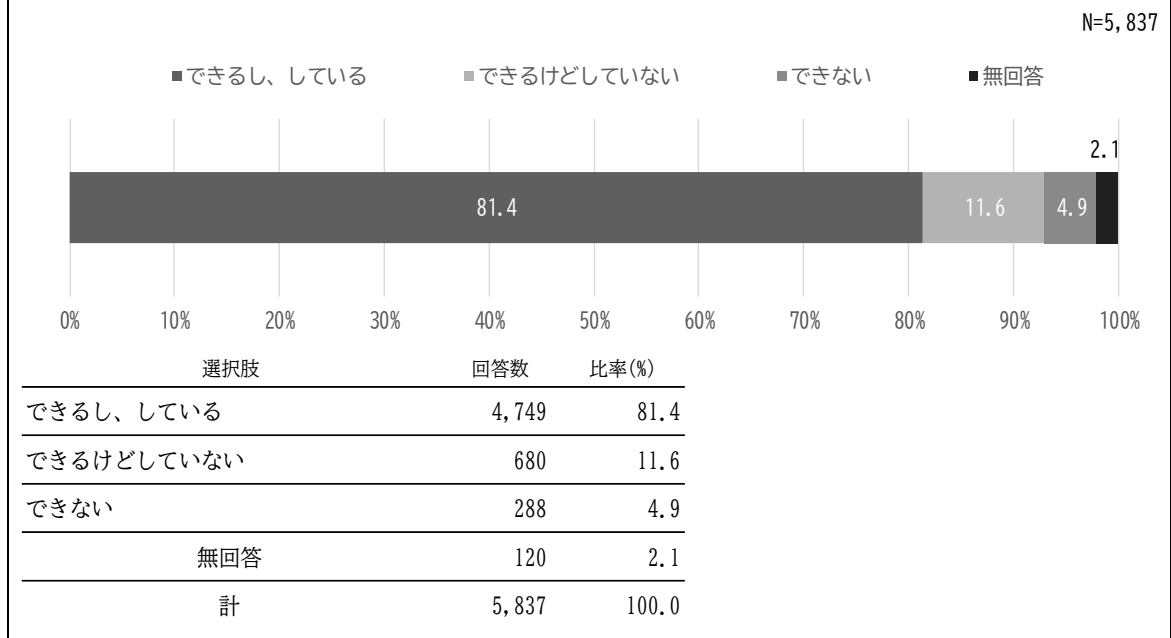
図7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる [問2 (2)]



### (3) 15分位続けて歩く

15分位続けて歩く動作については、「できるし、している」が81.4%と最も高くなっています。

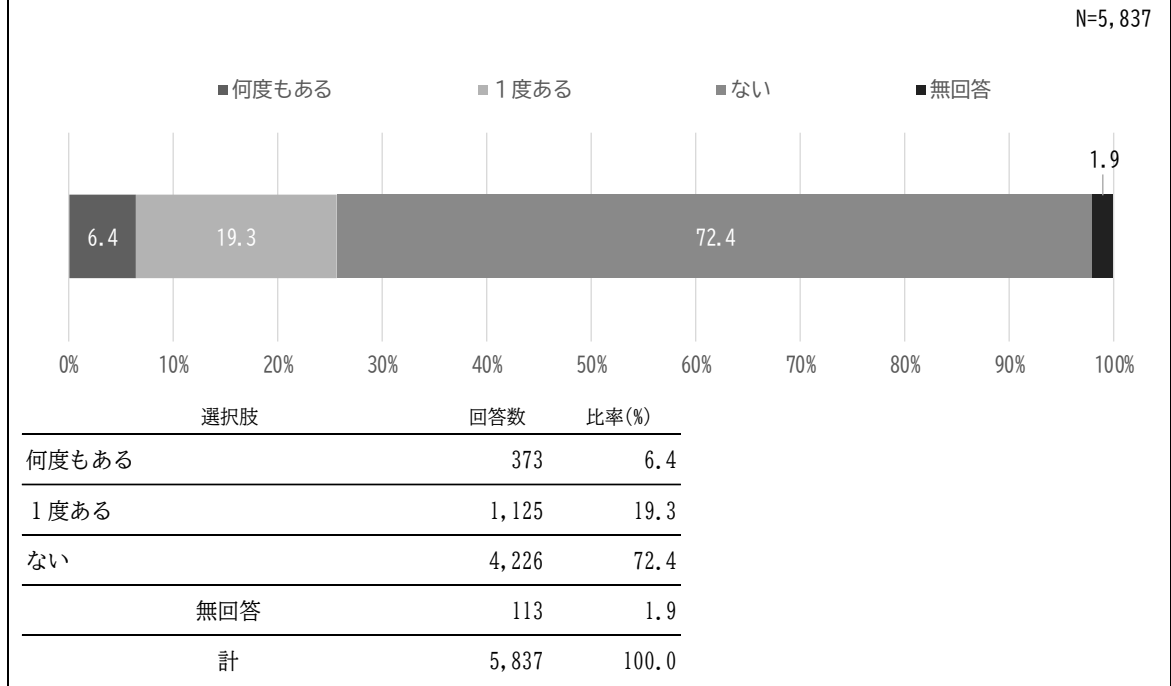
図8 15分位続けて歩く [問2(3)]



### (4) 過去1年間に転んだ経験

過去1年間に転んだ経験については、「ない」が72.4%と最も高くなっています。

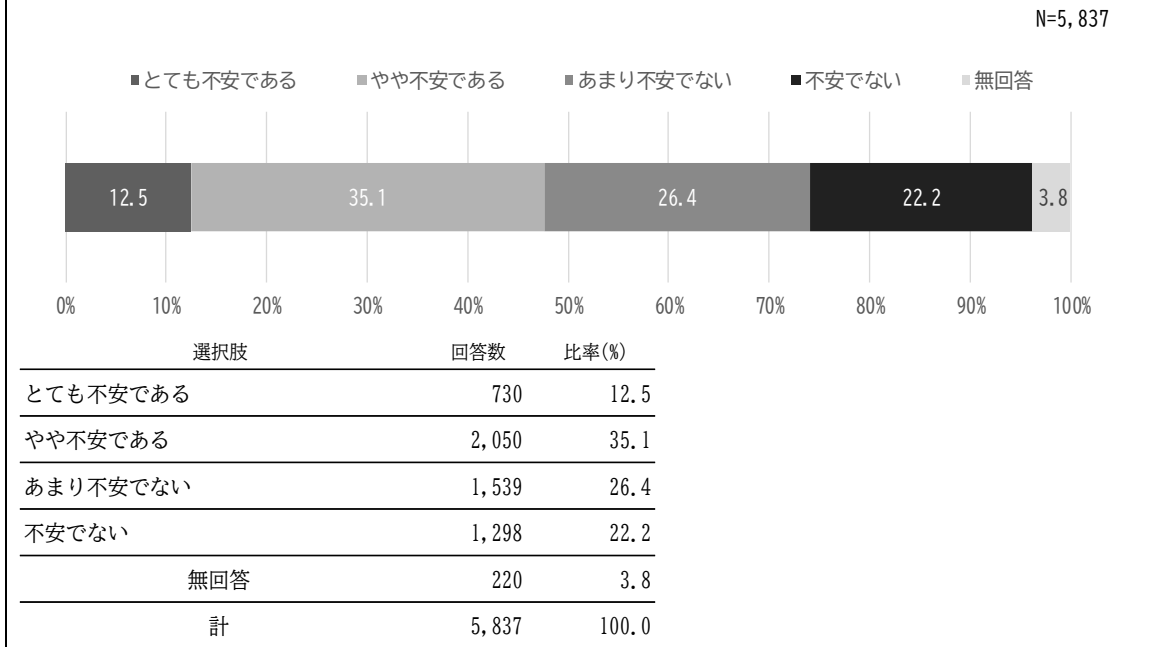
図9 過去1年間に転んだ経験 [問2(4)]



### (5) 転倒に対する不安

転倒に対する不安については、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が47.6%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた『不安でない』が48.6%とほとんど変わりません。

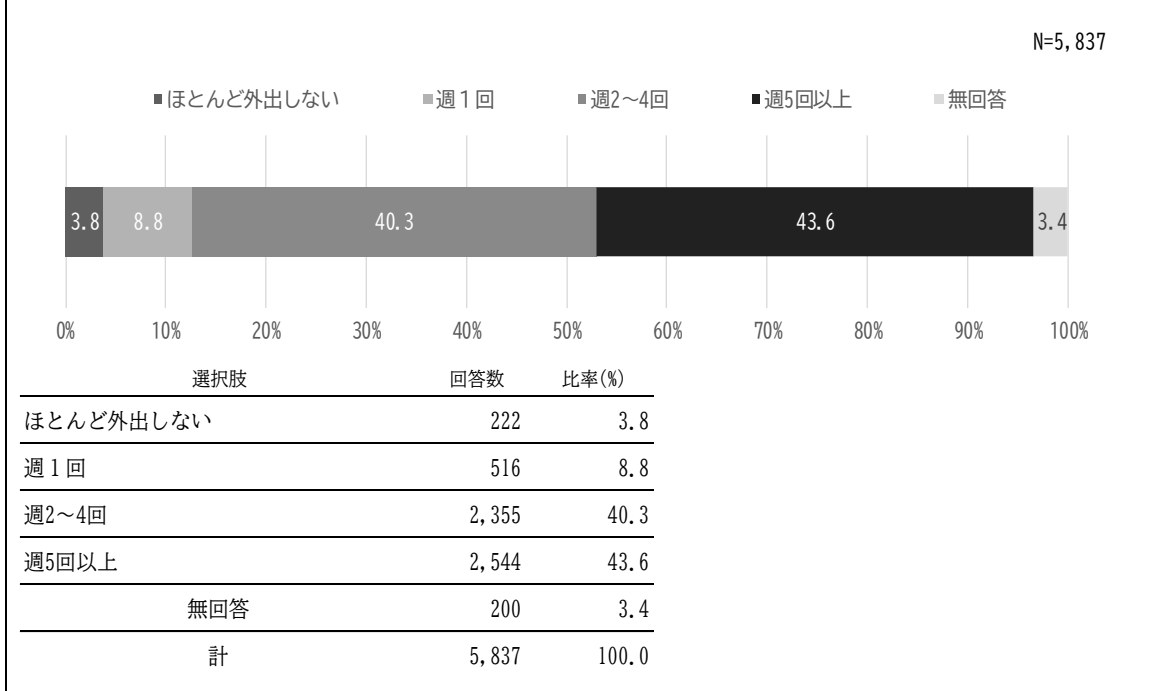
図10 転倒に対する不安 [問2(5)]



### (6) 週1回以上の外出

週1回以上の外出については、「週5回以上」が43.6%と最も高く、次いで「週2~4回」が40.3%となっています。

図11 週1回以上の外出 [問2(6)]

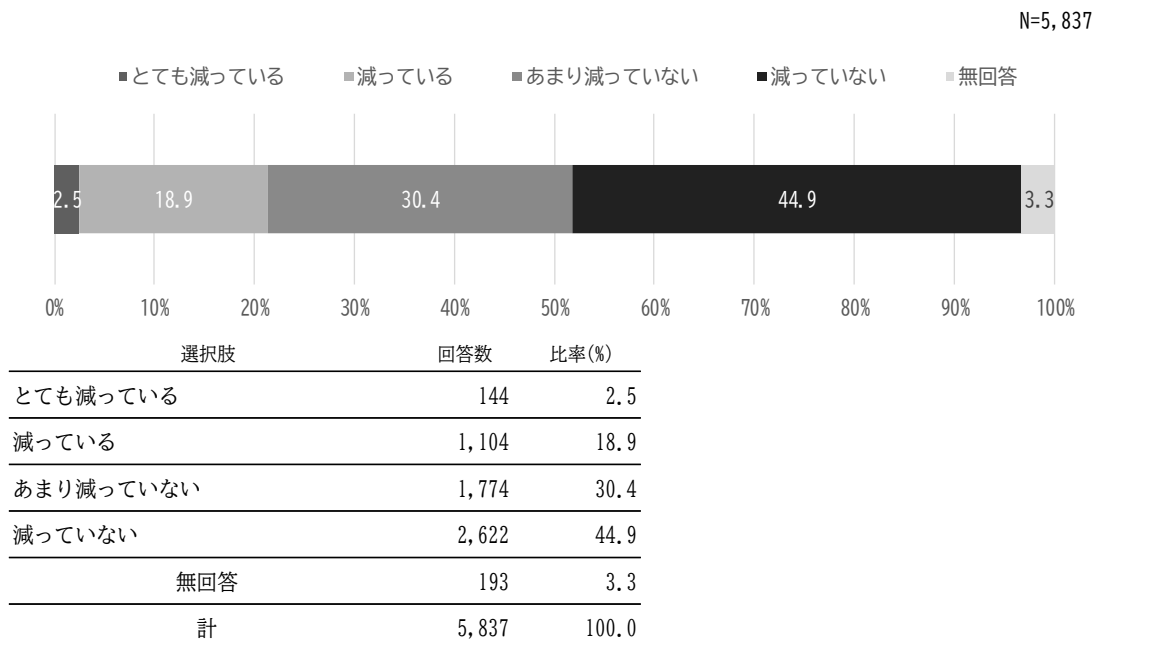




### (7) 昨年と比べた外出の回数

昨年より外出の回数が減っているかどうかについては、「減っていない」と「あまり減っていない」を合わせた『減っていない』が75.3%となっていますが、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』は21.4%となっています。

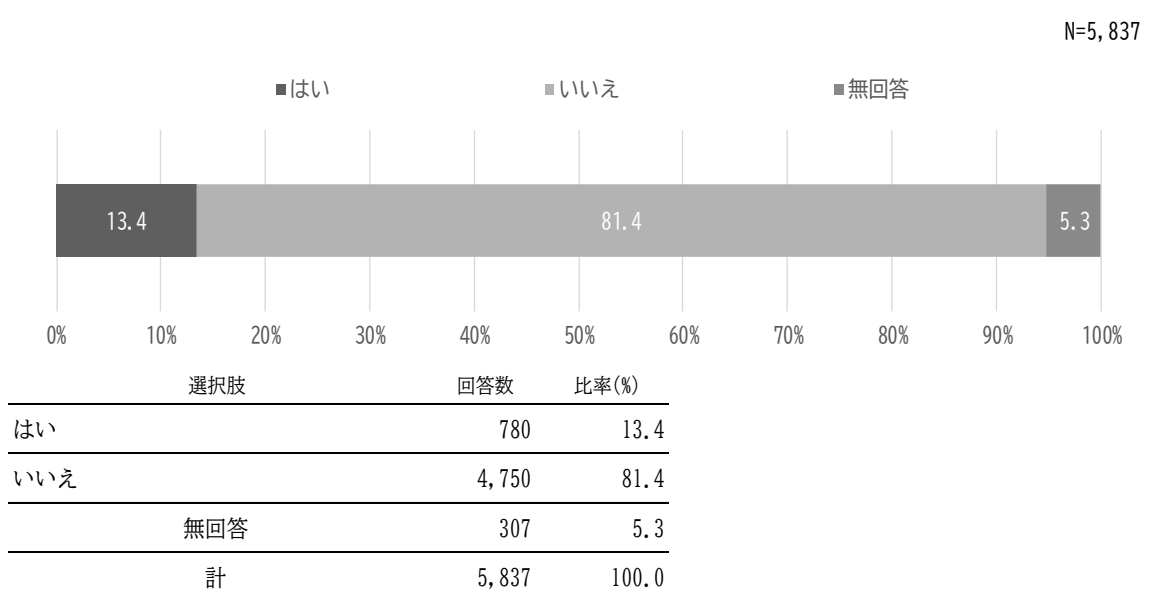
図12 昨年と比べた外出の回数 [問2 (7)]



### (8) 外出を控えているか

外出を控えているかどうかについては、「いいえ」が81.4%となっています。

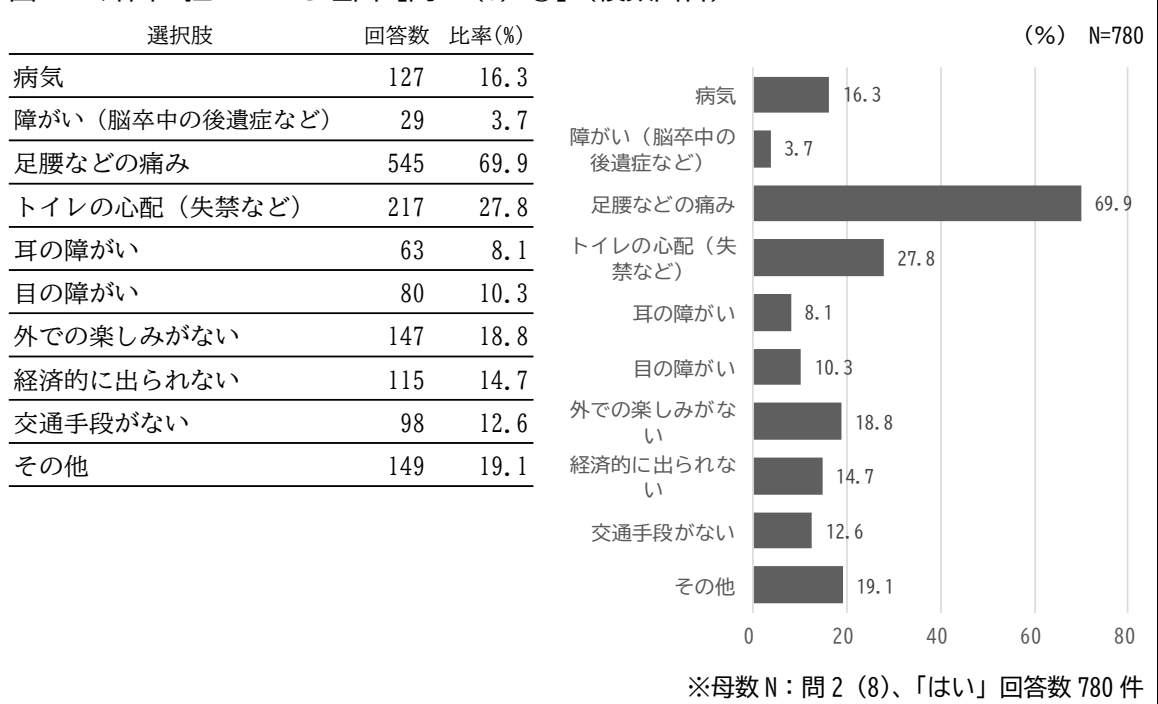
図13 外出を控えているか [問2 (8)]



### ① 外出を控えている理由

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が 69.9%と最も高くなっています。

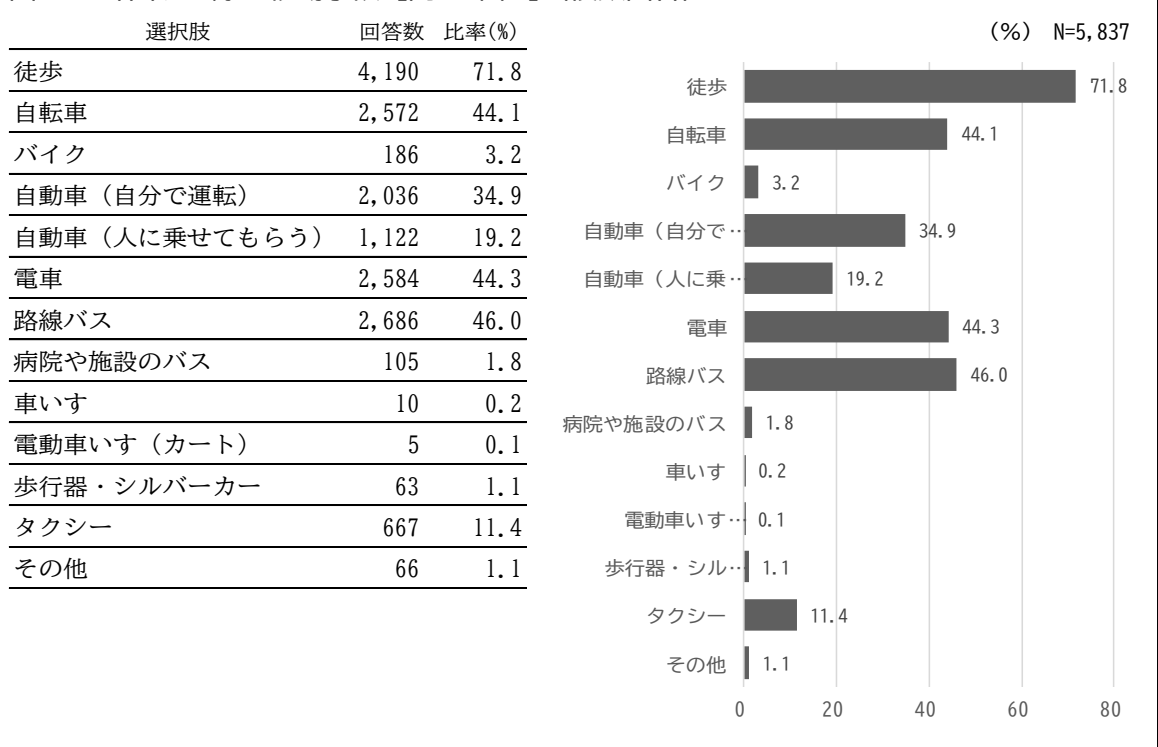
図 14 外出を控えている理由 [問 2 (8) ①] (複数回答)



### (9) 外出する際の移動手段

外出する際の移動手段については、「徒歩」が 71.8%と最も高く、次いで「路線バス」が 46.0%、「電車」が 44.3%、「自転車」が 44.1%となっています。

図 15 外出する際の移動手段 [問 2 (9)] (複数回答)



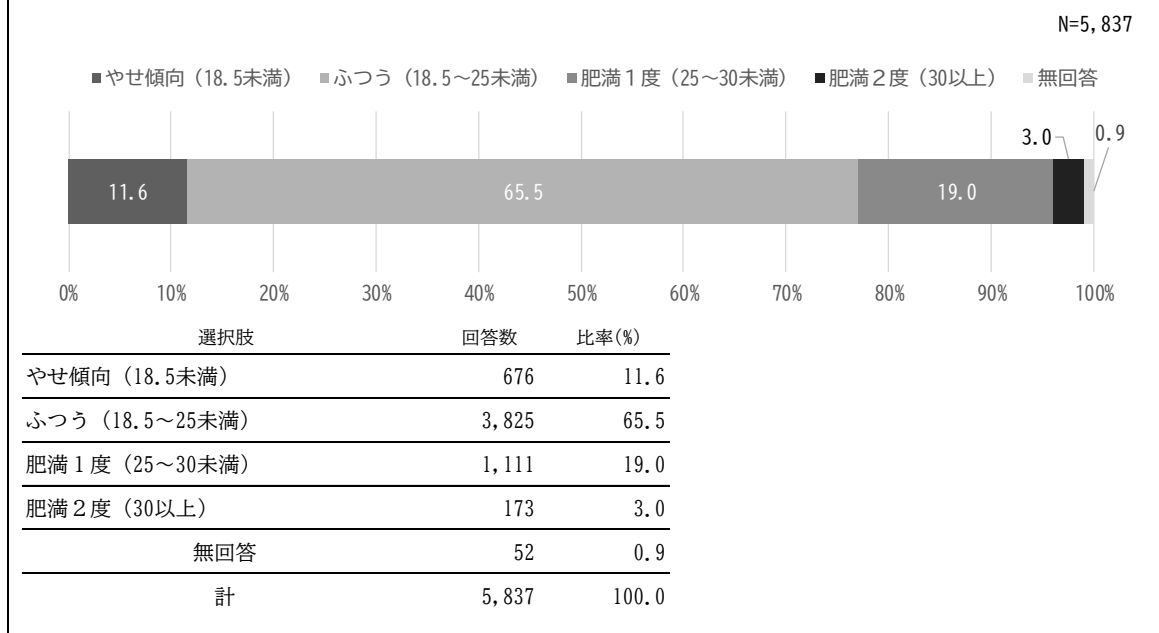
### 問3 食べることについて

#### (1) 身長・体重 (BMI※)

身長・体重 (BMI) については、「ふつう (18.5～25 未満)」が 65.5%と最も高くなっています。

※BMI：ボディマス指数。体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数

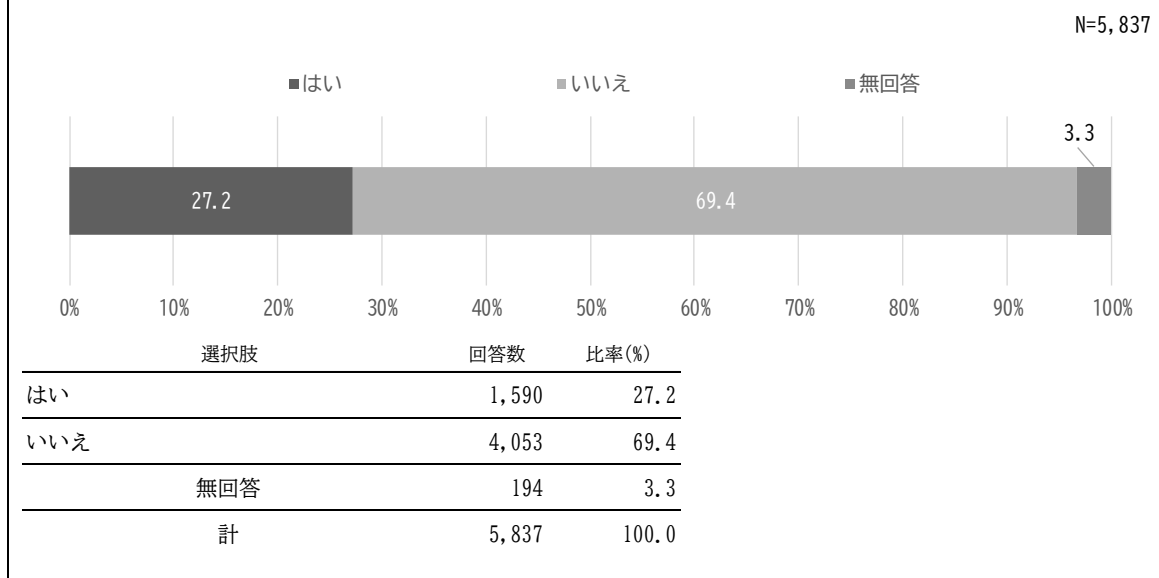
図16 身長・体重 (BMI) [問3 (1)]



#### (2) 固いものが食べにくい

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかどうかについては、「いいえ」が 69.4%となっています。

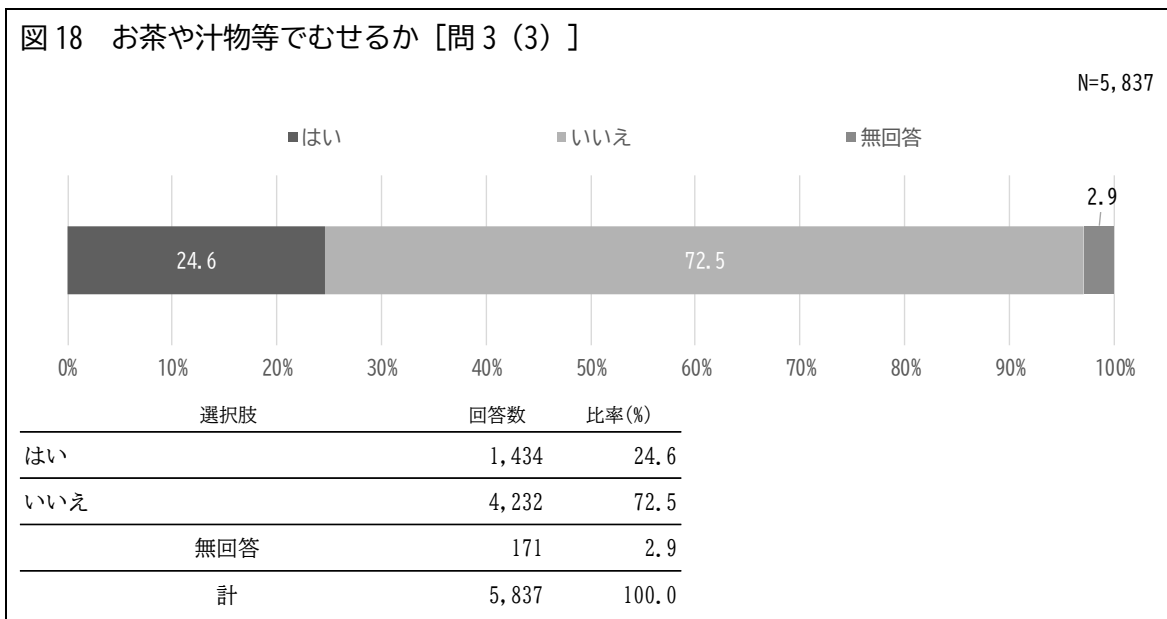
図17 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか [問3 (2)]



### (3) お茶や汁物等でむせる

お茶や汁物等でむせるかどうかについては、「いいえ」が72.5%となっています。

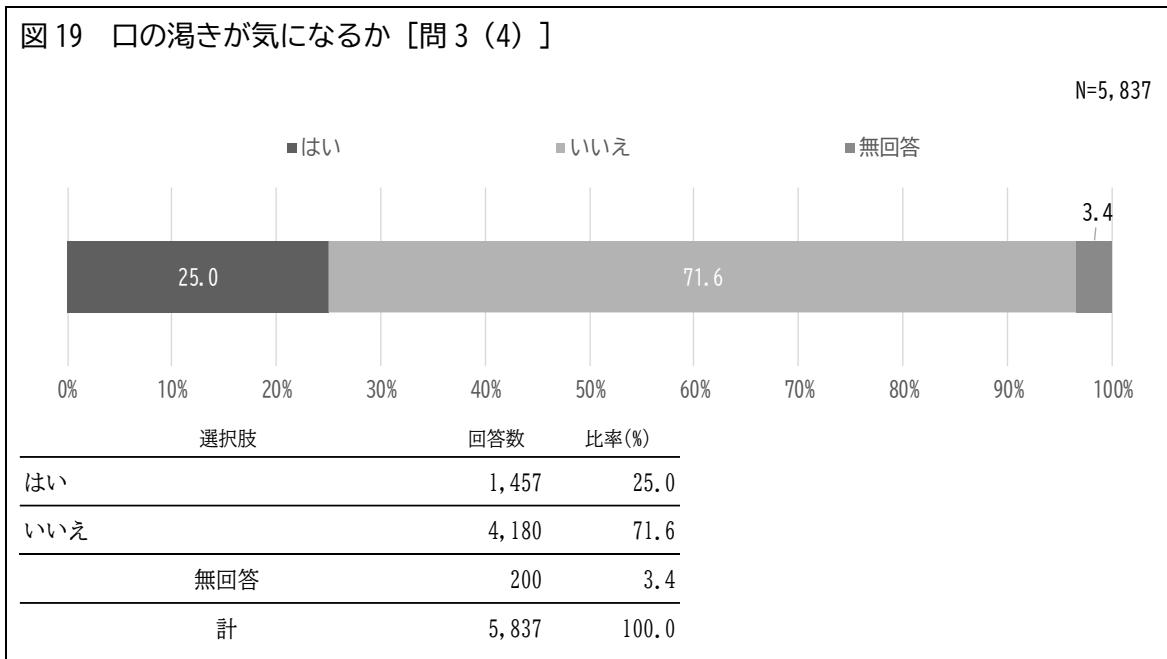
図 18 お茶や汁物等でむせるか [問 3 (3)]



### (4) 口の渇きが気になる

口の渇きが気になるかどうかについては、「いいえ」が71.6%となっています。

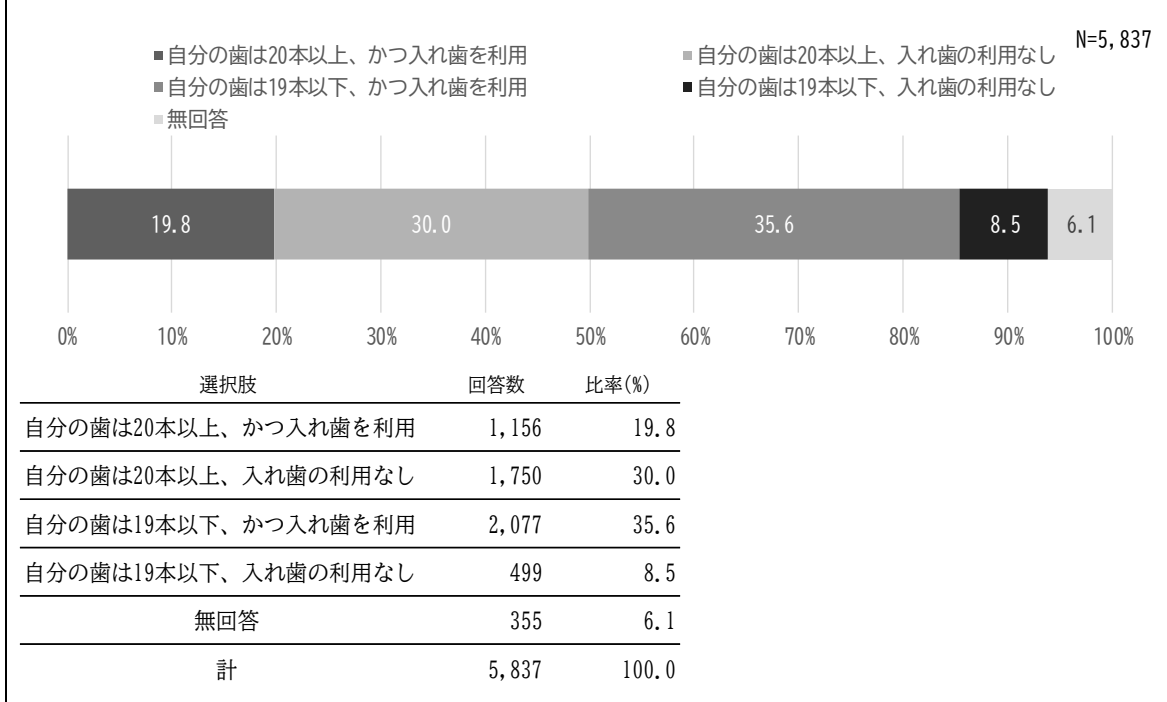
図 19 口の渇きが気になるか [問 3 (4)]



### (5) 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.6%と最も高くなっています。

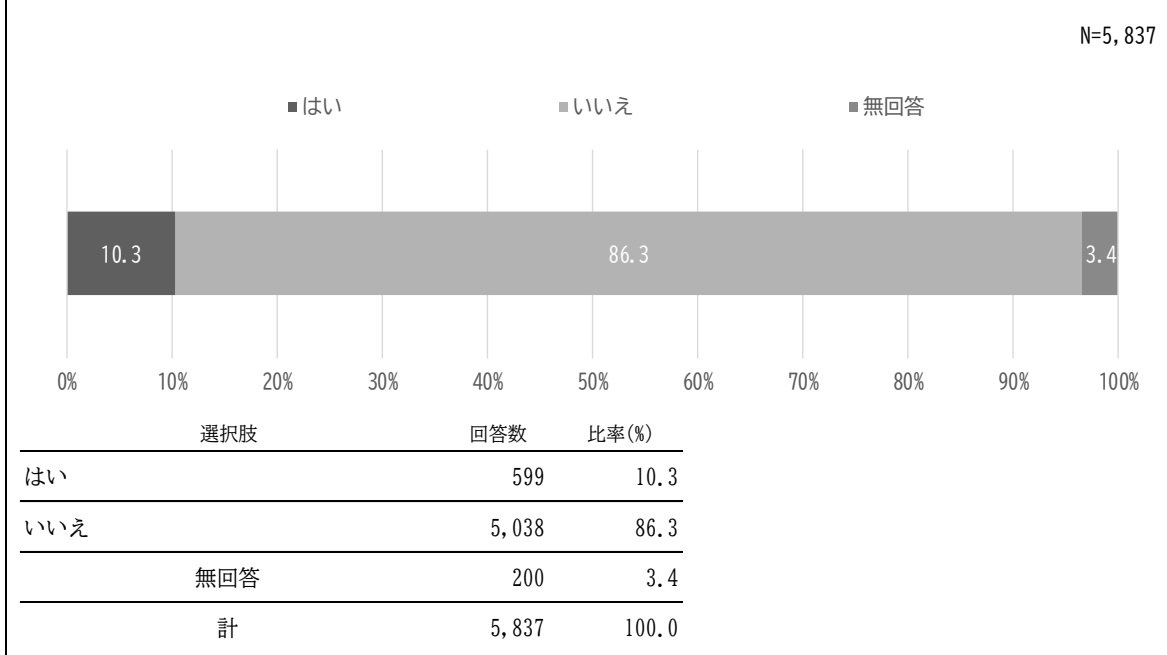
図 20 歯の数と入れ歯の利用状況 [問 3 (5)]



### (6) 6か月間で2～3kg以上の体重の減少

6か月間で2～3kg以上の体重の減少があったかどうかについては、「いいえ」が86.3%となっています。

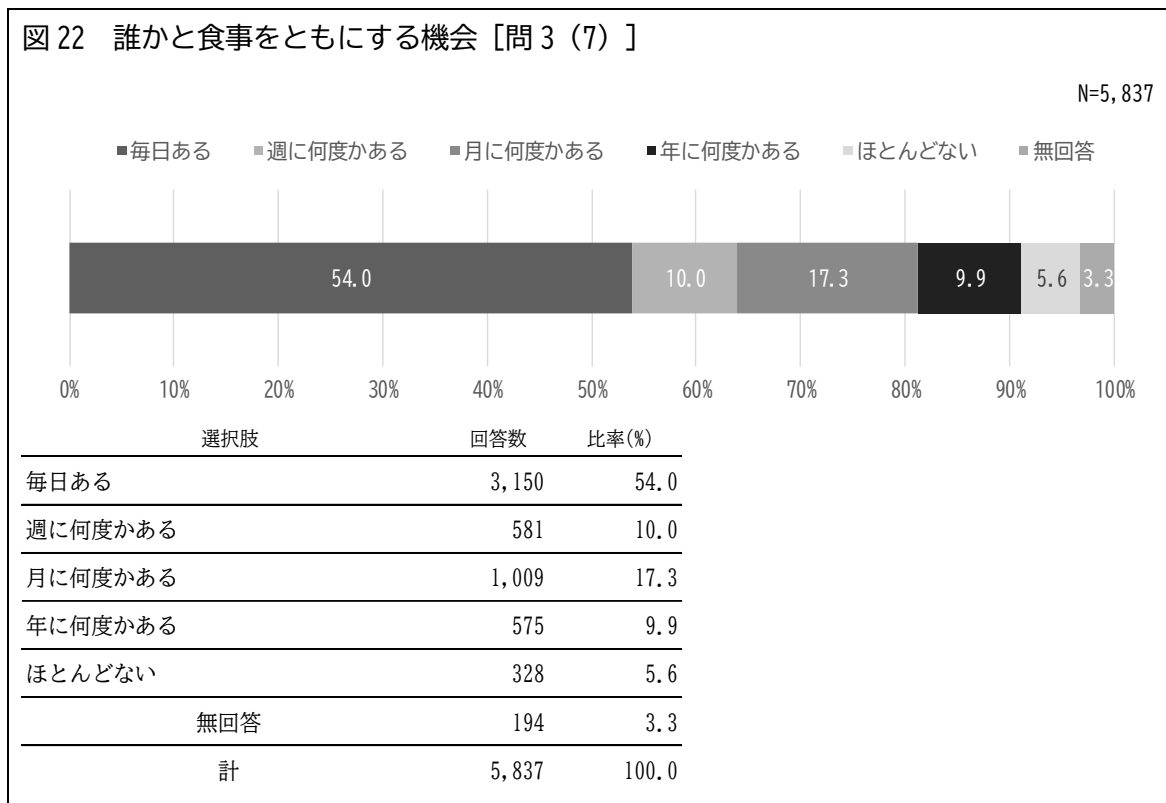
図 21 6か月間で2～3kg以上の体重の減少があったか [問 3 (6)]



## (7) 誰かと食事をとにもする機会

誰かと食事をとにもする機会については、「毎日ある」が 54.0%と最も高くなっています。

図 22 誰かと食事をとにもする機会 [問 3 (7) ]

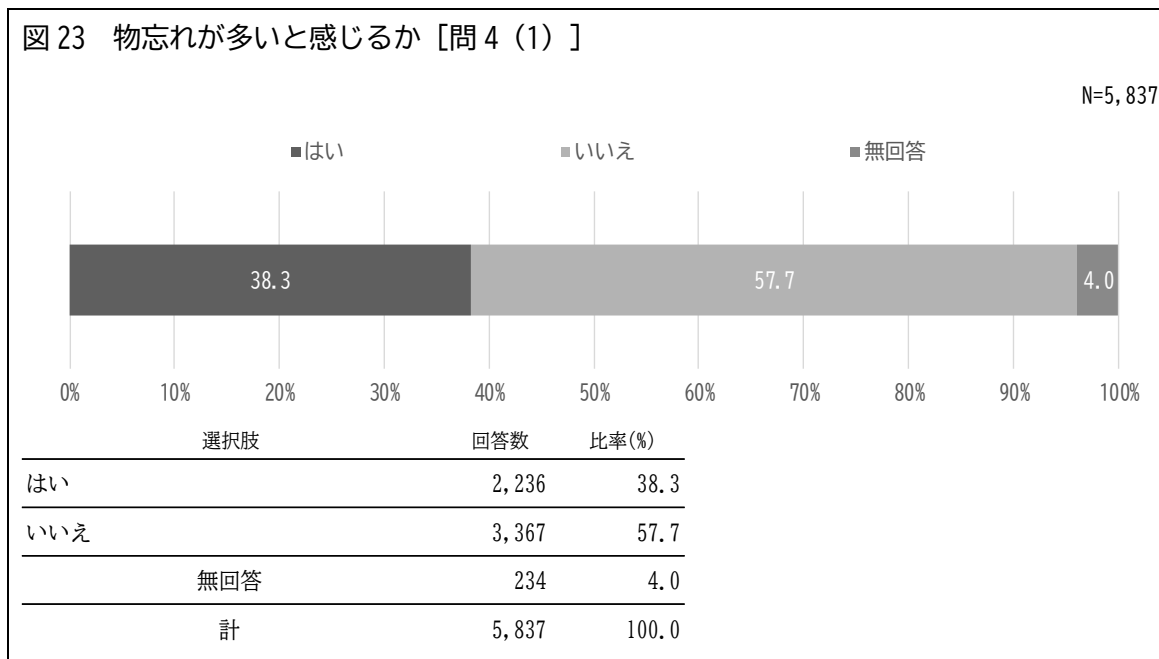


## 問4 毎日の生活について

### (1) 物忘れ

物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が57.7%となっています。

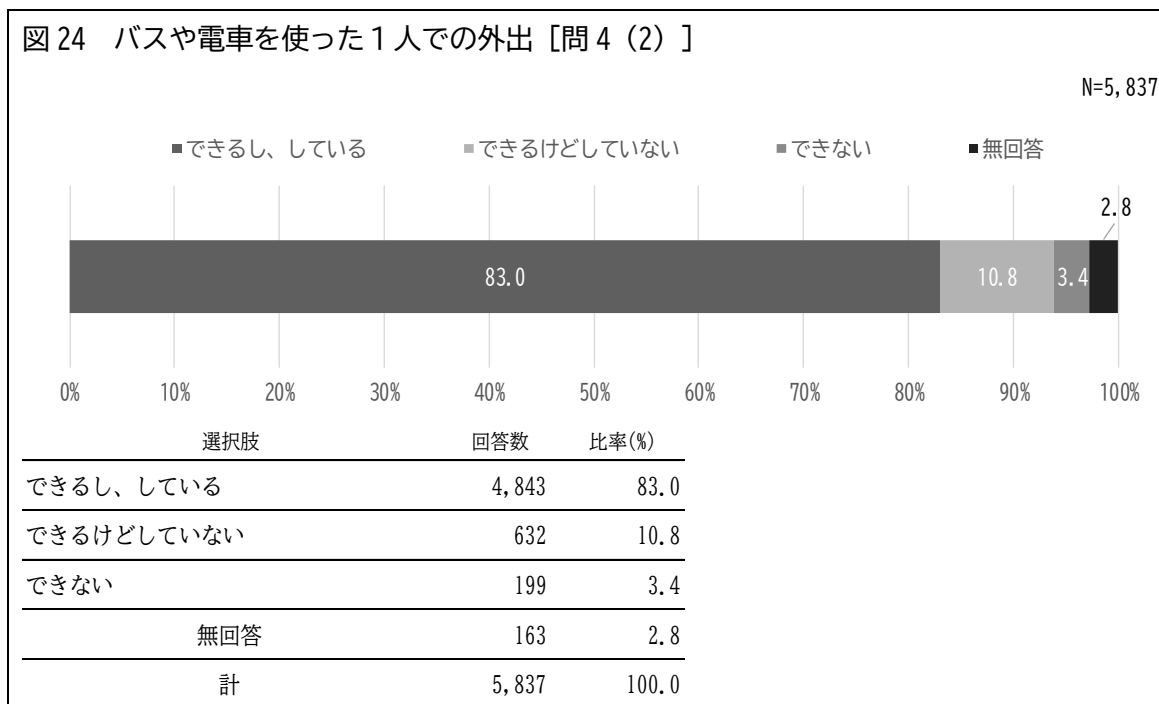
図23 物忘れが多いと感じるか [問4(1)]



### (2) バスや電車を使った1人での外出

バスや電車を使って1人で外出する（自家用車含む）ことについては、「できるし、している」が83.0%と最も高くなっています。

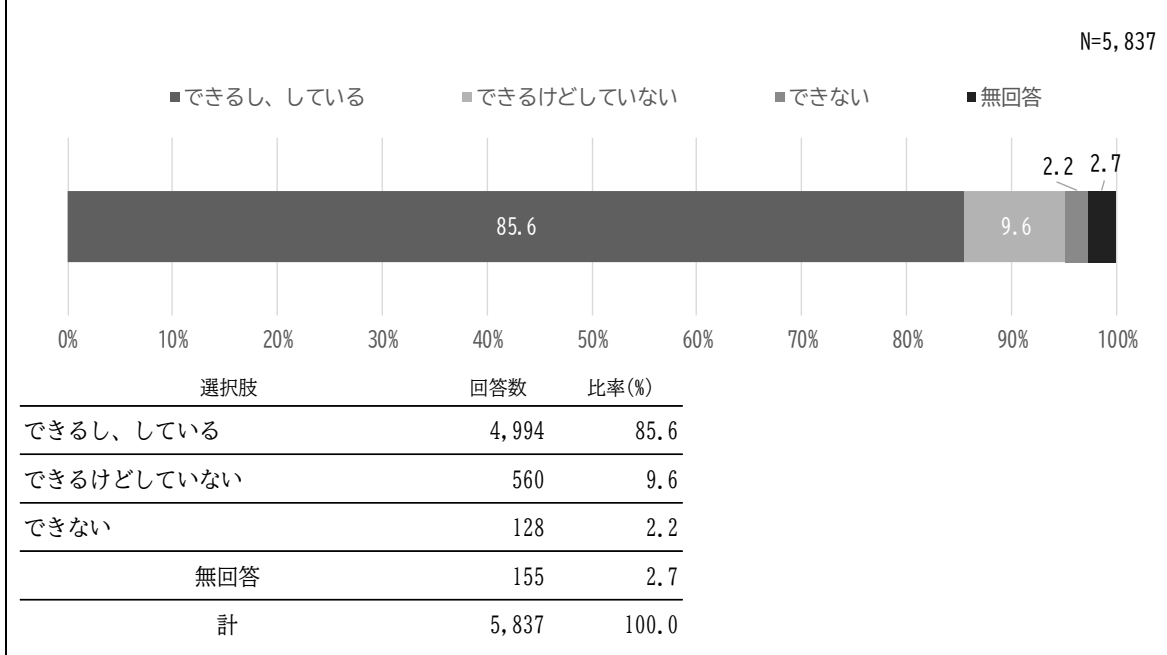
図24 バスや電車を使った1人での外出 [問4(2)]



### (3) 食品・日用品の買物

自分で食品・日用品の買物をしているかどうかについては、「できるし、している」が85.6%と最も高くなっています。

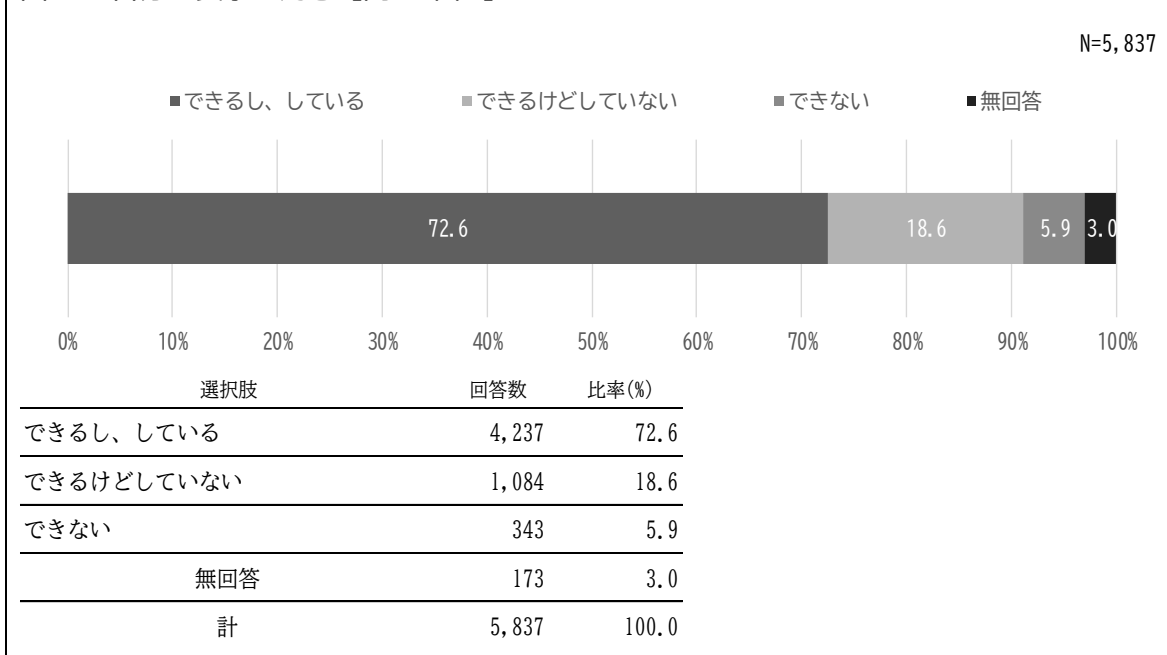
図 25 自分で食品・日用品の買物 [問 4 (3) ]



### (4) 食事の用意

自分で食事の用意をしているかどうかについては、「できるし、している」が72.6%と最も高くなっています。

図 26 自分で食事の用意 [問 4 (4) ]

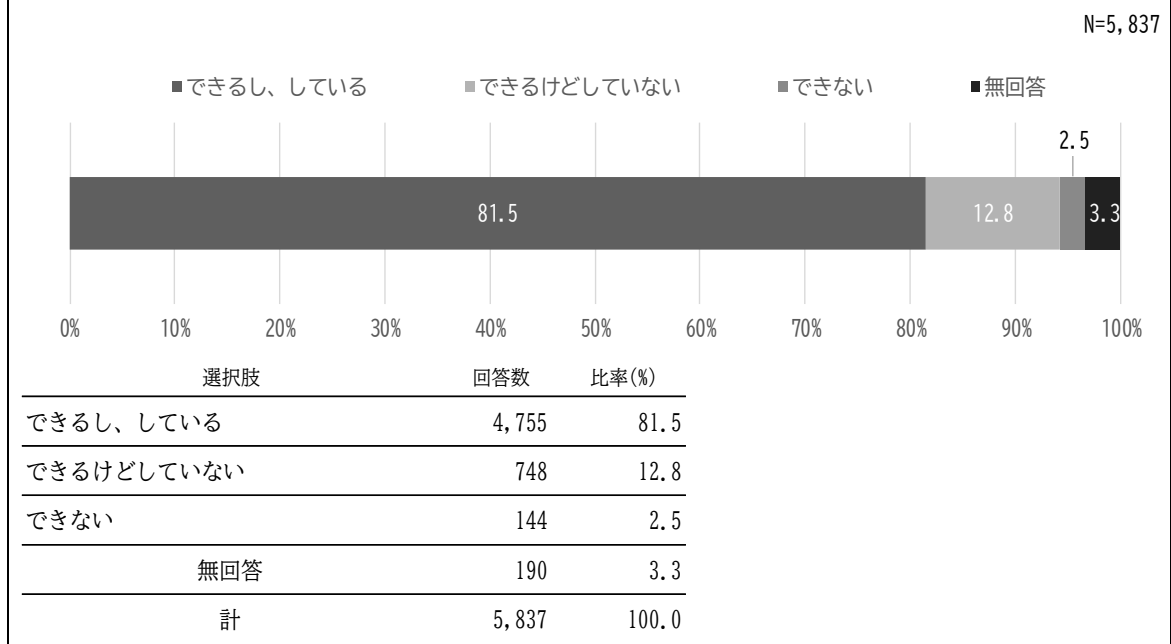




### (5) 請求書の支払い

自分で請求書の支払いをしているかどうかについては、「できるし、している」が81.5%と最も高くなっています。

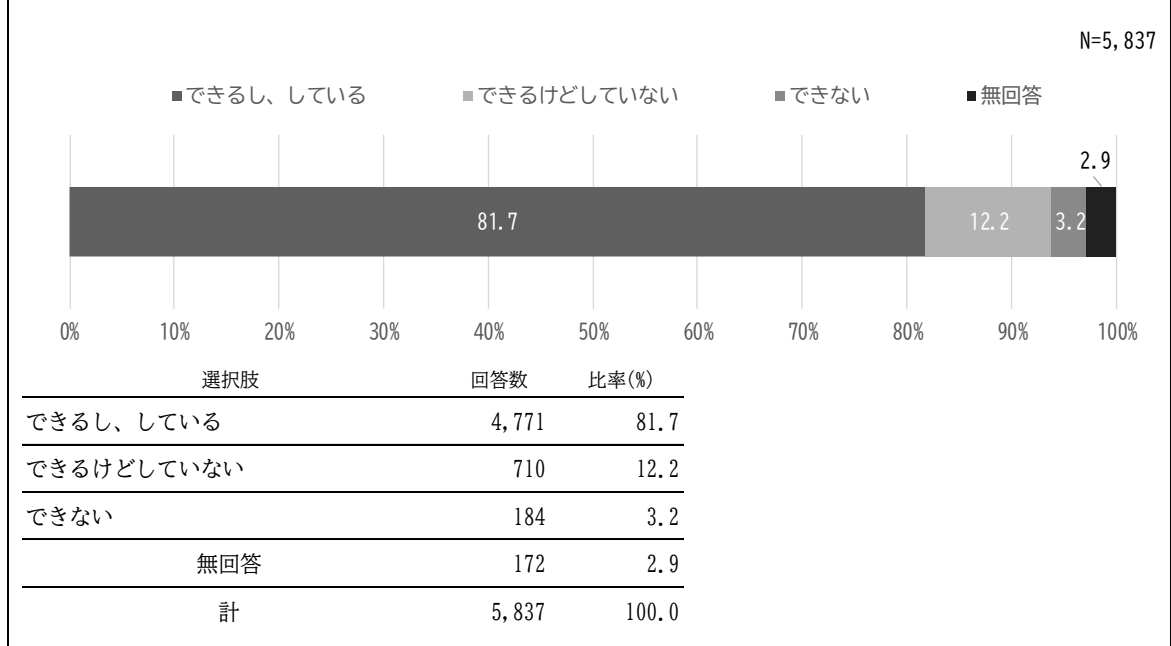
図 27 自分で請求書の支払い [問 4 (5)]



### (6) 預貯金の出し入れ

自分で預貯金の出し入れをしているかどうかについては、「できるし、している」が81.7%と最も高くなっています。

図 28 自分で預貯金の出し入れ [問 4 (6)]



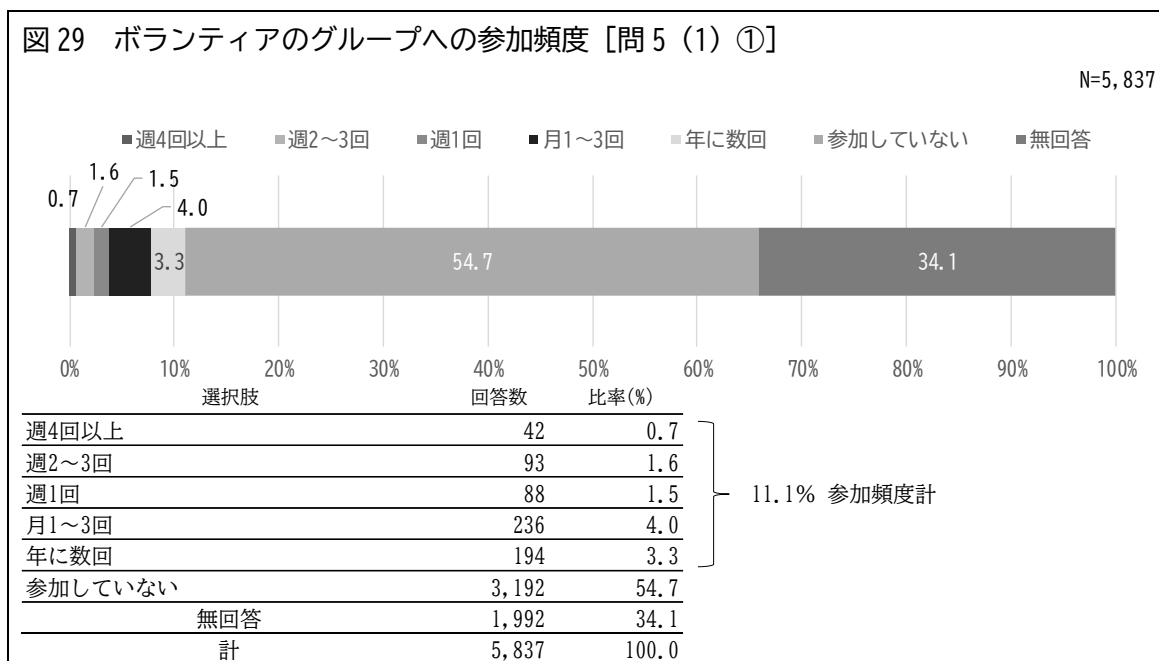
## 問5 地域での活動について

### (1) 地域の会・グループ等への参加

以下①～⑧では、「参加していない」、「無回答」が過半数を占めるため、「年に数回」から「週4回以上」を「参加している」とみなし、頻度が高い回答の比率合計（参加頻度計）をみていくこととします。

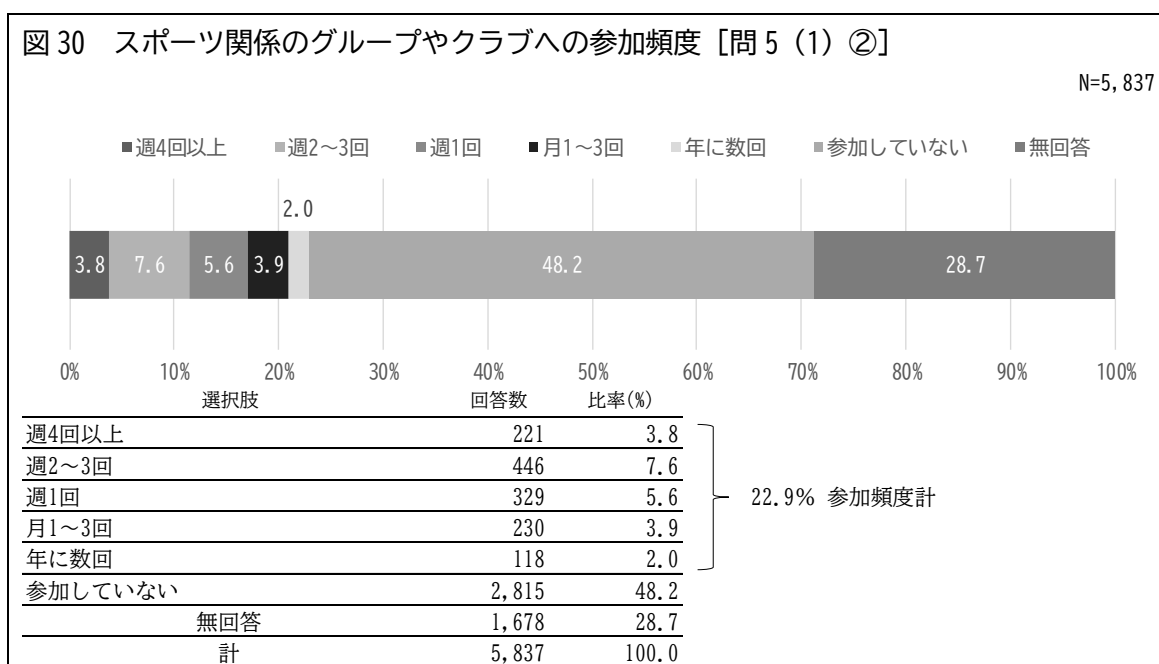
#### ① ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加頻度計は、11.1%となっています。



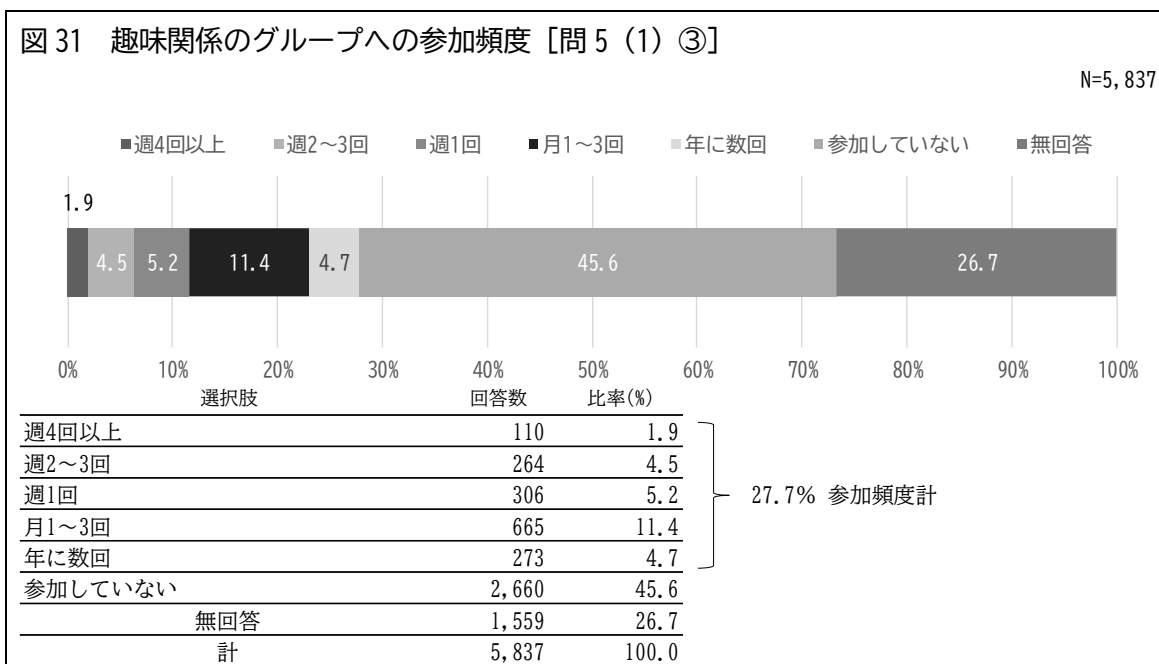
#### ② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度計は、22.9%と高くなっています。



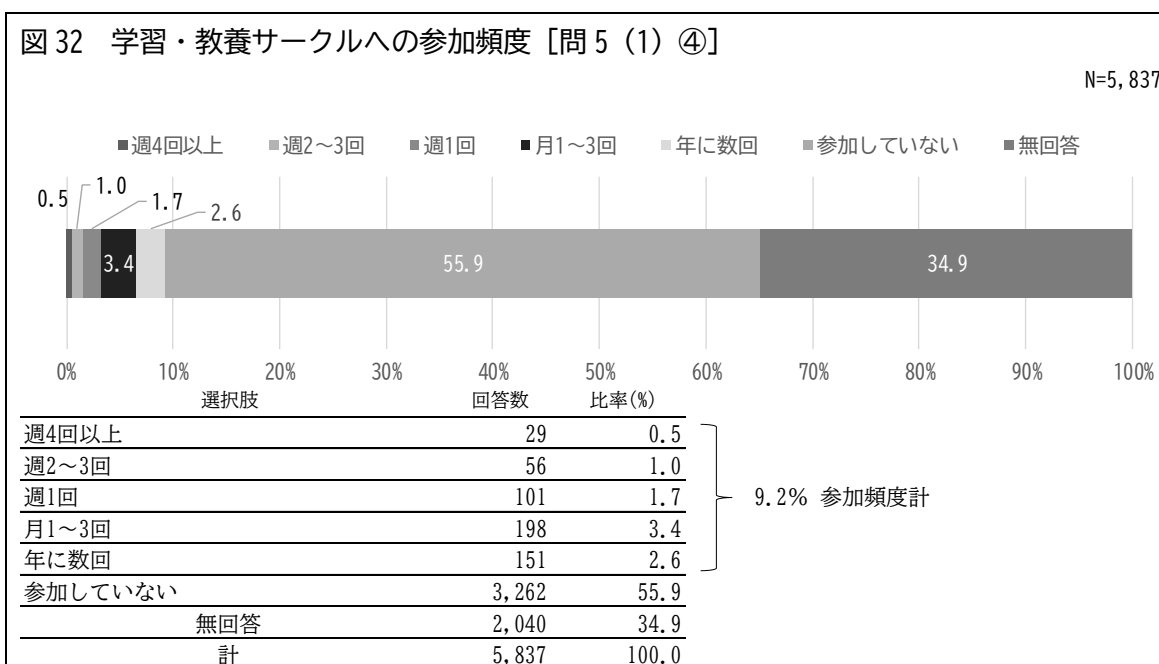
### ③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加頻度計は、27.7%と①～⑧の中で最も高くなっています。



### ④ 学習・教養サークル

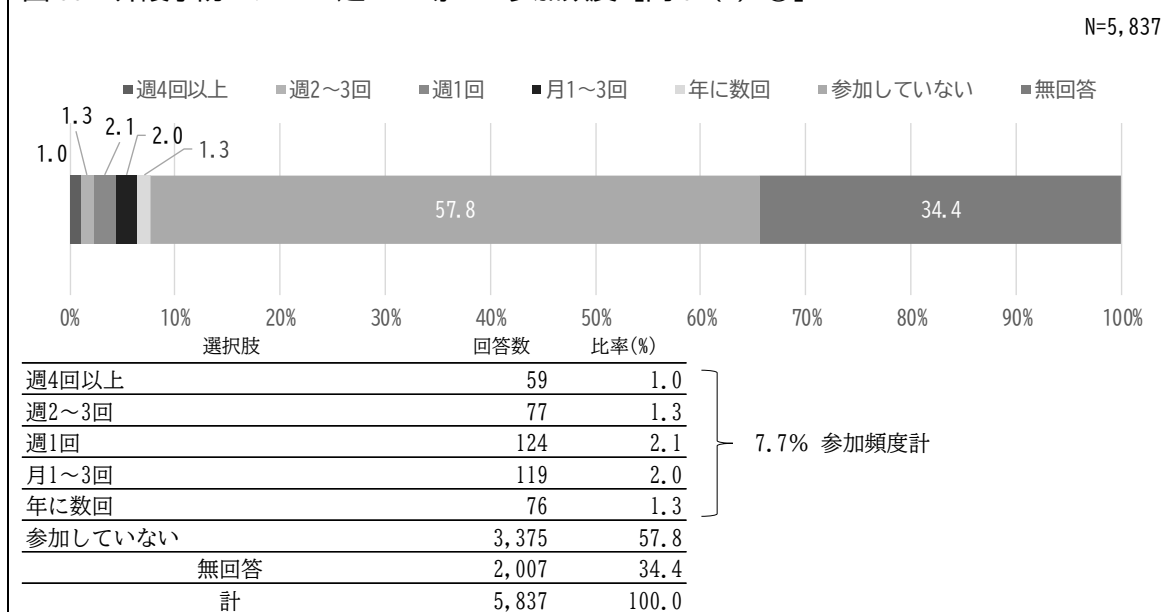
学習・教養サークルへの参加頻度計は、9.2%と低くなっています。



⑤ (元気アップトレーニングなど) 介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場への参加頻度計は、7.7%と低くなっています。

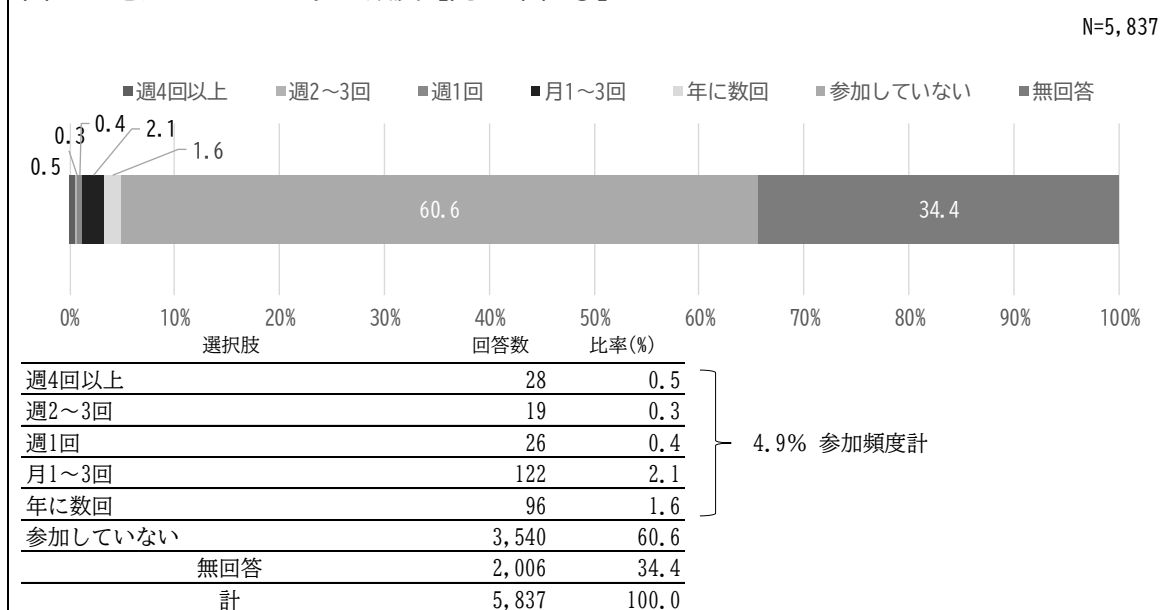
図 33 介護予防のための通いの場への参加頻度 [問 5 (1) ⑤]



⑥ 老人クラブ

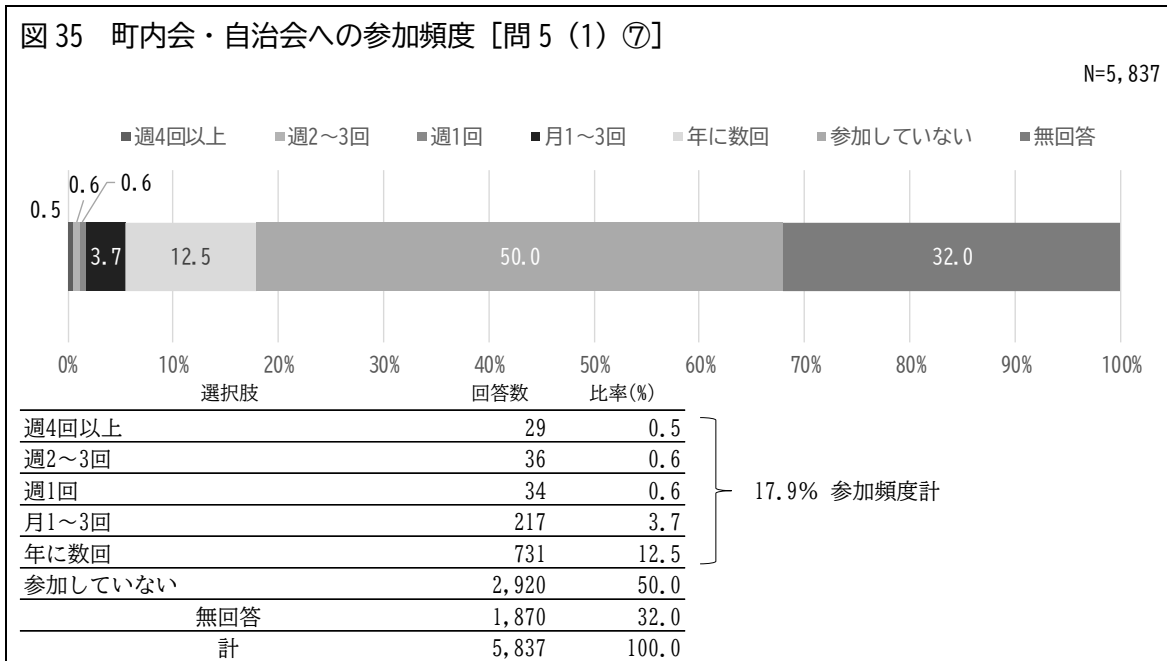
老人クラブへの参加頻度計は、4.9%と①~⑧の中で最も低くなっています。

図 34 老人クラブへの参加頻度 [問 5 (1) ⑥]



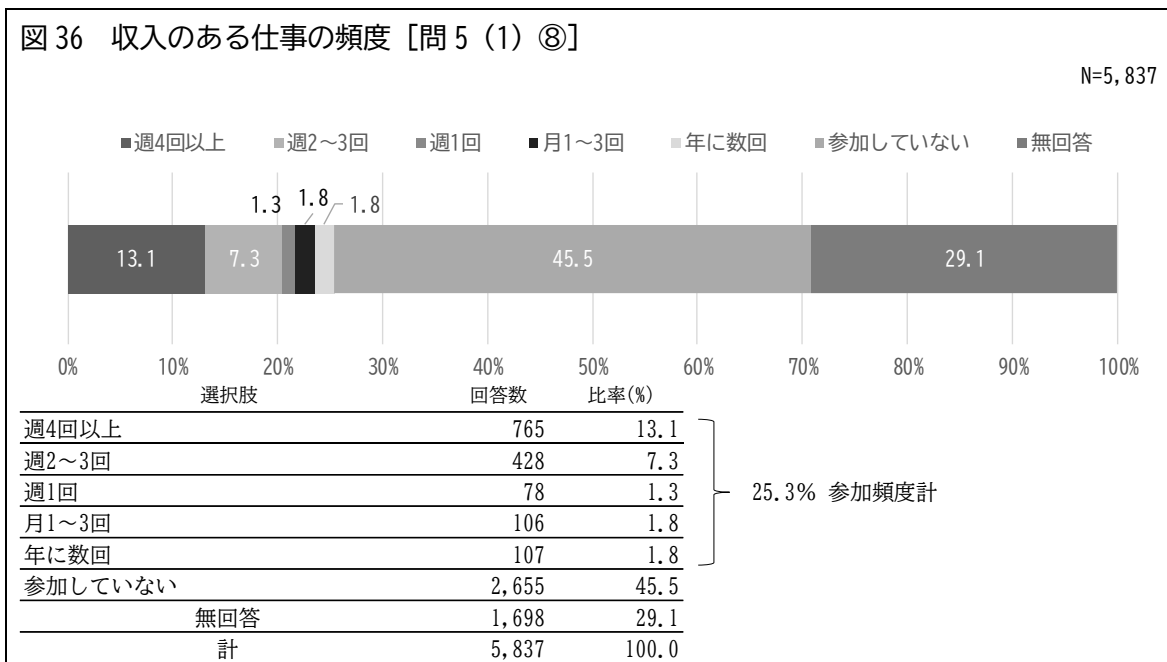
### ⑦ 町内会・自治会

町内会・自治会への参加頻度計は、17.9%となっています。



### ⑧ 収入のある仕事

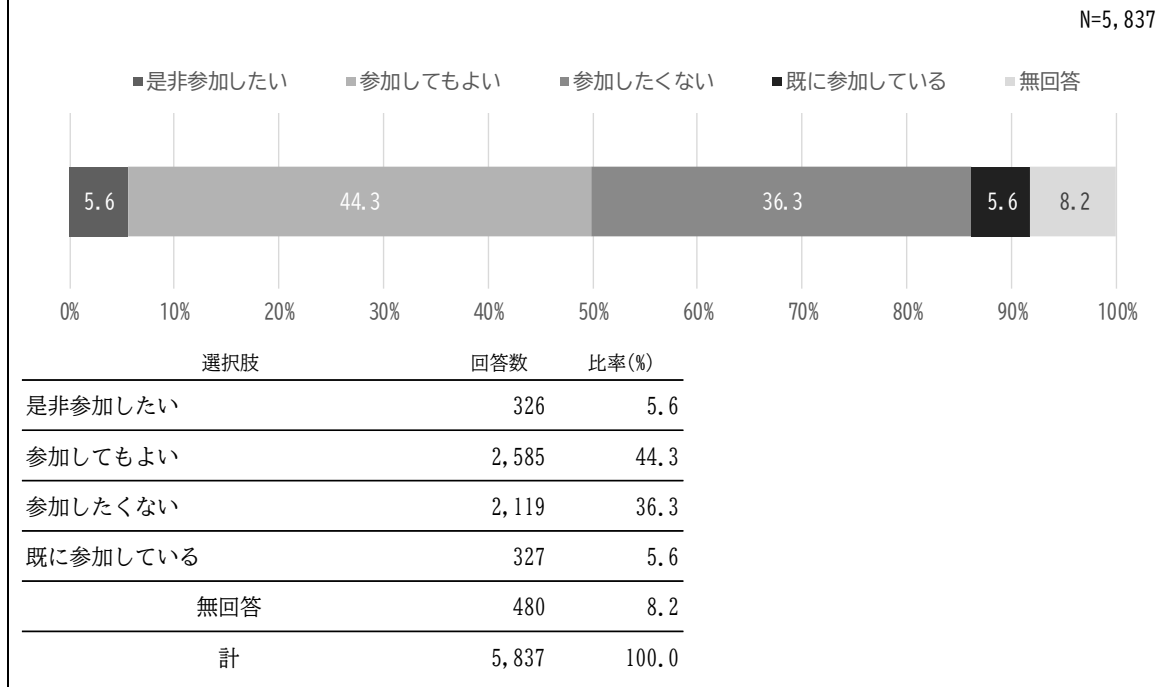
収入のある仕事への参加頻度計は、25.3%と高くなっています。



## (2) 参加者としての地域活動への参加

地域活動に参加者として参加したいかどうかについては、「参加してもよい」が44.3%と最も高く、次いで「参加したくない」が36.3%となっています。

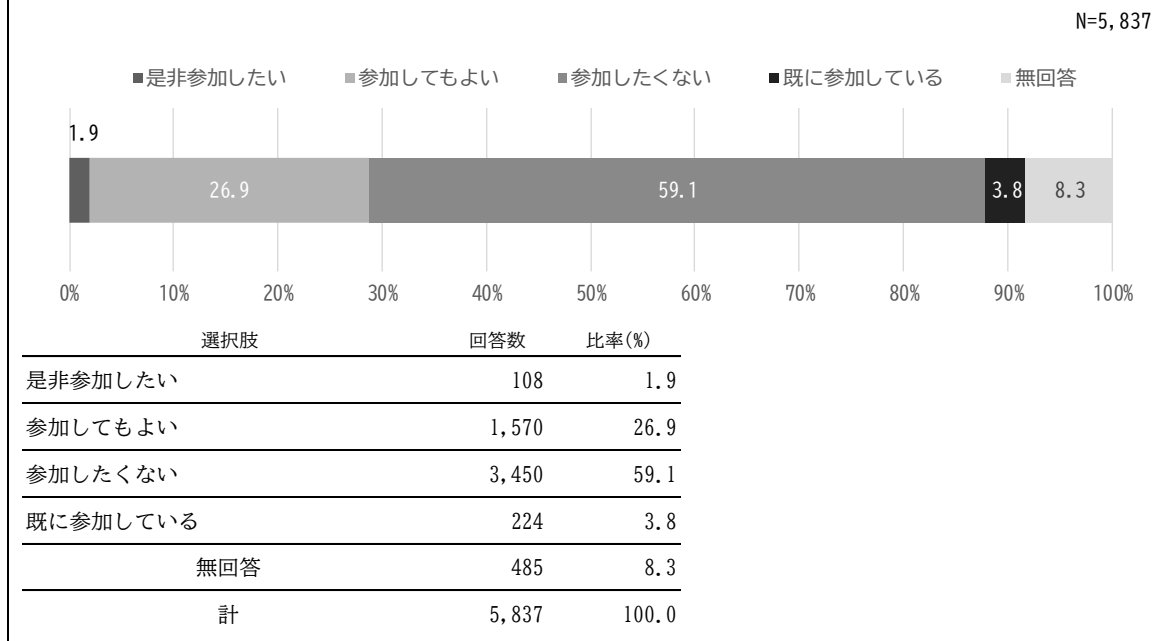
図 37 地域活動に参加者として参加したいか [問 5 (2) ]



## (3) 企画・運営役としての地域活動への参加

地域活動に企画・運営役として参加したいかどうかについては、「参加したくない」が59.1%と最も高く、次いで「参加してもよい」が26.9%となっています。

図 38 地域活動に企画・運営役として参加したいか [問 5 (3) ]

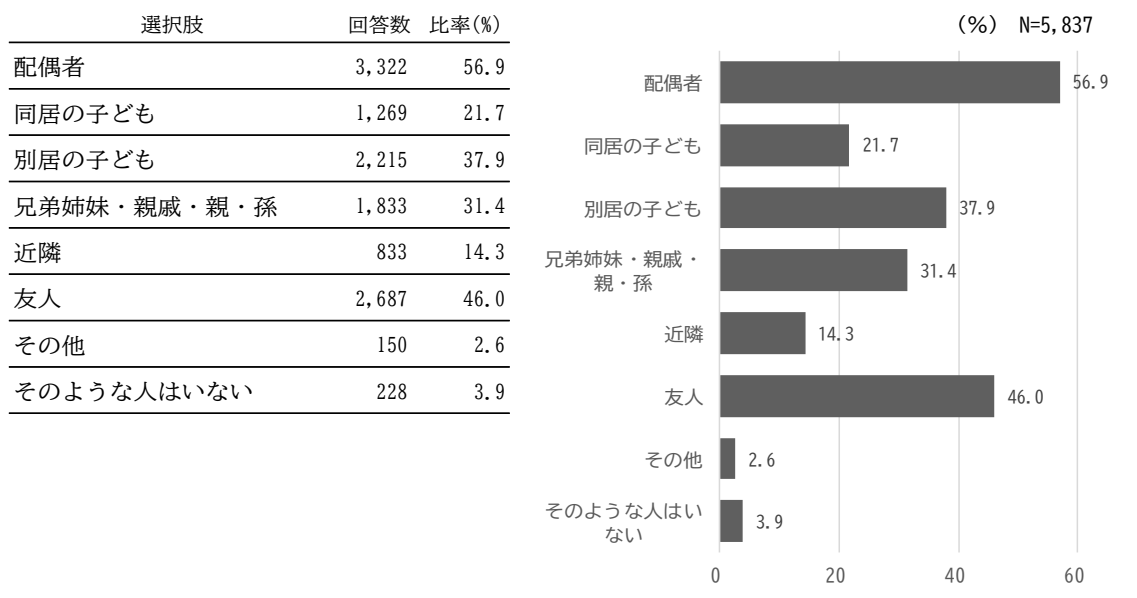


## 問6 たすけあいについて

### (1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が56.9%と最も高く、次いで「友人」が46.0%となっています。

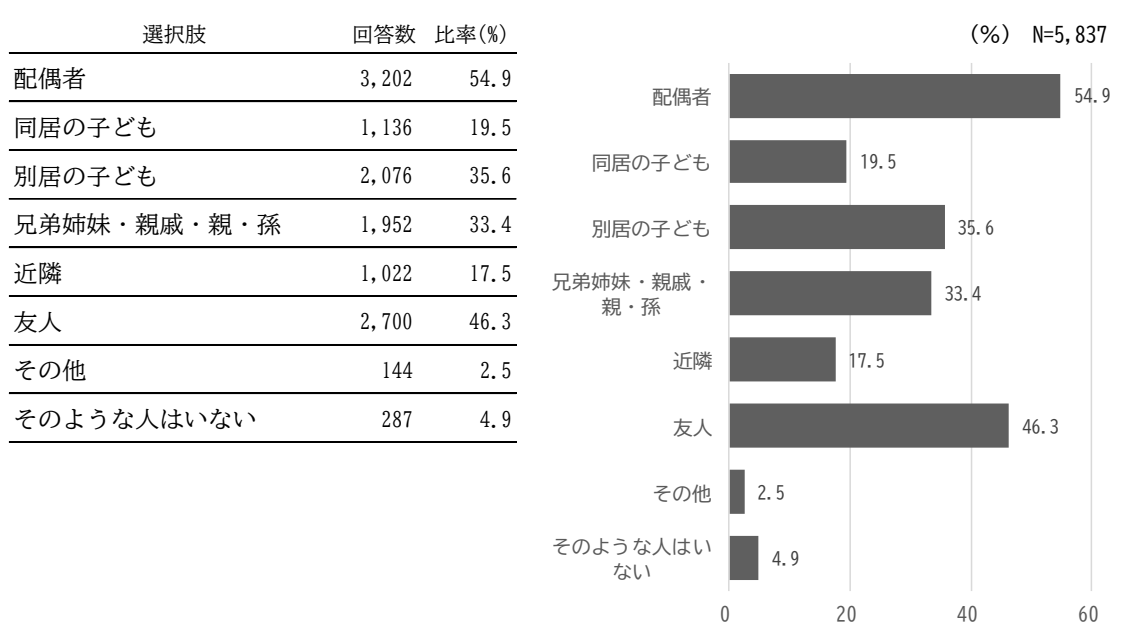
図39 心配事や愚痴を聞いてくれる人【問6(1)】(複数回答)



### (2) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

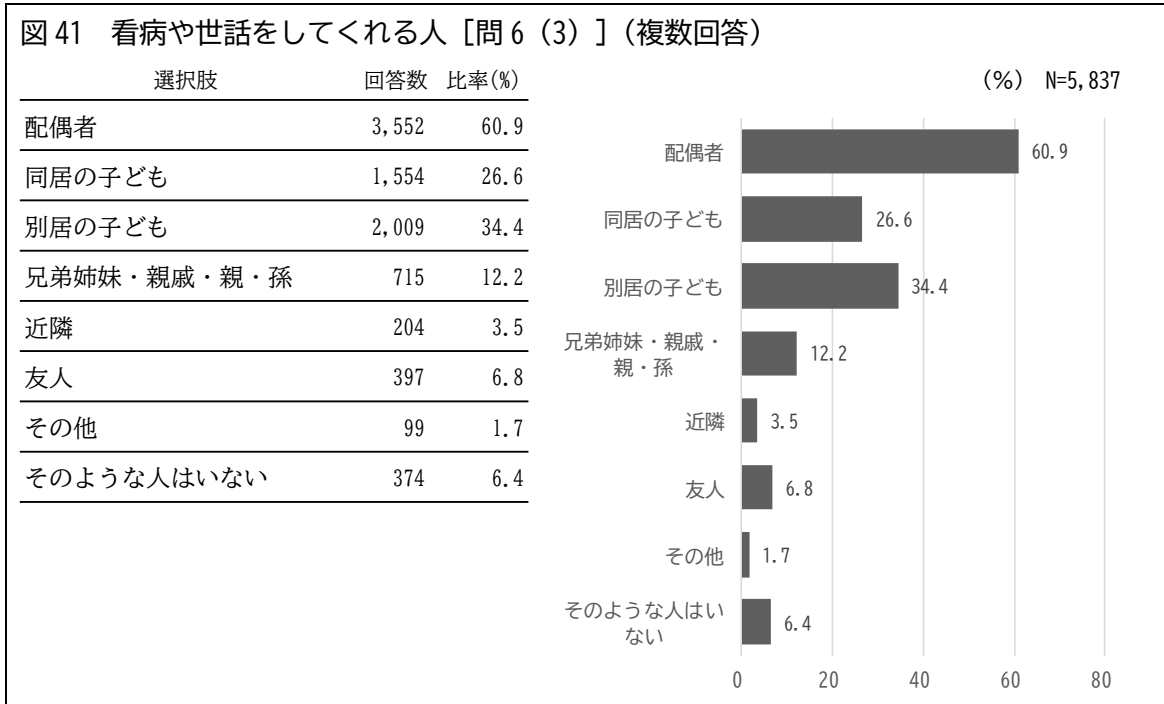
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が54.9%と最も高く、次いで「友人」が46.3%となっています。

図40 心配事や愚痴を聞いてあげる人【問6(2)】(複数回答)



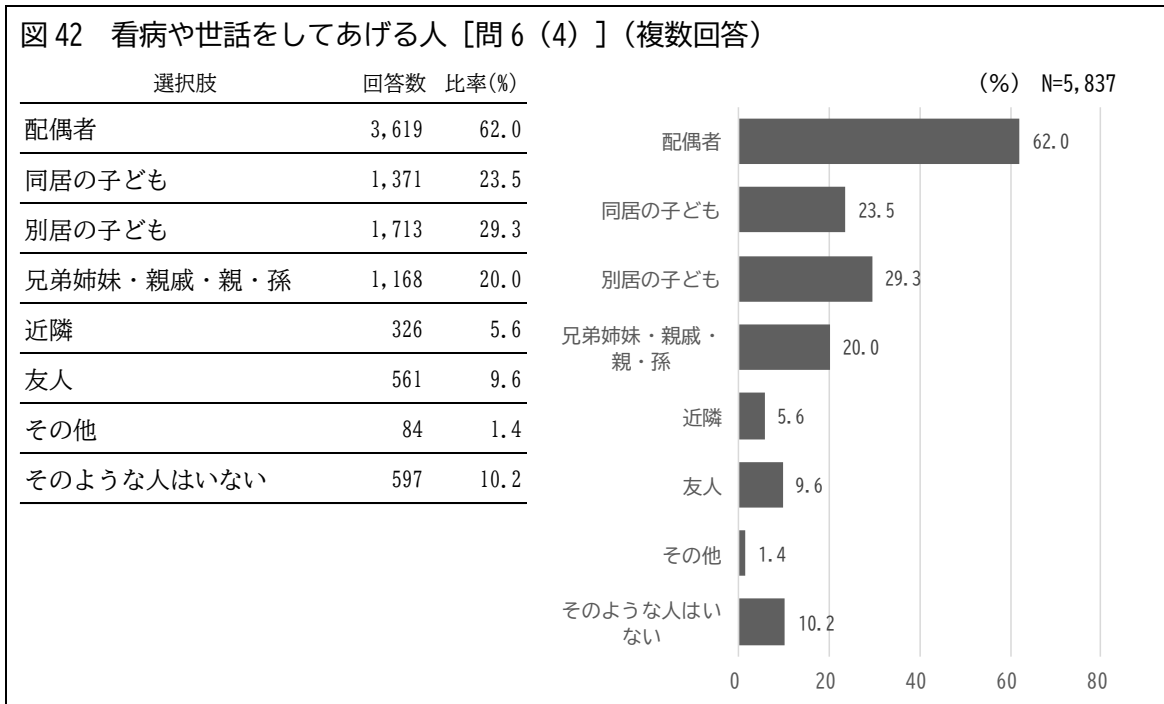
### (3) 看病や世話をしてくれる人

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が60.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」が34.4%となっています。



### (4) 看病や世話をしてあげる人

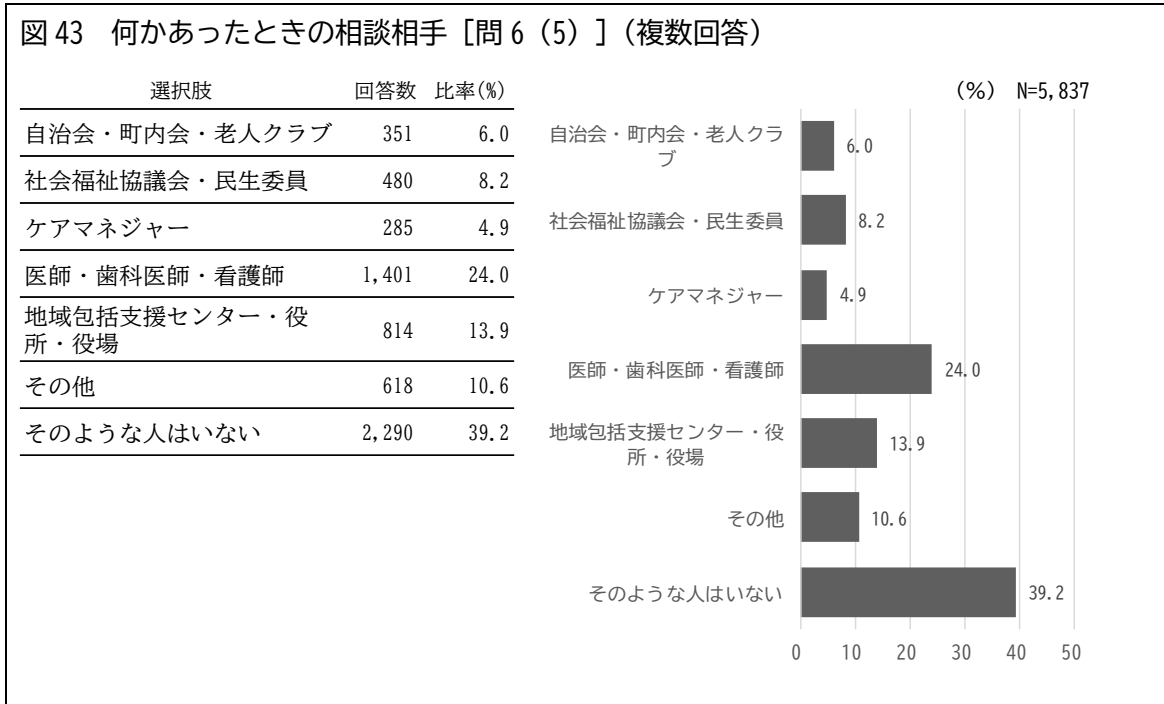
看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が62.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」が29.3%となっています。





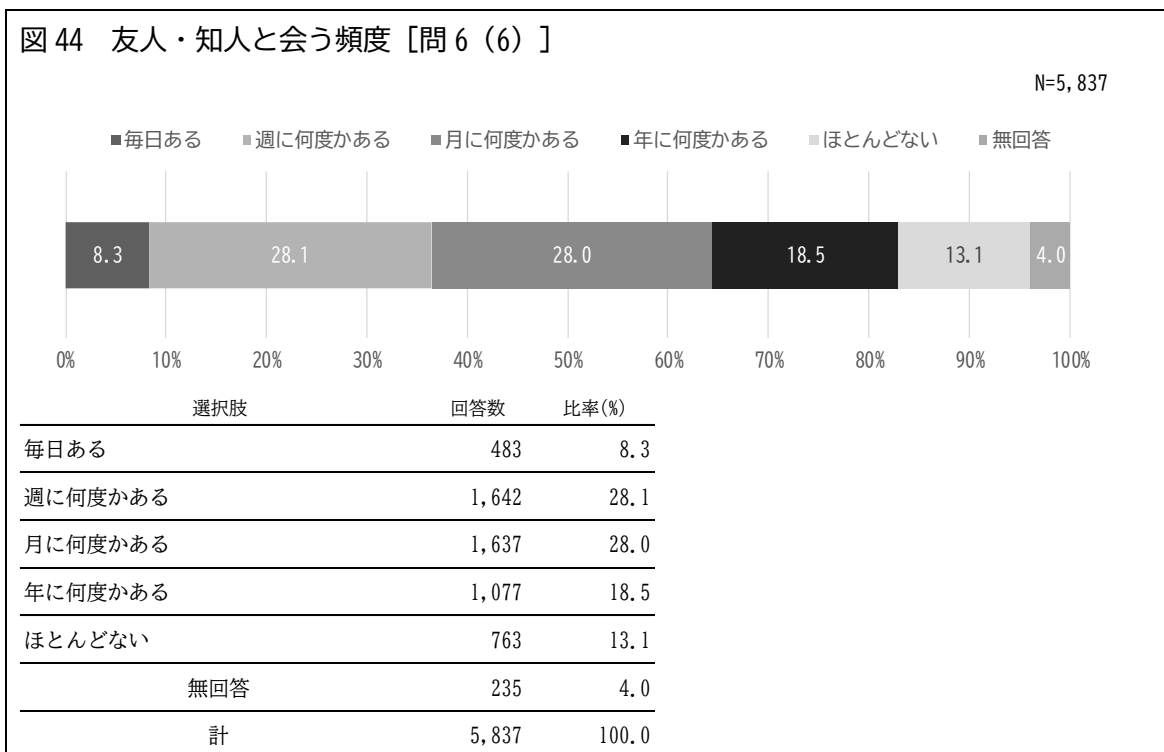
### (5) 何かあったときの相談相手

家族や友人・知人以外で、何かあったときの相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」が24.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」が13.9%となっています。なお、「そのような人はいない」は39.2%となっています。



### (6) 友人・知人と会う頻度

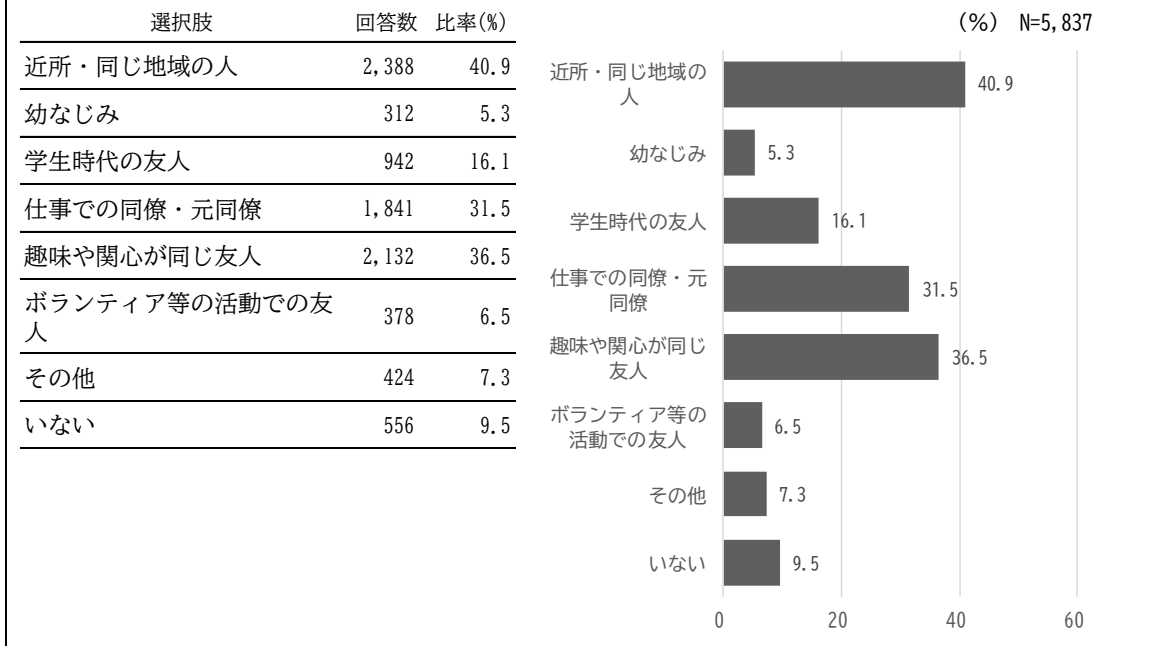
友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が28.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」が28.0%となっています。なお、「ほとんどない」は13.1%となっています。



### (7) よく会う友人・知人との関係

よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が40.9%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が36.5%となっています。

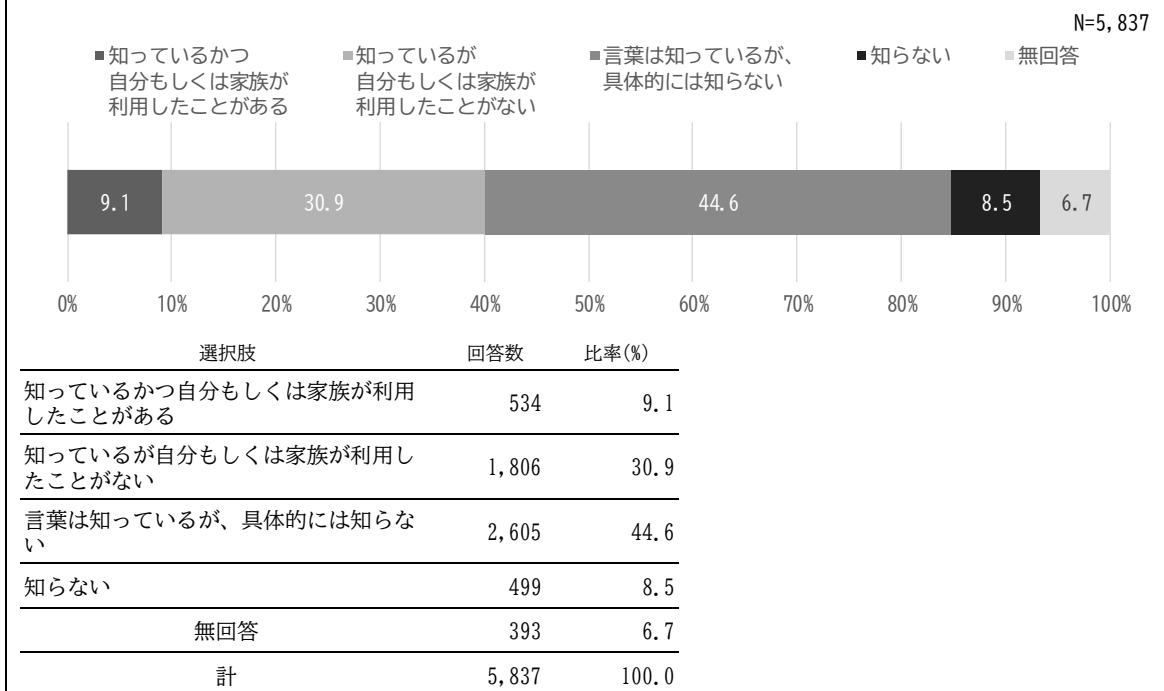
図 45 よく会う友人・知人との関係 [問 6 (7)] (複数回答)



### (8) 在宅医療の認知度

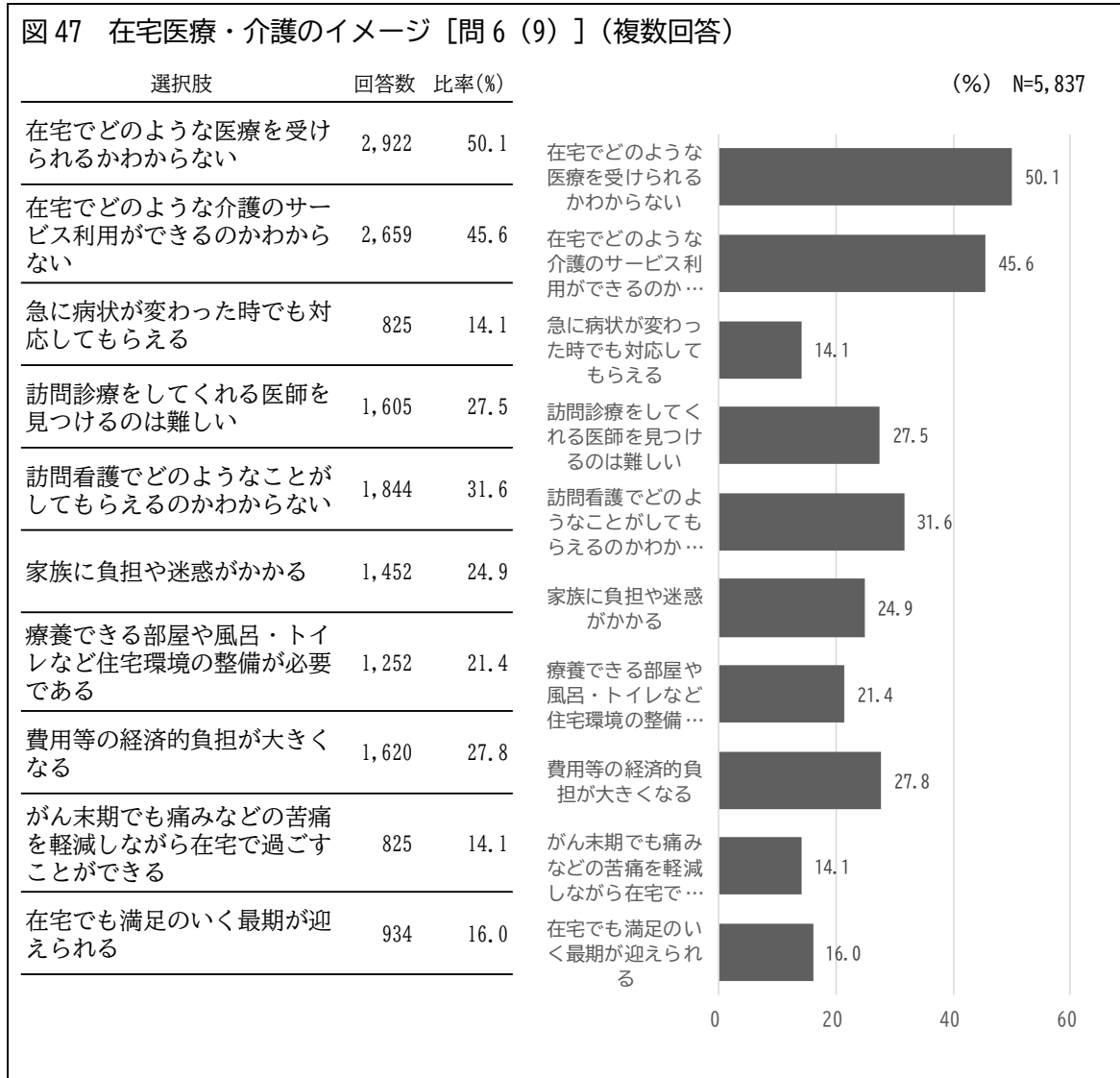
在宅医療の認知度については、「言葉は知っているが、具体的には知らない」が44.6%と最も高く、次いで「知っているが自分もしくは家族が利用したことがない」が30.9%となっています。

図 46 在宅医療の認知度 [問 6 (8)]



### (9) 在宅医療・介護のイメージ

在宅医療・介護を受けることへのイメージについては、「在宅でどのような医療を受けられるかわからない」が 50.1%と最も高く、次いで「在宅でどのような介護のサービス利用ができるかわからない」が 45.6%となっています。

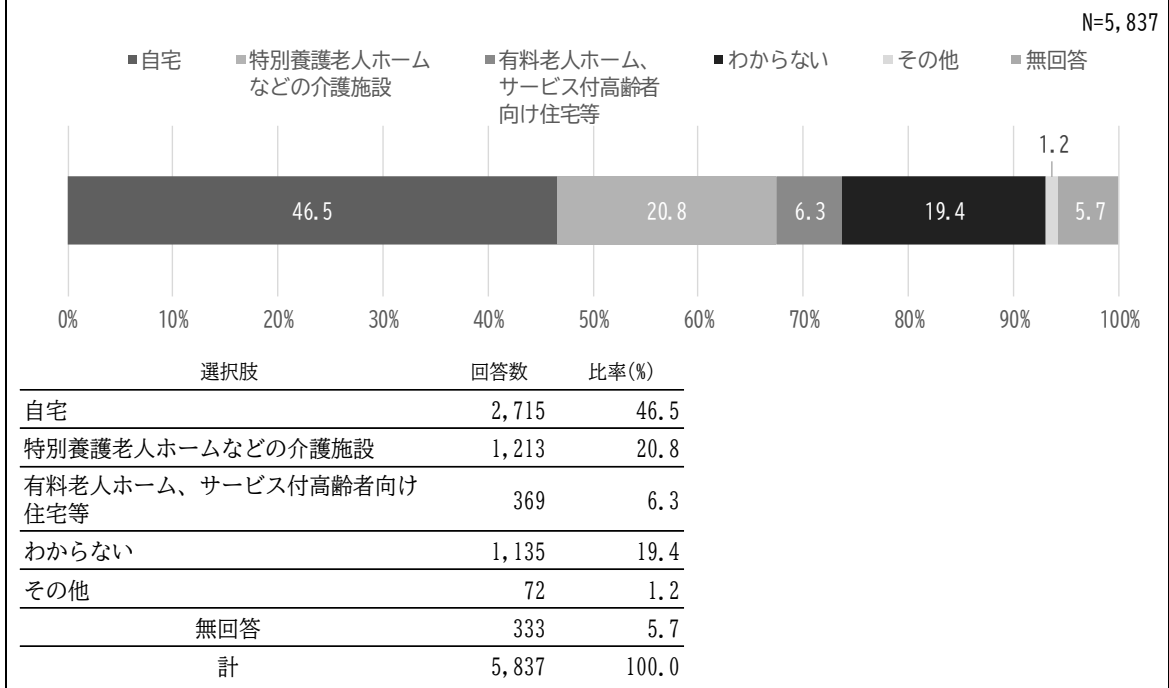


## (10) 医療や介護を受ける場所

### ① 自身について

加齢や病気によって医療や介護が必要になった時、どこで過ごしたいかどうにかについては、「自宅」が46.5%と最も高くなっています。

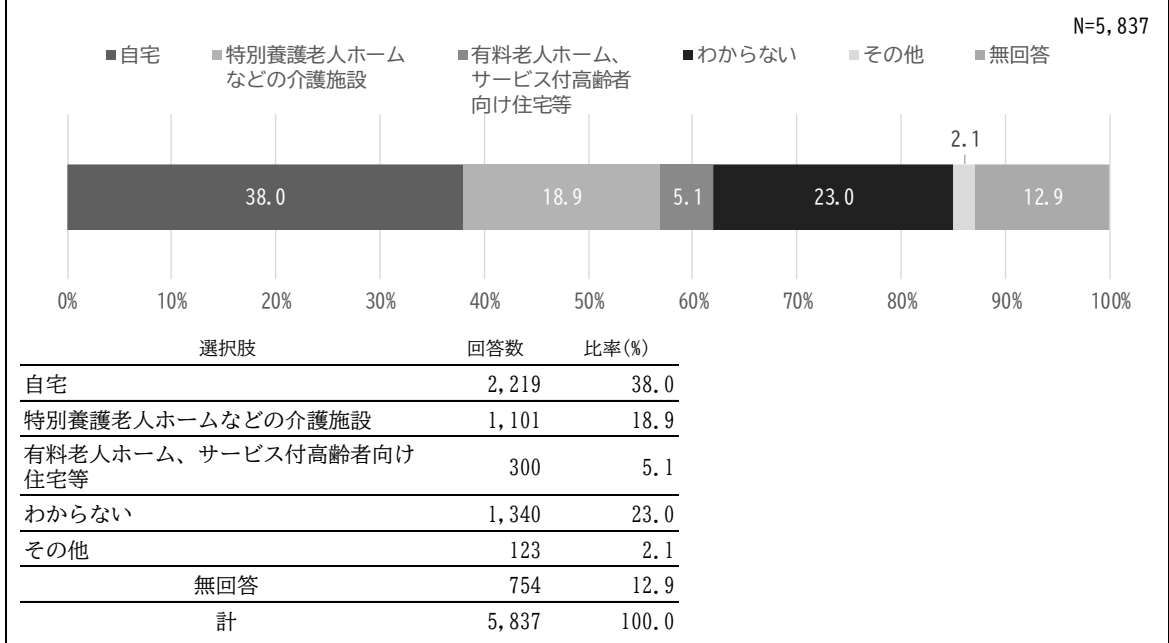
図 48 自身はどこで過ごしたいか [問 6 (10) ①]



### ② 家族について

家族が医療や介護が必要になった時、どこで過ごしてもらいたいかについては、「自宅」が38.0%と最も高くなっています。

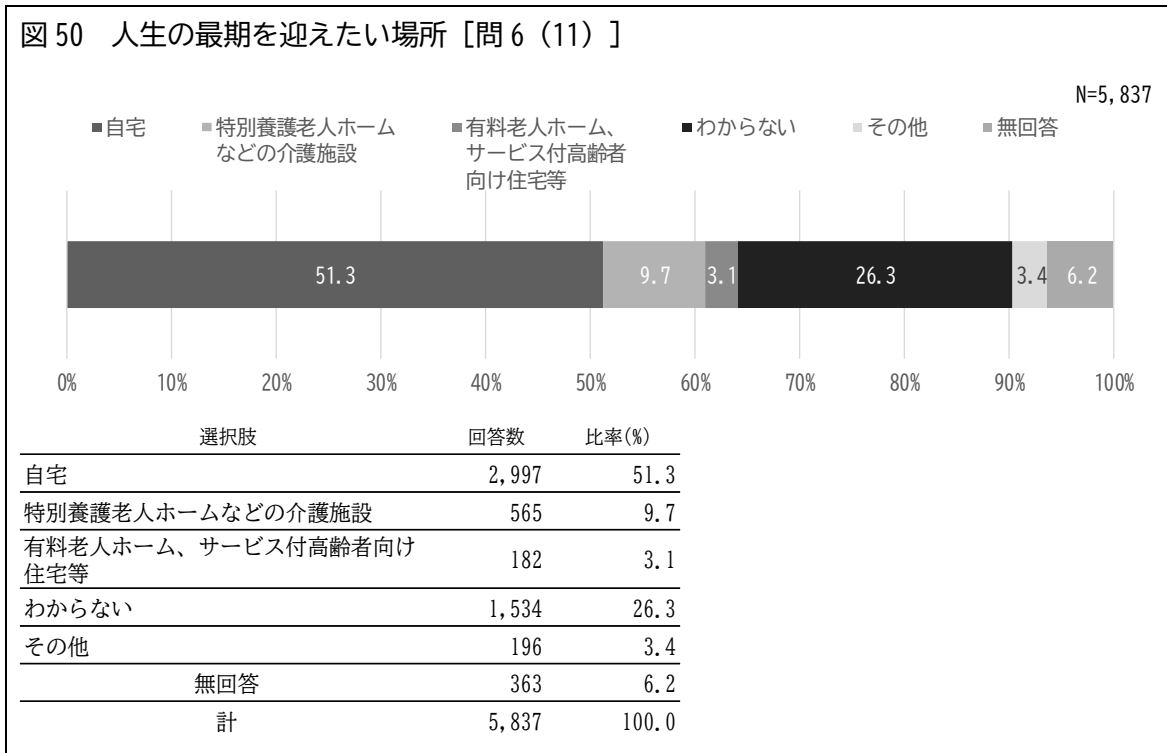
図 49 家族にはどこで過ごしてもらいたいか [問 6 (10) ②]



### (11) 人生の最期を迎えたい場所

自身の人生の最期を迎えたい場所については、「自宅」が 51.3%と過半数を占めています。なお、「わからない」は 26.3%となっています。

図 50 人生の最期を迎えたい場所 [問 6 (11)]

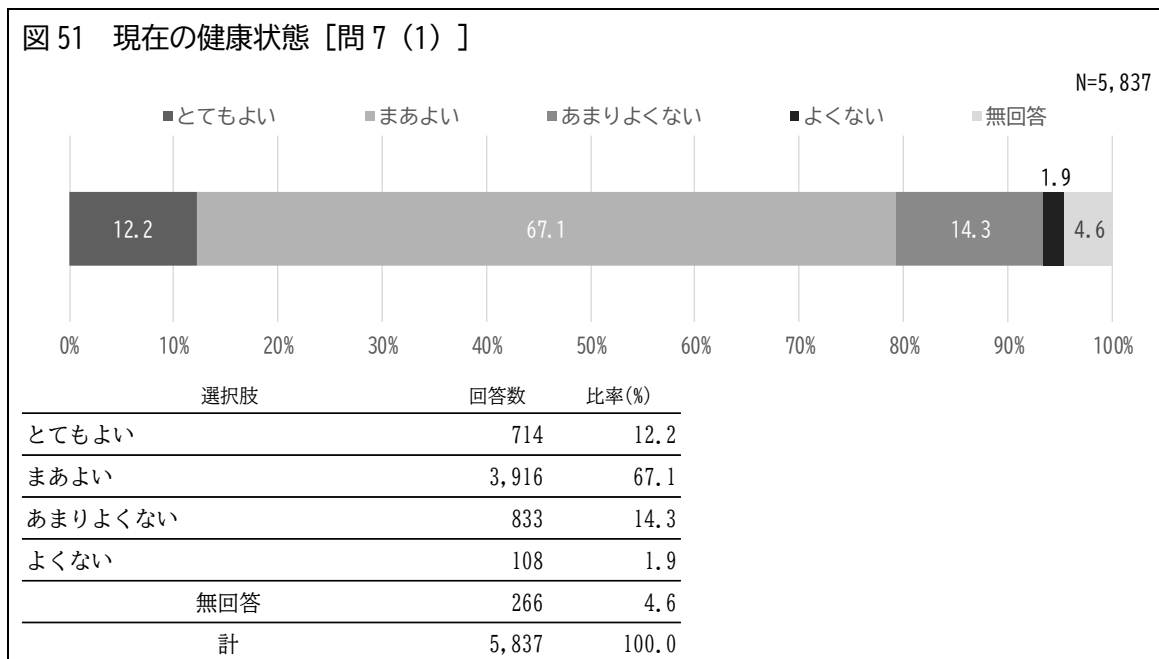


## 問7 健康について

### (1) 健康状態

現在の健康状態については、「まあよい」が67.1%と最も高くなっています。

図51 現在の健康状態 [問7 (1)]

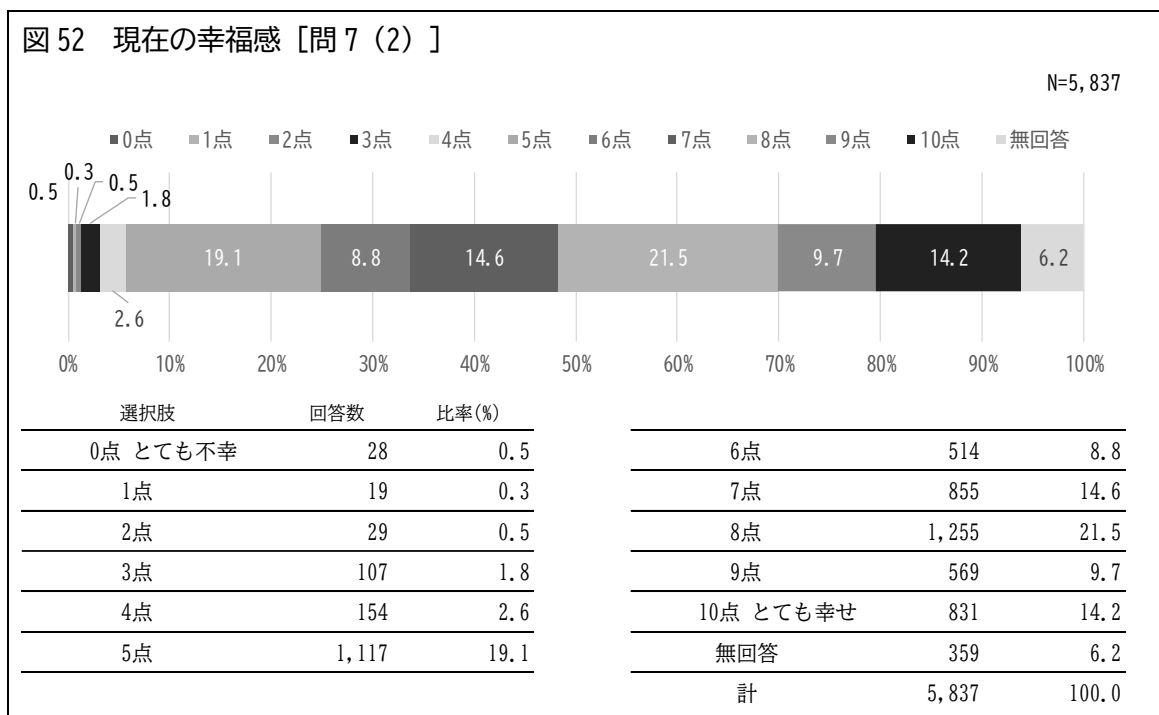


### (2) 幸福感

現在の幸福感※については、「8点」が21.5%と最も高く、次いで「5点」が19.1%となっています。

※「とても不幸」：0点、「とても幸せ」：10点

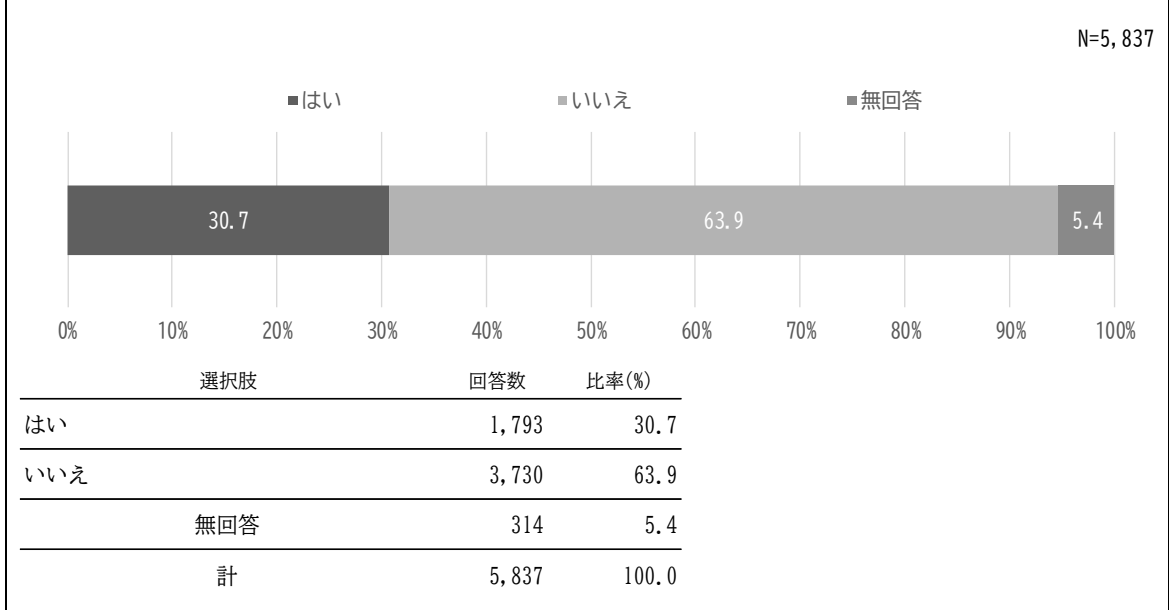
図52 現在の幸福感 [問7 (2)]



### (3) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ち

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかどうかについては、「いいえ」が63.9%となっています。

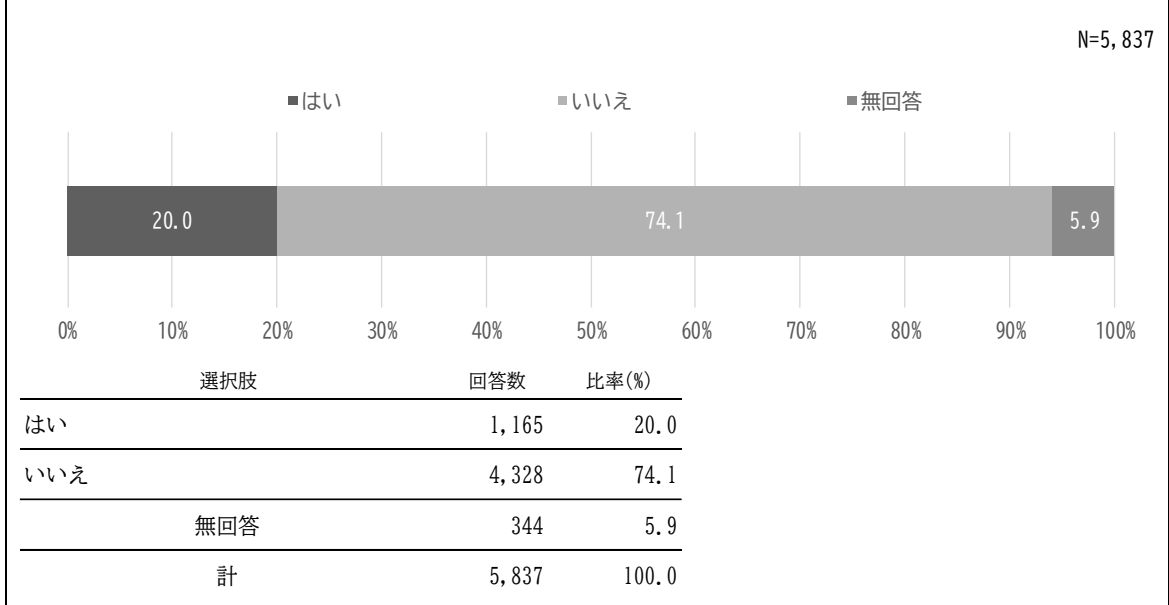
図 53 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか [問 7 (3)]



### (4) 興味がわからない、楽しめない

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかどうかについては、「いいえ」が74.1%となっています。

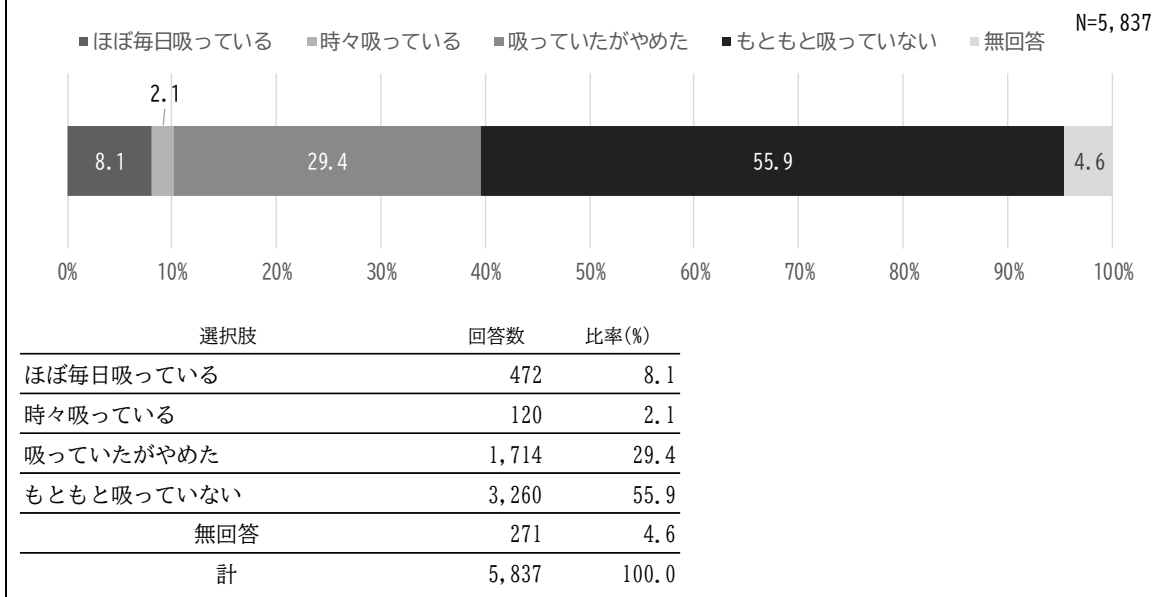
図 54 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったか [問 7 (4)]



## (5) 喫煙の有無

喫煙については、「もともと吸っていない」が55.9%と最も高くなっています。

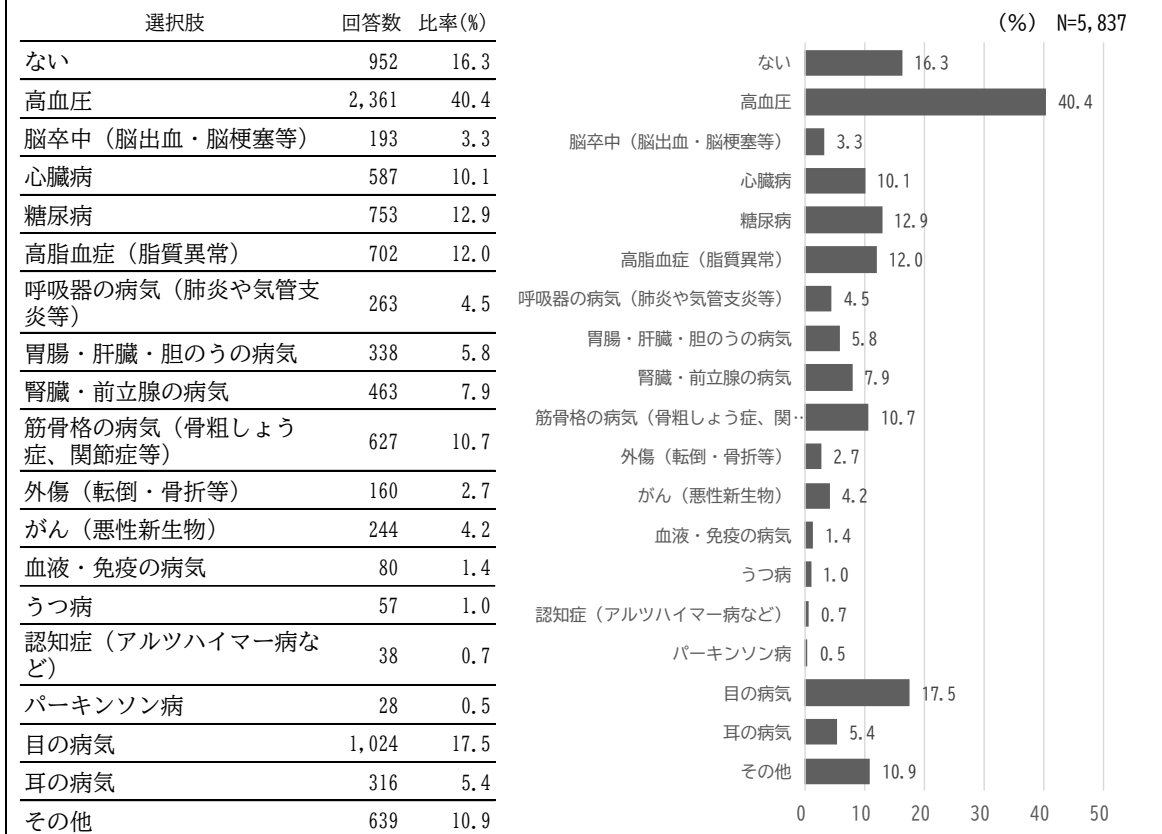
図 55 タバコを吸っているか [問 7 (5)]



## (6) 現在治療中、または後遺症のある病気

現在治療中、または後遺症のある病気の有無については、「高血圧」が40.4%と最も高く、次いで「目の病気」が17.5%となっています。

図 56 治療中、後遺症のある病気 [問 7 (6)] (複数回答)



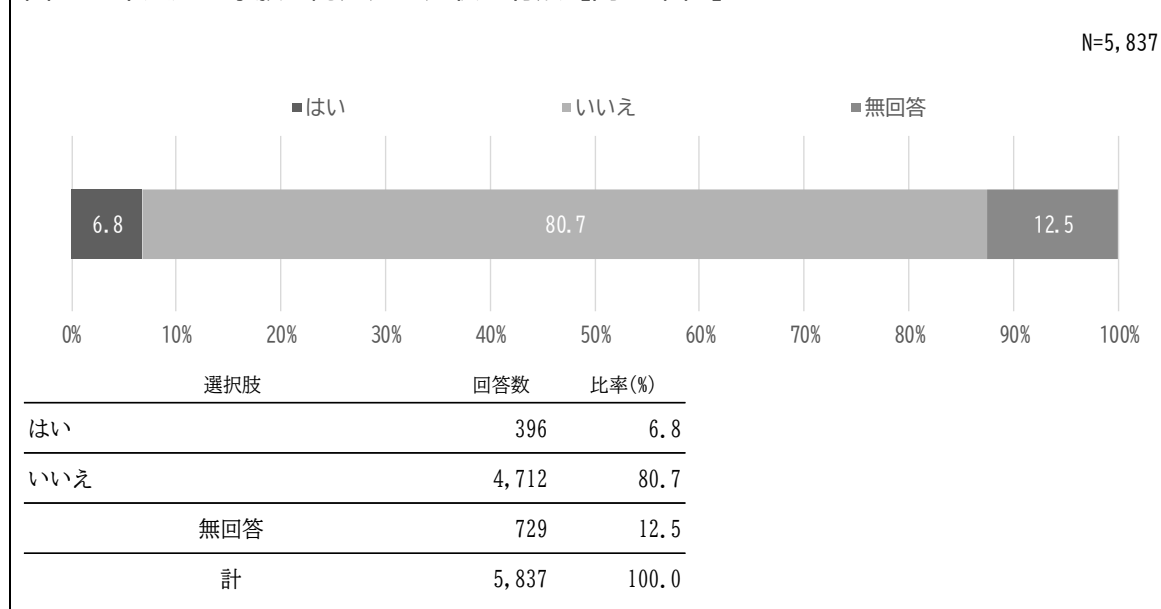


## 問 8 認知症の相談窓口の把握について

### (1) 本人又は家族の認知症の症状の有無

あなたや家族に認知症の症状がある人がいるかどうかについては、「いいえ」が80.7%となっています。

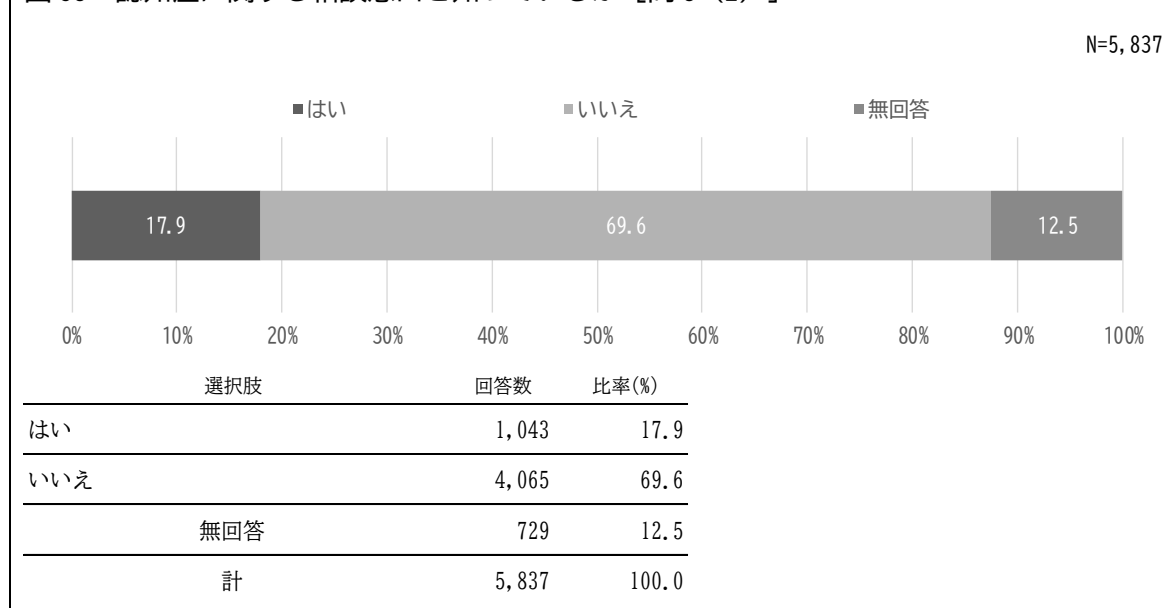
図 57 本人又は家族の認知症の症状の有無 [問 8 (1)]



### (2) 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っているかどうかについては、「いいえ」が69.6%となっています。

図 58 認知症に関する相談窓口を知っているか [問 8 (2)]



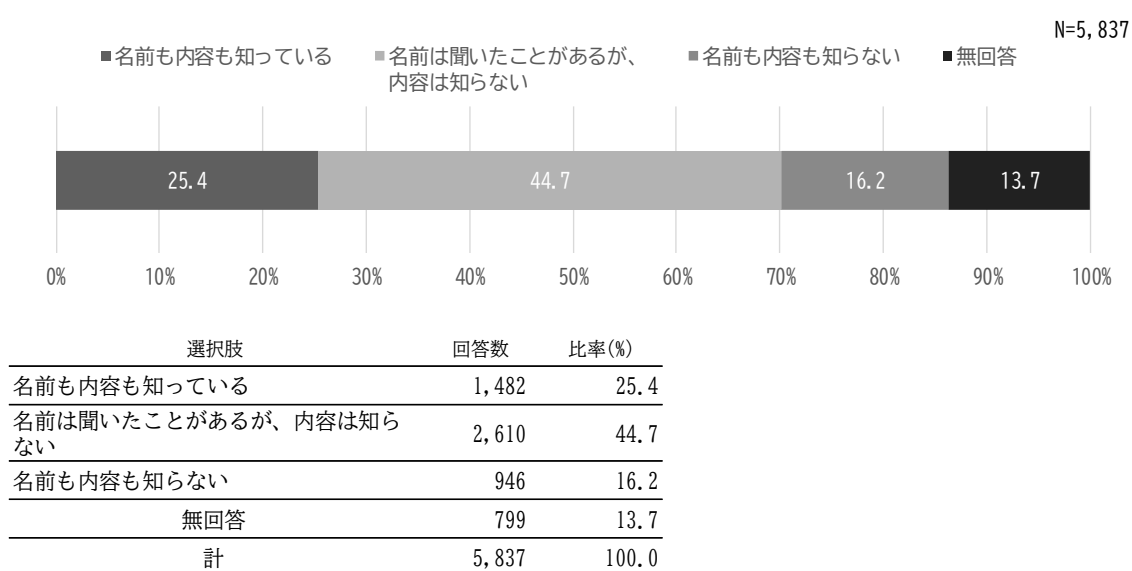
## 問9 成年後見制度の把握について

### (1) 成年後見制度の認知度

成年後見制度<sup>※</sup>を知っているかどうかについては、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が44.7%と最も高くなっています。

※成年後見制度：認知症や知的障がいなどで判断能力が不十分な方の財産の管理や契約を家庭裁判所に選任された成年後見人などが行う制度

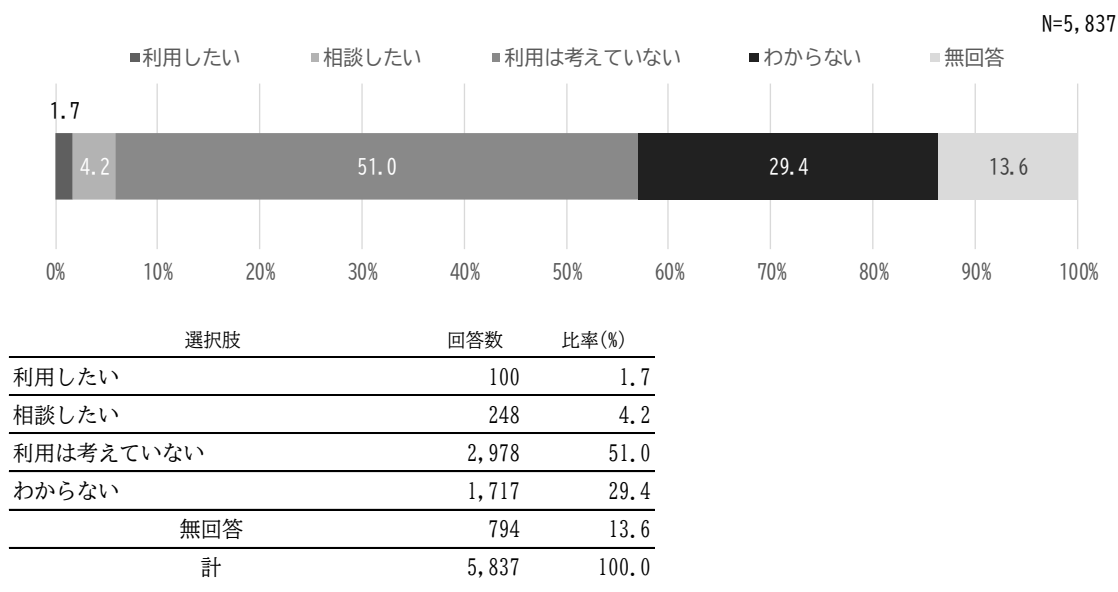
図59 成年後見制度の認知度[問9(1)]



### (2) 成年後見制度の利用または相談意向

成年後見制度の利用または相談意向については、「利用は考えていない」が51.0%と最も高くなっています。

図60 成年後見制度の利用または相談意向[問9(2)]

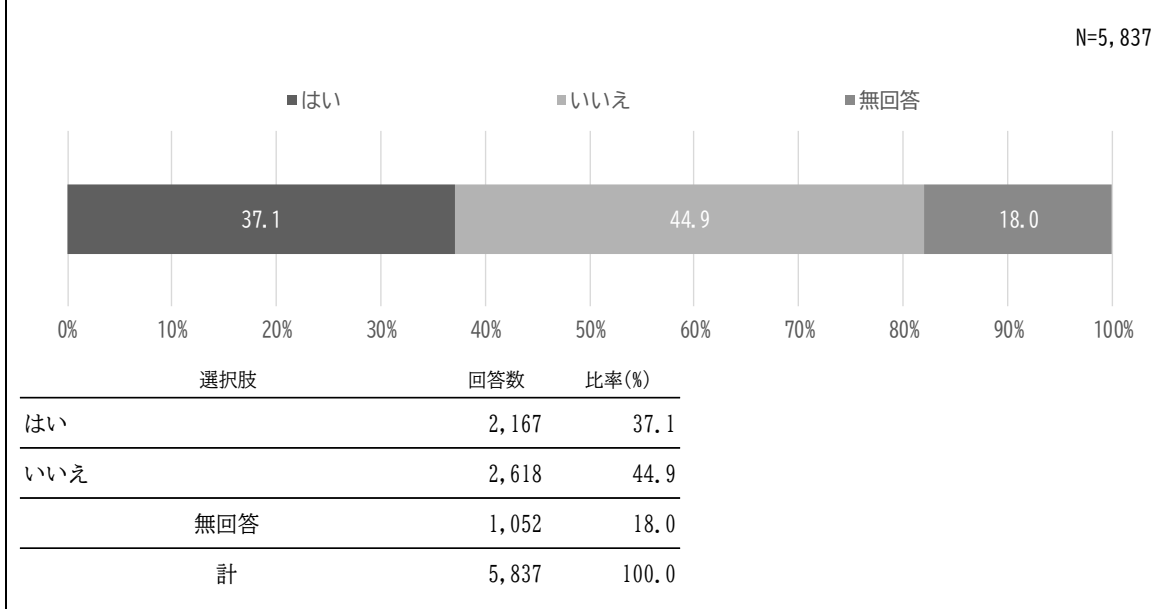


## 問 10 介護予防について

### (1) 現在、自分で介護予防に取り組んでいるか

現在、自分で介護予防に取り組んでいるかどうかについては、「いいえ」が44.9%となっています。

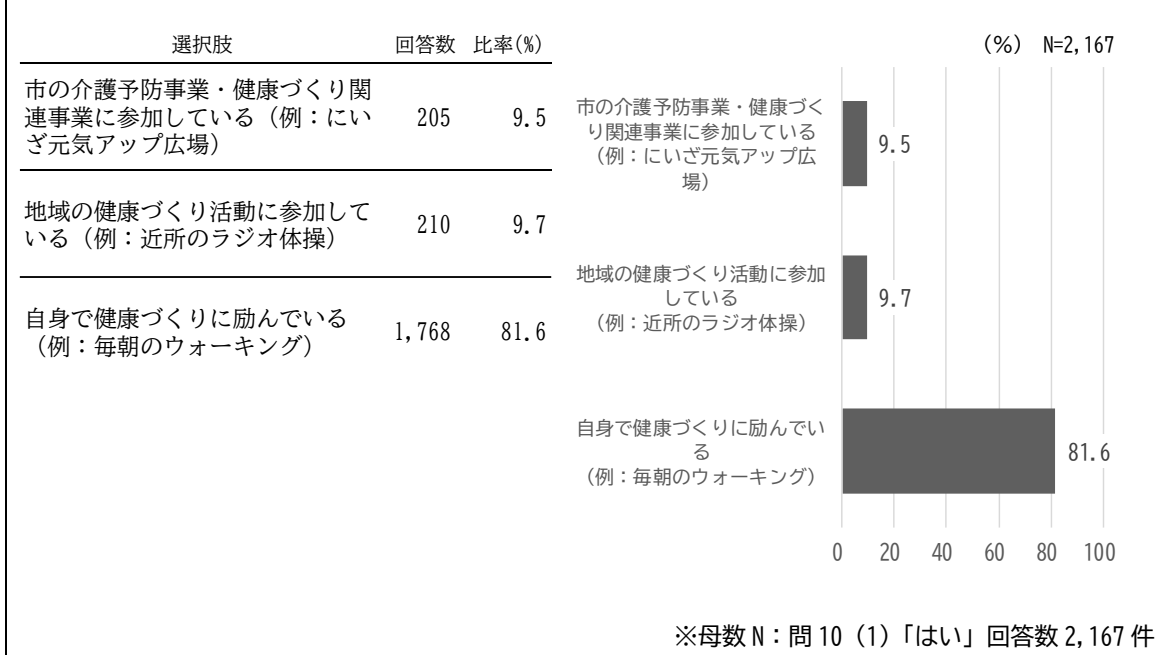
図 61 現在、自分で介護予防に取り組んでいるか [問 10 (1)]



### ① 介護予防の取り組み内容

介護予防の取り組み内容については、「自身で健康づくりに励んでいる」が81.6%と最も高くなっています。

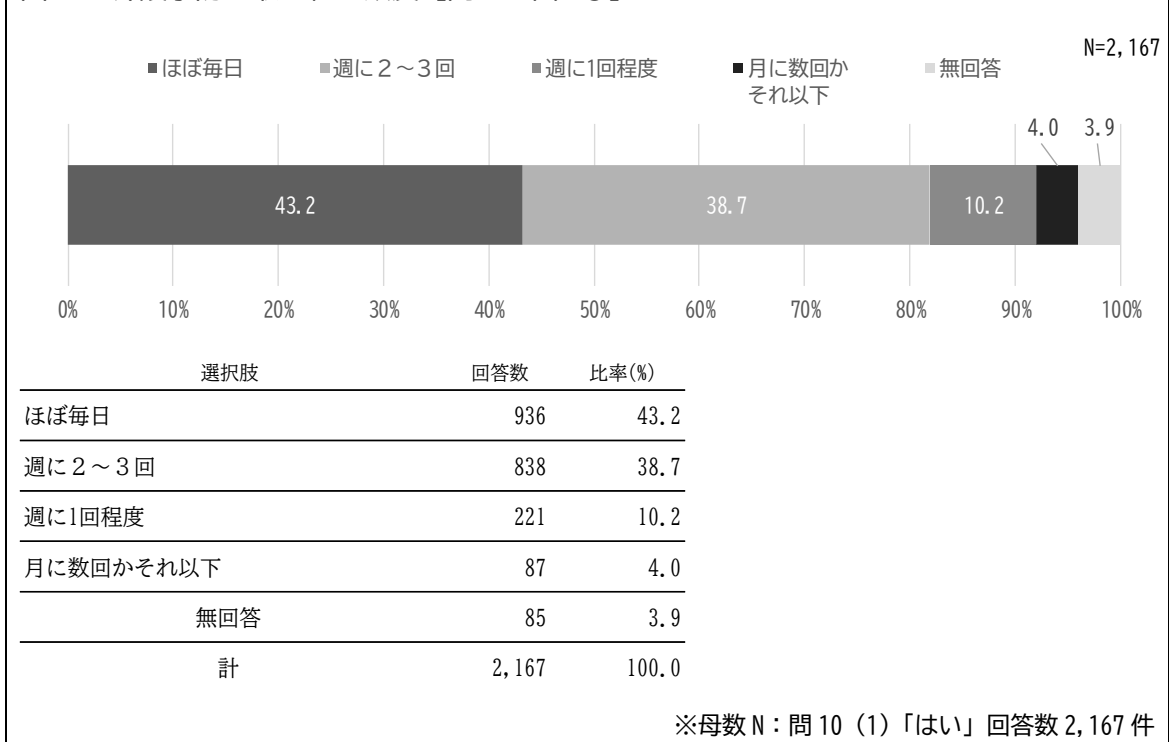
図 62 介護予防の取り組み内容 [問 10 (1) ①] (複数回答)



## ② 介護予防に取り組む頻度

介護予防に取り組む頻度については、「ほぼ毎日」が43.2%と最も高く、次いで「週に2～3回」が38.7%となっています。

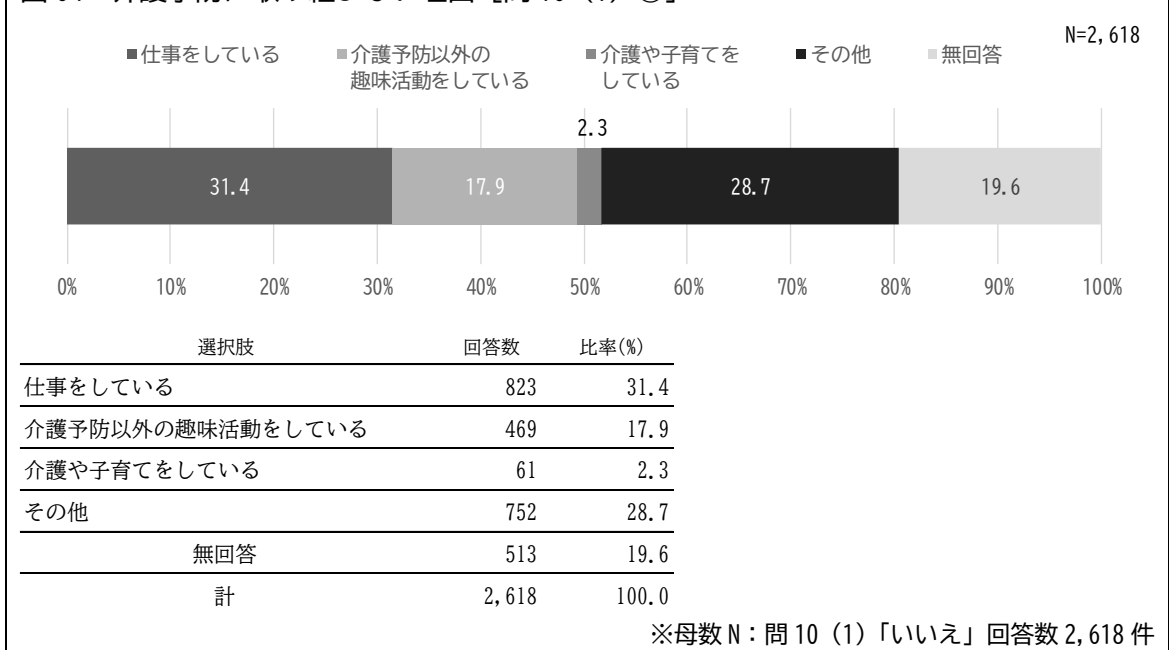
図 63 介護予防に取り組む頻度 [問 10 (1) ②]



## ③ 介護予防に取り組まない理由

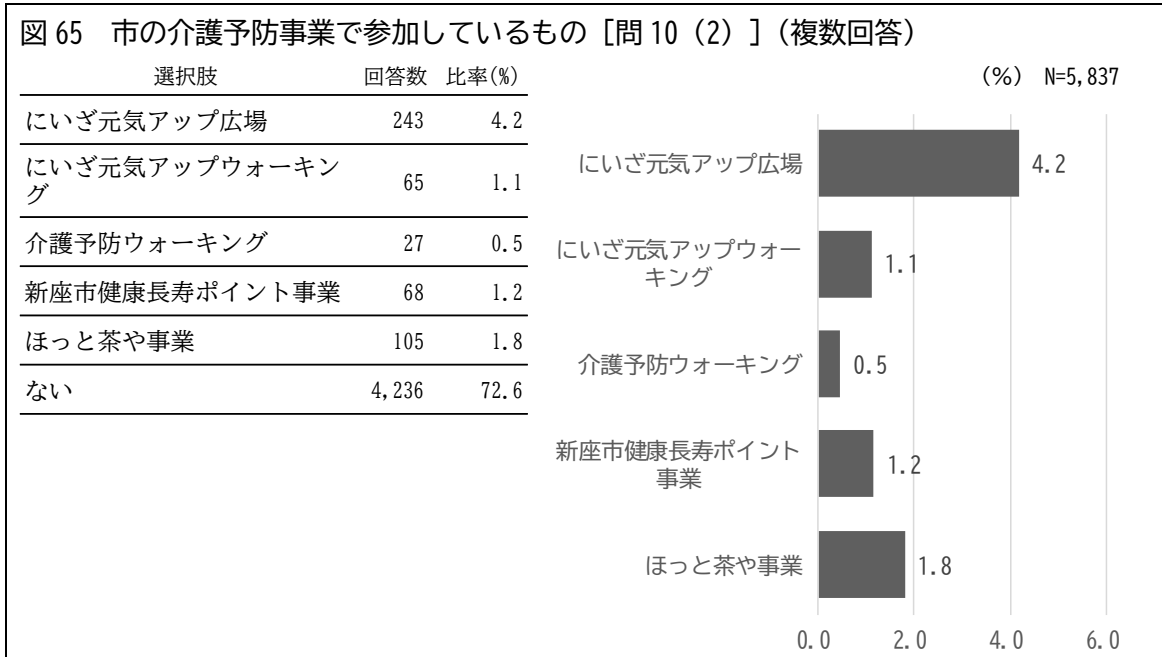
介護予防に取り組まない理由については、「その他」を除くと「仕事をしている」が31.4%と最も高く、次いで「介護予防以外の趣味活動をしている」が17.9%となっています。

図 64 介護予防に取り組まない理由 [問 10 (1) ③]



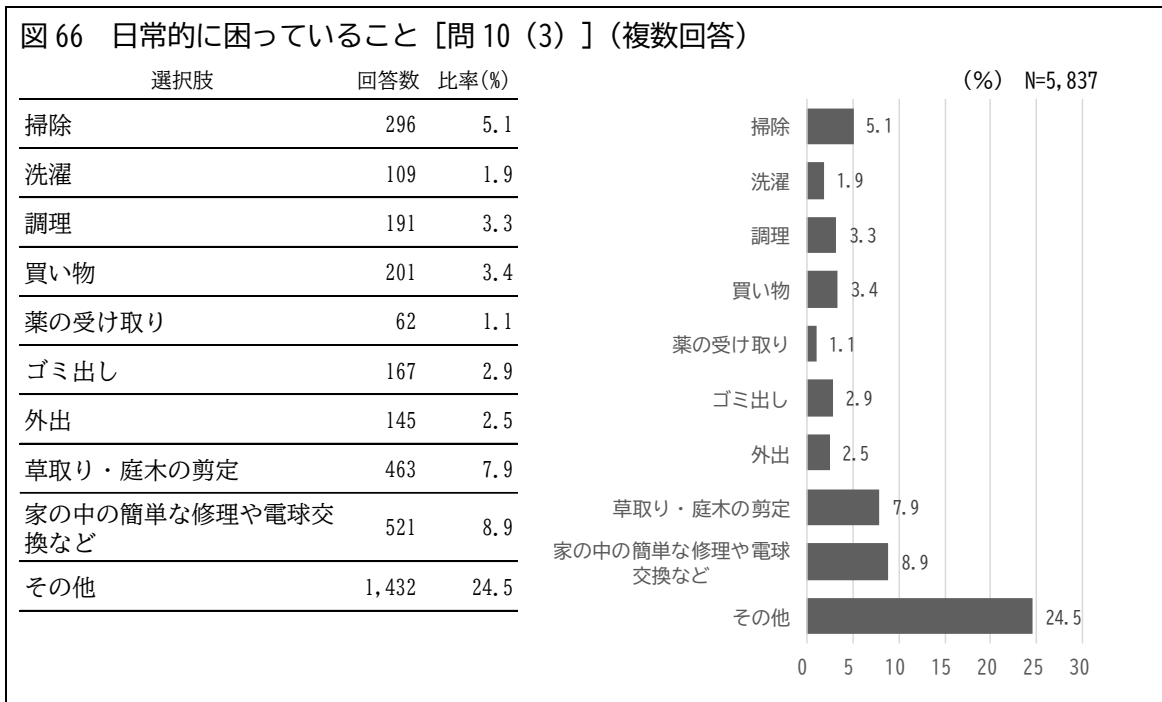
## (2) 市の介護予防事業への参加

市の介護予防事業への参加については、「ない」を除くと「にいき元気アップ広場」が4.2%と最も高く、次いで「ほっと茶や事業」が1.8%となっています。一方、「ない」は72.6%と参加していない方が多い状況がうかがえます。



## (3) 日常的に困っていること

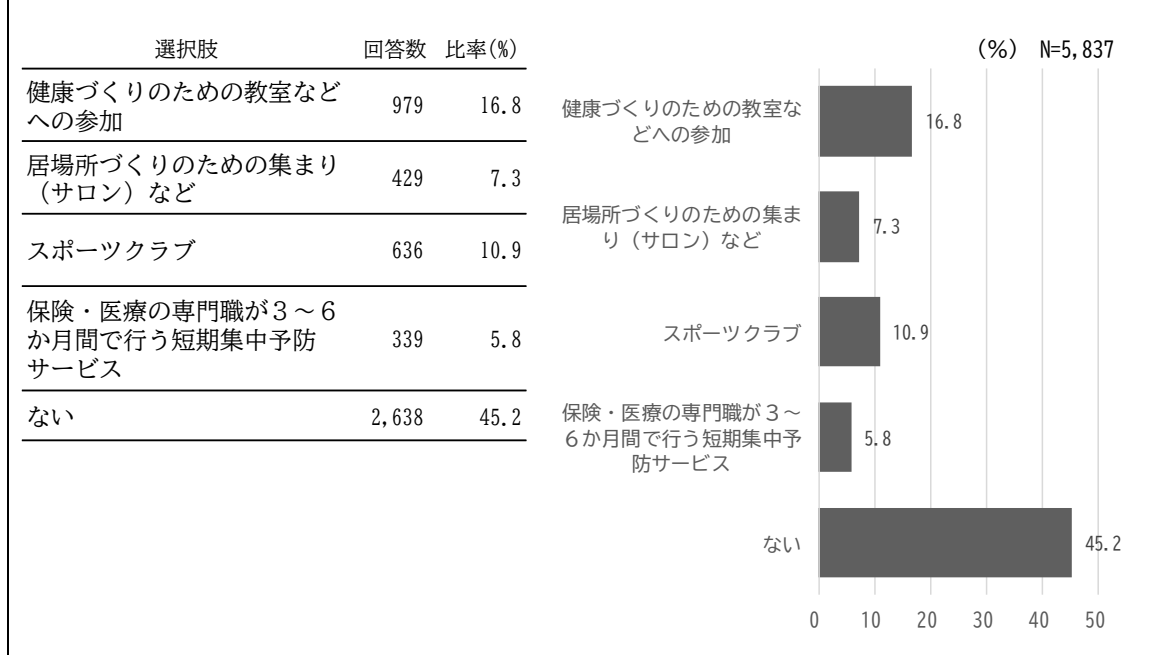
日常的に困っていることについては、「その他」を除くと「家の中の簡単な修理や電球交換など」が8.9%と最も高く、次いで「草取り・庭木の剪定」が7.9%となっています。「その他」では、「重い物の持ち運び」「移動の足（交通機関）がない」「近隣に商店がない」などの記述が比較的多くなっています。



#### (4) 参加してみたい介護予防の取り組み

参加してみたい介護予防の取り組みについては、「ない」を除くと「健康づくりのための教室などへの参加」が16.8%と最も高く、次いで「スポーツクラブ」が10.9%となっています。

図 67 参加してみたい介護予防の取り組み [問 10 (4)] (複数回答)

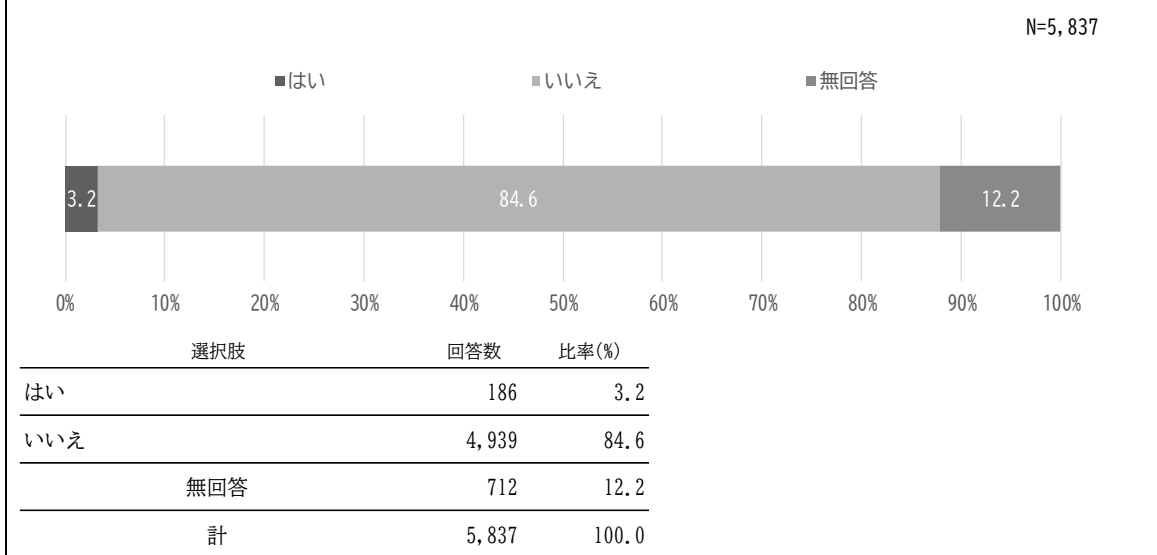


## 問 11 介護保険制度について

### (1) 現在の介護保険サービスの利用の有無

現在、介護保険サービスを利用しているかどうかについては、「いいえ」が84.6%となっています。

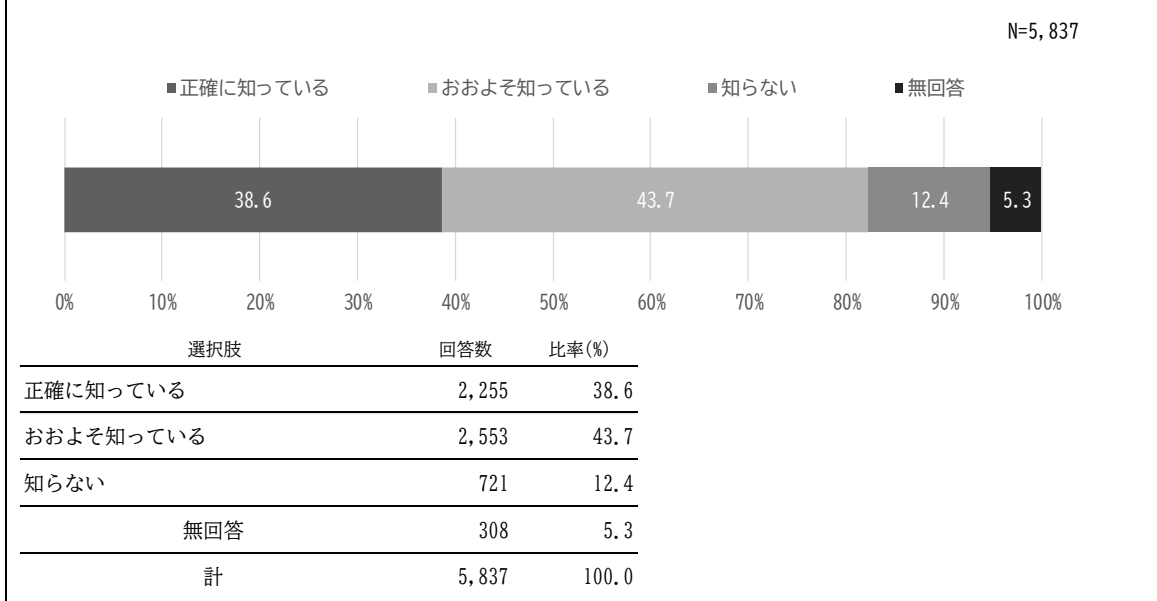
図 68 現在、介護保険サービスを利用しているか [問 11 (1)]



### (2) 現在の自身の介護保険料の認識

現在の自身の負担している介護保険料がいくらかを知っているかどうかについては、「おおよそ知っている」が43.7%と最も高くなっています。

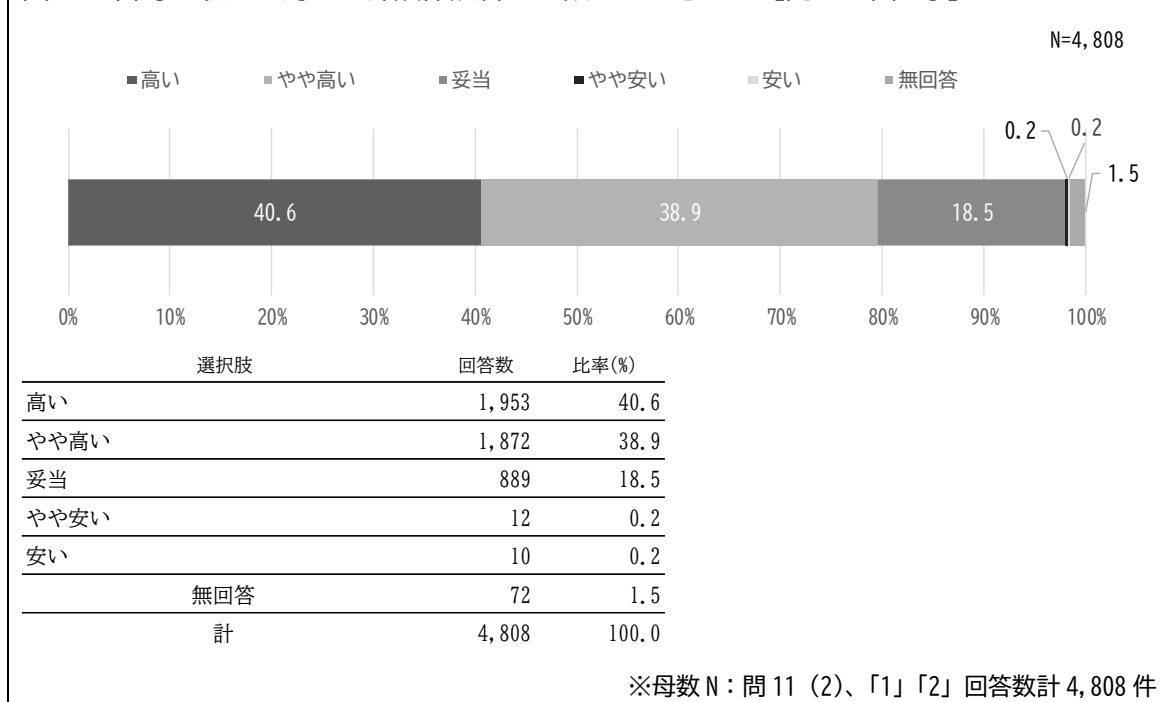
図 69 現在の自身の介護保険料の認識 [問 11 (2)]



### ① 自身の収入に対する介護保険料

自身の収入に対して介護保険料の金額をどう思うかについては、「高い」が40.6%と最も高く、次いで「やや高い」が38.9%となっています。

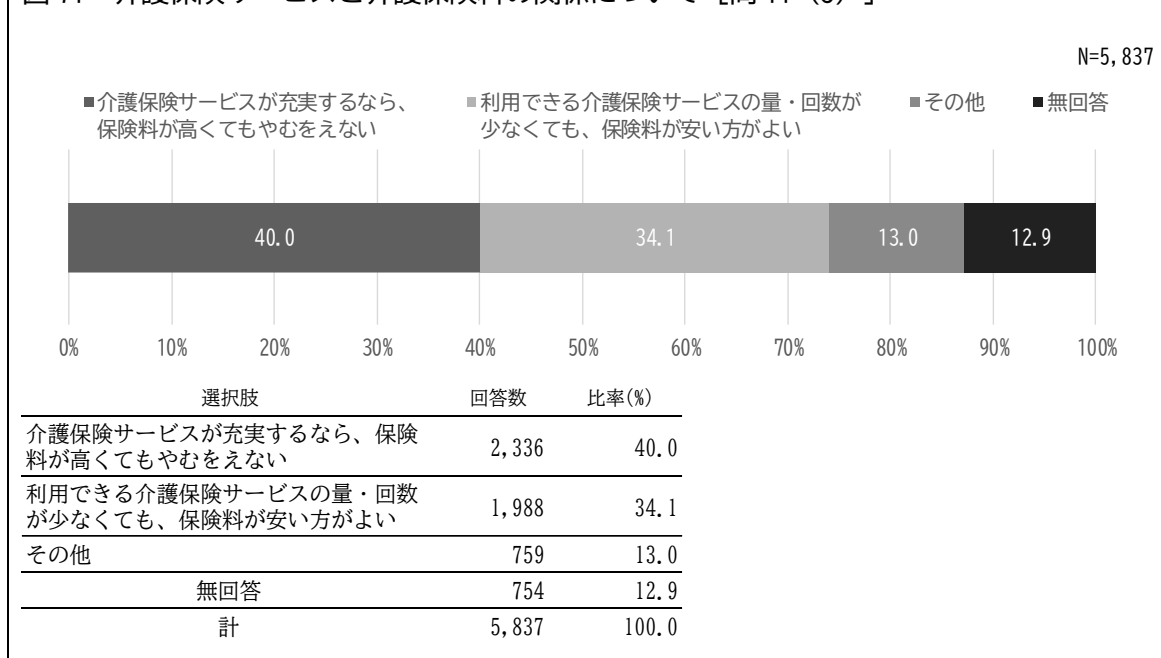
図 70 自身の収入に対して介護保険料の金額をどう思うか [問 11 (2) ①]



### (3) 介護保険サービスと介護保険料の関係

介護保険サービスと介護保険料の関係をどのように考えているかどうかについては、「介護保険サービスが充実するなら、保険料が高くてもやむをえない」が 40.0%と最も高くなっています。

図 71 介護保険サービスと介護保険料の関係について [問 11 (3) ]





## 第2章 日常生活圏域と高齢者

---

高齢者の暮らしと健康をめぐるテーマの分析



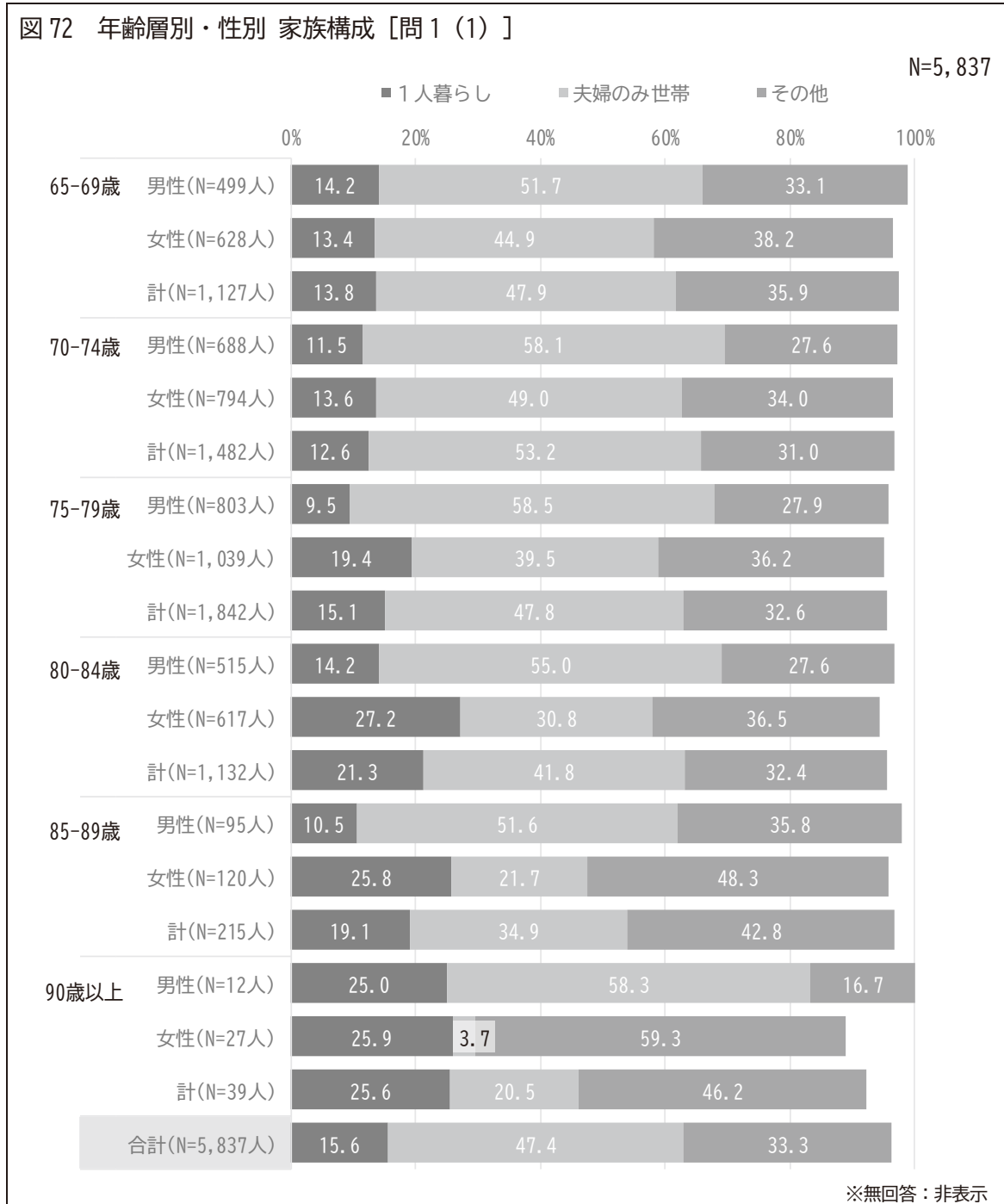
# テーマ1 家族と生活

## 1 家族構成

### ① 年齢層別・性別 家族構成

年齢層別・性別で家族構成をみると、「1人暮らし」は、女性では年齢層が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、80歳以上では25.0%を超えています。

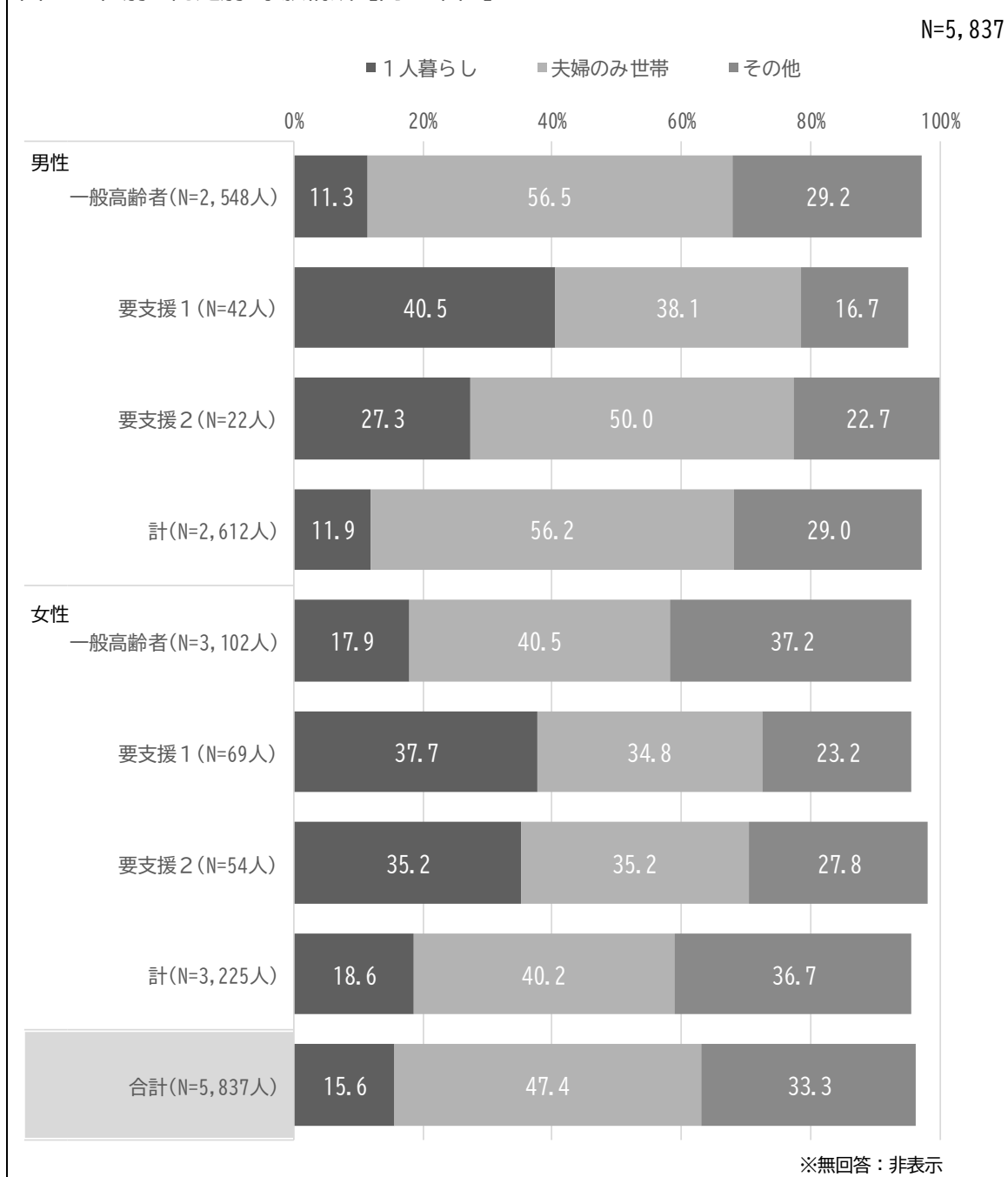
図 72 年齢層別・性別 家族構成 [問 1 (1)]



## ② 性別・認定別 家族構成

性別・認定別で家族構成をみると、「1人暮らし」は、一般高齢者より認定者の方が高く、「要支援1・男性」は40.5%と最も高くなっています。

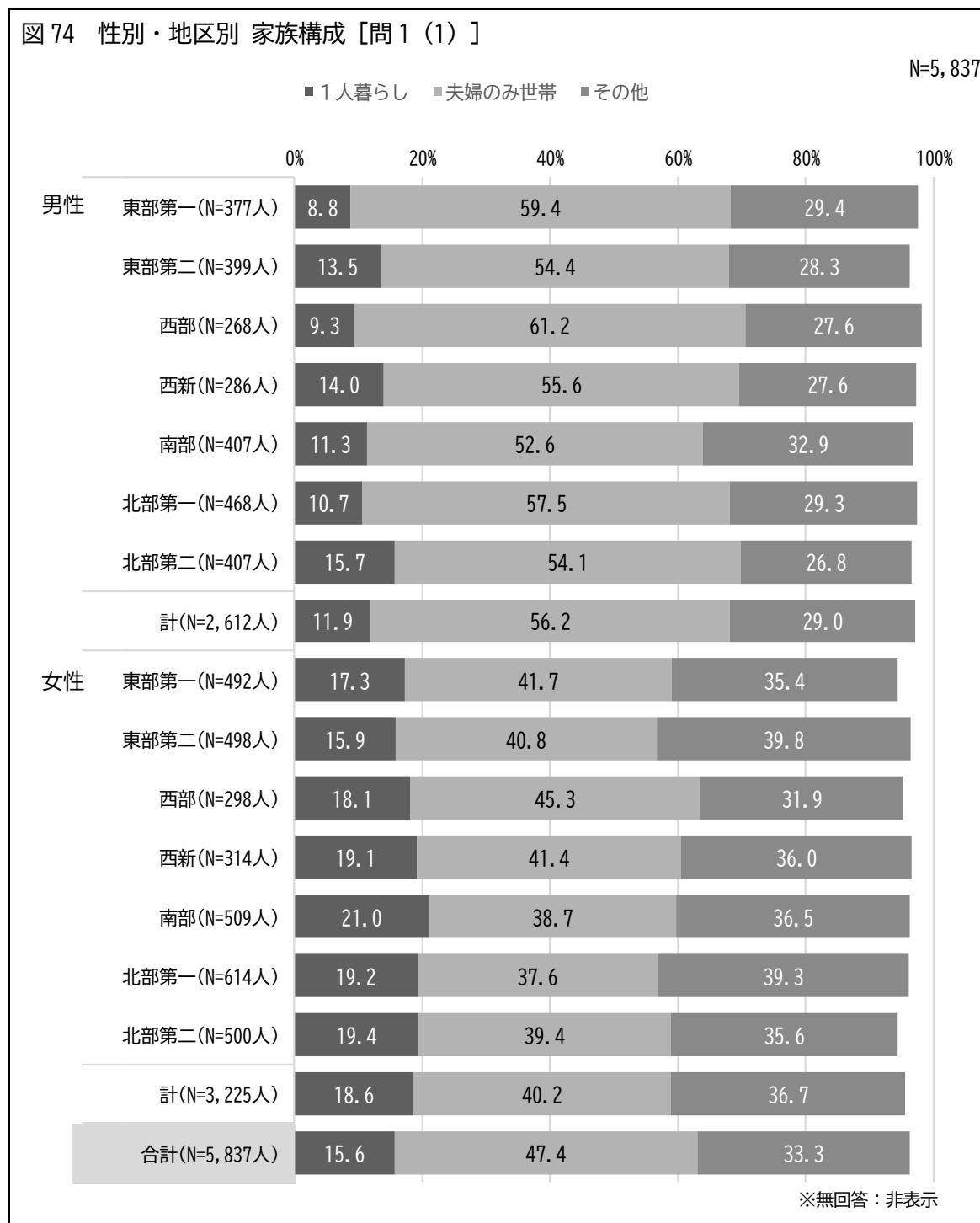
図 73 性別・認定別 家族構成 [問 1 (1)]



### ③ 性別・地区別 家族構成

性別・地区別で家族構成をみると、いずれの地区においても「1人暮らし」は男性より女性の方が高くなっています。なお、地区別では大きな違いはみられません。

図 74 性別・地区別 家族構成 [問 1 (1)]

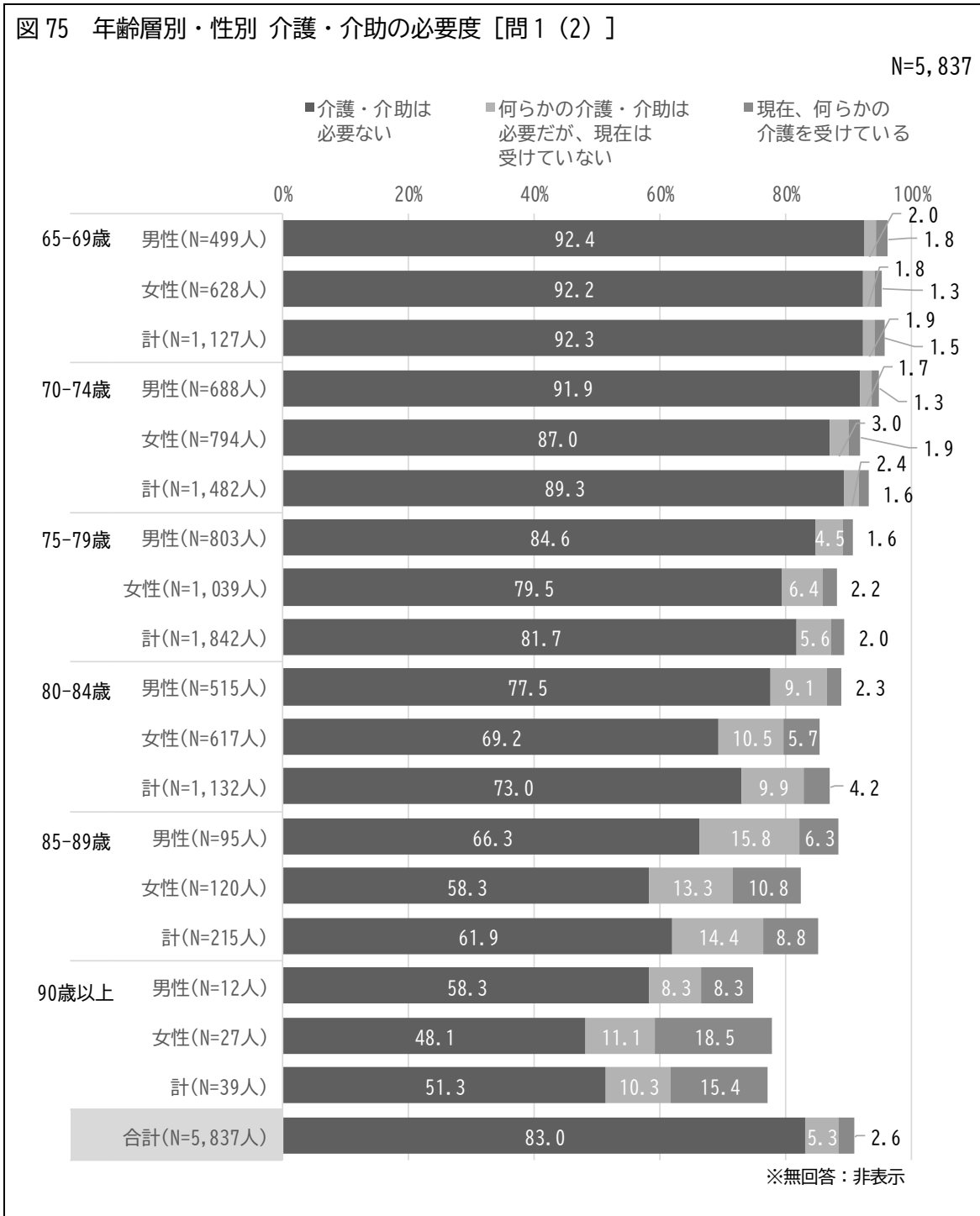


## 2 介護・介助の必要度

本項(2 介護・介助の必要度)と次項(3 介護・介助の主な原因と主な介護者)では、問1で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」及び「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方456人を「介護・介助の必要度がある」として見ていくこととします。

### ① 年齢層別・性別 介護・介助の必要度

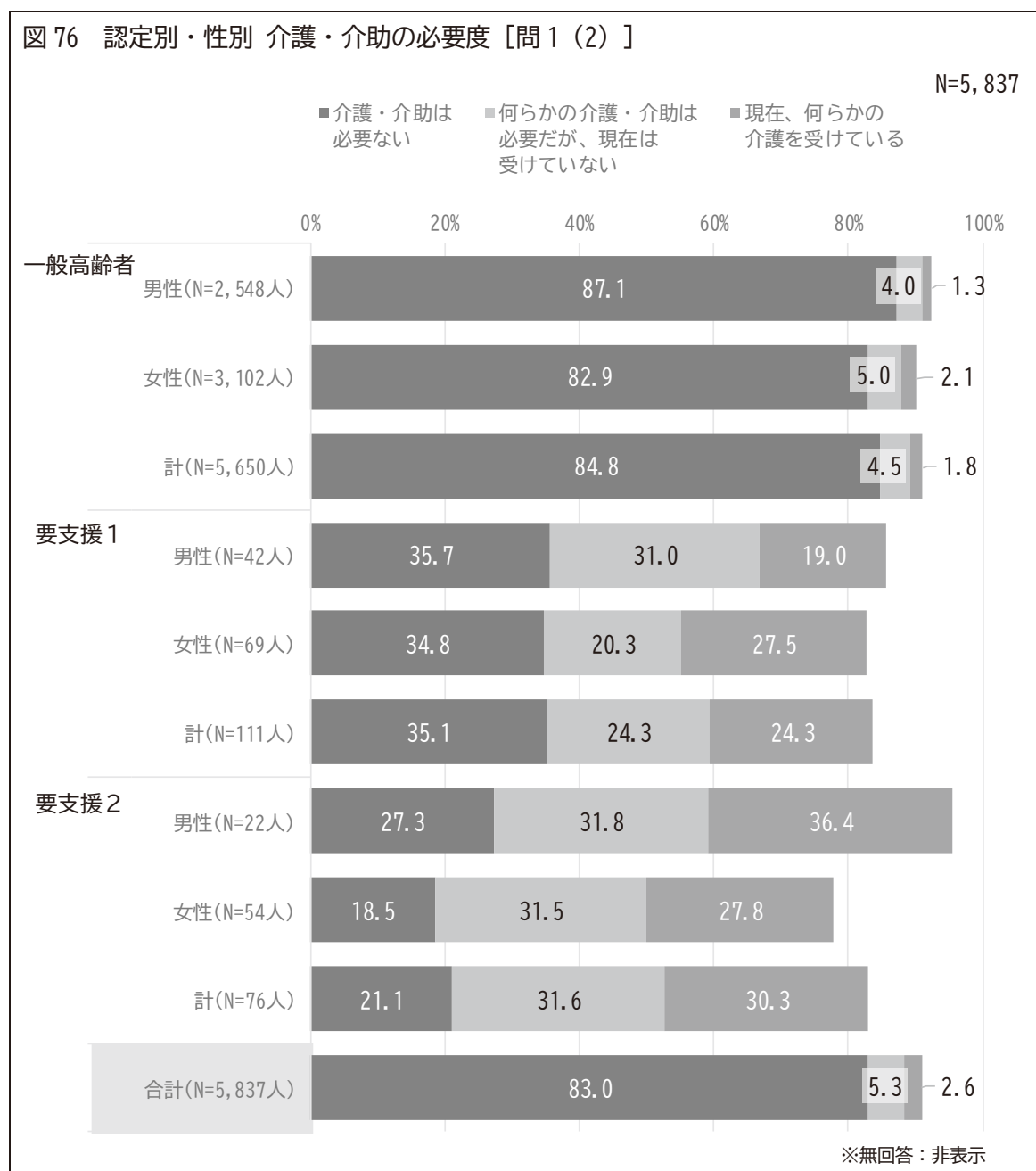
年齢層別・性別で介護・介助の必要度をみると、男女共に年齢層が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、特に80-84歳以降で高くなっています。



## ② 認定別・性別 介護・介助の必要度

認定別・性別で介護・介助の必要度をみると、「一般高齢者・計」の6.3% (4.5%+1.8%) に対し、「要支援1・計」48.6% (24.3%+24.3%)、「要支援2・計」61.9% (31.6%+30.3%) と、認定者では大幅に高くなっています。

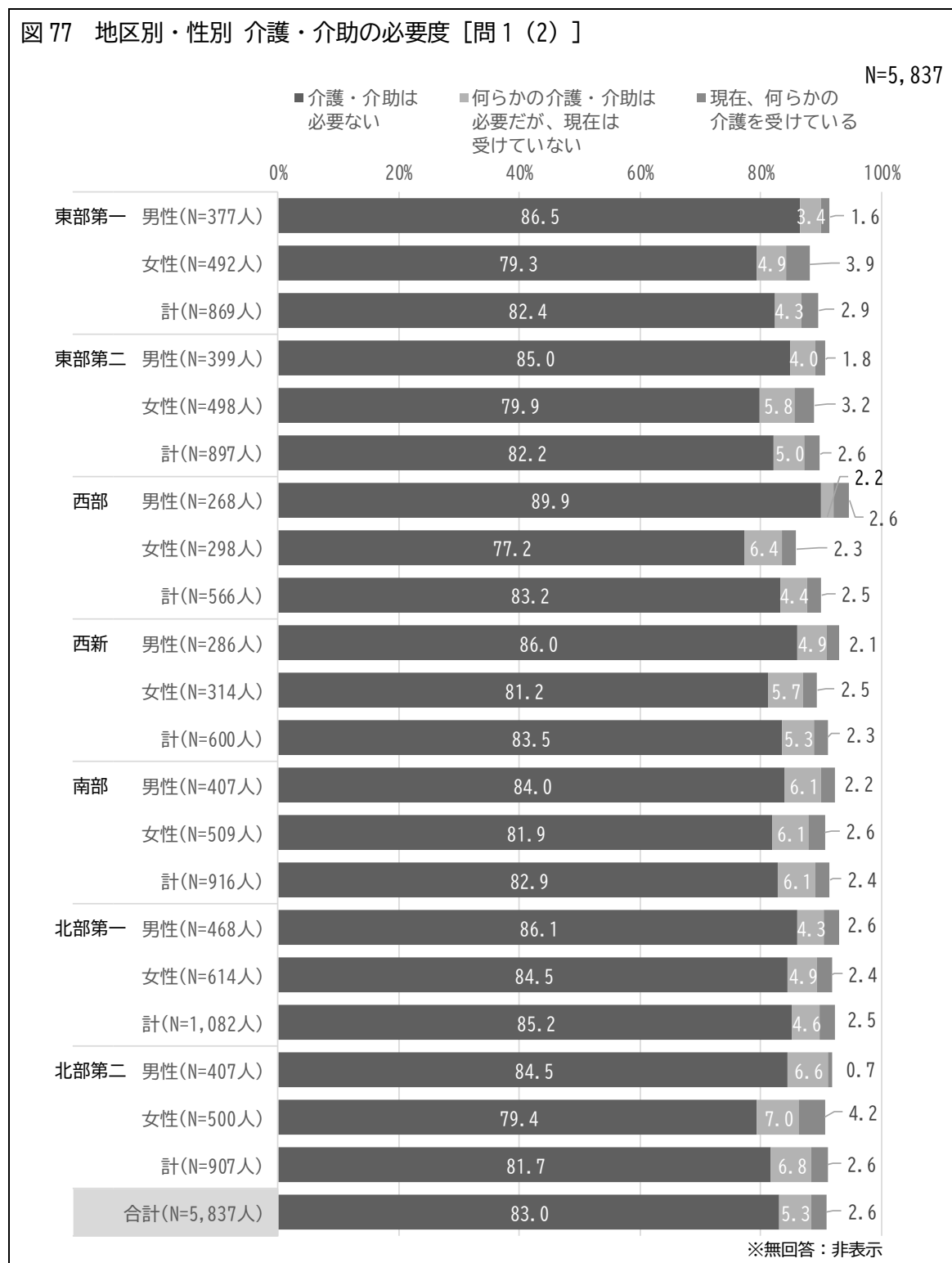
図 76 認定別・性別 介護・介助の必要度 [問 1 (2) ]



### ③ 地区別・性別 介護・介助の必要度

地区別・性別で介護・介助の必要度をみると、いずれの地区でも女性が男性を上回っています。なお、地区別では大きな違いはみられません。

図 77 地区別・性別 介護・介助の必要度 [問 1 (2)]

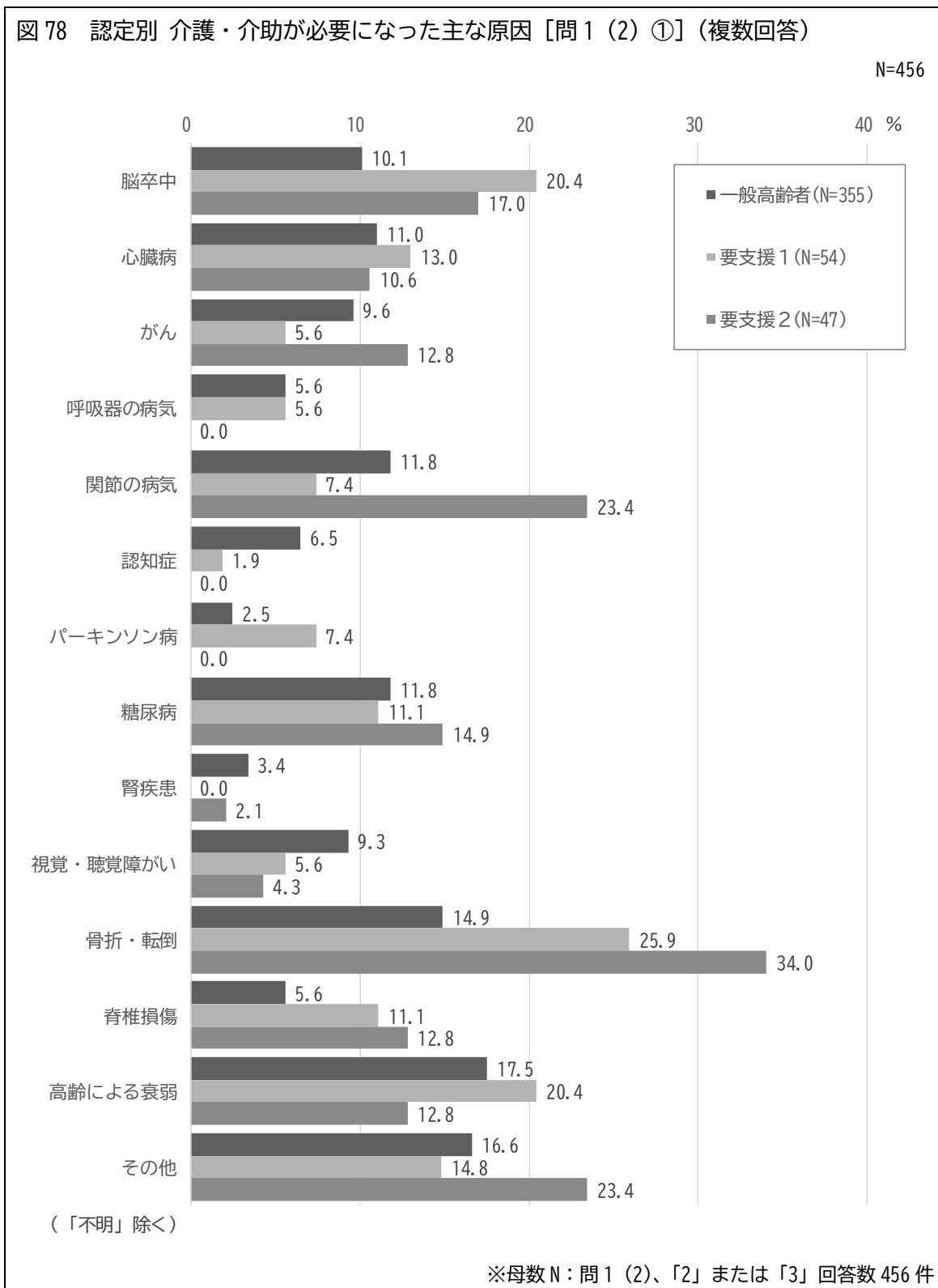




### 3 介護・介助の主な原因と主な介護者

#### ① 介護・介助が必要になった主な原因

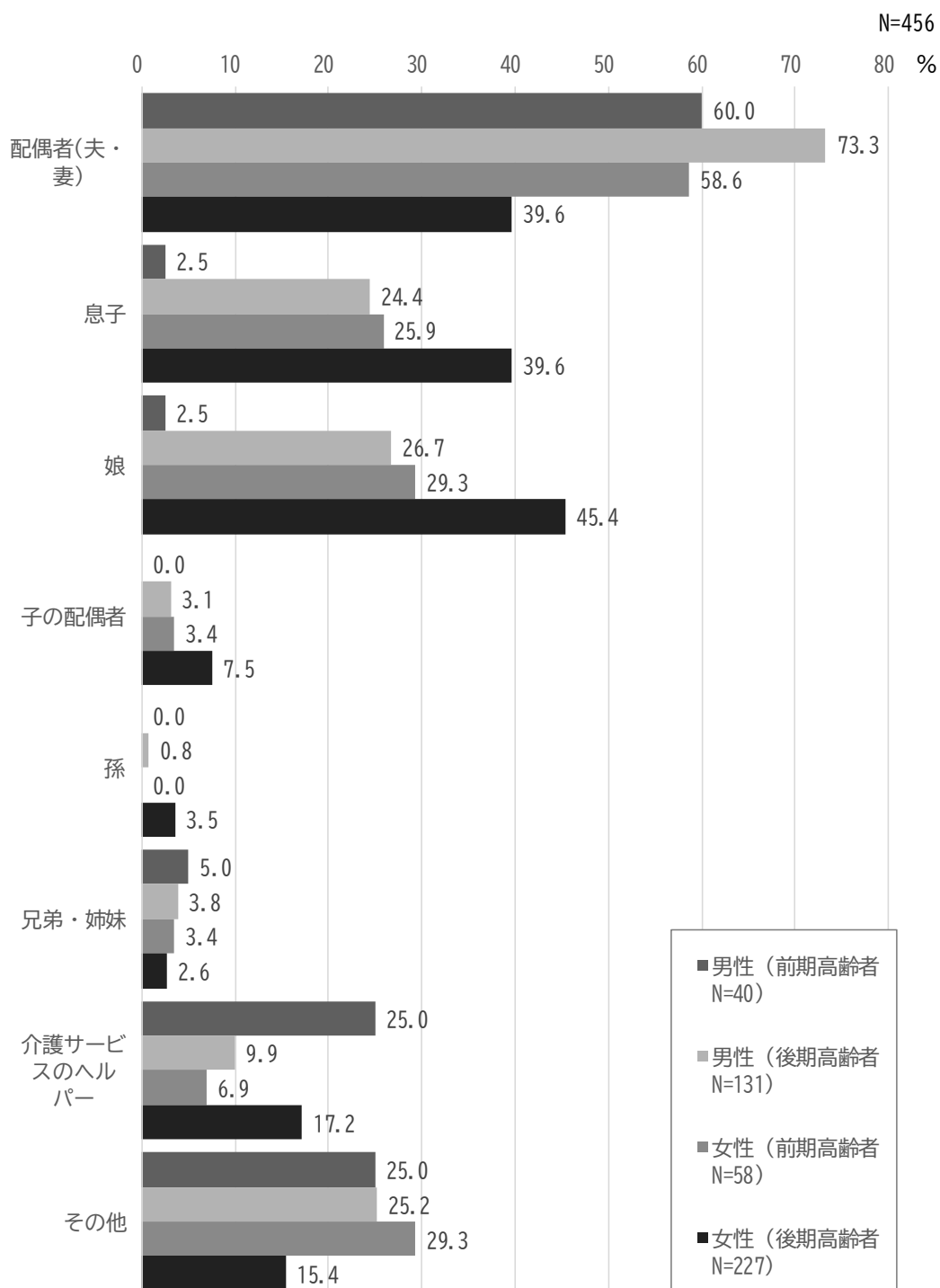
介護・介助の必要度のある人について、介護・介助が必要になった主な原因について聞いたところ、一般高齢者では「高齢による衰弱」が17.5%、要支援1・2では「骨折・転倒」がそれぞれ25.9%、34.0%と最も高くなっています。



## ② 主な介護者

介護・介助の必要度のある人について、主に誰の介護・介助を受けているか聞いたところ、男性前期・後期高齢者と女性前期高齢者では「配偶者（夫・妻）」が最も高くなっていますが、女性・後期高齢者では、「娘」が45.4%と最も高くなっています。

図 79 性別・前期後期別 主な介護・介助者 [問1(2)②] (複数回答)

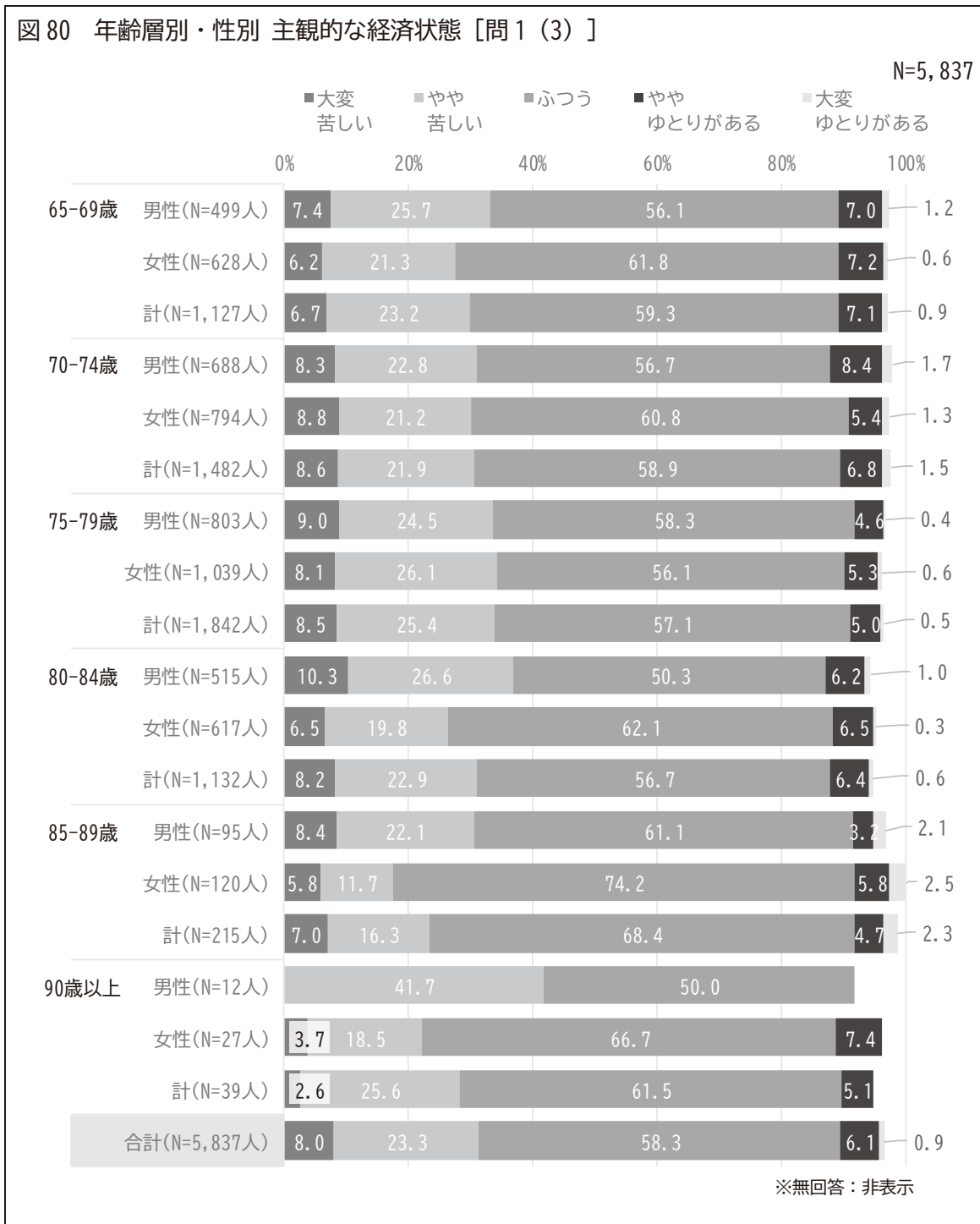


※母数 N：問1(2)、「2」または「3」回答数 456 件

## 4 主観的な経済状態

### ① 年齢層別・性別 主観的経済状態

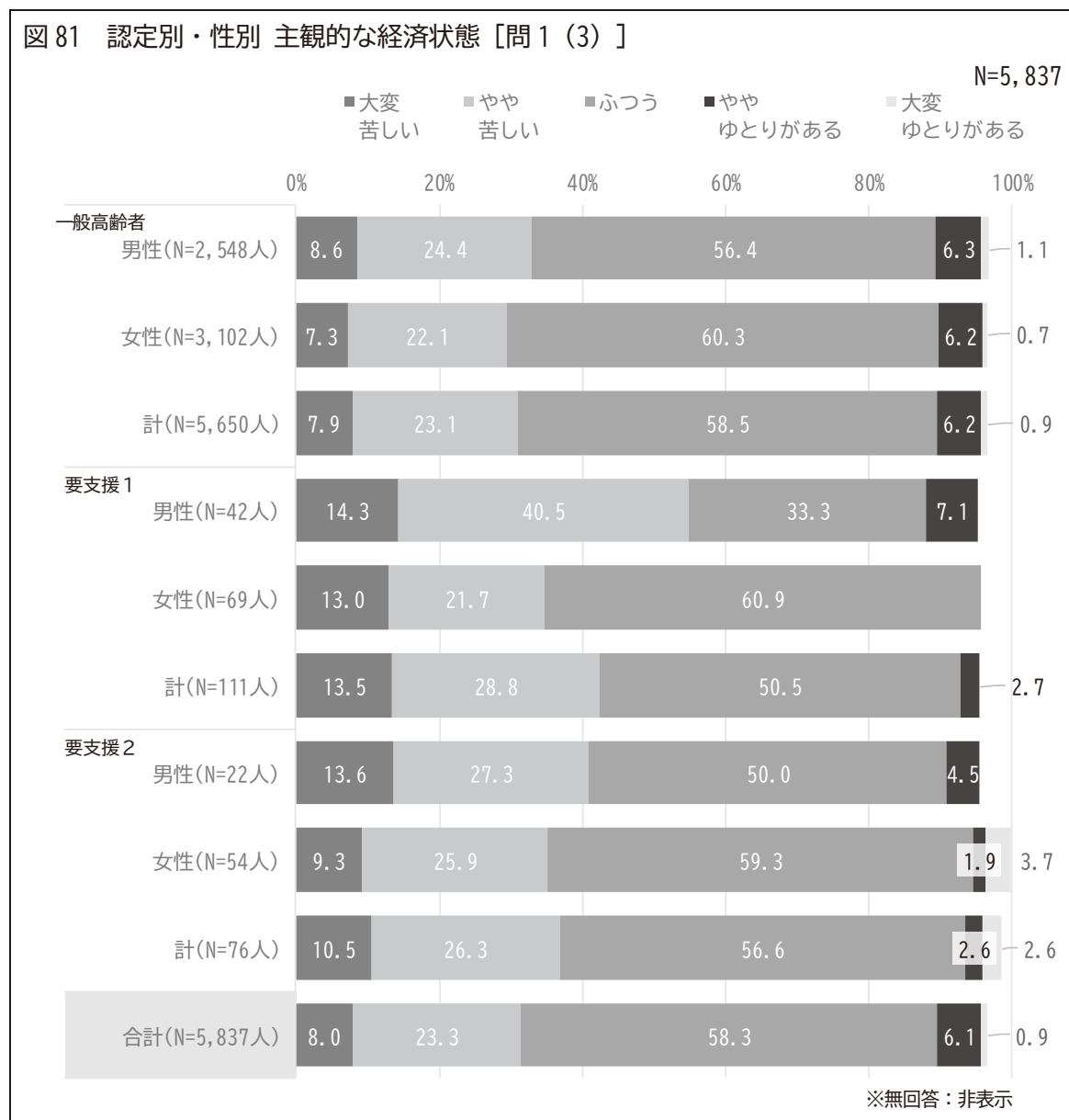
年齢層別・性別で主観的な経済状態をみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は、全体で31.3%（8.0%+23.3%）となっています。85-89歳では『苦しい』は23.3%（7.0%+16.3%）と低くなっています。



## ② 認定別・性別 主観的な経済状態

認定別・性別で主観的な経済状態をみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は、「一般高齢者」の31.0%(7.9%+23.1%)に対し、「要支援1」は42.3%(13.5%+28.8%)、「要支援2」は36.8%(10.5%+26.3%)と認定者の方が高くなっています。

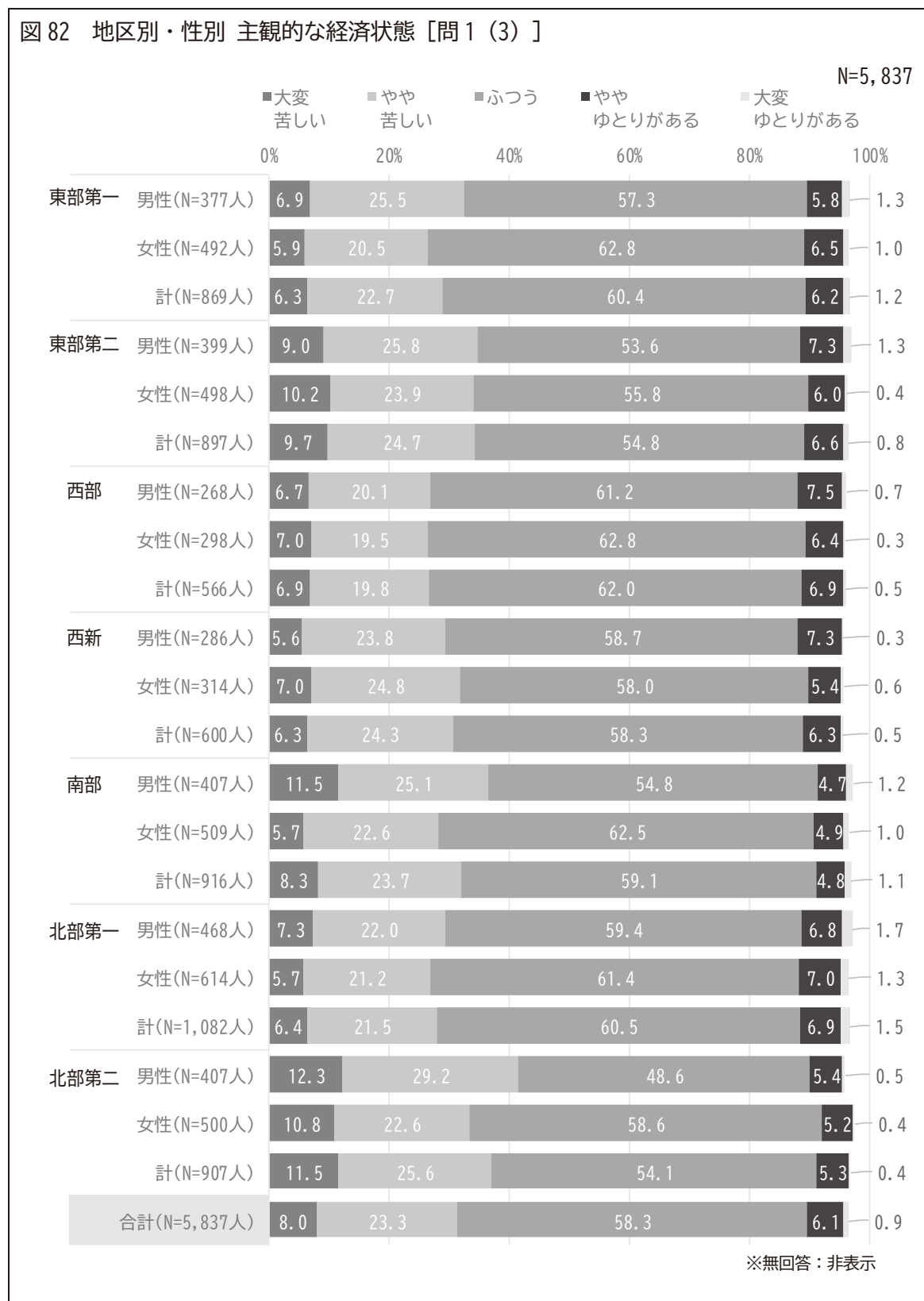
図 81 認定別・性別 主観的な経済状態 [問 1 (3)]



### ③ 地区別・性別 主観的な経済状態

地区別・性別で主観的な経済状態をみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は、「北部第二」が37.1%(11.5%+25.6%)、「東部第二」が34.4%(9.7%+24.7%)と高く、「北部第二・男性」では41.5%(12.3%+29.2%)と高くなっています。

図 82 地区別・性別 主観的な経済状態 [問 1 (3)]



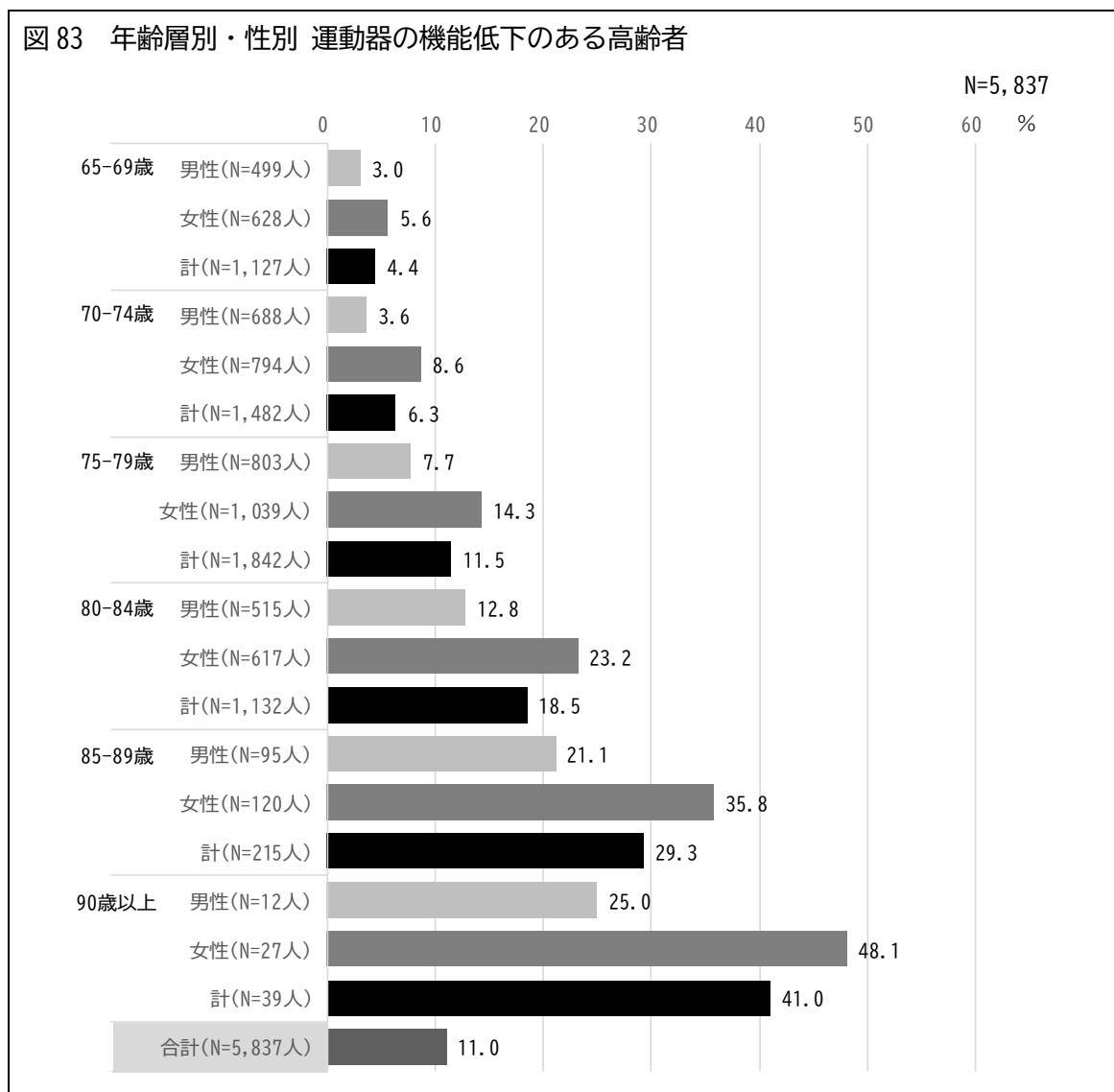
## テーマ2 からだを動かすこと

### 1 運動器の機能低下のある高齢者

「運動器の機能低下のある高齢者」については、次の設問の「該当する選択肢」を3問以上選んだ場合を運動器の機能低下に該当としました。年齢層が上がるにつれて、該当者の割合は多くなる傾向がみられ、85歳以降急に多くなっています。

設問（問2）	該当する選択肢（3問以上）
（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できない」
（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
（3）15分位続けて歩いていますか	「できない」
（4）過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」または「1度ある」
（5）転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」または「やや不安である」

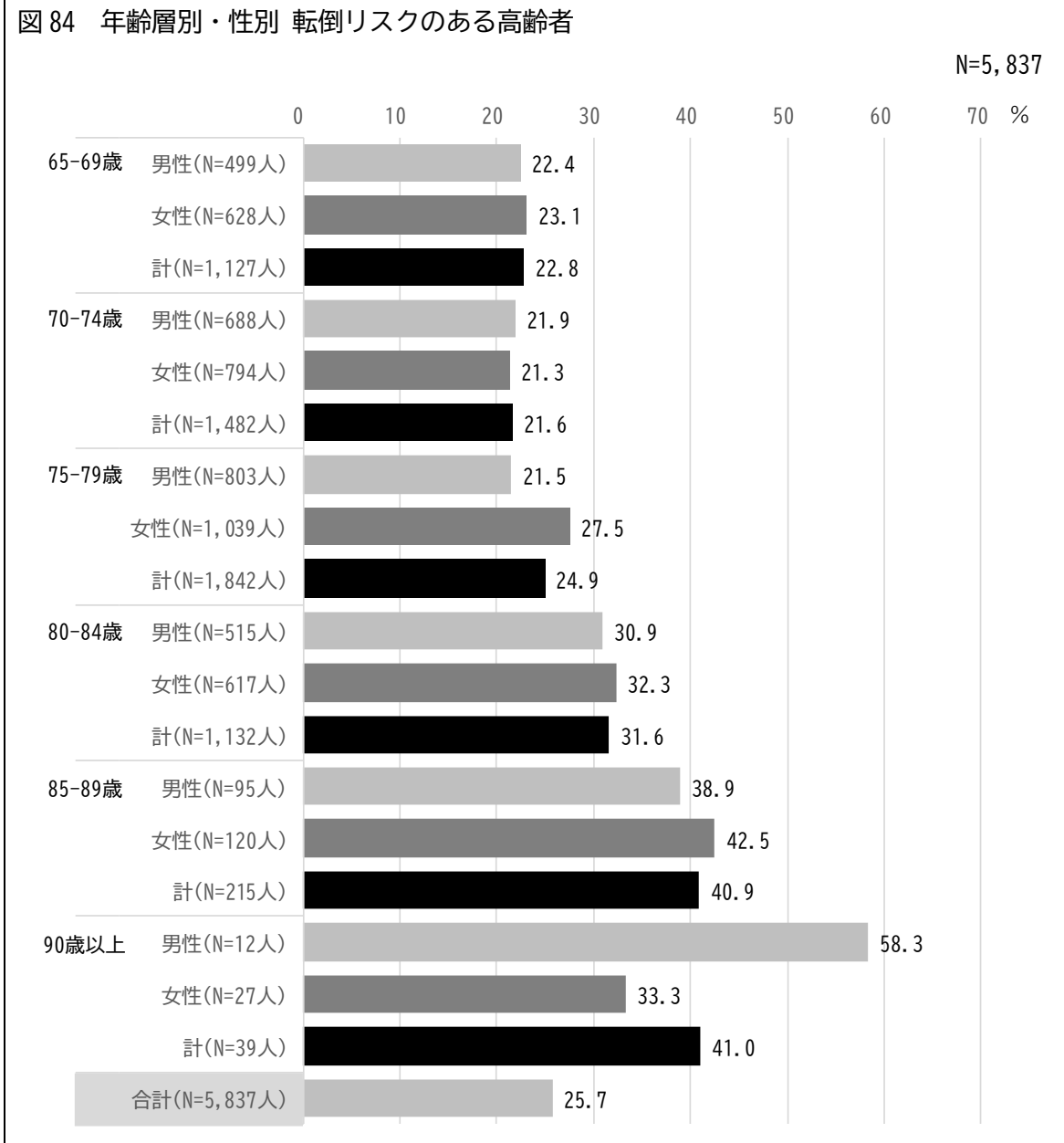
図83 年齢層別・性別 運動器の機能低下のある高齢者



## 2 転倒リスクのある高齢者

「転倒リスクのある高齢者」については、次の設問の「該当する選択肢」を選んだ場合を転倒リスクに該当としました。年齢層が上がるにつれて、該当者の割合は高くなる傾向がみられます。全体的には該当者の割合は、女性の方が男性を若干上回っています。

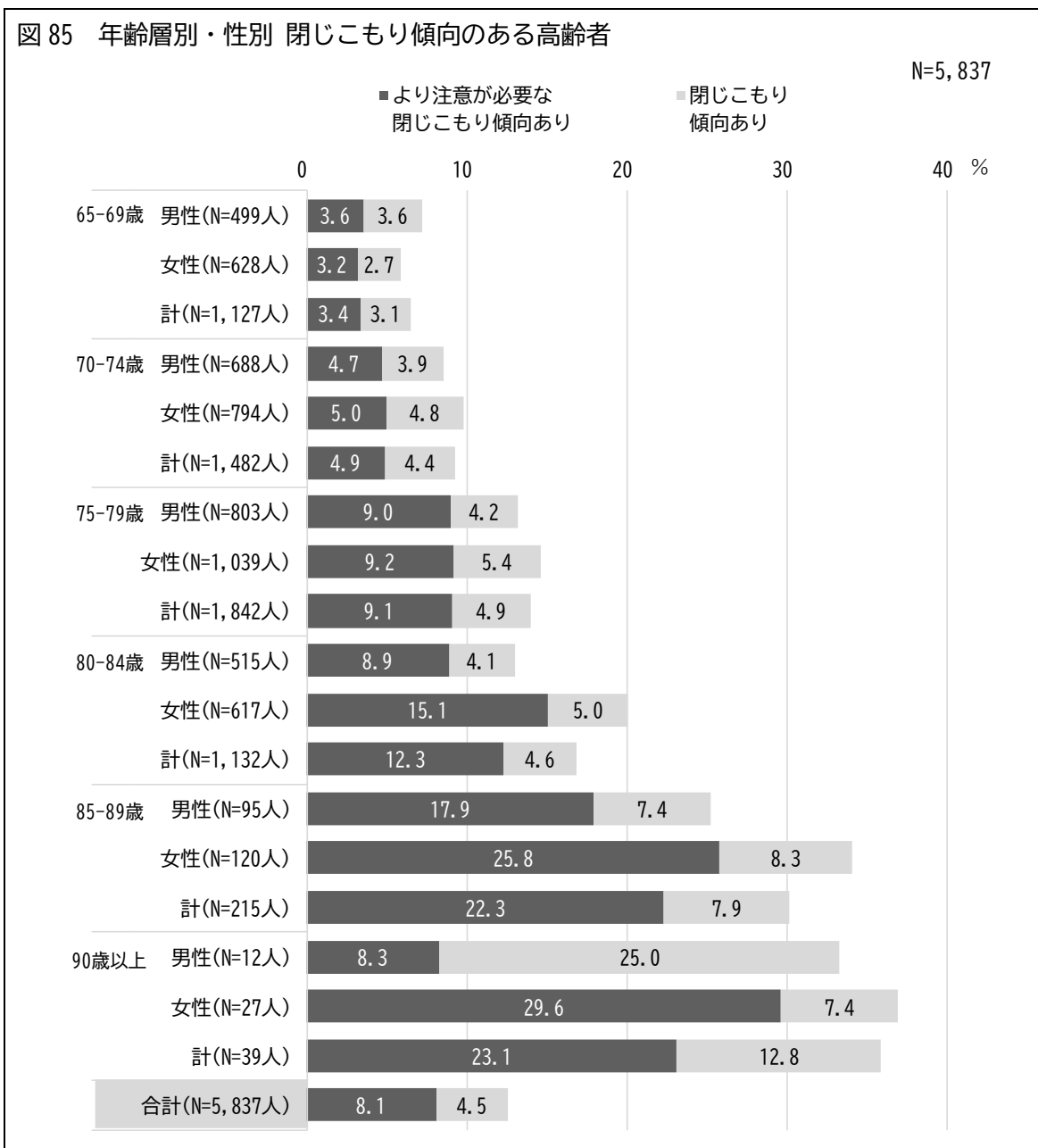
設問（問2）	該当する選択肢
（4）過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」または「1度ある」



### 3 閉じこもり傾向のある高齢者

「閉じこもり傾向のある高齢者」については、次の設問の「(6) 週に1回以上は外出」の該当選択肢を選んだ方を閉じこもり傾向に該当とし、さらに「(7) 昨年と比べて外出の回数が減っている」の該当選択肢を選んだ方をより注意が必要な閉じこもり傾向に該当としました。より注意が必要な閉じこもり傾向のある該当者の割合は、年齢層が上がるにつれて高くなり、85歳以降で急に増加しています。

設問 (問2)	該当する選択肢
(6) 週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」または「週1回」
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「とても減っている」または「減っている」

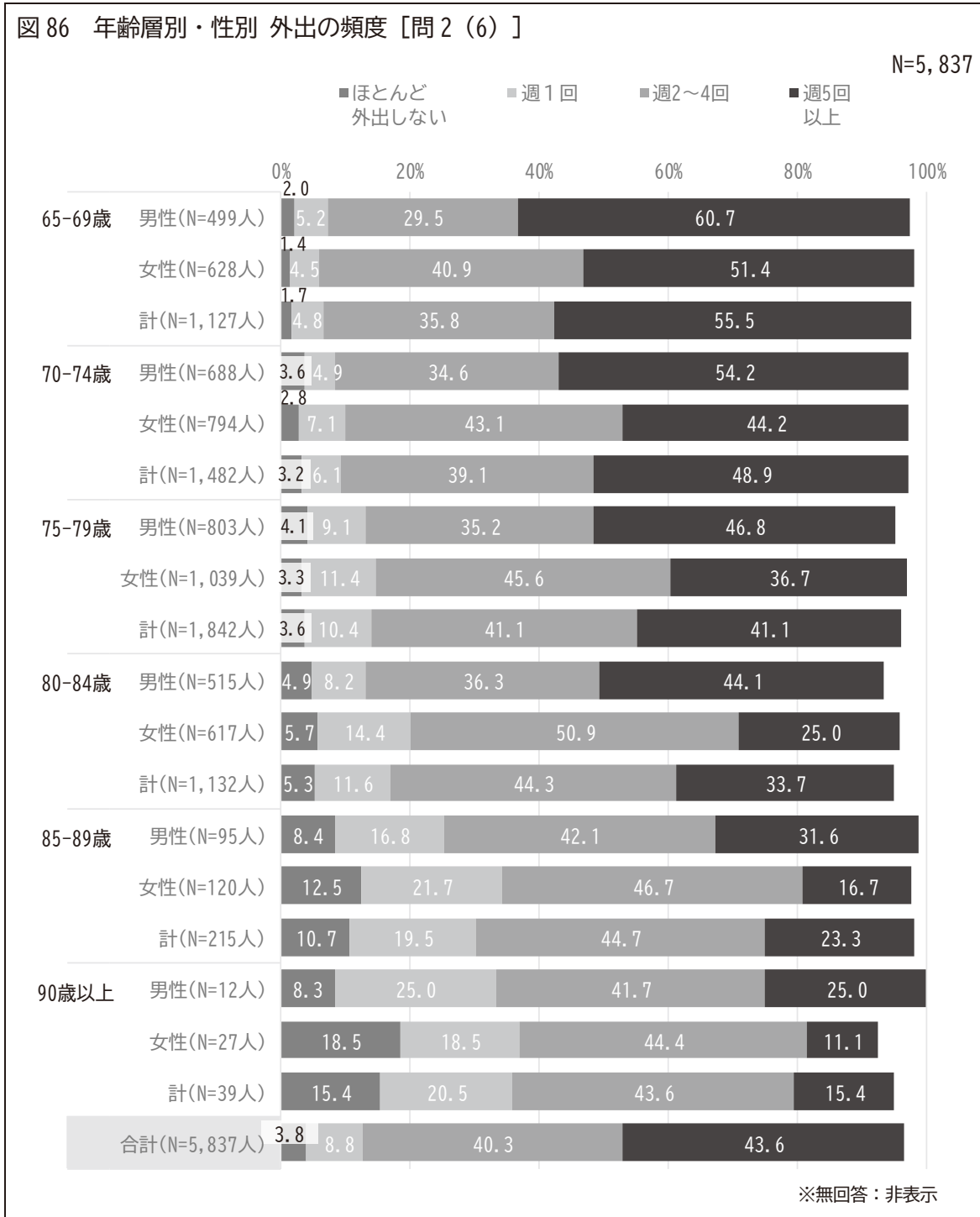




## 4 外出について

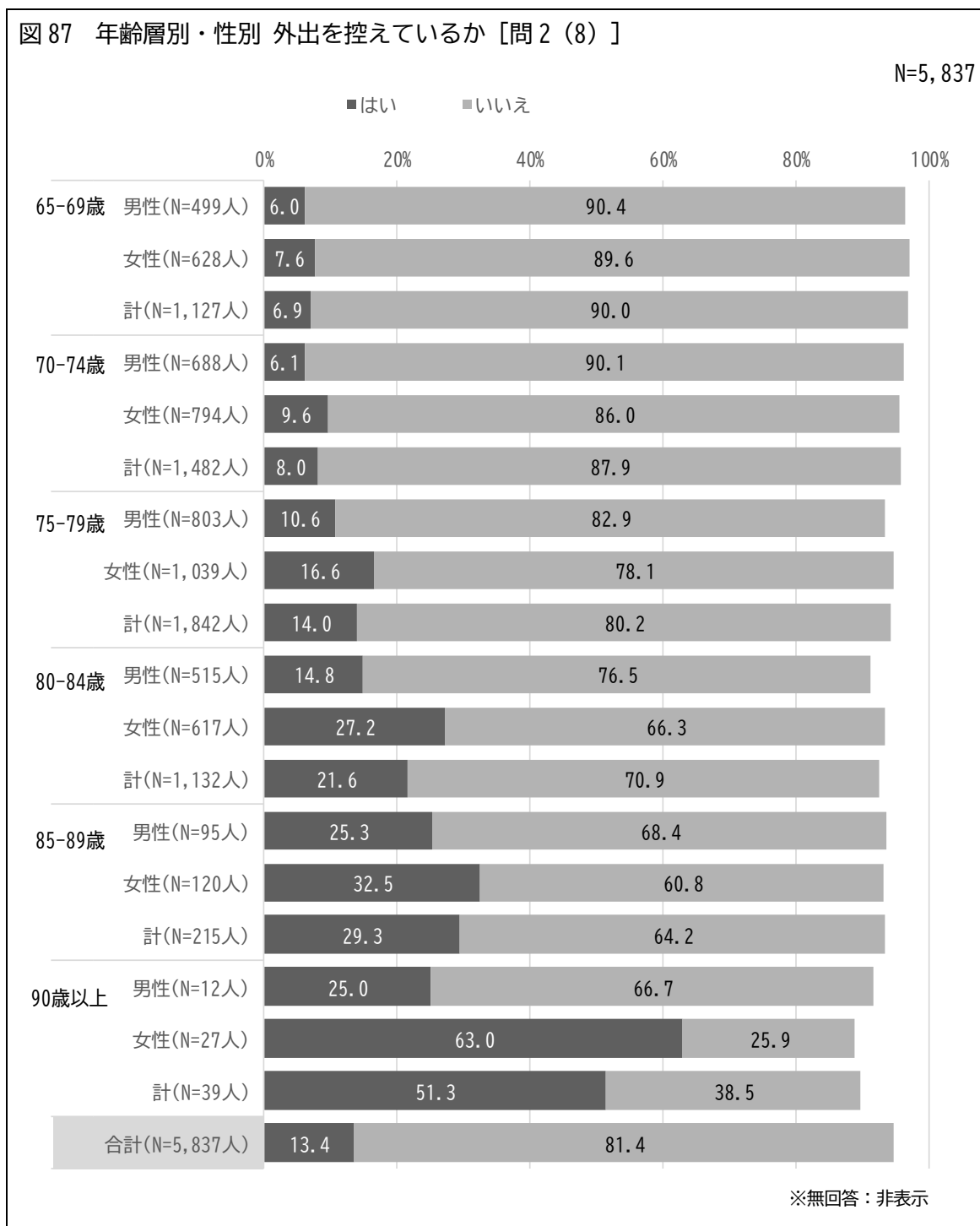
### ① 外出の頻度

外出の頻度については、「ほとんど外出しない」は、年齢層が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。一方、「週5回以上」は、年齢層が上がるにつれて低くなっています。また各年齢層で「週5回以上」は男性の方が高く、「週2～4回」は女性の方が高くなっています。



## ② 外出を控える傾向

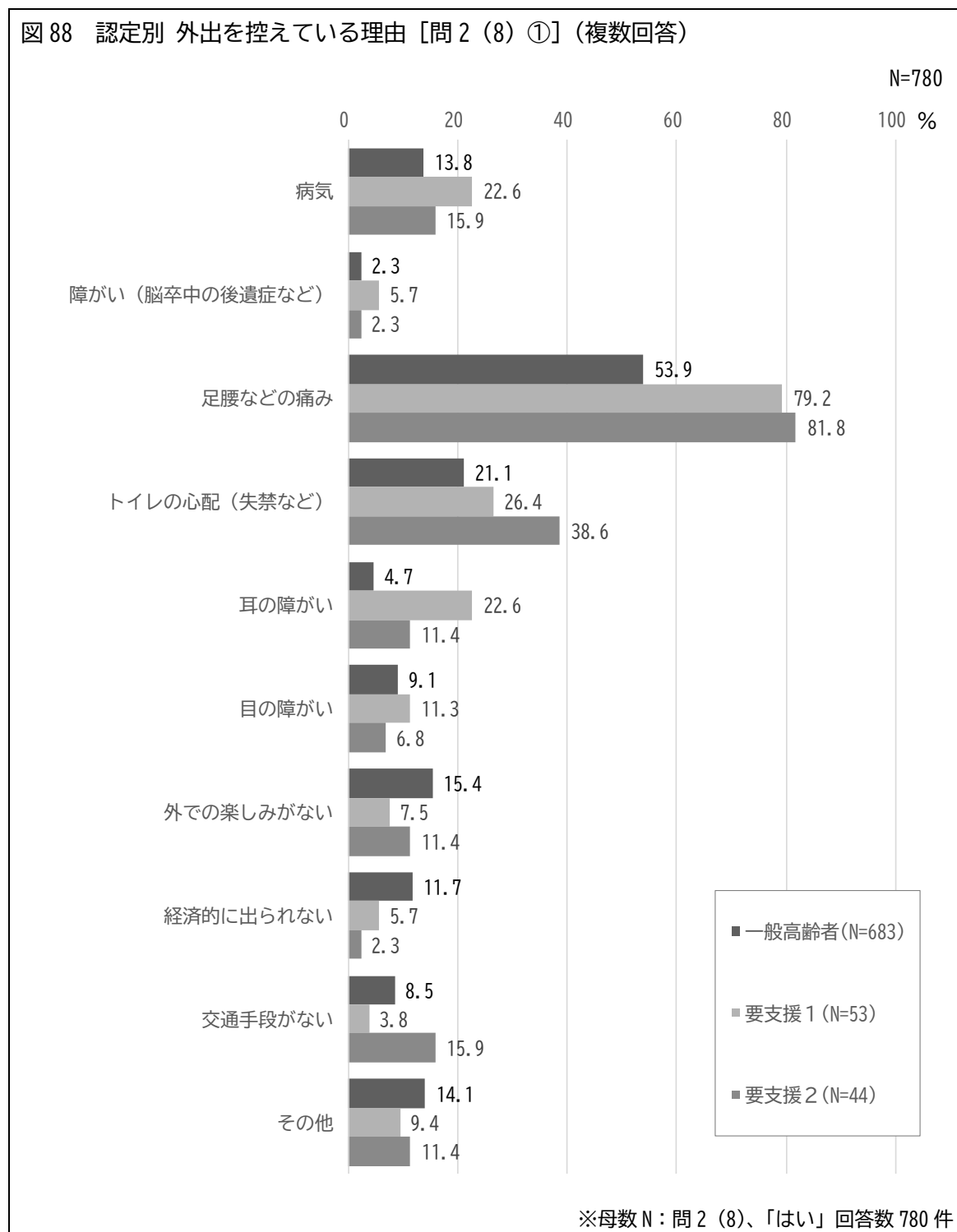
外出を控える傾向については、「はい(控える)」は、男女ともに年齢層が上がるにつれて高くなっています。



### ③ 外出を控えている理由

「外出を控えている」と回答した人の「外出を控えている理由」については、「足腰などの痛み」は、一般高齢者、要支援1・2それぞれで最も高くなっています。また、「トイレの心配（失禁など）」は、要支援2が38.6%、「耳の障がい」は、要支援1が22.6%と高くなっています。

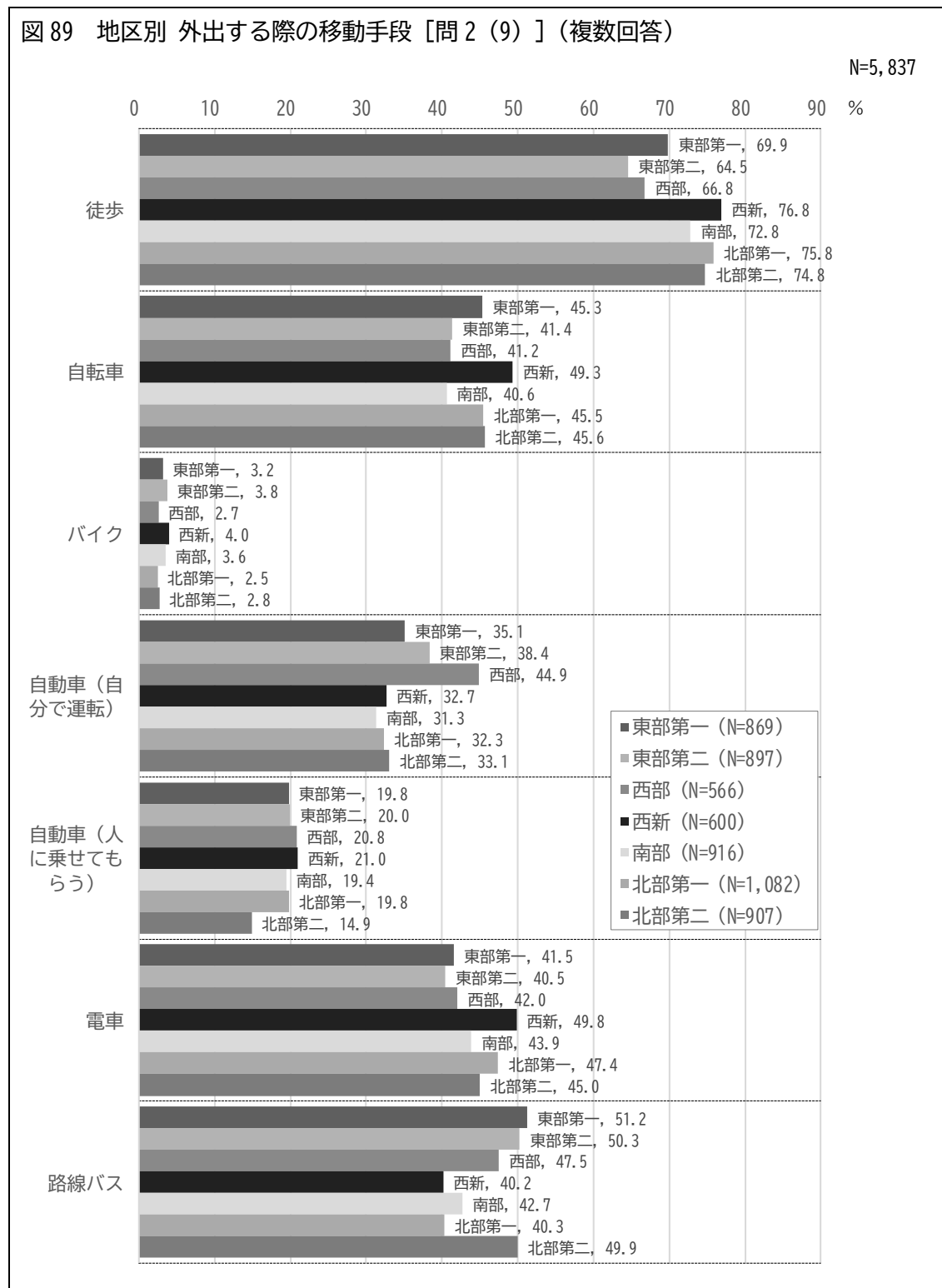
図 88 認定別 外出を控えている理由 [問 2 (8) ①] (複数回答)

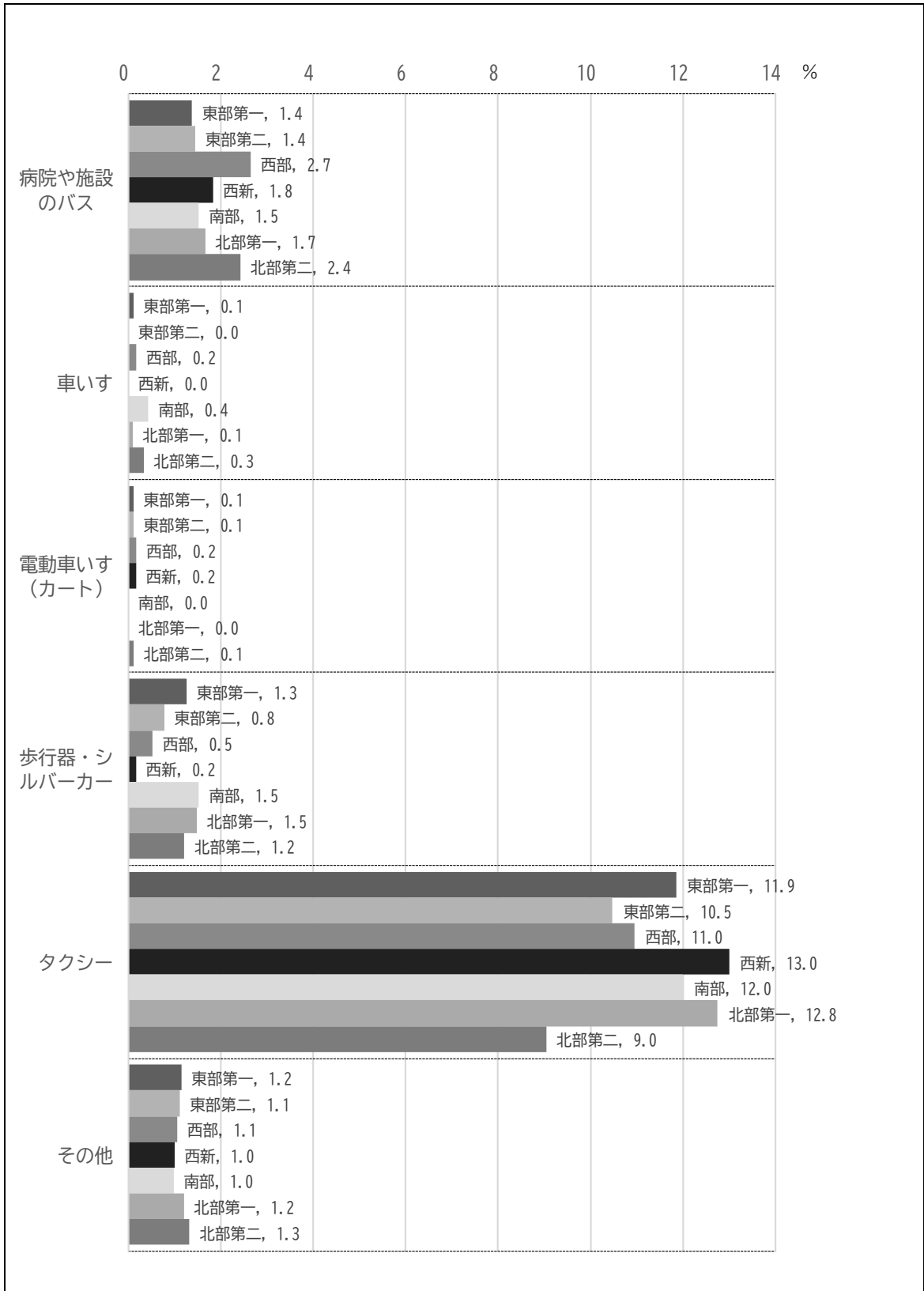


#### ④ 外出する際の移動手段

外出する際の移動手段については、地区別で見ると、全地区において「徒歩」が最も高くなっていますが、市内からは3路線(東武東上線、JR 武蔵野線、西武池袋線)が利用可能であることから、駅が近い地区は、移動手段として「電車」の割合が高く「路線バス」が低く、駅が遠い地区は、「路線バス」の割合が高く「電車」が低い傾向がみられます。

図 89 地区別 外出する際の移動手段 [問 2 (9)] (複数回答)





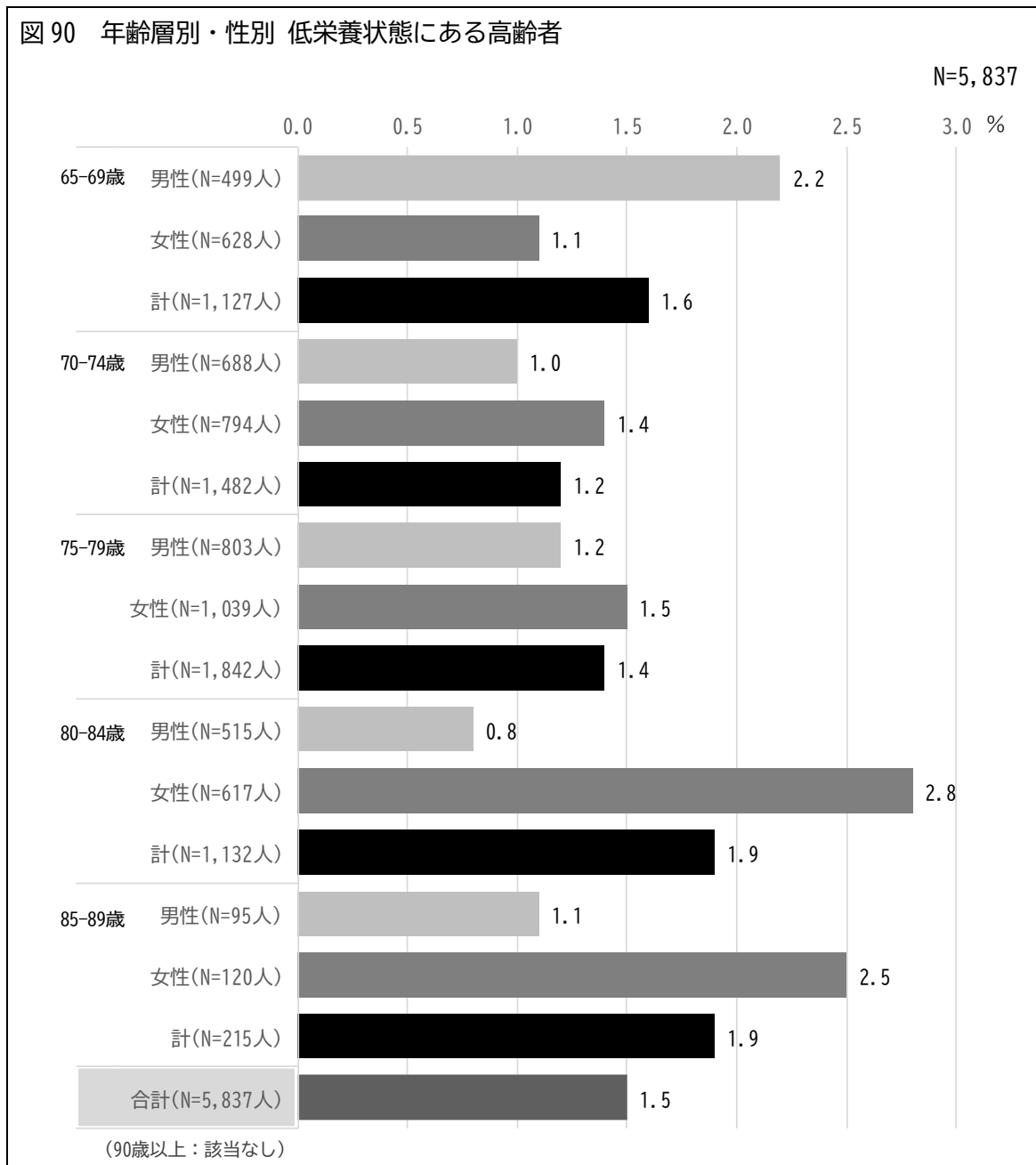
## テーマ3 食べること

### 1 低栄養の傾向

「低栄養状態にある高齢者」については、次の設問の「該当する選択肢」を選んだ場合を低栄養状態に該当としました。全体では 1.5%となっていますが、「80-84 歳・女性」、「85～89 歳・女性」、「65-69 歳・男性」で 2.0%を超えています。

設問（問3）	該当する選択肢
（1）身長・体重	BMIが18.5未満
（6）6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「はい」

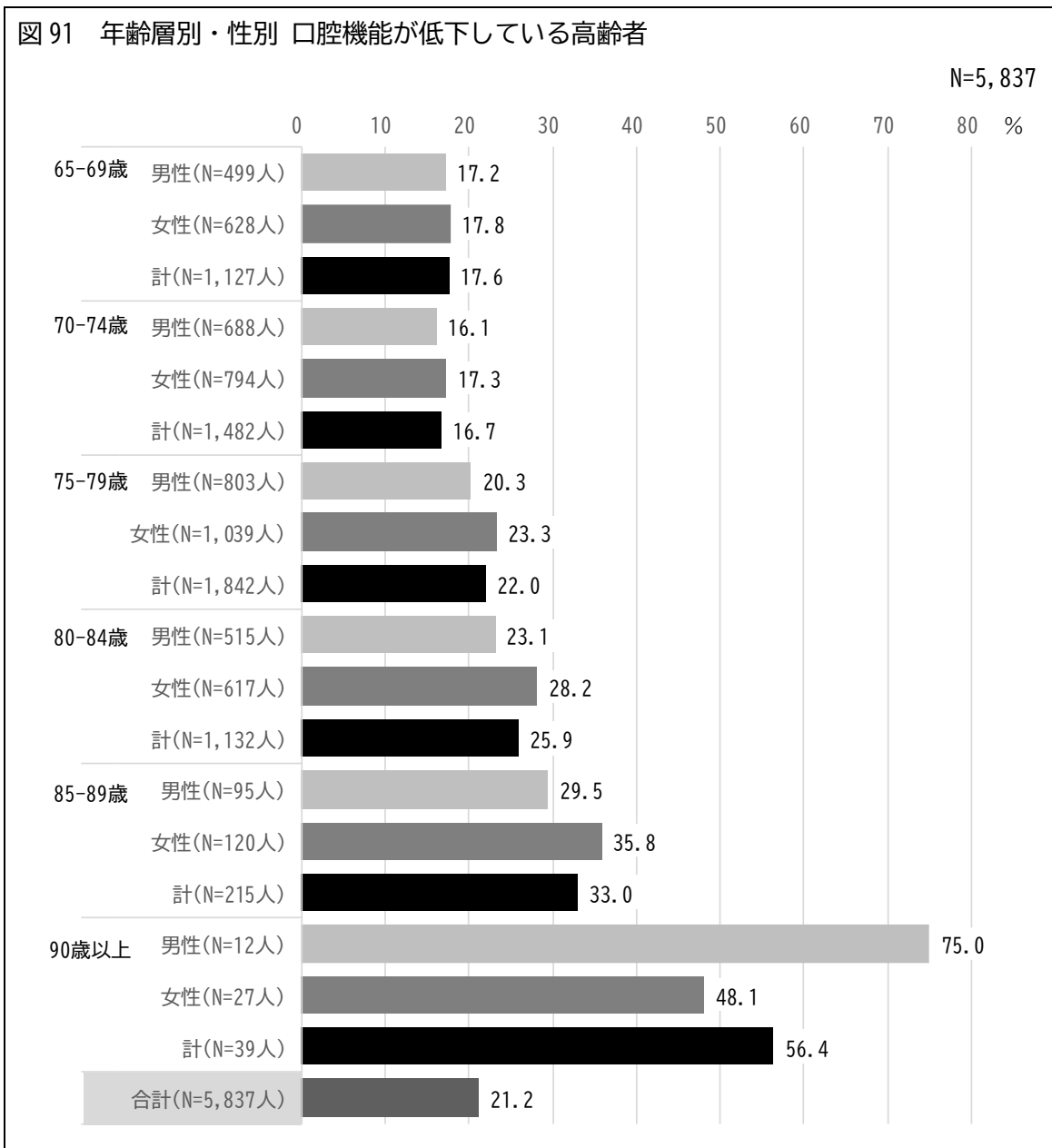
図90 年齢層別・性別 低栄養状態にある高齢者



## 2 口腔機能の低下

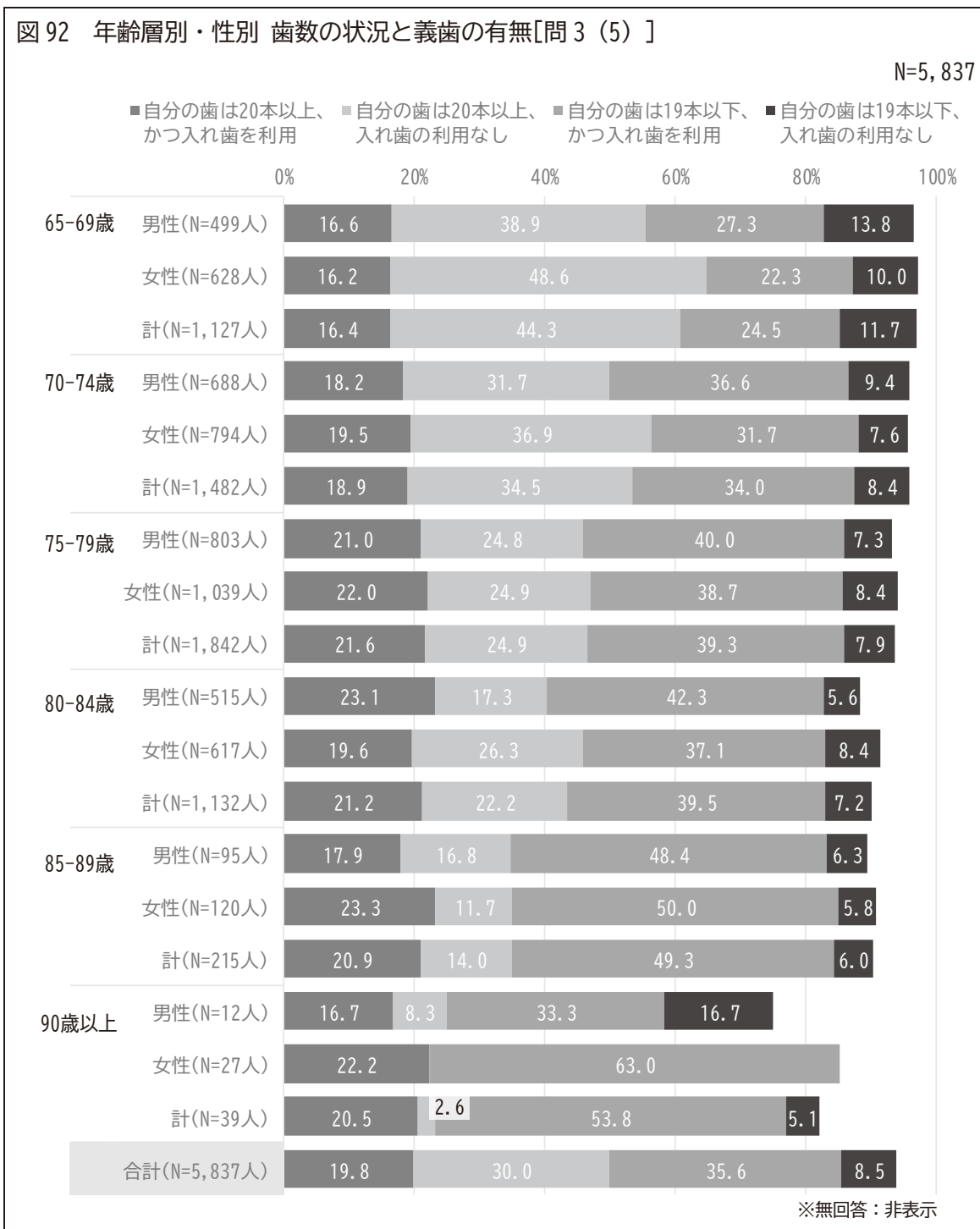
「口腔機能が低下している高齢者」については、次の設問の「該当する選択肢」を2問以上選んだ場合を口腔機能の低下に該当としました。年齢層が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。

設問（問3）	該当する選択肢
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」
(4) 口の渇きが気になりますか	「はい」



### 3 歯数の状況と義歯の有無

歯数の状況と義歯の有無については、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は、年齢層が上がるにつれて低くなっています。





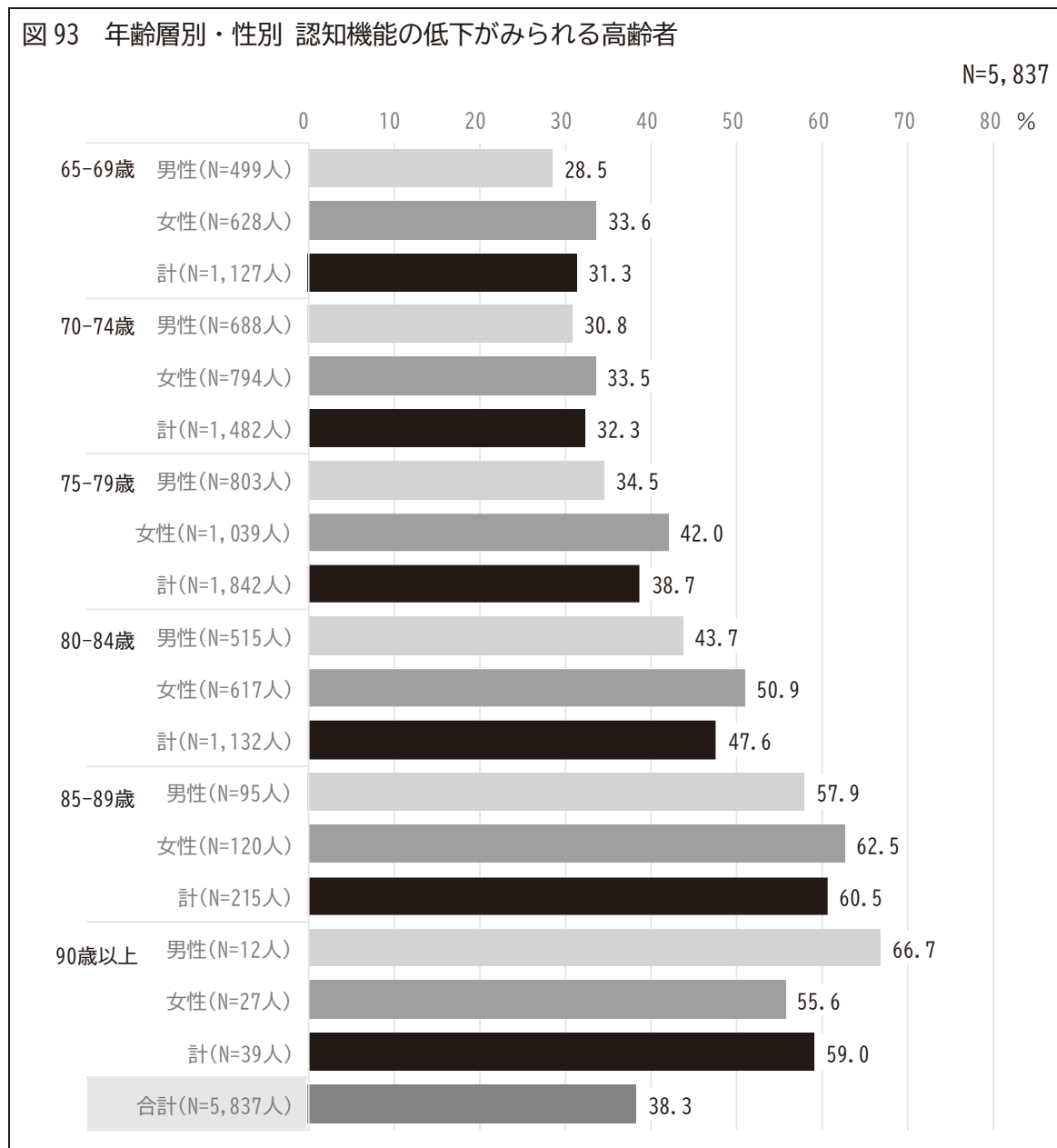
## テーマ4 毎日の暮らし

### 1 認知機能の低下

「認知機能の低下がみられる高齢者」については、次の設問の「該当する選択肢」を選んだ場合を認知機能の低下に該当としました。年齢層が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。

設問（問4）	該当する選択肢
（1）物忘れが多いと感じますか	「はい」

図 93 年齢層別・性別 認知機能の低下がみられる高齢者



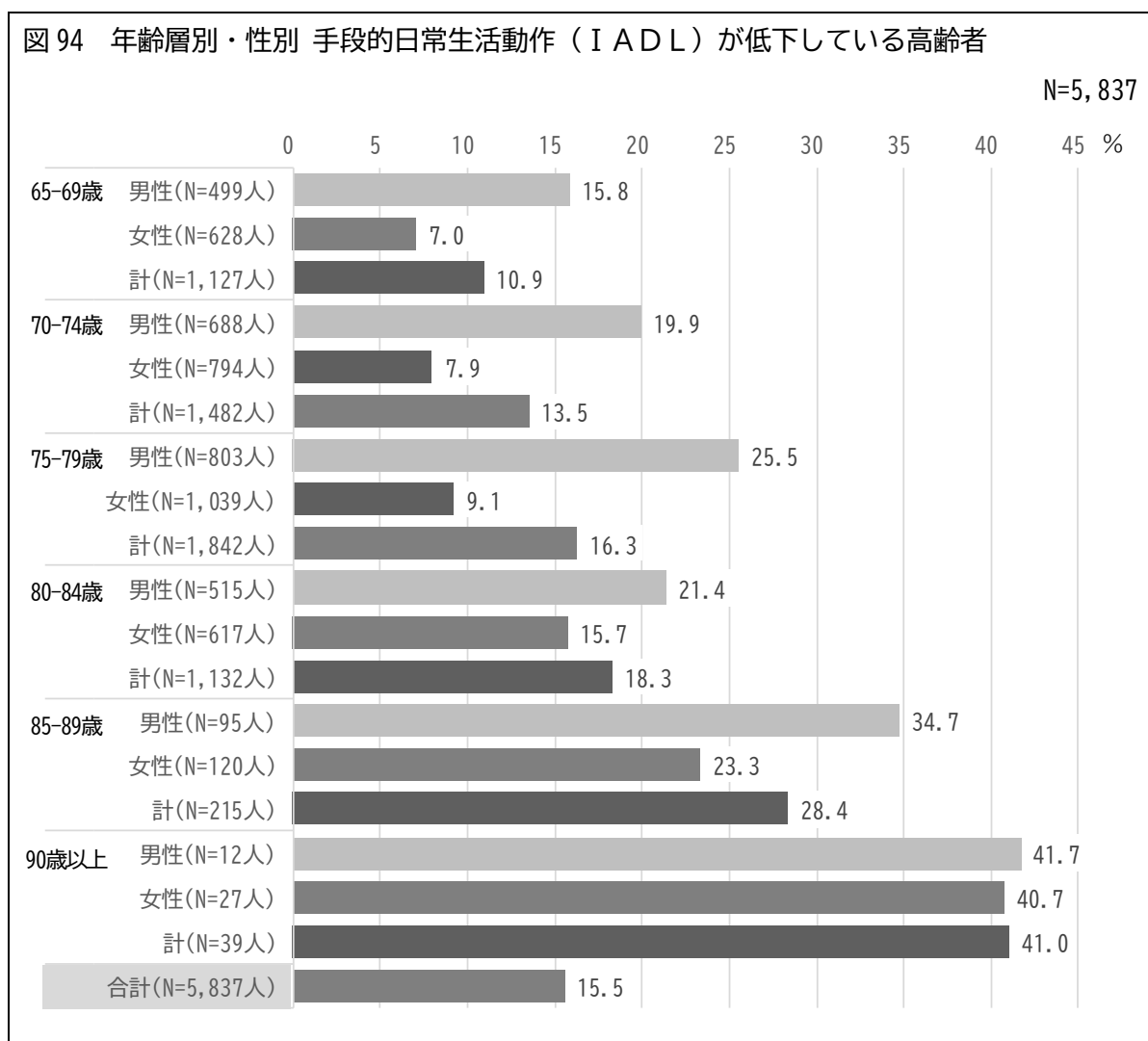
## 2 手段的日常生活動作の低下

「手段的日常生活動作（IADL<sup>※</sup>）が低下している高齢者」については、次の設問の「該当する選択肢」において1問選択で1点とし、4点以下を手段的日常生活動作が低下している高齢者に該当としました。年齢層が上がるにつれて高くなっていくとともに、各年齢層において男性の方が女性より高くなっています。

※IADLとは、電話の使い方や買い物、食事の準備、家事、洗濯、交通機関の利用、服薬の管理、金銭の管理等の動作。「日常生活動作」（ADL）で使用する動作を応用した動作が必要な活動を指します。

設問（問4）	該当する選択肢
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	「できるし、している」または「できるけどしていない」
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるし、している」または「できるけどしていない」
(4) 自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」または「できるけどしていない」
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」または「できるけどしていない」
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」または「できるけどしていない」

図 94 年齢層別・性別 手段的日常生活動作（IADL）が低下している高齢者

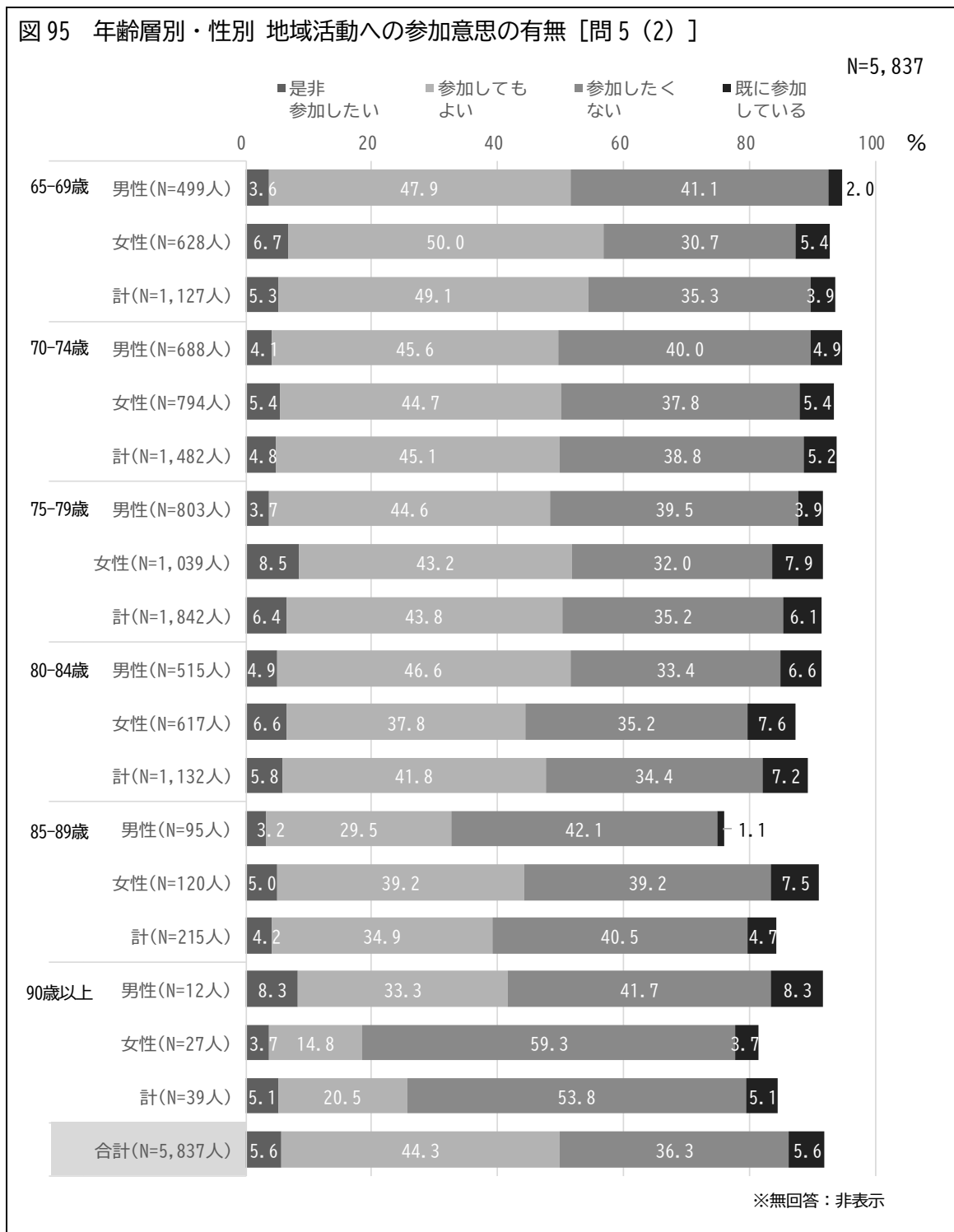


## テーマ5 地域活動

### 1 地域活動への参加

#### ① 地域活動への参加意思の有無

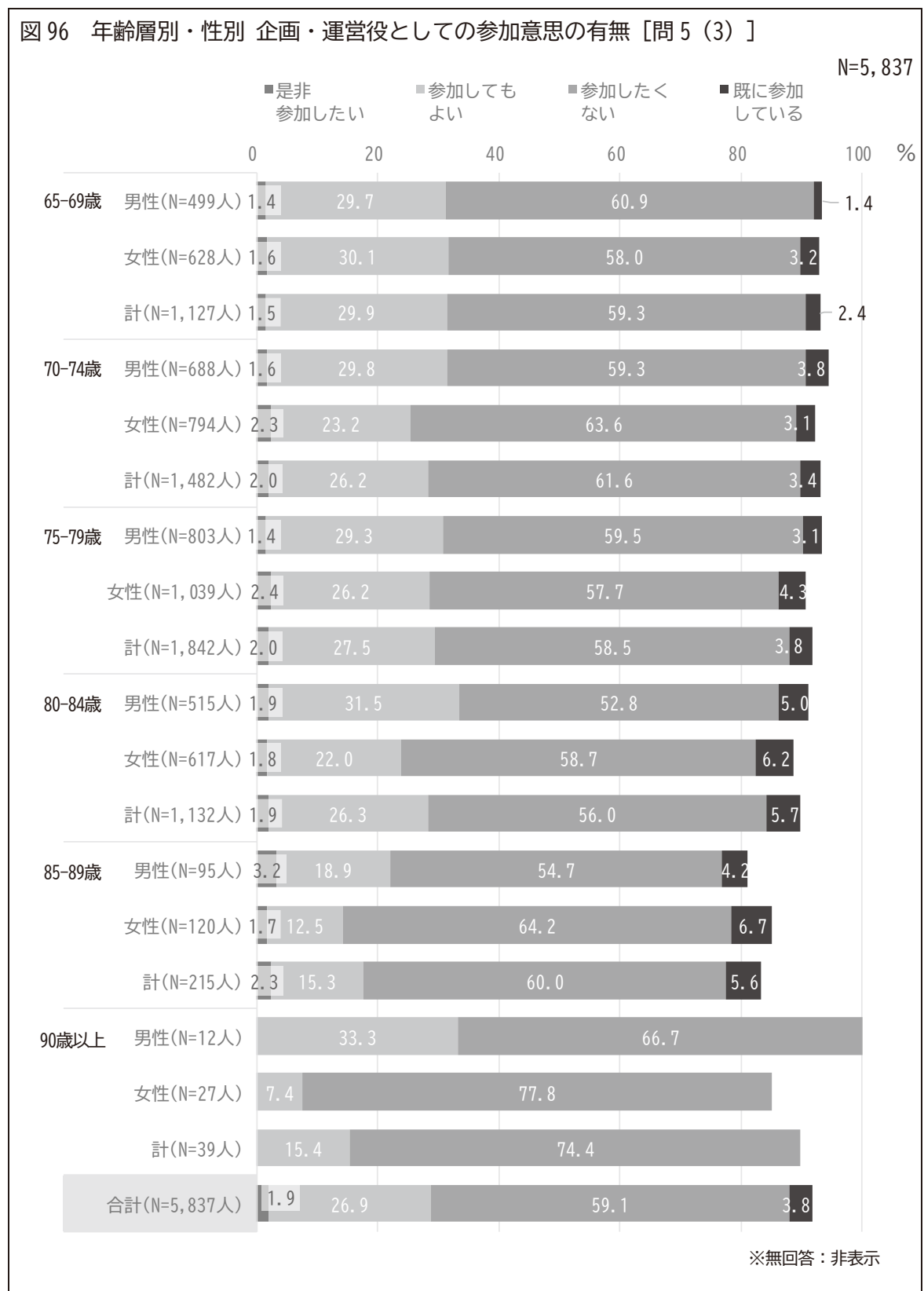
健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者としての参加意思の有無については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加者としての参加希望』は、年齢層が上がるにつれて、低くなる傾向がみられます。



## ② 企画・運営役としての参加意思の有無

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）としての参加意思の有無については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『企画・運営役としての参加希望』は、『参加者としての参加希望』よりも低くなっています。

図 96 年齢層別・性別 企画・運営役としての参加意思の有無 [問 5 (3)]



## テーマ6 たすけあい

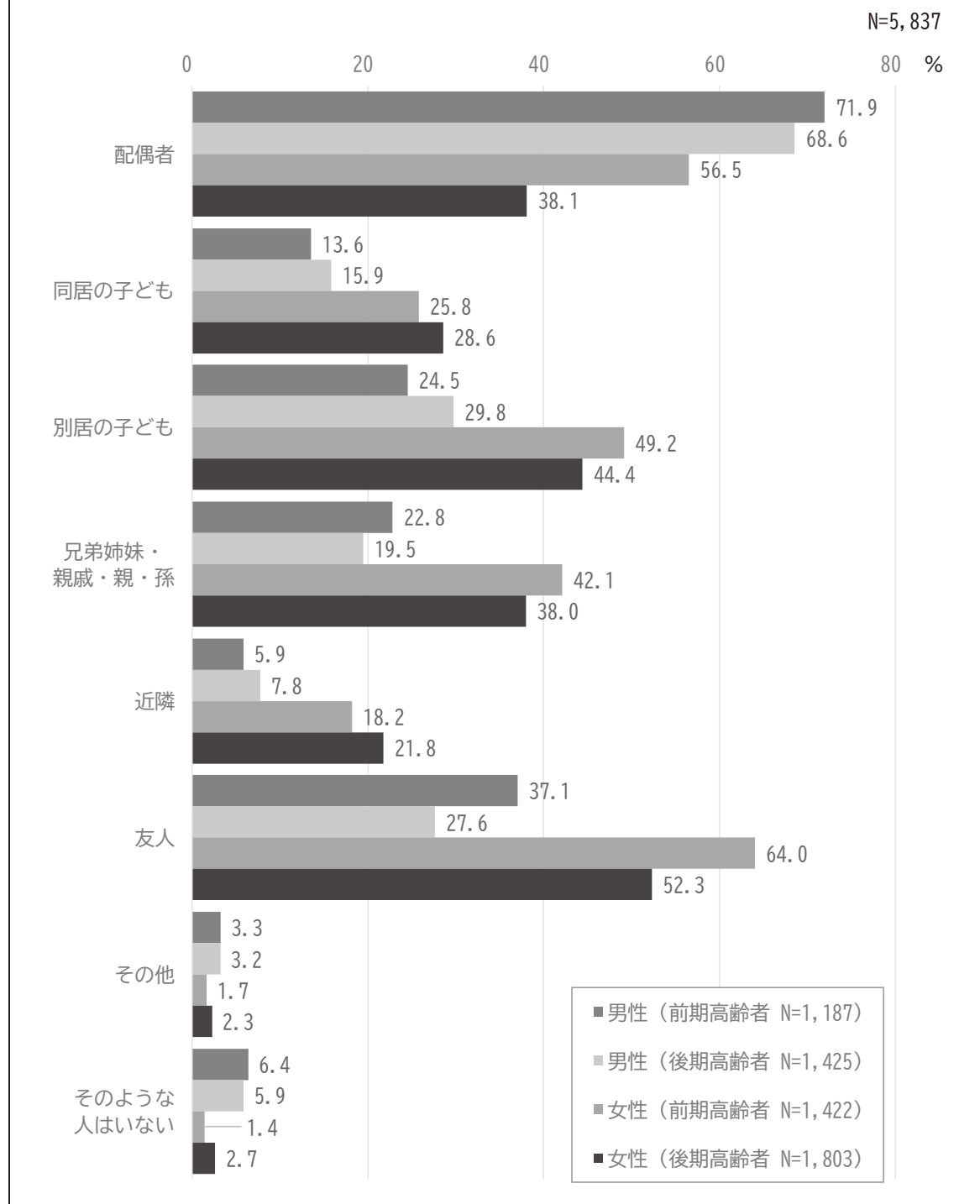
### 1 支え合い

#### ① 自分の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

自分の心配事や愚痴を聞いてくれる人については、前期後期高齢者ともに男性では「配偶者」が7割程度、女性では「友人」が6割程度と最も高くなっています。

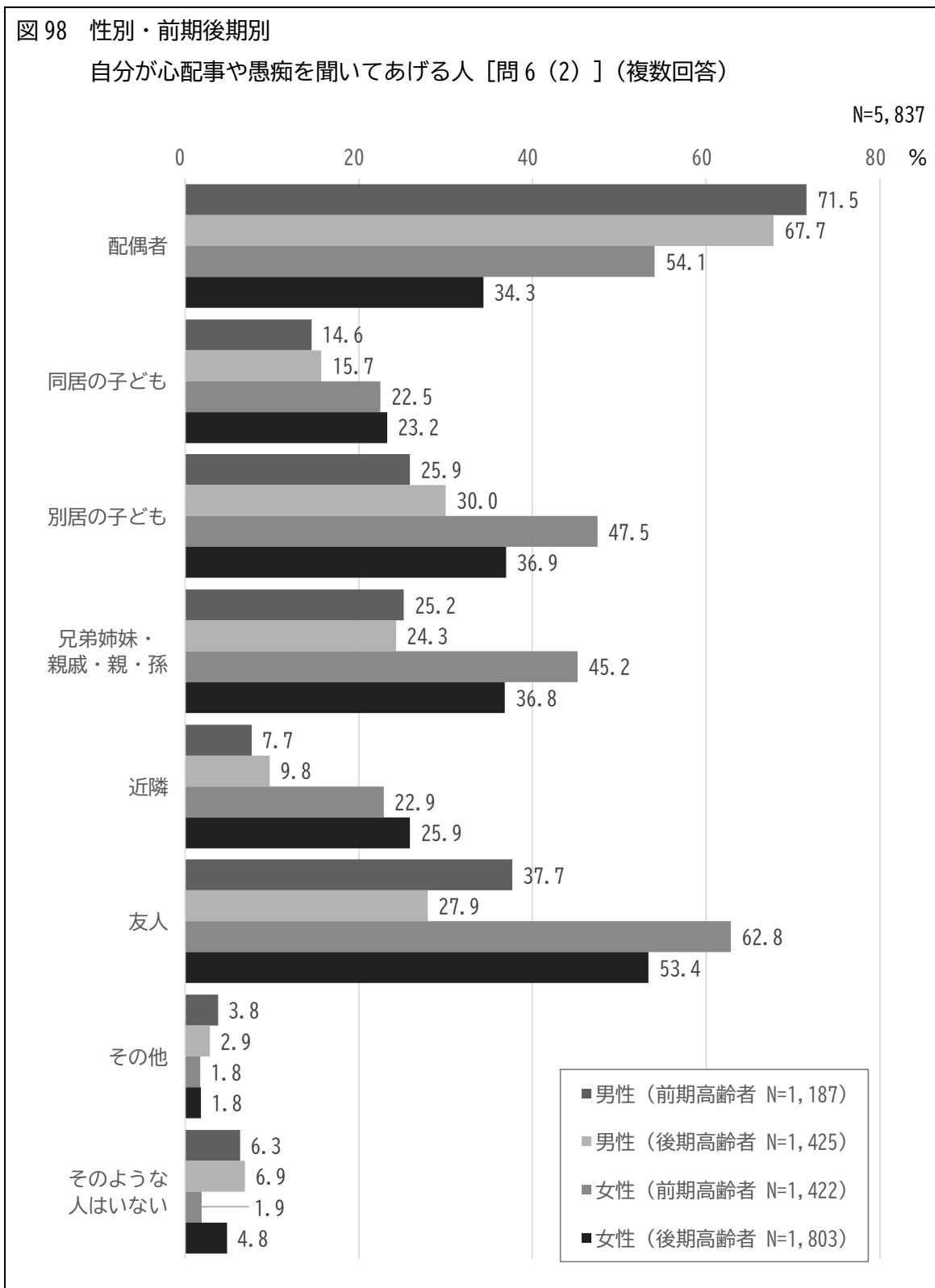
図 97 性別・前期後期別

自分の心配事や愚痴を聞いてくれる人 [問 6 (1)] (複数回答)



② 自分が心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

自分が心配事や愚痴を聞いてあげる人についても、前期後期高齢者ともに男性では「配偶者」が7割程度、女性では「友人」が6割程度と最も高くなっています。

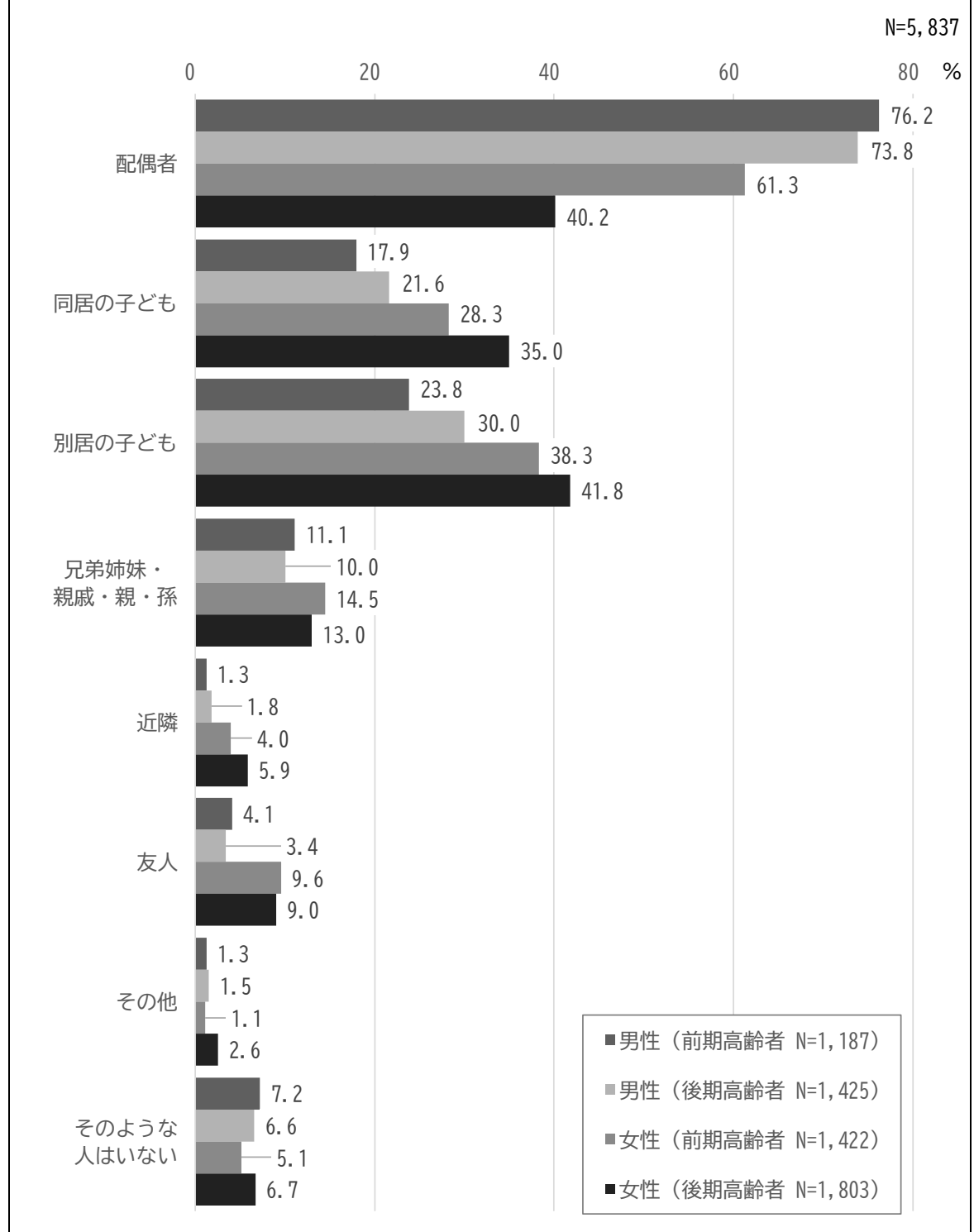


### ③ 自分が病気などの時、看病や世話をしてくれる人

自分が病気などの時、看病や世話をしてくれる人については、前期後期高齢者ともに男性は「配偶者」が7.5割程度と高く、女性の前期高齢者も「配偶者」が61.3%と高いものの、後期高齢者では「別居の子ども」(41.8%)が高くなっています。

図 99 性別・前期後期別

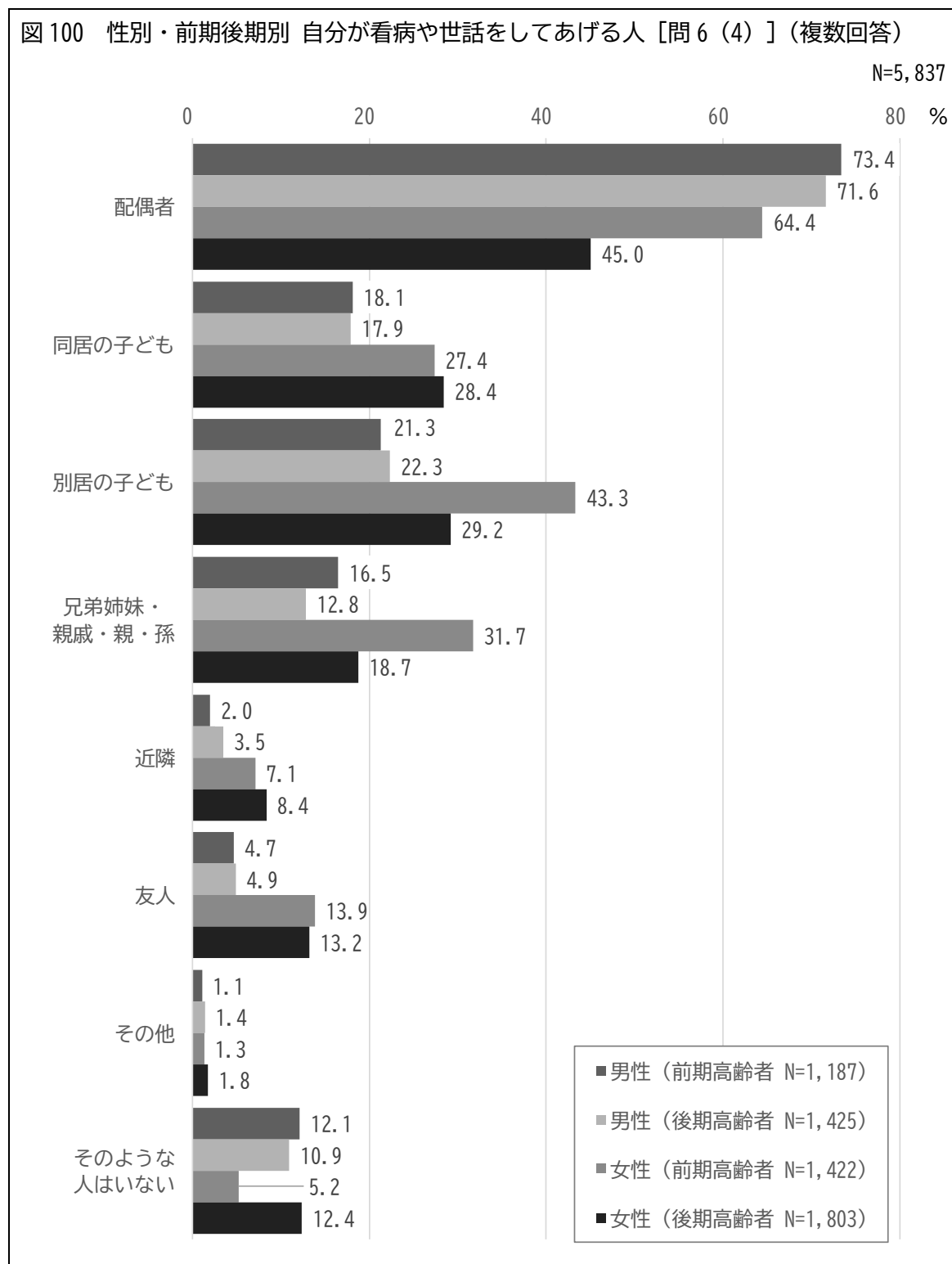
自分が病気などの時、看病や世話をしてくれる人 [問 6 (3)] (複数回答)



#### ④ 自分が看病や世話をしあける人

自分が看病や世話をしあける人については、前期後期高齢者ともに男性は「配偶者」が7割を超え高くなっています。女性は、「配偶者」、「そのような人はいない」を除くすべての項目で男性を上回っています。

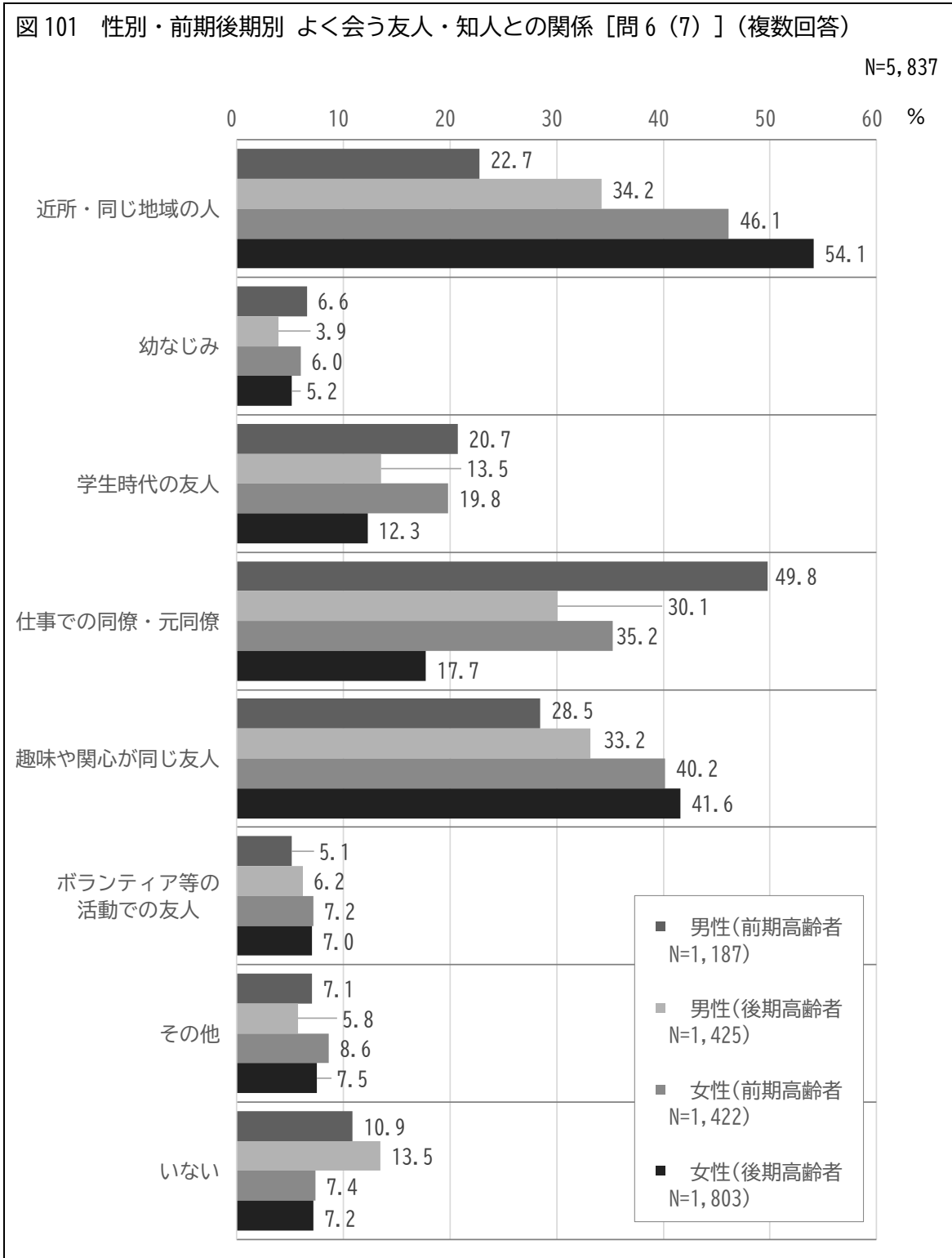
図 100 性別・前期後期別 自分が看病や世話をしあける人 [問 6 (4)] (複数回答)





## 2 よく会う友人・知人との関係

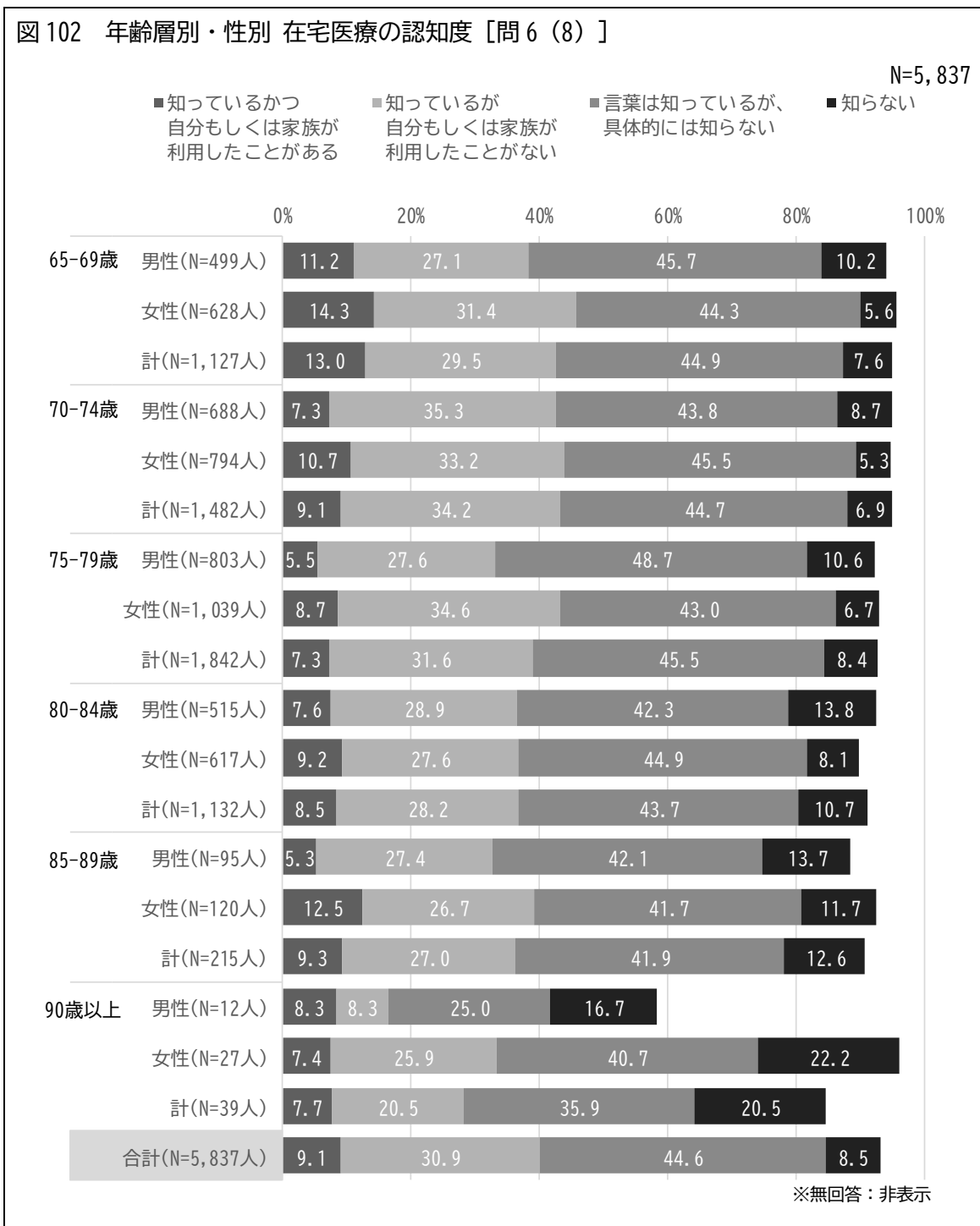
よく会う友人・知人との関係については、男性は、前期高齢者では「仕事での同僚・元同僚」が49.8%と高く、女性では「近所・同じ地域の人」及び「趣味や関心が同じ友人」が高くなっています。



### 3 在宅医療について

#### ① 在宅医療の認知度

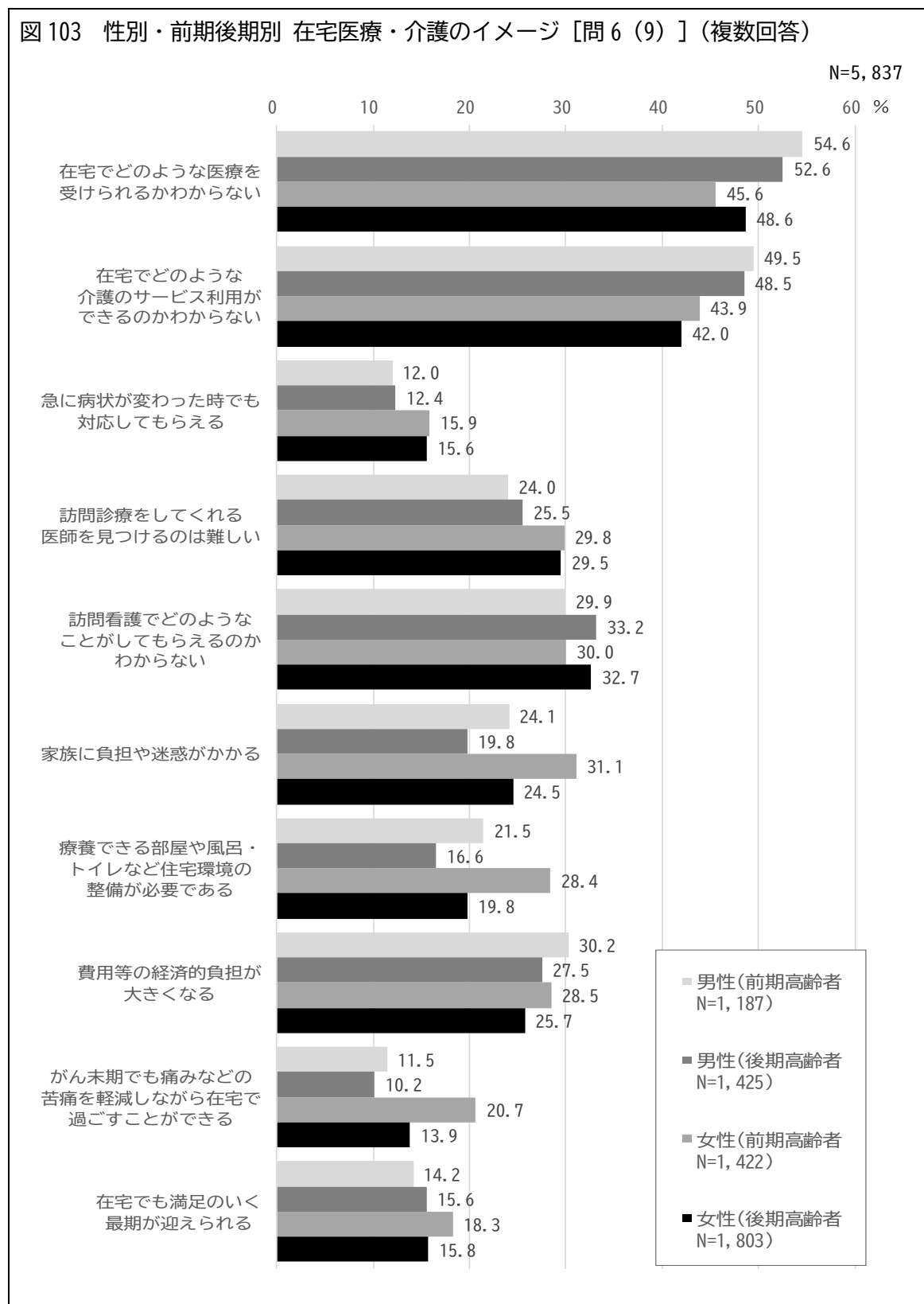
在宅医療についてどの程度知っているかどうかについては、「知っているかつ自分もしくは家族が利用したことがある」、「知っているが自分もしくは家族が利用したことがない」を合わせた『知っている』は、年齢層が上がるにつれて、低くなる傾向があります。



## ② 在宅医療・介護のイメージ

在宅医療・介護を受けることについてのイメージについては、いずれの性別・前期後期高齢者も「在宅でどのような医療を受けられるかわからない」、「在宅でどのような介護のサービス利用ができるかわからない」が5割前後と高くなっています。

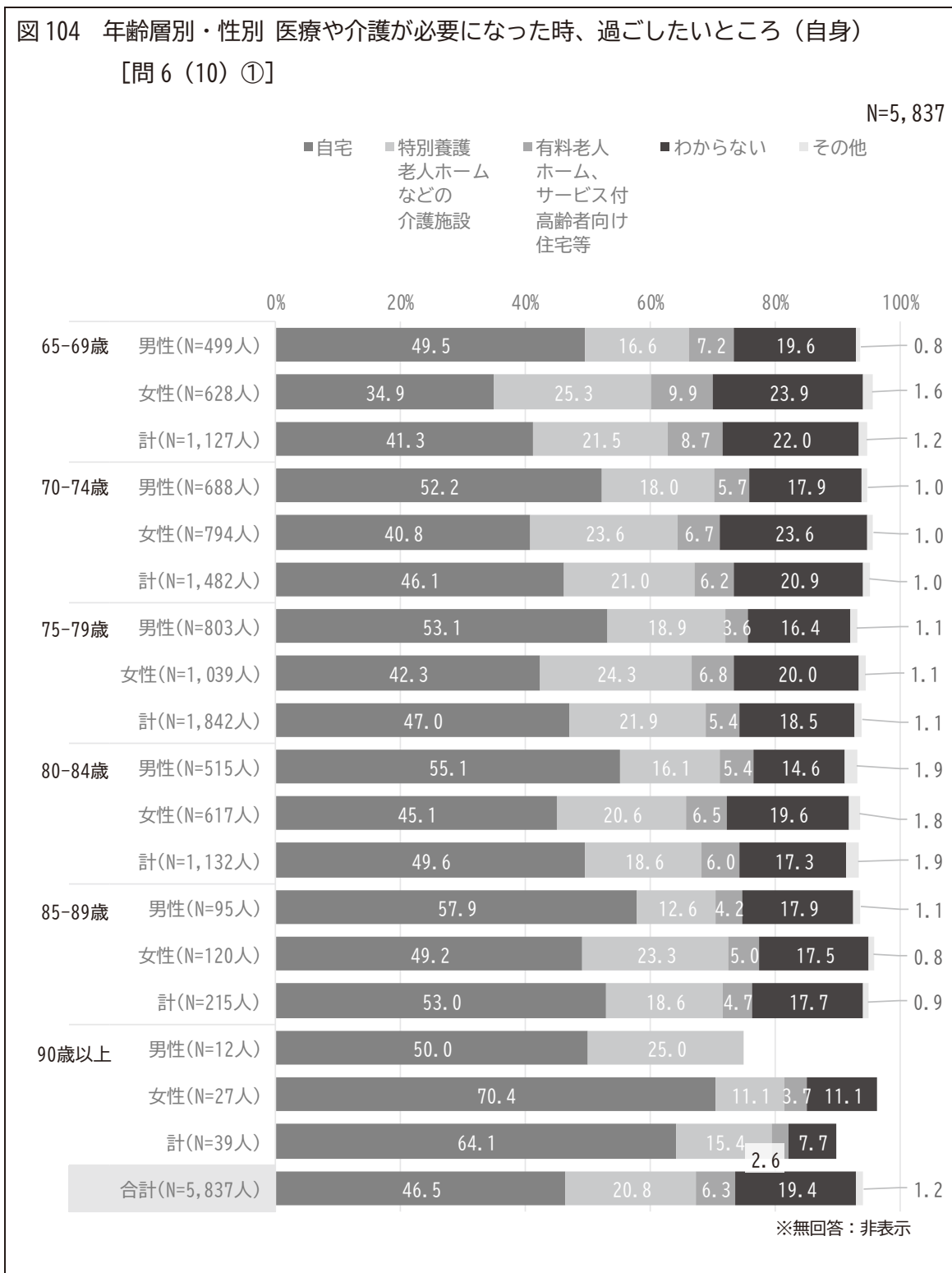
図 103 性別・前期後期別 在宅医療・介護のイメージ [問 6 (9)] (複数回答)



## 4 医療・介護の場について

### ① 自身が望む医療・介護の場

自身が医療や介護が必要になった時、過ごしたいところについては、いずれの年齢層別・性別ともに「自宅」が最も高くなっていますが、特に女性では「90歳以上」が70.4%、男性では「85-89歳」が57.9%と高くなっています。



## ② 家族に望む医療・介護の場

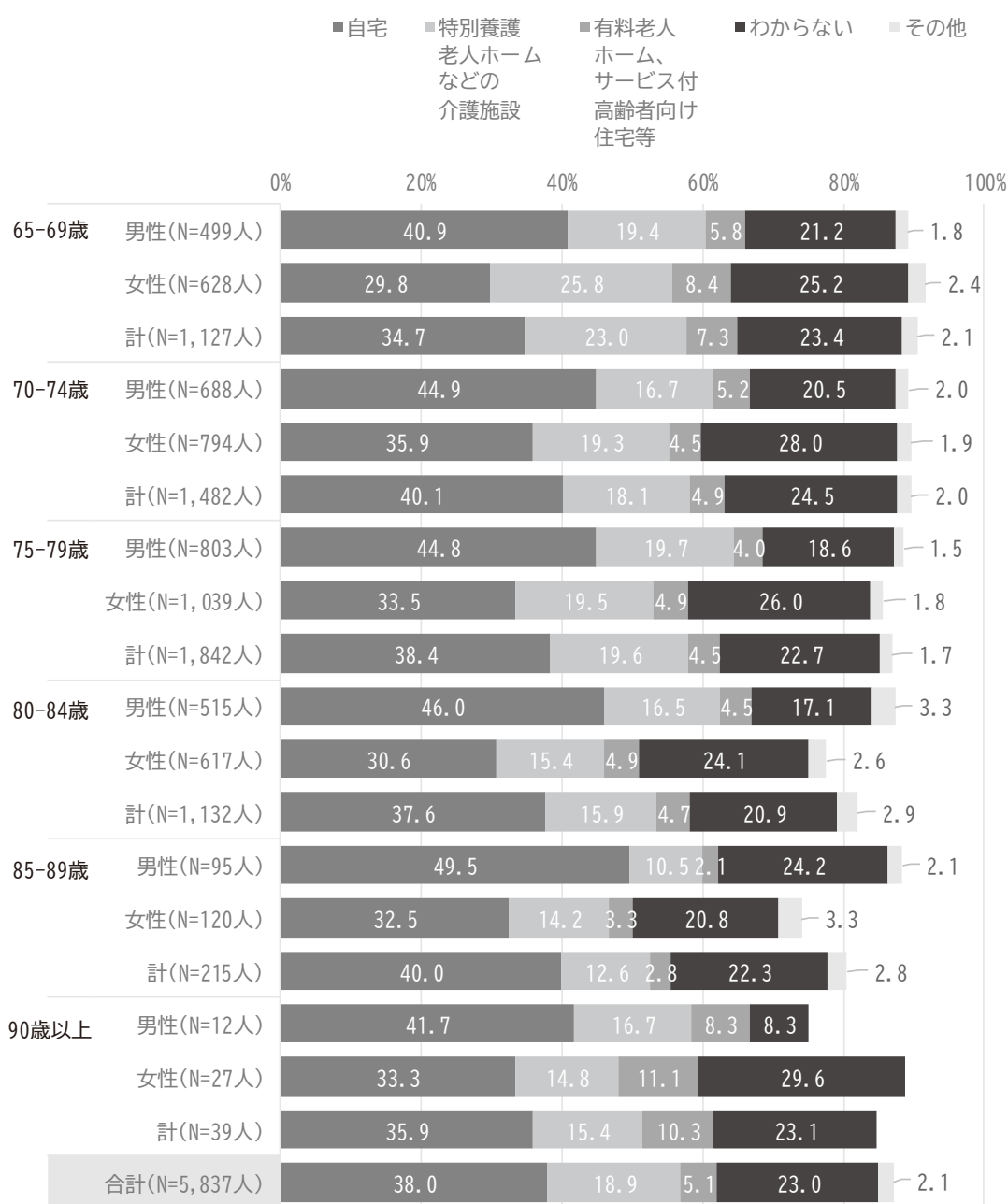
家族が医療や介護が必要になった時、過ごしてもらいたいところについても、いずれの年齢層別・性別ともに「自宅」が4割前後と最も高くなっています。

図 105 年齢層別・性別

医療や介護の必要になった時、過ごしてもらいたいところ（家族）

[問 6 (10) ②]

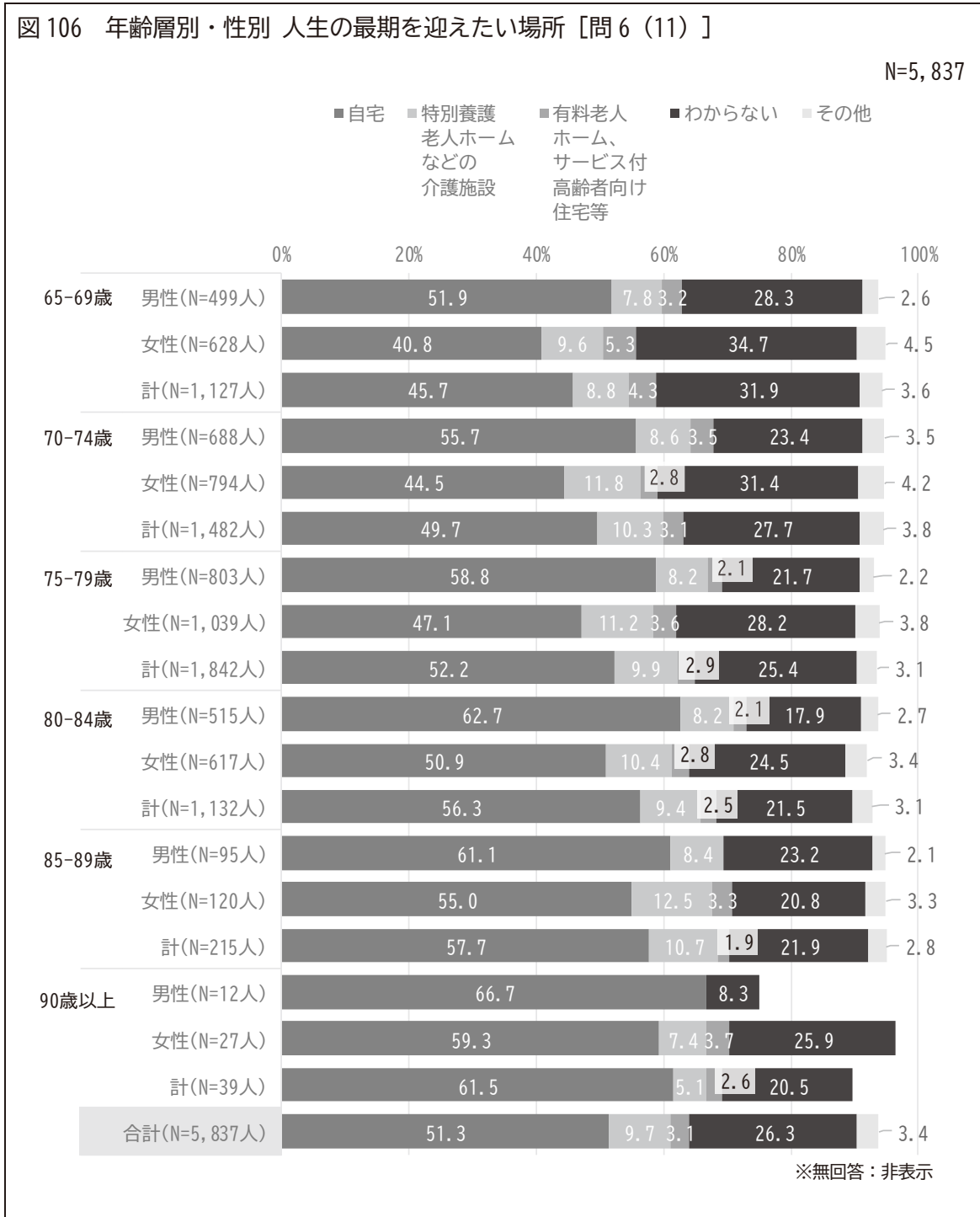
N=5,837



※無回答：非表示

### ③ 人生の最期を迎えたい場所

人生の最期を迎えたい場所については、いずれの年齢層別・性別ともに「自宅」が5割前後と高く、特に男性は女性よりもすべての年齢層において高くなっています。

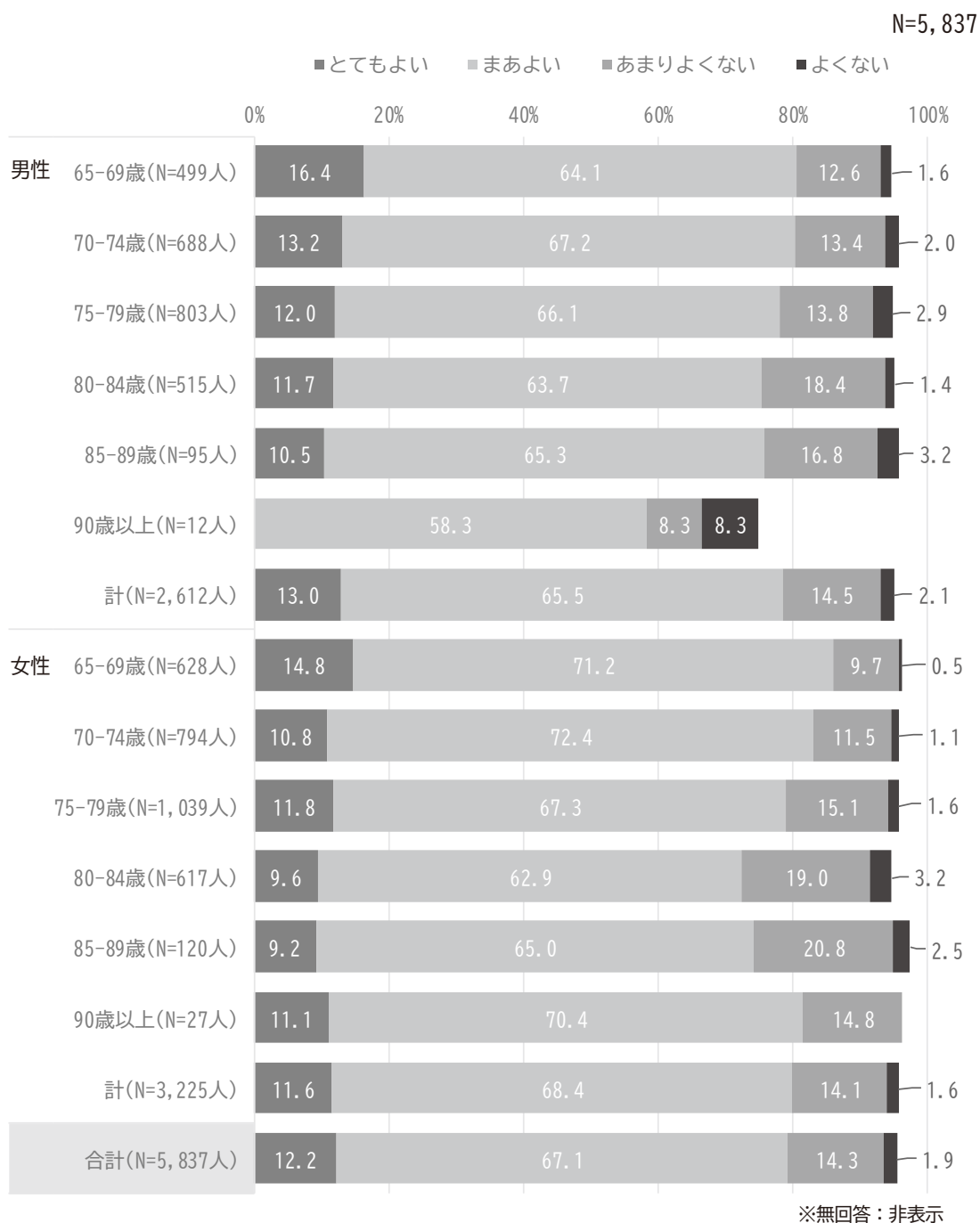


# テーマ7 健康

## 1 主観的健康感

主観的健康感については、性別・年齢層別では、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』は、年齢が上がるにつれて、男女ともに高くなる傾向がみられます。

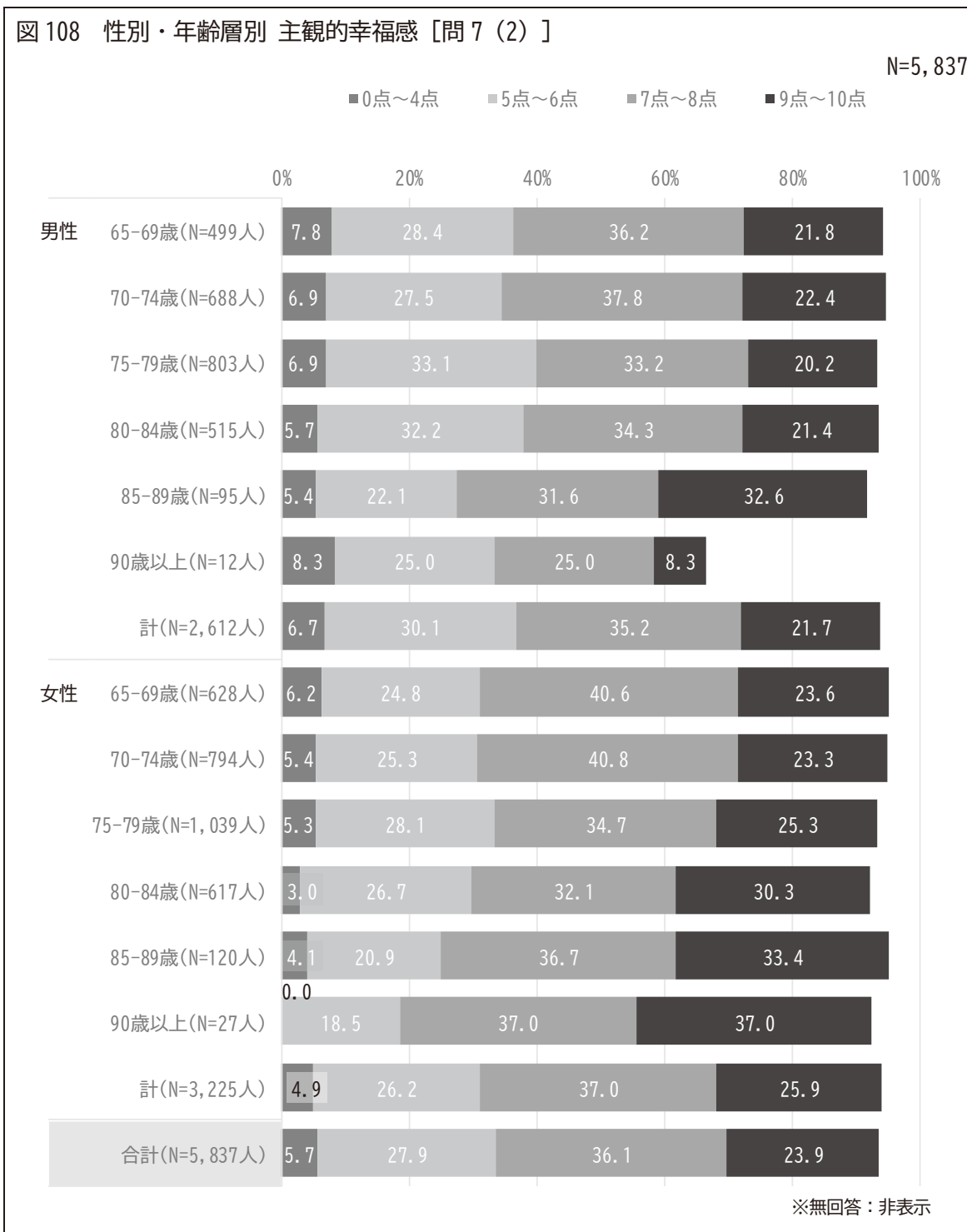
図 107 性別・年齢層別 主観的健康感 [問 7 (1)]



## 2 主観的幸福感

現在の幸福度※については、「9点～10点」は、90歳以上の男性を除くいずれの性別・年齢層別でも2割を超えています。特に男性の85-89歳、女性の85歳以上は、3割を超え高くなっています。

※幸福度：(0点=とても不幸)～(10点=とても幸せ)

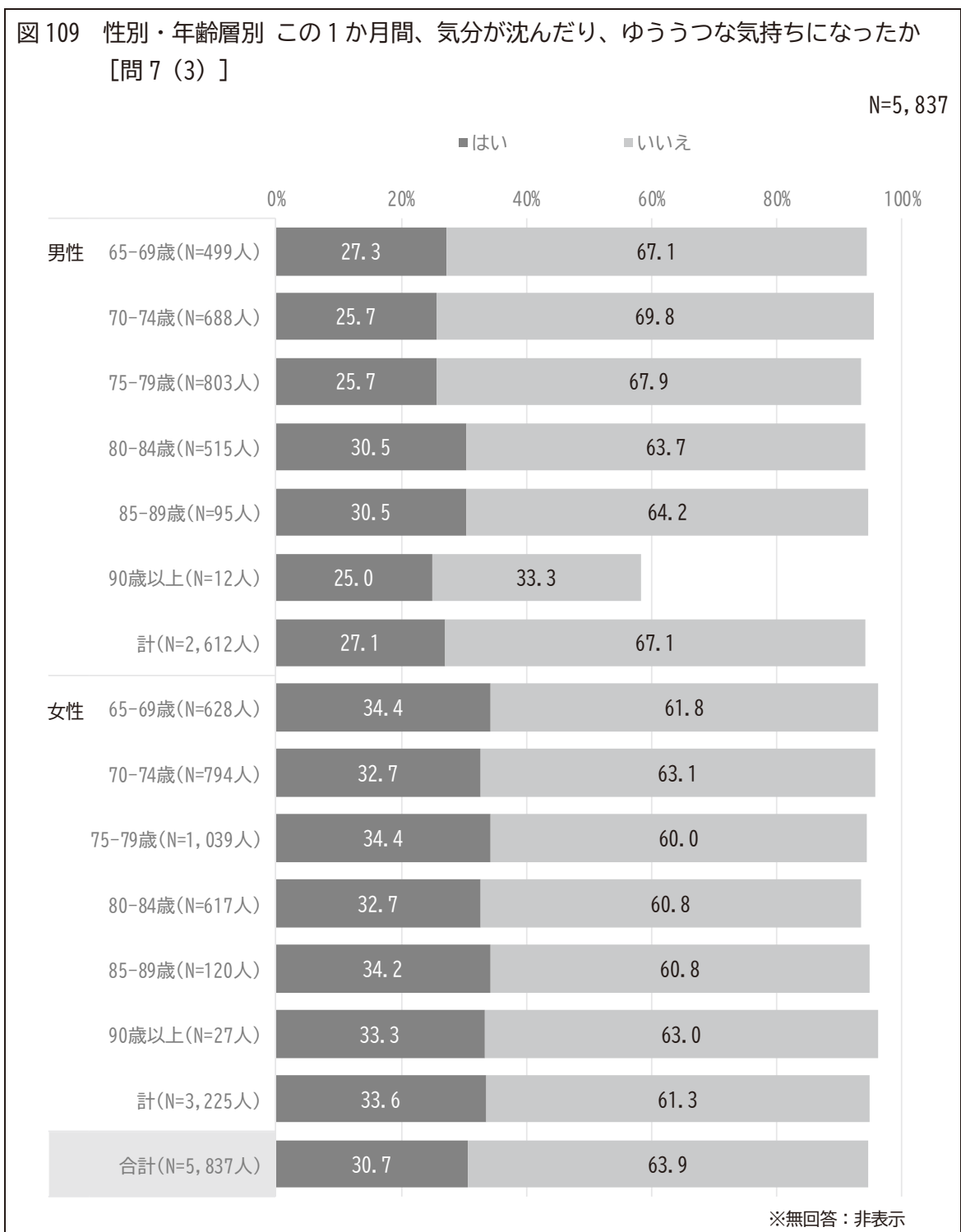




### 3 うつ傾向

#### ① 気分が沈んだり、ゆううつな気持ち

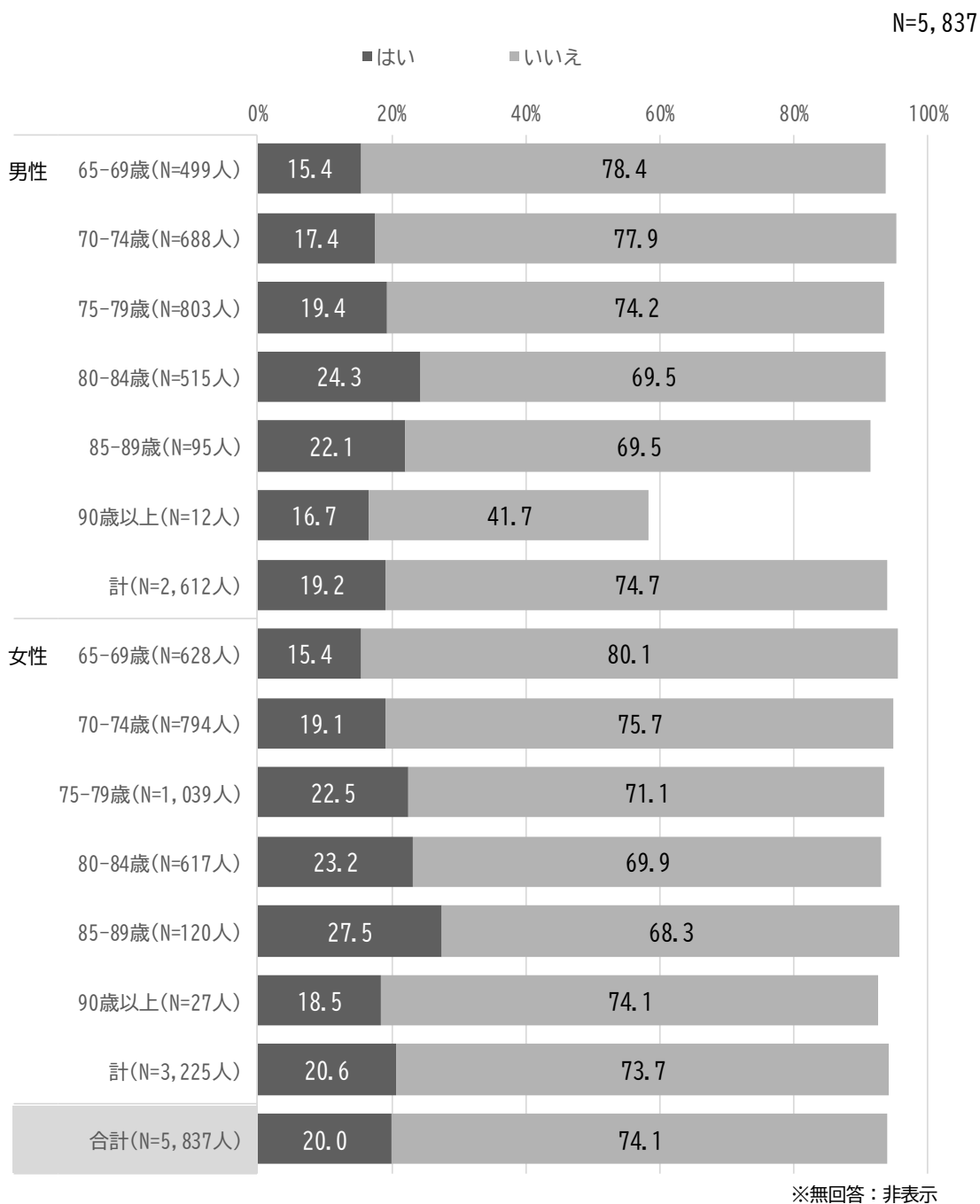
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったかどうかについては、性別では男性は27.1%、女性は33.6%と女性の方が高くなっています。



## ② 物事に興味がわからない

この1か月間、物事に対して興味がわからないあるいは心から楽しめない感じがよくあったかどうかについては、性別では大きな違いはみられませんが、年齢層があがるにつれて、「はい」が高くなる傾向がみられます。

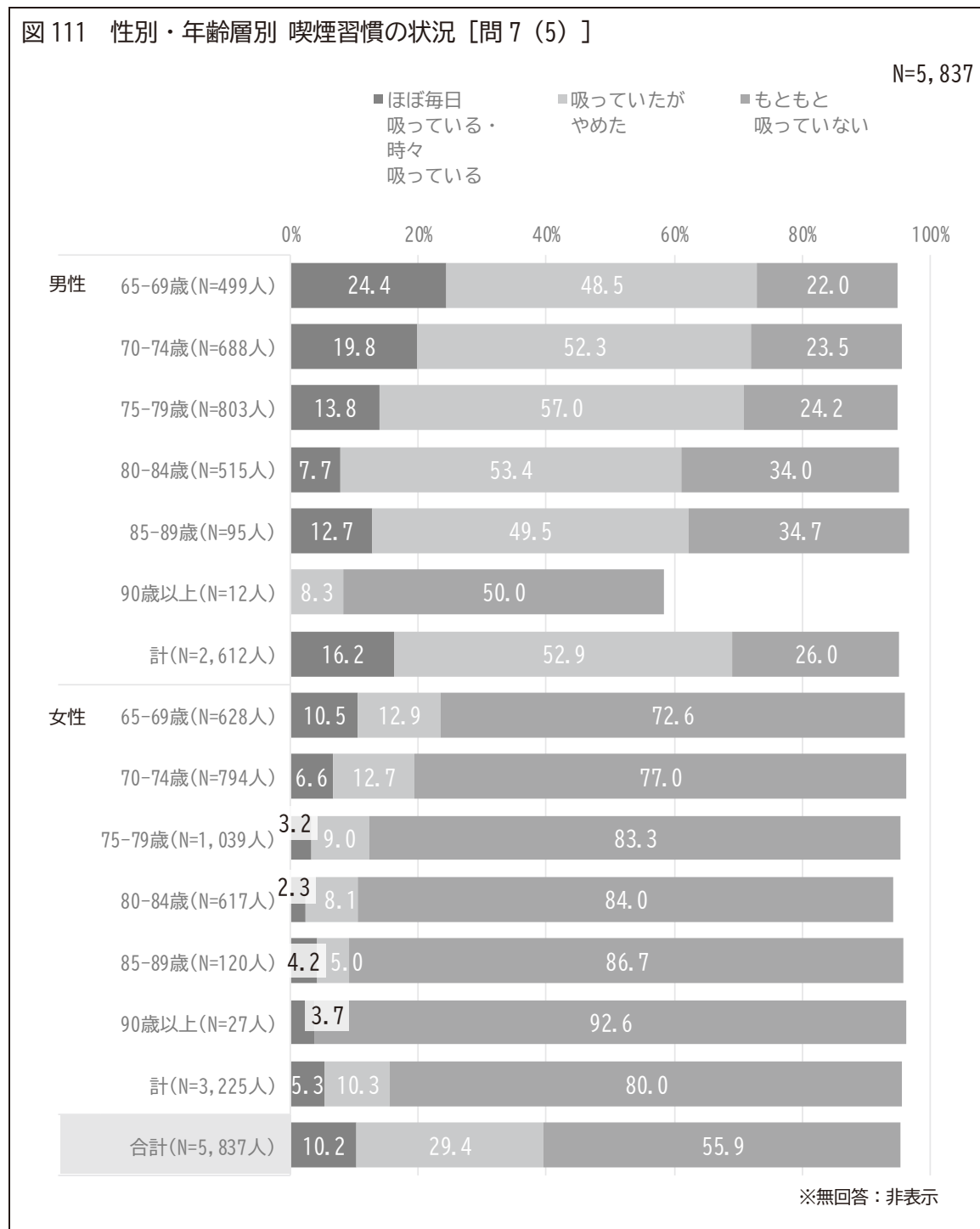
図 110 性別・年齢層別 この1か月間、物事に対して興味がわからない  
あるいは心から楽しめない感じがよくあったか [問 7 (4)]



## 4 喫煙習慣

喫煙習慣については、男性の65歳から89歳までの年齢層で「吸っていたがやめた」が5割程度となっています。女性では各年齢層で「もともと吸っていない」が8割程度となっています。また、「ほぼ毎日吸っている・時々吸っている」は男女とも年齢層が上がるにつれて、低くなる傾向があります。

図 111 性別・年齢層別 喫煙習慣の状況 [問 7 (5)]



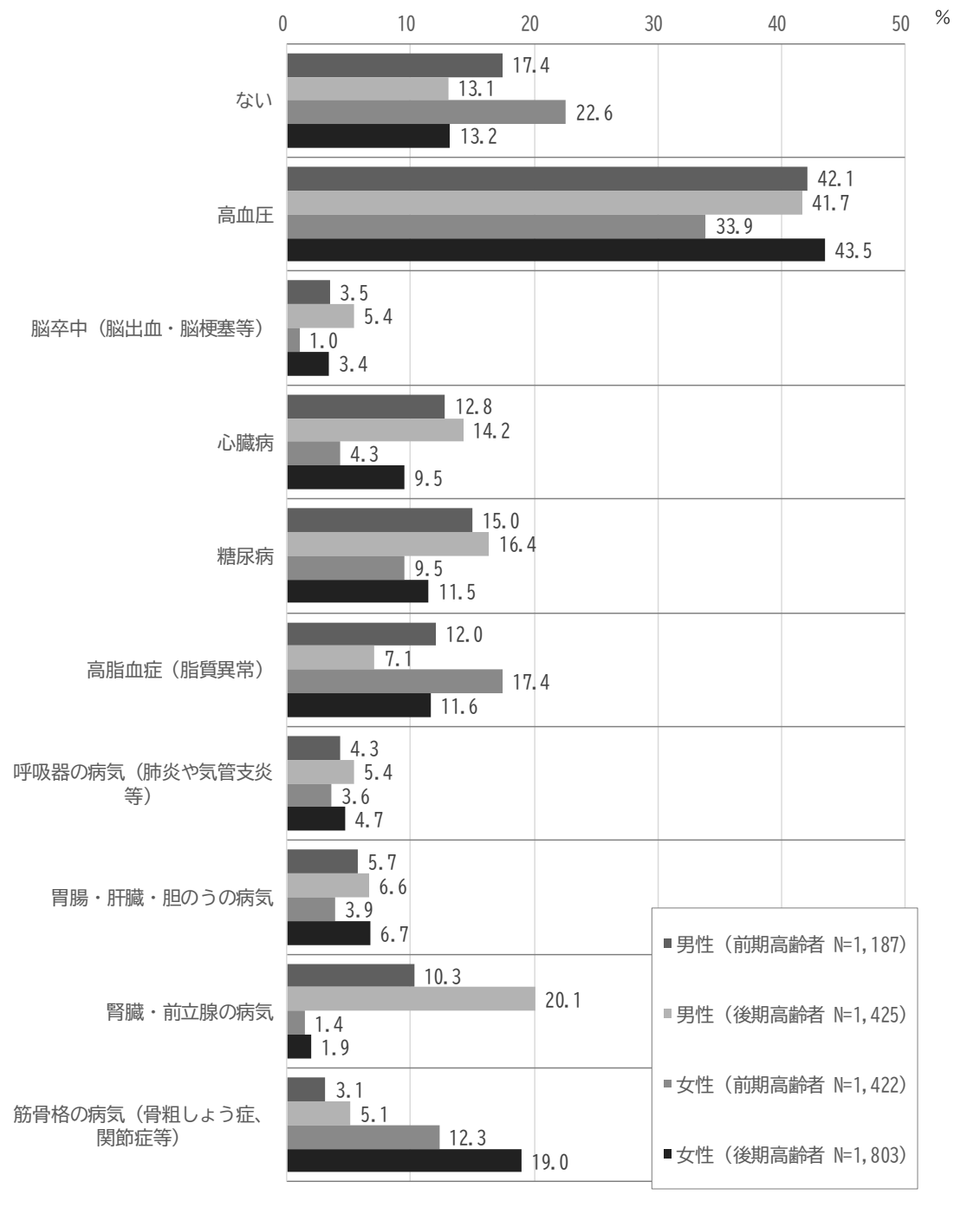
## 5 現在治療中の病気の有無

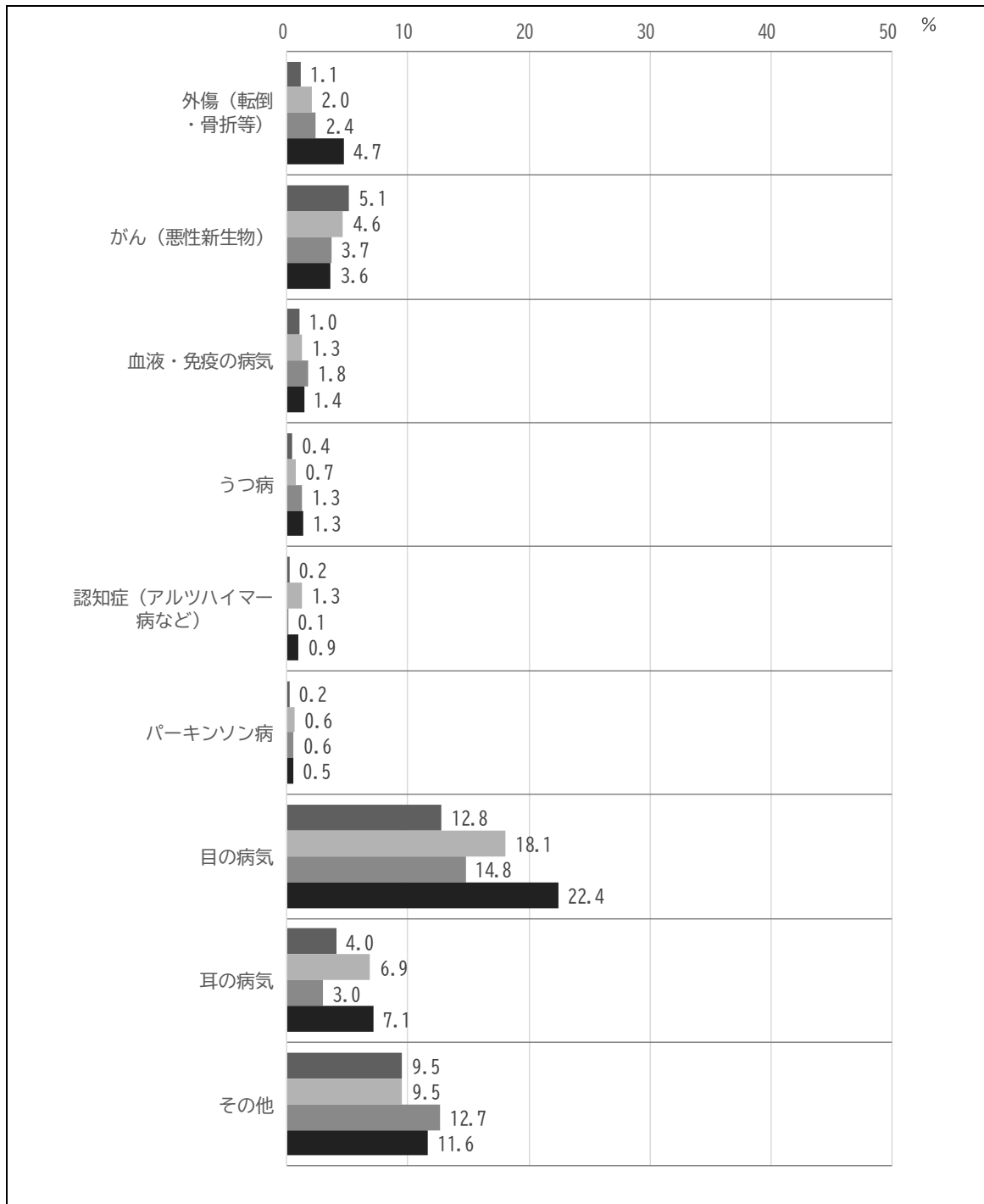
現在治療中、または後遺症のある病気の有無については、いずれの性別・前期後期高齢者も「高血圧」が最も高くなっています。また、「腎臓・前立腺の病気」は男性の後期高齢者が20.1%、「目の病気」は女性の後期高齢者が22.4%と高くなっています。

図 112 性別・前期後期別

現在治療中、または後遺症のある病気の有無 [問 7 (6)] (複数回答)

N=5,837



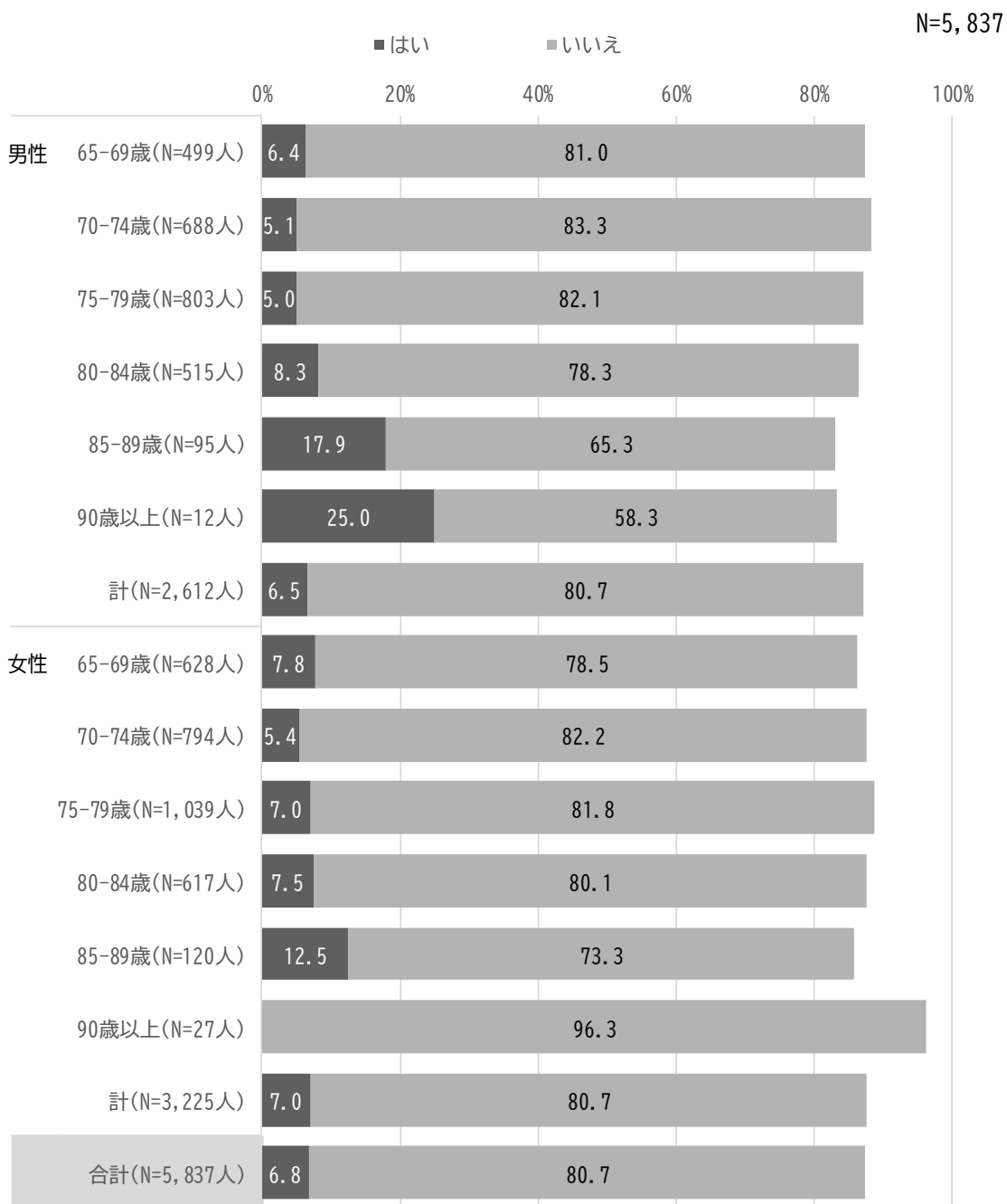


## テーマ8 認知症相談窓口

### ① 本人又は家族の認知症の症状の有無

あなたや家族に認知症の症状がある人がいるかどうかについては、「男性 85-89 歳」、「男性 90 歳以上」、「女性 85-89 歳」で「はい」が高くなっています。

図 113 性別・年齢層別 本人又は家族の認知症の症状の有無 [問 8 (1)]

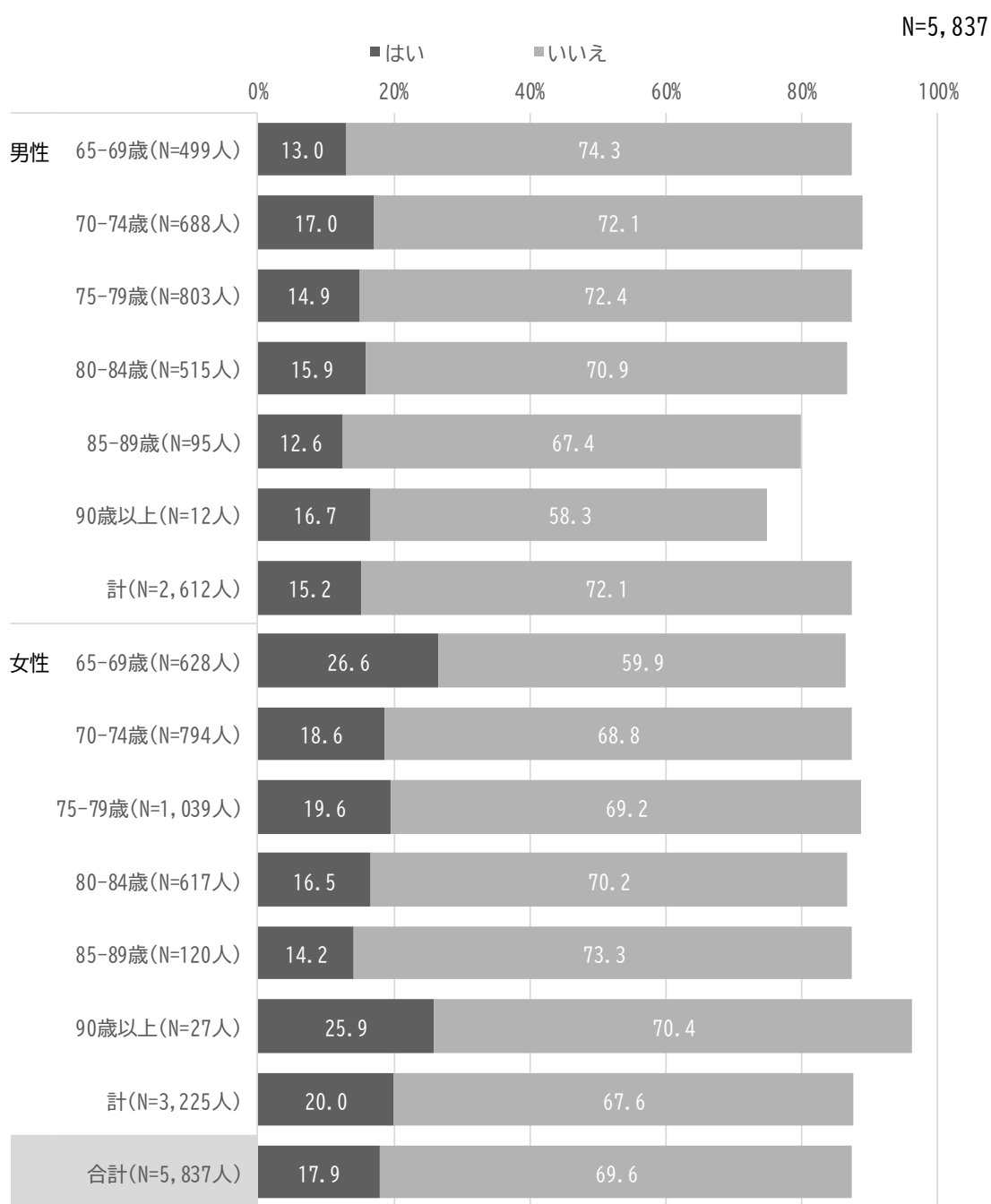


※無回答：非表示

## ② 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っているかどうかについては、いずれの性別・年齢層別ともに「いいえ（知らない）」が、6～7割程度と高くなっています。

図 114 性別・年齢層別 認知症に関する相談窓口を知っているか [問 8 (2)]

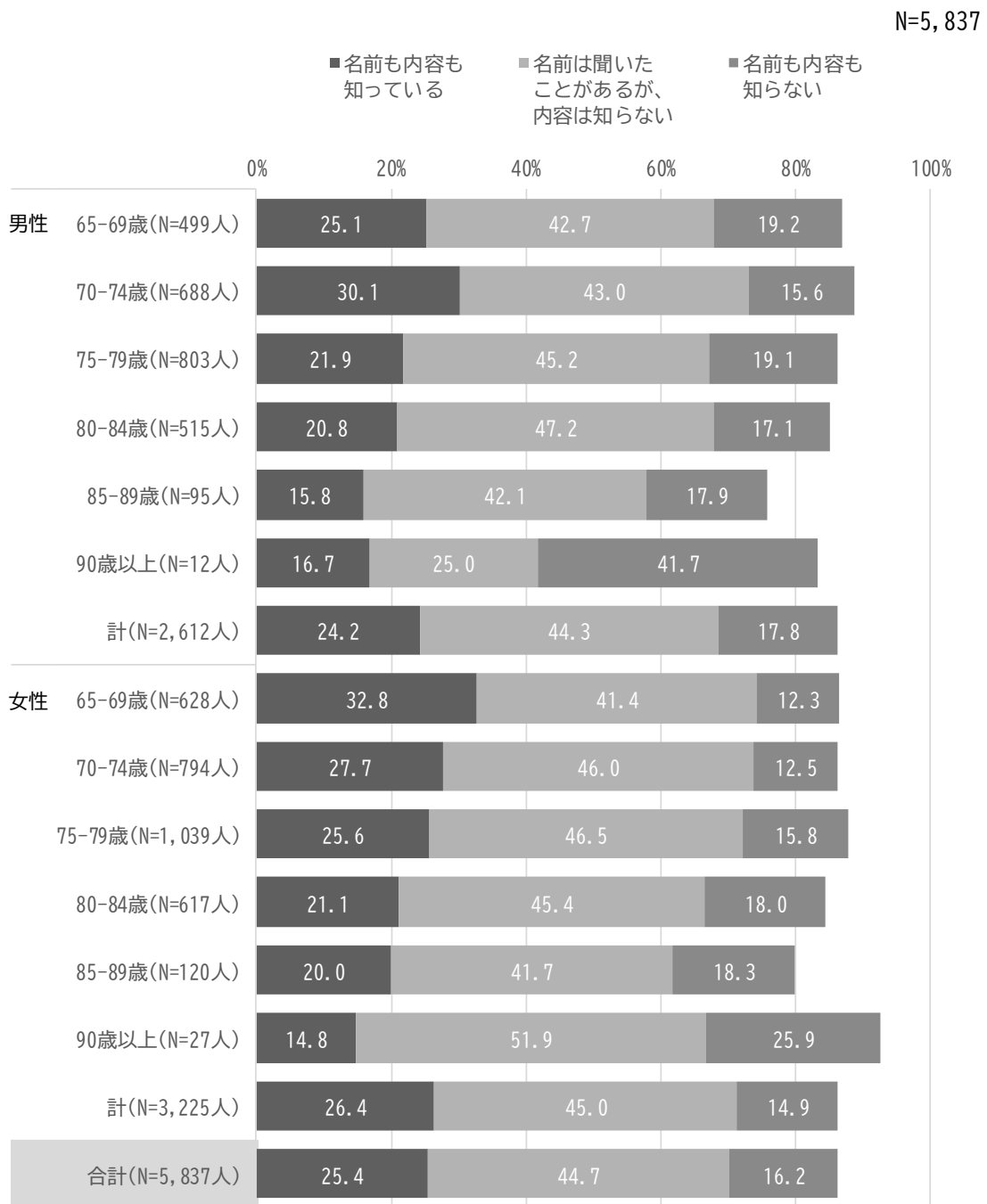


## テーマ9 成年後見制度

### ① 成年後見制度の認知度

成年後見制度の認知度については、いずれの性別・年齢層別ともに「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた『知らない』は、6割程度と高くなっています。

図 115 性別・年齢層別 成年後見制度の認知度 [問 9 (1)]



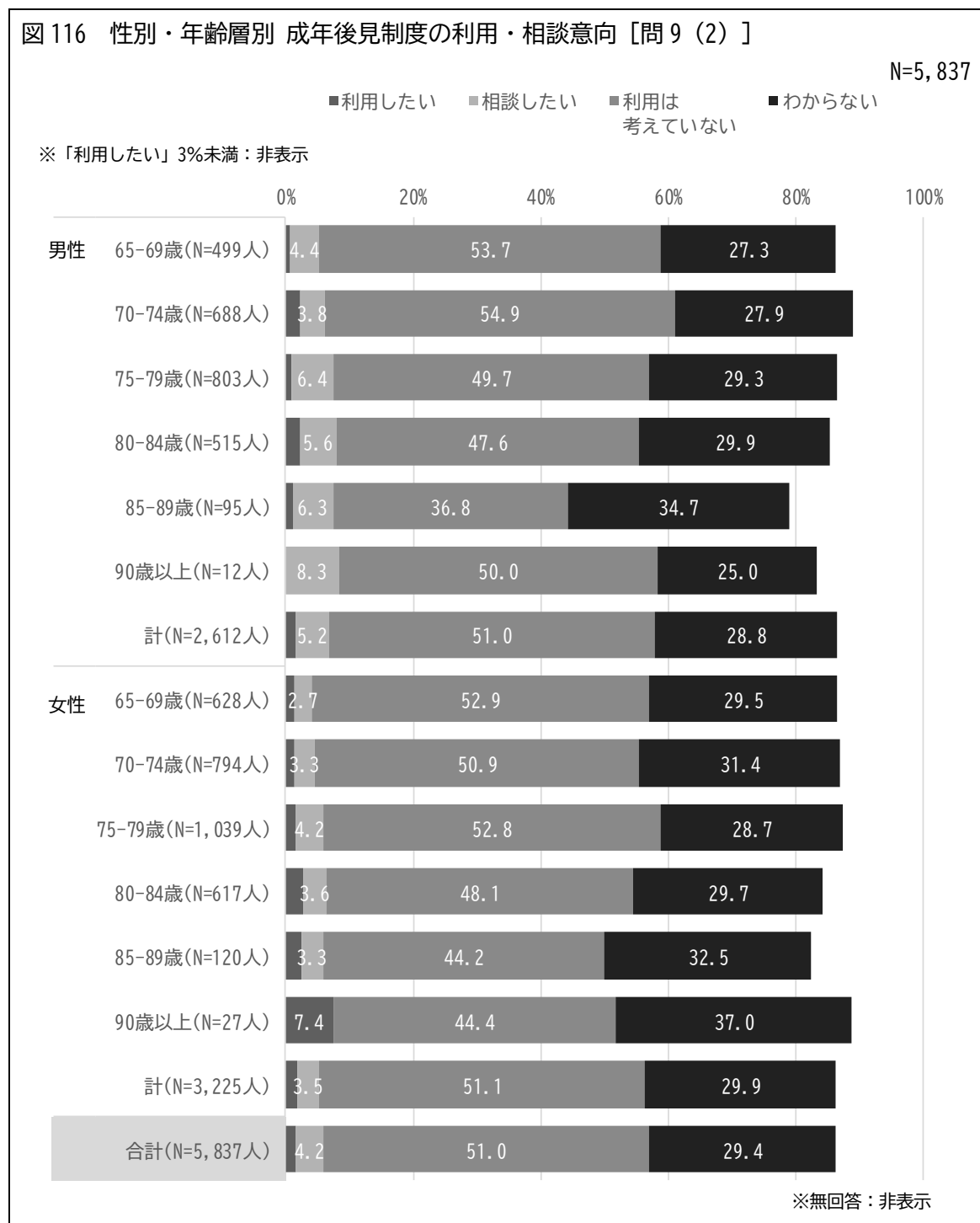
※無回答：非表示



## ② 成年後見制度の利用・相談意向

成年後見制度の利用・相談意向については、いずれの性別・年齢層別ともに「利用したい」と「相談したい」は1割以下と非常に低くなっています。また、「利用は考えていない」は、4～5割程度と高くなっています。

図 116 性別・年齢層別 成年後見制度の利用・相談意向 [問 9 (2)]



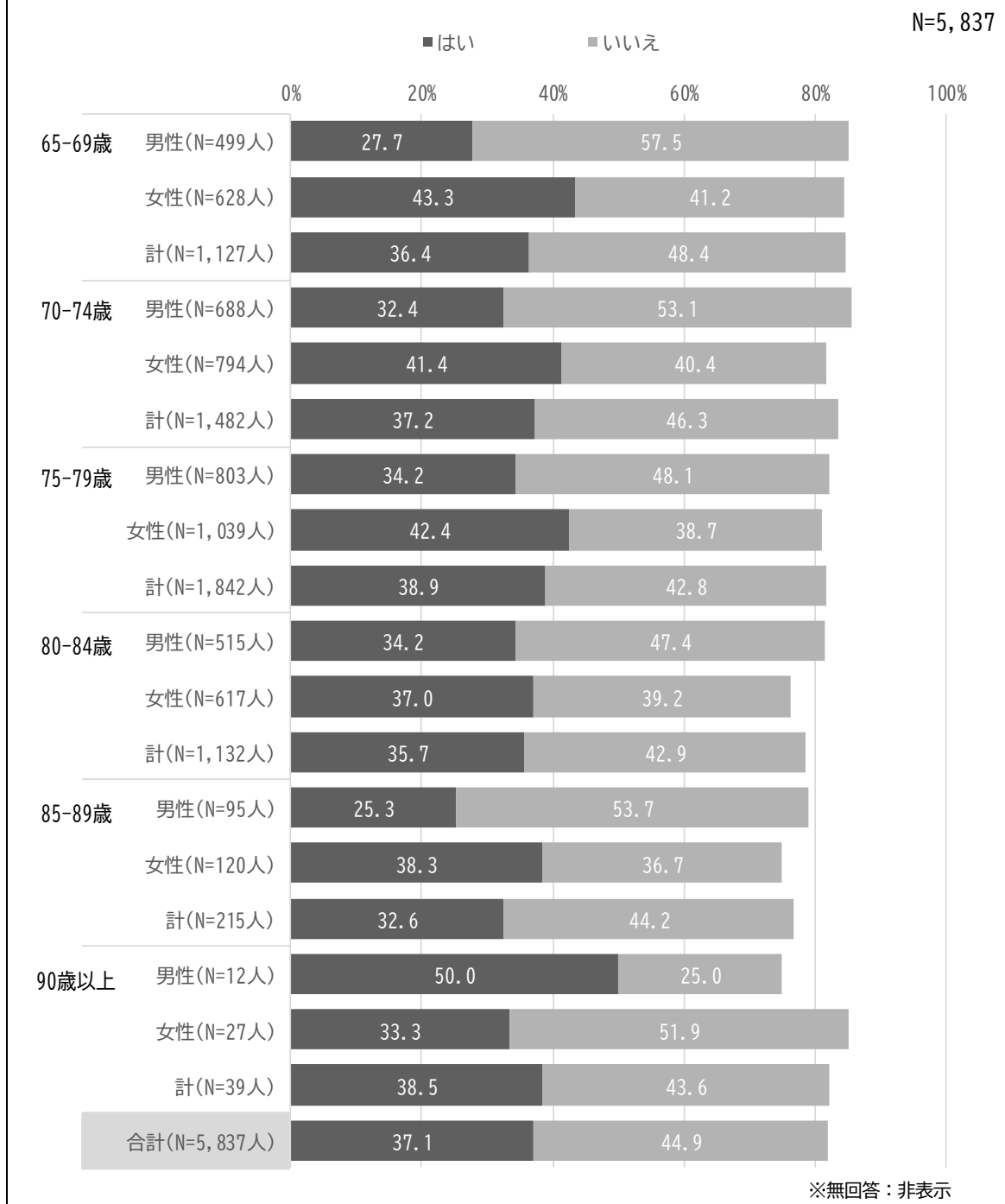
## テーマ 10 介護予防

### 1 介護予防への取り組み

#### ① 介護予防への取り組みの有無

現在、介護予防に取り組んでいるかどうかについては、各年齢層で「はい」が3割程度となっています。また、90歳以上を除くいずれの性別・年齢層別ともに、「はい」は男性より女性の方が高くなっています。

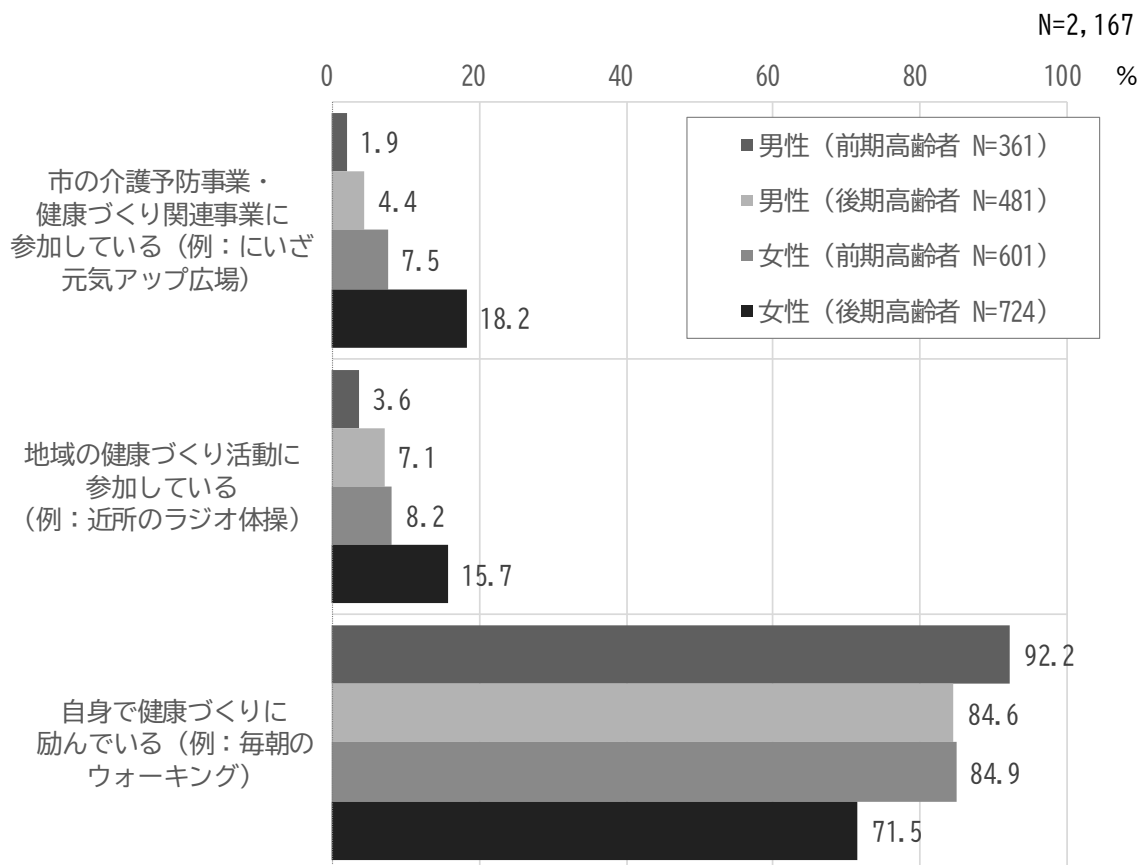
図 117 年齢層別・性別 介護予防への取り組みの有無 [問 10 (1)]



## ② 介護予防の取り組み内容

問10(1)で「はい(自身で介護予防に取り組んでいる)」と回答した人の「介護予防の取り組み内容」については、いずれの性別・前期後期高齢者も「自身で健康づくりに励んでいる」が最も高くなっていますが、男女ともに前期高齢者の方が後期高齢者よりも高くなっています。また、「市の介護予防事業・健康づくり関連事業に参加している」、「地域の健康づくり活動に参加している」は、女性の後期高齢者で高くなっています。

図118 性別・前期後期別 介護予防の取り組み内容 [問10(1)①] (複数回答)

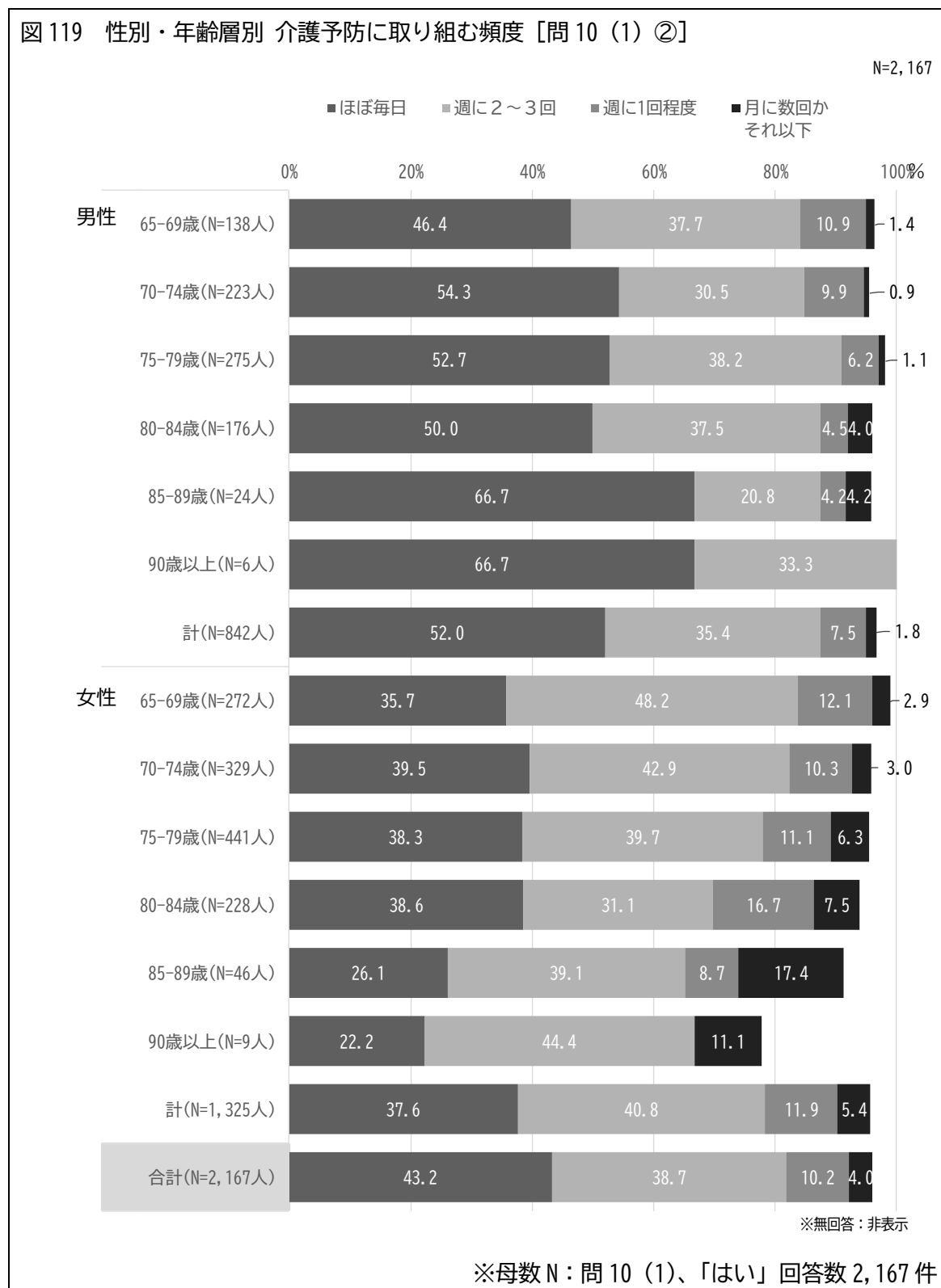


※母数N: 問10(1)、「はい」回答数2,167件

### ③ 介護予防取り組みの頻度

介護予防に取り組む頻度については、性別では「ほぼ毎日」は男性が52.0%と女性の37.6%より高くなっています。一方「週に2~3回」は女性が40.8%と男性の35.4%より高くなっています。

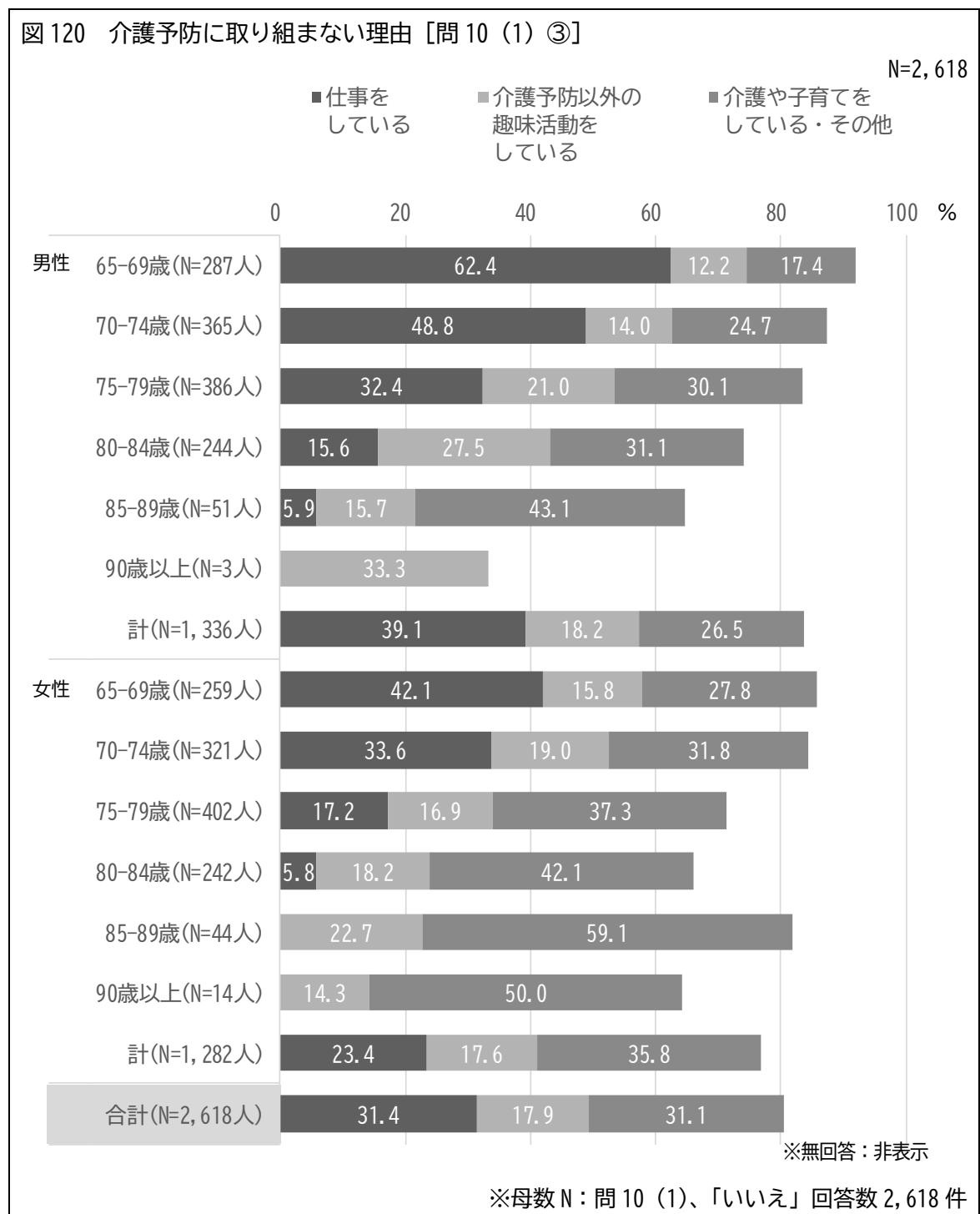
図 119 性別・年齢層別 介護予防に取り組む頻度 [問 10 (1) ②]



#### ④ 介護予防に取り組まない理由

問 10 (1) で「いいえ (自身で介護予防に取り組んでいない)」と回答した人の「介護予防に取り組まない理由」については、「仕事をしている」は男性が 39.1%と女性の 23.4%より高くなっています。特に 65 歳から 79 歳までの年齢層で高くなっています。

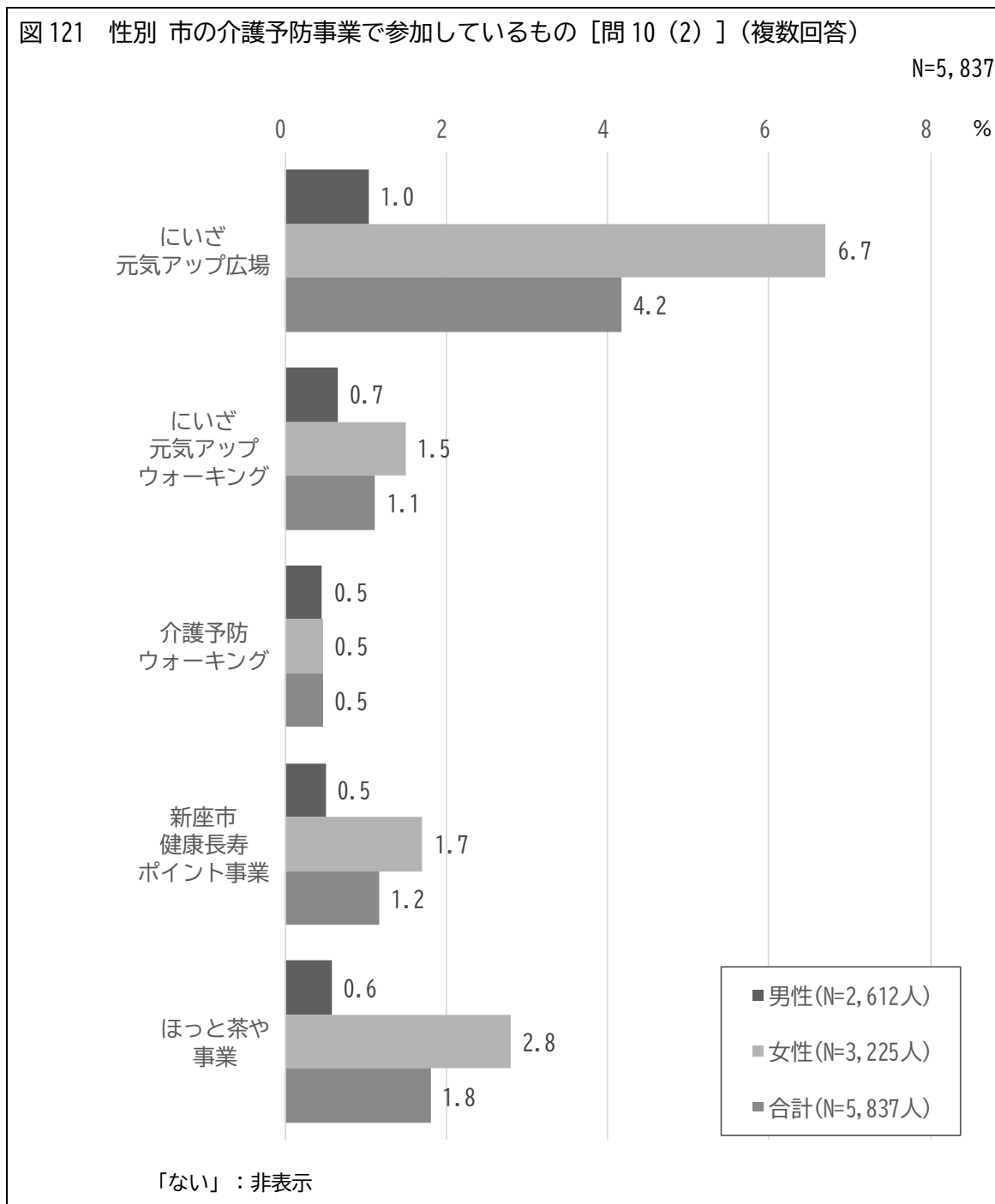
図 120 介護予防に取り組まない理由 [問 10 (1) ③]



### ⑤ 市の介護予防事業への参加

市の介護予防事業への参加については、すべての事業において女性の方が男性より参加率は高くなっています。特に女性は「にいざ元気アップ広場」が6.7%と高くなっています。

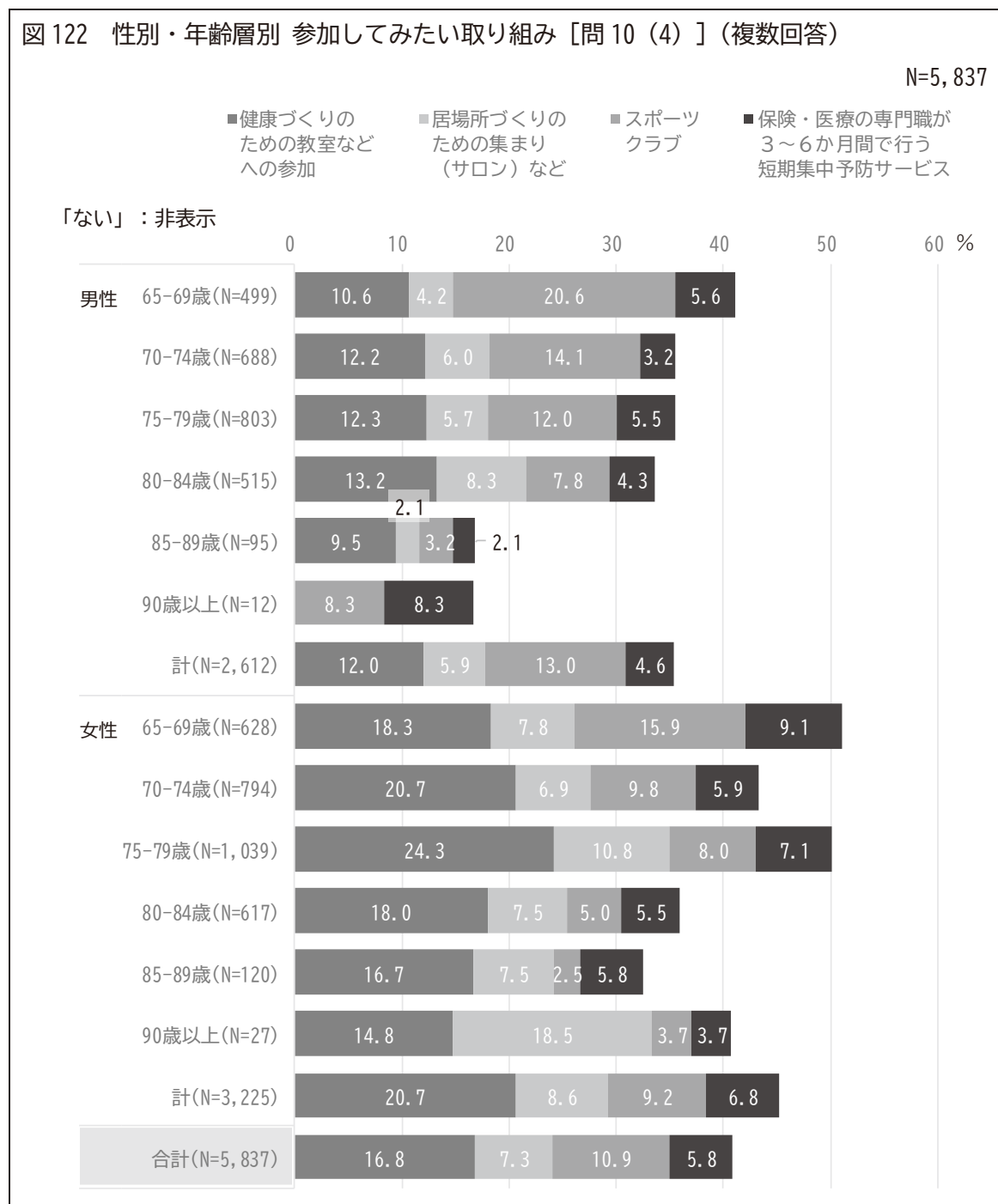
図 121 性別 市の介護予防事業で参加しているもの [問 10 (2)] (複数回答)



## ⑥ 参加してみたい取り組み

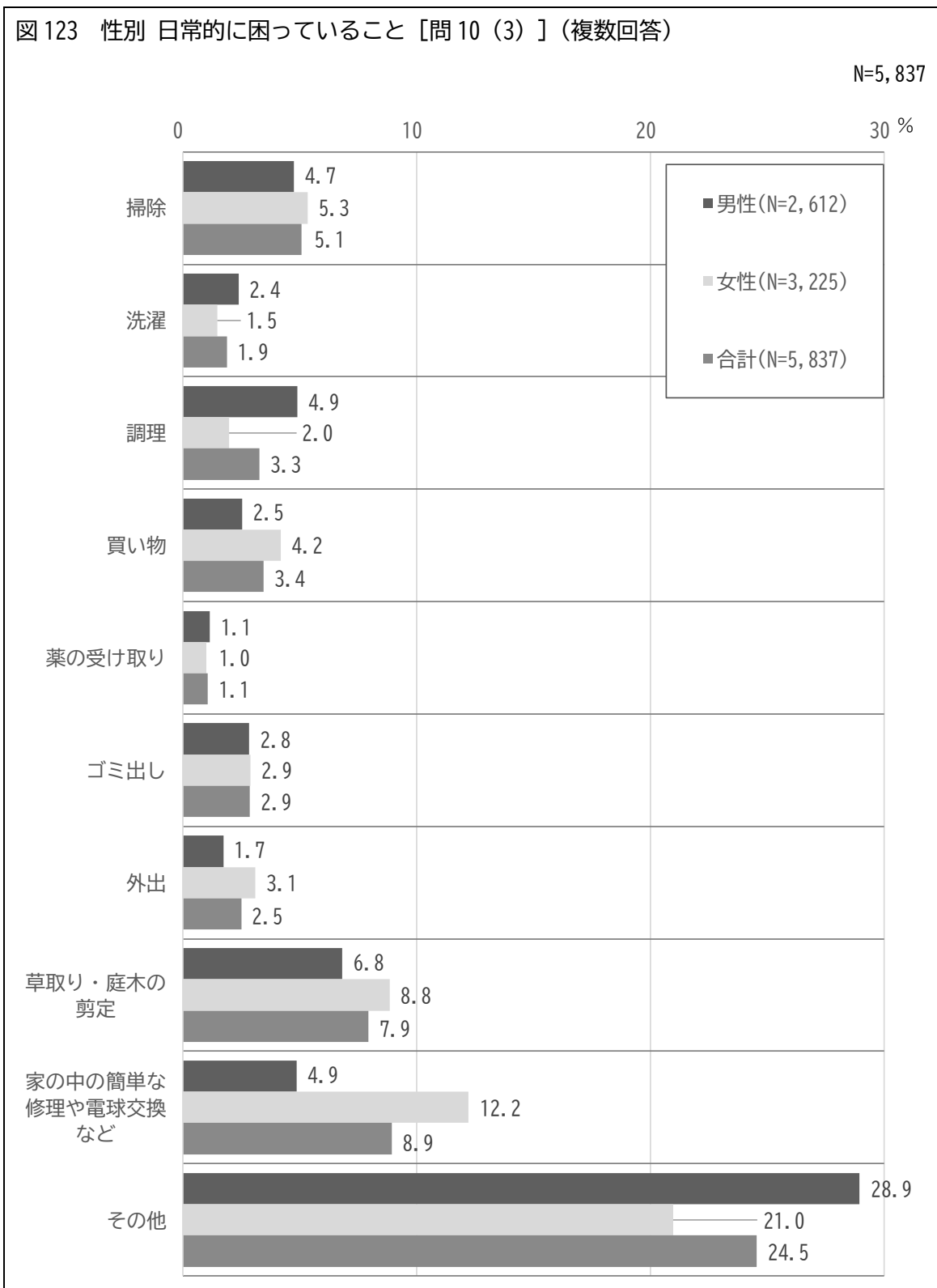
参加してみたい取り組みについては、男性は「スポーツクラブ」が13.0%と女性の9.2%より高くなっています。一方、「健康づくりのための教室などへの参加」、「居場所づくりのための集まり(サロン)など」、「保険・医療の専門職が3～6か月間で行う短期集中予防サービス」は女性の方が男性より高くなっています。また、85歳以上の男性は参加意向が大きく減少しています。

図 122 性別・年齢層別 参加してみたい取り組み [問 10 (4)] (複数回答)



## 2 日常的に困っていること

日常的に困っていることについては、男性は「草取り・庭木の剪定」(6.8%)、「調理」、「家の中の簡単な修理や電球交換など」(ともに4.9%)が上位を占めています。一方、女性は「家の中の簡単な修理や電球交換など」(12.2%)、「草取り・庭木の剪定」(8.8%)が上位を占めています。



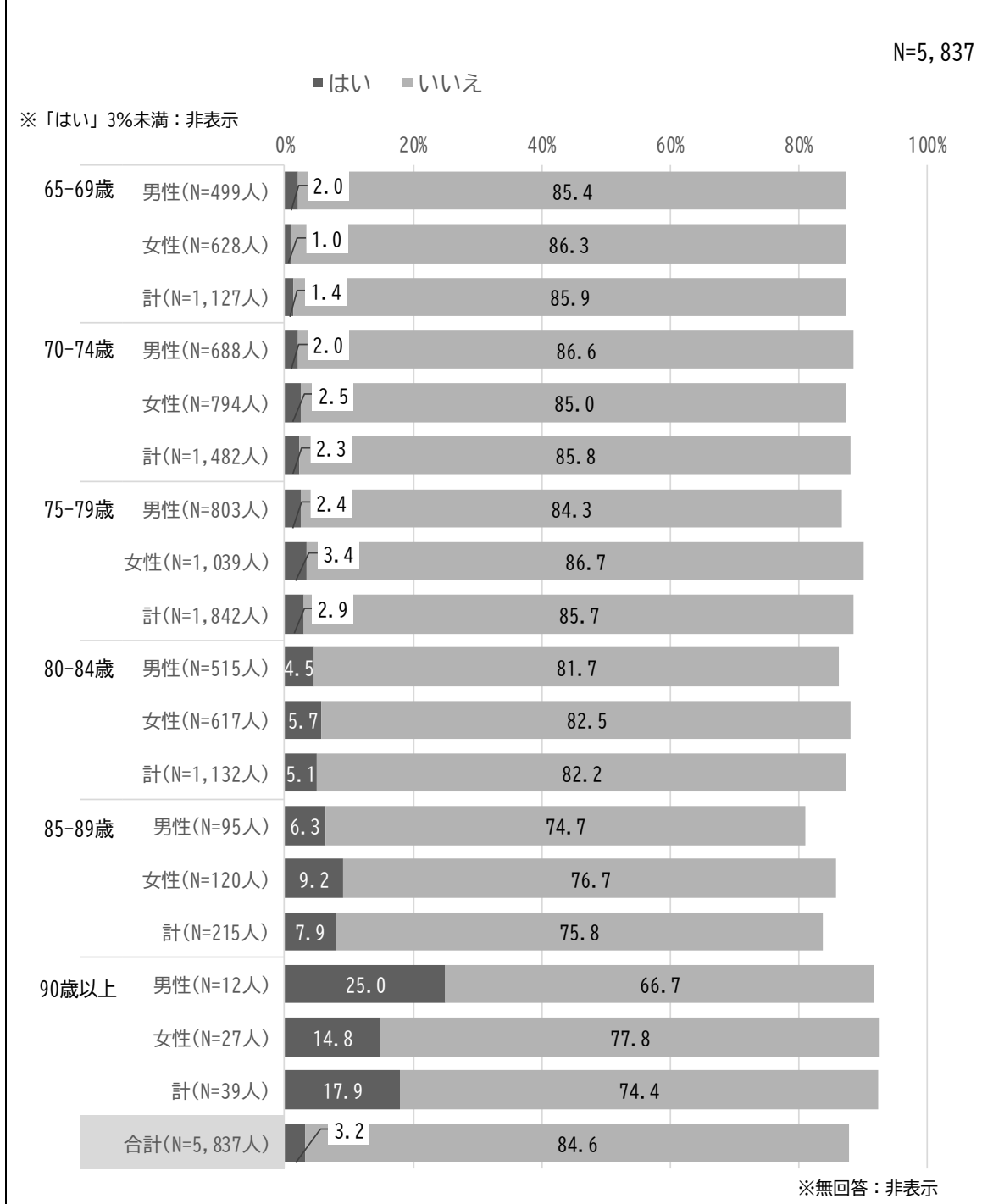


## テーマ 11 介護保険制度

### ① 現在の介護保険サービスの利用の有無

現在の介護保険サービスを利用しているかどうかについては、年齢層が上がるにつれて、「はい（利用している）」が高くなる傾向がみられます。

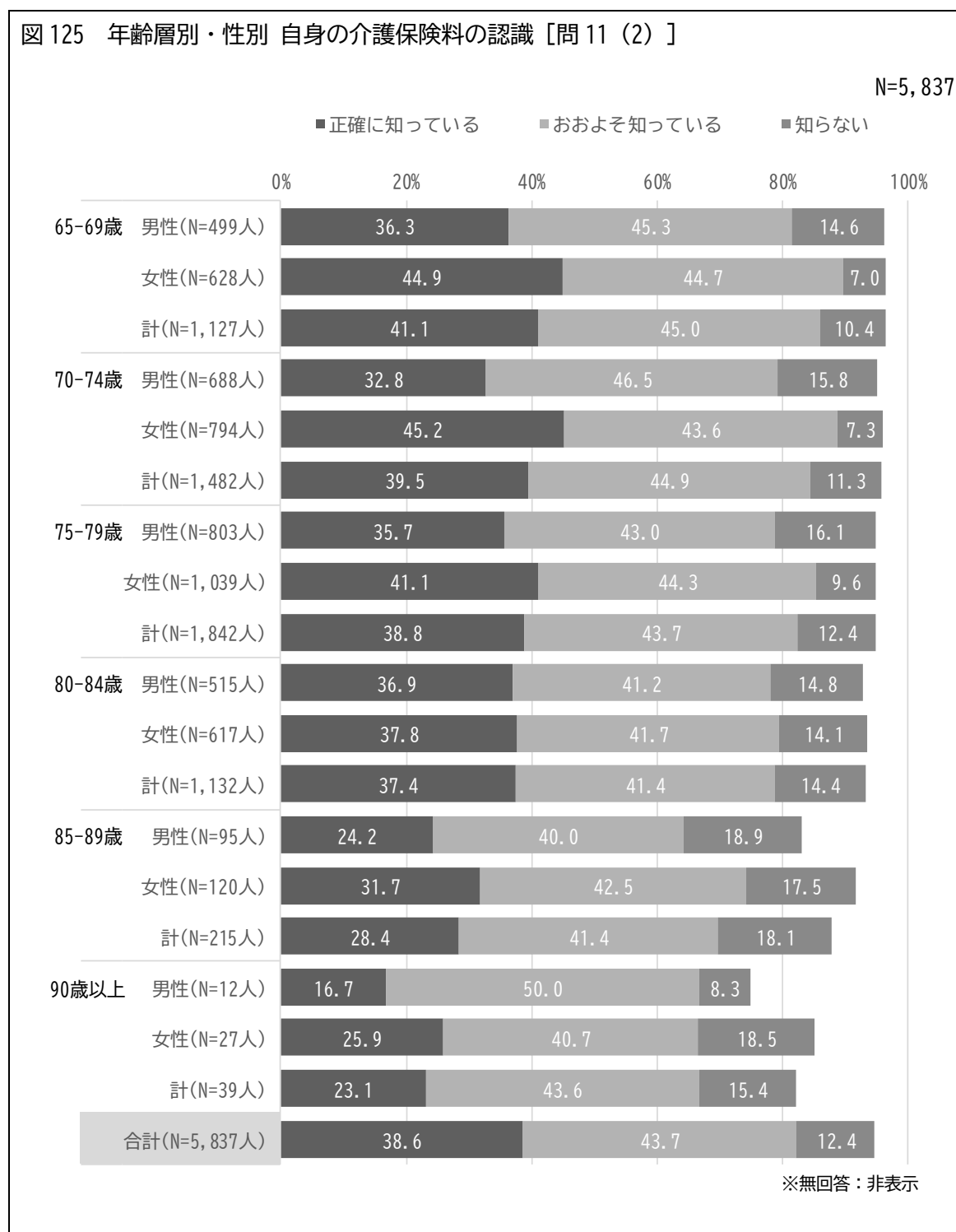
図 124 年齢層別・性別 現在の介護保険サービスを利用しているか [問 11 (1)]



## ② 自身の介護保険料の認識

現在自身の負担している介護保険料がいくらかを知っているかどうかについては、「知らない」は、90歳以上を除いて、年齢層が上がるにつれて高くなっています。特に90歳以上を除くいずれの年齢層別において、男性の方が女性より高くなっています。

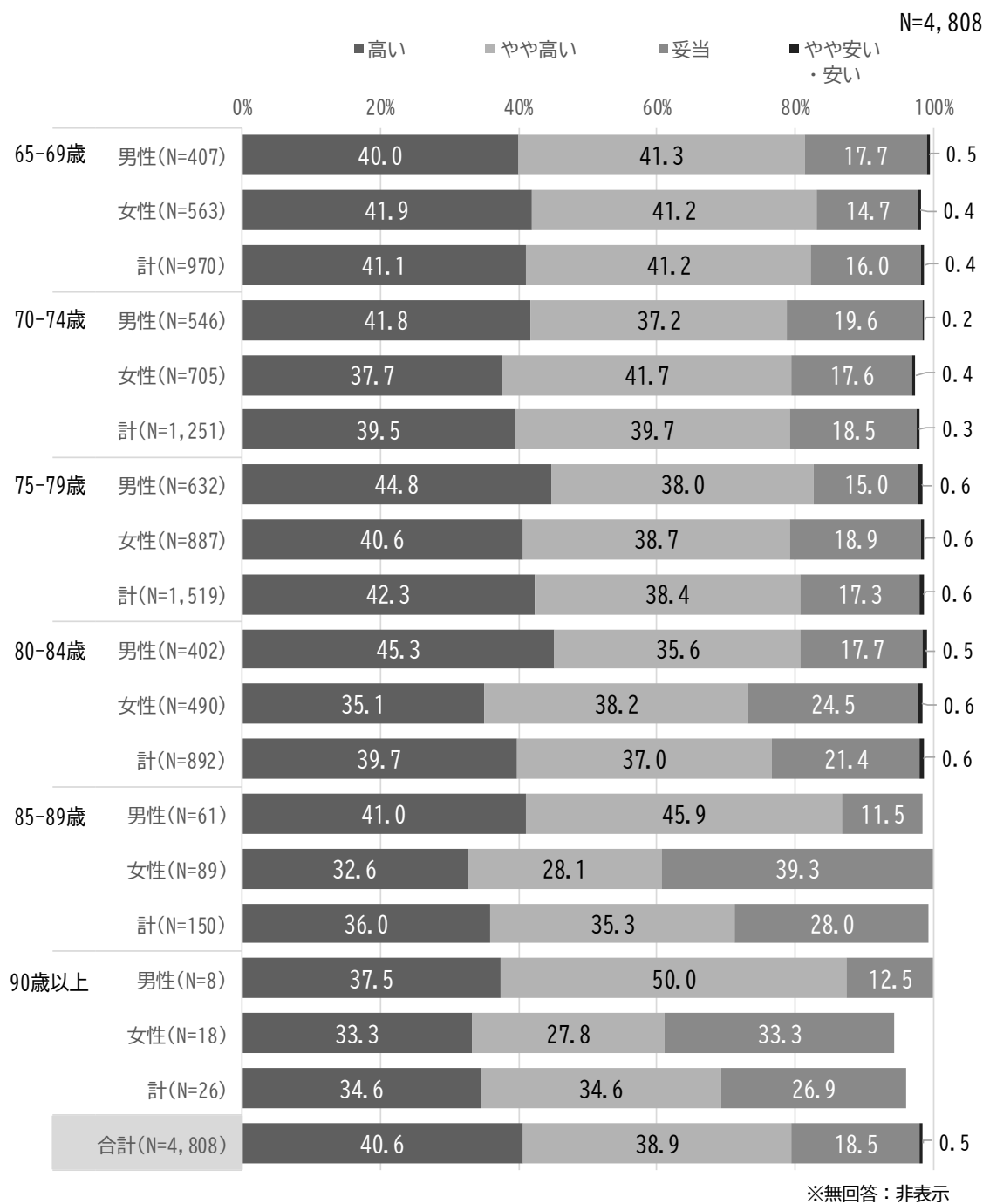
図 125 年齢層別・性別 自身の介護保険料の認識 [問 11 (2)]



### ③ 自身の収入に対する介護保険料額

問 11(2)で自身の介護保険料を「正確に知っている」、「おおよそ知っている」と回答した人に「収入に対して介護保険料の金額をどう思うか」聞いたところ、いずれの性別・前期後期高齢者ともに、「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』は7~8割前後と高くなっています。なお、「妥当」は2~3割前後、「やや安い・安い」は1.0%以下となっています。

図 126 年齢層別・性別 自身の収入に対して介護保険料の金額をどう思うか [問 11 (2) ①]

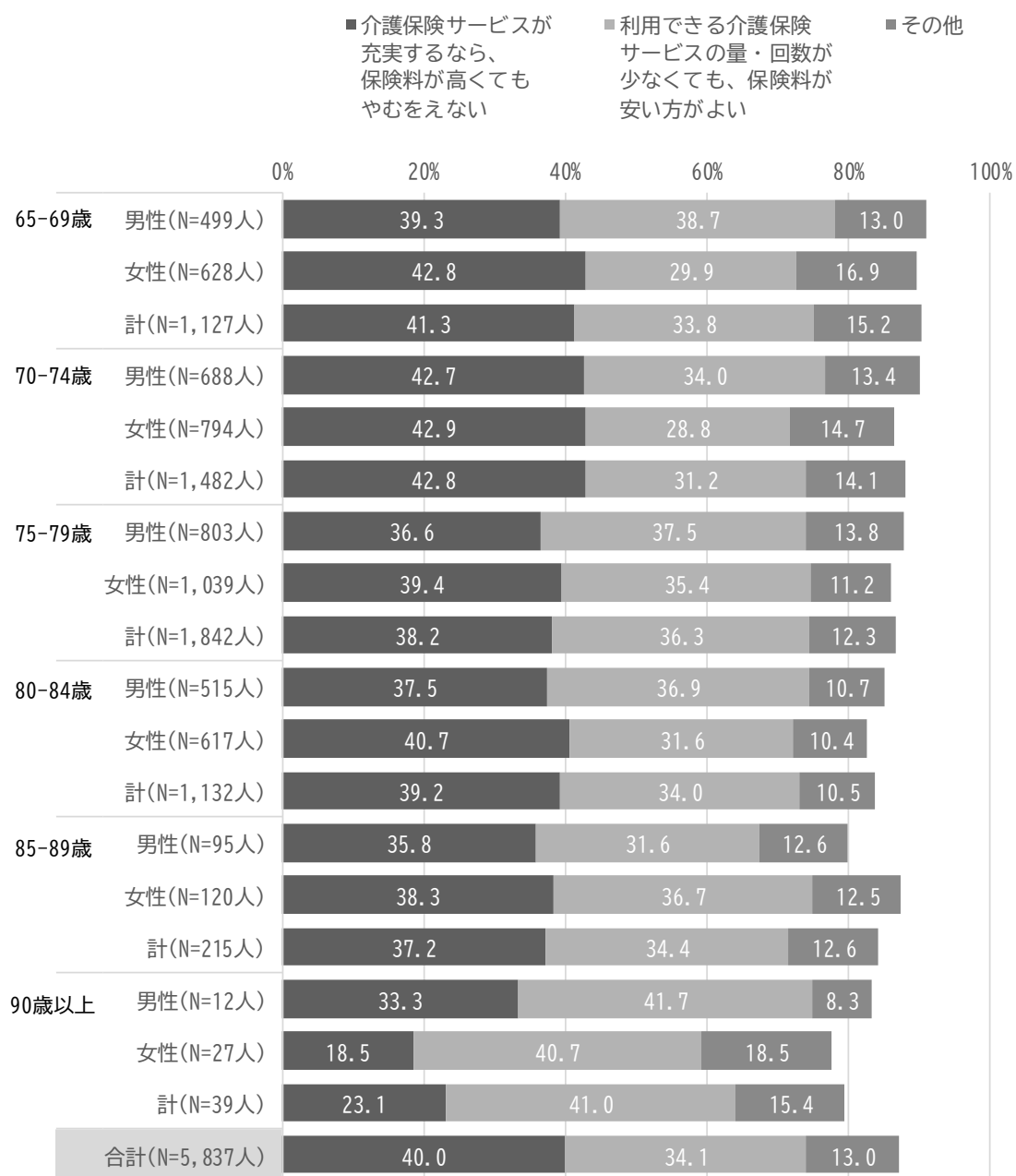


#### ④ 介護保険サービスと介護保険料の関係についての考え

介護保険サービスと介護保険料の関係をどのように考えているかどうかについては、90歳以上を除くいずれの年齢層ともに「介護保険サービスが充実するなら、保険料が高くてやむをえない」は4割前後となっています。また、「利用できる介護保険サービスの量・回数が少なくても、保険料が安い方がよい」は3割前後となっています。

図 127 年齢層別・性別 介護保険サービスと介護保険料の関係についての考え [問 11(3)]

n = 5,837

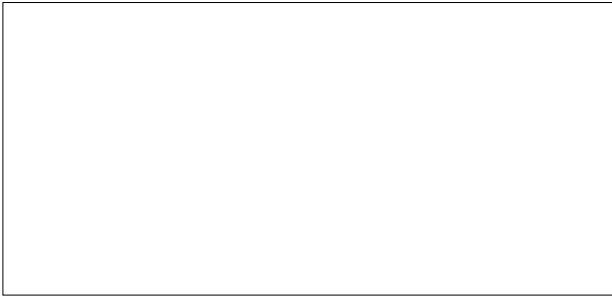


※無回答：非表示

## 資料 調査票

---





## 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査へのご協力について

皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から新座市介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画第8期計画策定のための重要な基礎資料及び介護予防や見守り事業に活用させていただくため、『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』を実施させていただくことになりました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願いいたします。調査で収集した情報は健康情報という皆さまにとって大切な個人情報であるという認識にたち、新座市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いをいたします。

令和2年1月 新座市

- 1 この調査の対象者は、令和元年12月1日現在、65歳以上で、要介護1～5の認定を受けていない方です（要支援1・2の認定を受けている方は対象となります）。
- 2 ご回答にあたっては、あて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族等がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
- 3 ご回答にあたっては、質問に従って、あてはまる回答の番号に○をつけてください。質問によっては、記述していただくものもあります。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒で1月31日（金）までにご投函ください（※切手不要）。

〔問合せ先〕

新座市 いきいき健康部 介護保険課  
電話：048-424-5361（直通）

## 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとみなさせていただきますので、予めご了承ください。

### 【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、新座市の介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報を基に、無作為抽出にて抽出した対象者の方へ送付しています。
- 本調査で得られた情報につきましては、介護保険事業計画策定、効果的な介護予防政策の立案、効果評価の基礎資料として利用いたします。また、当該情報については、市で適切に管理いたします。
- 上記の基礎資料利用時には、市が保有する介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報とともに利用・分析させていただきます。
- 介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

記入日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄）	
3. その他	

## 問1 あなたのご家族や生活状況について

### (1) 家族構成をお教えてください

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1人暮らし             | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯         |
| 5. その他               |                      |



## (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない [(3) へ]
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない [①へ]
3. 現在、何らかの介護を受けている [①・②へ]  
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

### ① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) のうそっちゅう のうしゅけつ のうこうそく
2. 心臓病
3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) はいきしゅ はいしん
5. 関節の病気 (リウマチ等)
6. 認知症 (アルツハイマー病等) にんちしょう
7. パーキンソン病
8. 糖尿病 とうりょうびょう
9. 腎疾患 (透析) じんしつかん
10. 視覚・聴覚障がい しかく ちようかく
11. 骨折・転倒 こっせつ てんとう
12. 脊椎損傷 せきついそんしょう
13. 高齢による衰弱 すいじやく
14. その他 ( )
15. 不明

### ② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)

1. 配偶者 (夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他 ( )

## (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

## 問2 からだを動かすことについて

### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

### (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

### (3) 15分位続けて歩いていますか

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

### (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない   |

(6) 週に1回以上は外出していますか

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回   |
| 3. 週2~4回     | 4. 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている  | 2. 減っている  |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

(8) 外出を控えていますか

- |       |               |
|-------|---------------|
| 1. はい | 2. いいえ [(9)へ] |
|-------|---------------|

①外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

- |              |  |              |
|--------------|--|--------------|
| 1. 病気        | 2. 障がい (脳卒中 <sup>しょうそくちゅう</sup> の後遺症 <sup>こういしょう</sup> など) |              |
| 3. 足腰などの痛み   | 4. トイレの心配 (失禁 <sup>しつじん</sup> など)                          |              |
| 5. 耳の障がい     | 6. 目の障がい   | 7. 外での楽しみがない |
| 8. 経済的に出られない | 9. 交通手段がない   |              |
| 10. その他 ( )  |  |              |

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

- |                 |                   |        |
|-----------------|-------------------|--------|
| 1. 徒歩           | 2. 自転車            | 3. バイク |
| 4. 自動車 (自分で運転)  | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車  |
| 7. 路線バス         | 8. 病院や施設のバス       | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす (カート) | 11. 歩行器・シルバーカー    |        |
| 12. タクシー        | 13. その他 ( )       |        |

### 問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 \_\_\_\_\_ cm      体重 \_\_\_\_\_ kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

1. はい                      2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか

1. はい                      2. いいえ

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

- ※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です  
※インプラントは自分の歯として数えてください

1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用  
2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし  
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用  
4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい                      2. いいえ

(7) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

1. 毎日ある                      2. 週に何度かある                      3. 月に何度かある  
4. 年に何度かある                      5. ほとんどない

## 問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

1. はい                      2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない

(4) 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

## 問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それぞれに回答してください

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (元気アップトレーニングなど) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい    2. 参加してもよい    3. 参加したくない    4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

## 問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他（ ）      | 8. そのような人はいない |           |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他（ ）      | 8. そのような人はいない |           |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他（ ）      | 8. そのような人はいない |           |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他（ ）      | 8. そのような人はいない |           |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ    | 2. 社会福祉協議会・民生委員      |
| 3. ケアマネジャー          | 4. 医師・歯科医師・看護師       |
| 5. 地域包括支援センター・役所・役場 | 6. その他 7. そのような人はいない |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない  |            |

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

- |                   |               |            |
|-------------------|---------------|------------|
| 1. 近所・同じ地域の人      | 2. 幼なじみ       | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚     | 5. 趣味や関心が同じ友人 |            |
| 6. ボランティア等の活動での友人 | 7. その他        | 8. いない     |

(8) 在宅医療についてどの程度ご存じですか

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 知っているかつ自分もしくは家族が利用したことがある |
| 2. 知っているが自分もしくは家族が利用したことがない  |
| 3. 言葉は知っているが、具体的には知らない       |
| 4. 知らない                      |

(9) 在宅で医療・介護を受けることについてどのようなイメージをお持ちですか (いくつでも)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 在宅でどのような医療を受けられるかわからない           |
| 2. 在宅でどのような介護のサービス利用ができるかわからない      |
| 3. 急に病状が変わった時でも対応してもらえる             |
| 4. 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい           |
| 5. 訪問看護でどのようなことがしてもらえるかわからない        |
| 6. 家族に負担や迷惑がかかる                     |
| 7. 療養できる部屋や風呂・トイレなど住宅環境の整備が必要である    |
| 8. 費用等の経済的負担が大きくなる                  |
| 9. がん末期でも痛みなどの苦痛を軽減しながら在宅で過ごすことができる |
| 10. 在宅でも満足のいく最期を迎えられる               |

(10) あなたが加齢や病気によって医療や介護が必要になった時、どこで過ごしたいですか。また、ご家族が同様の時、どこで過ごしてもらいたいかご自身の考えをお聞かせください

① あなた自身

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 自宅                    | 2. 特別養護老人ホームなどの介護施設 |
| 3. 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等 |                     |
| 4. わからない                 | 5. その他 ( )          |

② ご家族

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 自宅                    | 2. 特別養護老人ホームなどの介護施設 |
| 3. 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等 |                     |
| 4. わからない                 | 5. その他 ( )          |

(11) 人生の最期をどこで迎えたいですか

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 自宅                    | 2. 特別養護老人ホームなどの介護施設 |
| 3. 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等 |                     |
| 4. わからない                 | 5. その他 ( )          |

## 問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

1. とてもよい      2. まあよい      3. あまりよくない      4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても 不幸										とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

1. はい      2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい      2. いいえ

(5) タバコは吸っていますか

1. ほぼ毎日吸っている      2. 時々吸っている  
3. 吸っていたがやめた      4. もともと吸っていない

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病	
15. 認知症 (アルツハイマー病など)	16. パーキンソン病	
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 (      )

## 問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい                      2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい                      2. いいえ

## 問9 成年後見制度の把握について

(1) 成年後見制度についてご存じですか

※ 成年後見制度とは、認知症や知的障がいなどの理由で、判断能力が不十分な方の財産の管理や契約などを行うとき、家庭裁判所に選任された成年後見人などが、援助する制度です。

1. 名前も内容も知っている      2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない  
3. 名前も内容も知らない

(2) 成年後見制度を利用または相談したいと思いませんか

1. 利用したい      2. 相談したい      3. 利用は考えていない      4. わからない

## 問10 介護予防について

(1) 現在、ご自身で介護予防に取り組んでいますか

1. はい  
2. いいえ (③へ)

→ ① どのような取組ですか (いくつでも)

1. 市の介護予防事業・健康づくり関連事業に参加している  
(例：にいざ元気アップ広場)  
2. 地域の健康づくり活動に参加している (例：近所のラジオ体操)  
3. ご自身で健康づくりに励んでいる (例：毎朝のウォーキング)

→ ② 頻度はどのくらいですか

1. ほぼ毎日      2. 週に2～3回      3. 週に1回程度      4. 月に数回かそれ以下



③ 取り組まない理由についてお教えてください

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1. 仕事をしている     | 2. 介護予防以外の趣味活動をしている |
| 3. 介護や子育てをしている | 4. その他 ( )          |

(2) 市の介護予防事業で参加しているものはありますか (いくつでも)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. にいざ元気アップ広場 | 2. にいざ元気アップウォーキング |
| 3. 介護予防ウォーキング | 4. 新座市健康長寿ポイント事業  |
| 5. ほっと茶や事業    | 6. ない             |

(3) 以下の項目の中で、日常的に困っていることはありますか (いくつでも)

- |                     |              |         |
|---------------------|--------------|---------|
| 1. 掃除               | 2. 洗濯        | 3. 調理   |
| 4. 買い物              | 5. 薬の受け取り    | 6. ゴミ出し |
| 7. 外出               | 8. 草取り・庭木の剪定 |         |
| 9. 家の中の簡単な修理や電球交換など |              |         |
| 10. その他 ( )         |              |         |

(4) 次の取り組みで参加してみたいものはありますか (いくつでも)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 健康づくりのための教室などへの参加             |
| 2. 居場所づくりのための集まり (サロン) など        |
| 3. スポーツクラブ                       |
| 4. 保険・医療の専門職が3～6か月間で行う短期集中予防サービス |
| 5. ない                            |

## 問11 介護保険制度について

(1) 現在介護保険サービスを利用していますか

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) あなたは、現在負担している介護保険料がいくらかご存知ですか

1. 正確に知っている
2. おおよそ知っている
3. 知らない [(3)へ]

→① あなたの介護保険料の金額は、収入に対してどう思いますか

1. 高い
2. やや高い
3. 妥当
4. やや安い
5. 安い

(3) 介護保険サービスと介護保険料の関係について、どのようにお考えですか

1. 介護保険サービスが充実するなら、保険料が高くてもやむをえない
2. 利用できる介護保険サービスの量・回数が少なくても、保険料が安い方がよい
3. その他 ( )

最後になりますが、介護保険制度や高齢者福祉などについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。  
記入した調査票は、切り離すことなく3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに1月31日(金)までに投函してください。

# 在宅介護実態調査結果



# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、第8期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画の策定にあたる基礎資料として、特に「要介護者の在宅生活の継続」「介護者の就労の継続」に有効な介護サービス等のあり方を検討するために実施したものです。

## 2 調査対象者

対象者	有効回収数
在宅で生活している要介護・要支援認定を受けている方のうち、更新申請及び区分変更申請に伴う認定調査を受けた方とその主な介護者の方	370人

## 3 調査方法

認定調査員による聞き取り調査

## 4 調査期間

令和元年6月21日～令和2年2月3日

## 5 調査票の構成

調査票はA票、B票に分かれており、A票は本人への直接の聞き取りの結果を、B票は本人の同席でその主な介護者に聞き取りを行った結果となっています。

## 6 報告書を見る際の留意点

本報告書は、厚生労働省による本調査のための「自動集計分析ソフト※」を参考にして作成しました。

端数処理のため、百分率の内数の和が100.0%と一致しない場合があります。

※自動集計分析ソフト：在宅介護実態調査のアンケート調査結果をもとに、調査の集計分析結果をファイル出力するプログラム

## 7 基本属性

### (1) 性別・年齢構成（本人・介護者）

[本人]

(人、%)

区分	65～74歳			75歳以上					総数
	65～69歳	70～74歳	計	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計	
男性	12	20	32	34	47	34	16	131	163
	7.4%	12.3%	19.6%	20.9%	28.8%	20.9%	9.8%	80.4%	100.0%
女性	10	18	28	32	53	54	40	179	207
	4.8%	8.7%	13.5%	15.5%	25.6%	26.1%	19.3%	86.5%	100.0%
総数	22	38	60	66	100	88	56	310	370
	5.9%	10.3%	16.2%	17.8%	27.0%	23.8%	15.1%	83.8%	100.0%

[主な介護者]

(人、%)

区分	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答	総数
男性	0	0	4	9	22	19	26	33	0	1	114
	0.0%	0.0%	3.5%	7.9%	19.3%	16.7%	22.8%	28.9%	0.0%	0.9%	100.0%
女性	0	0	4	24	52	61	67	28	1	1	238
	0.0%	0.0%	1.7%	10.1%	21.8%	25.6%	28.2%	11.8%	0.4%	0.4%	100.0%
無回答	0	0	0	0	2	0	0	0	0	16	18
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	100.0%
総数	0	0	8	33	76	80	93	61	1	18	370
	0.0%	0.0%	2.2%	8.9%	20.5%	21.6%	25.1%	16.5%	0.3%	4.9%	100.0%

### (2) 要支援・要介護認定状況

(人、%)

区分	要支援1・2			要介護1・2			要介護3～5				総数
	要支援1	要支援2	計	要介護1	要介護2	計	要介護3	要介護4	要介護5	計	
男性	38	15	53	52	30	82	13	10	5	28	163
	23.3%	9.2%	32.5%	31.9%	18.4%	50.3%	8.0%	6.1%	3.1%	17.2%	100.0%
女性	27	39	66	77	27	104	18	11	8	37	207
	13.0%	18.8%	31.9%	37.2%	13.0%	50.2%	8.7%	5.3%	3.9%	17.9%	100.0%
総数	65	54	119	129	57	186	31	21	13	65	370
	17.6%	14.6%	32.2%	34.9%	15.4%	50.3%	8.4%	5.7%	3.5%	17.6%	100.0%

## **第1章 高齢者本人の回答によること（A票）**

---





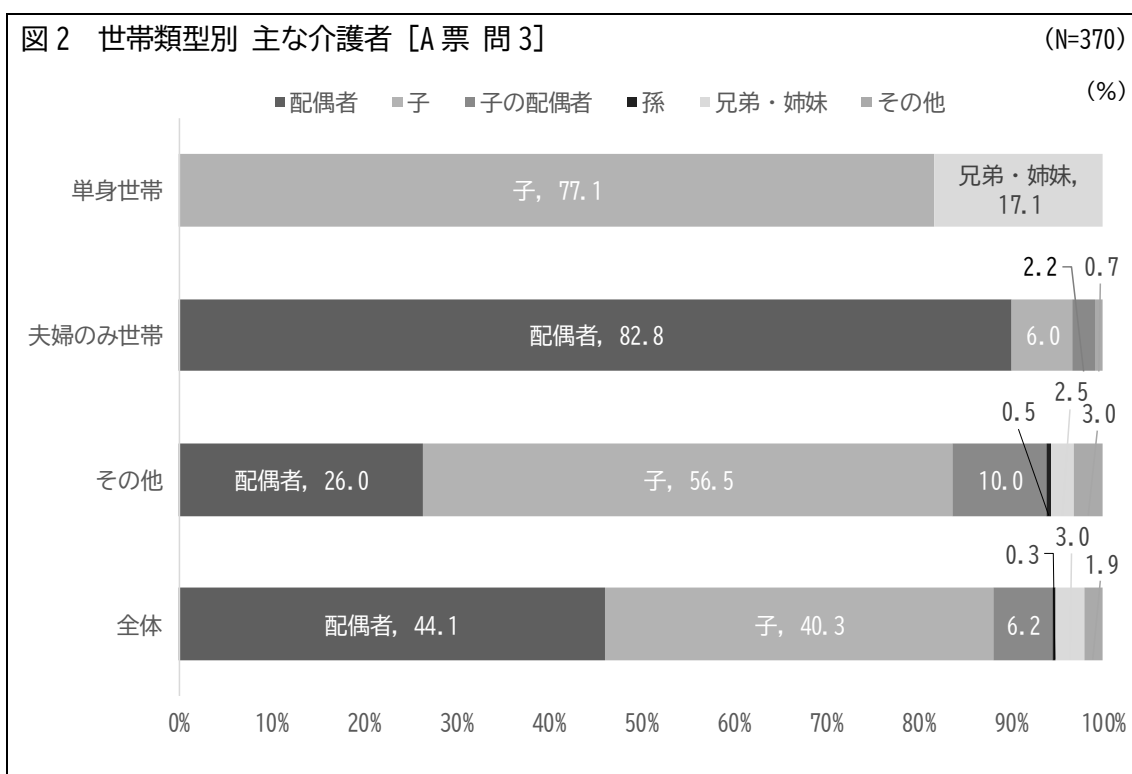
# 1 世帯類型

世帯類型については、「単身世帯」が9.5%、「夫婦のみ世帯」が36.2%、「その他」が54.1%となっています。

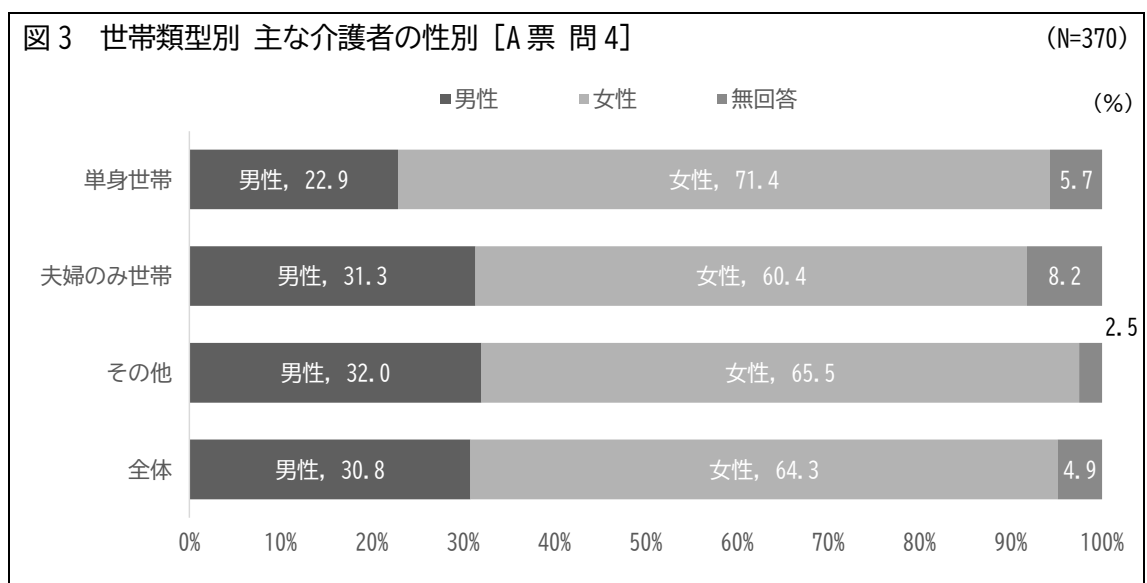
図1 調査対象者の世帯類型 [A票 問1]

	回答数 (人)	比率 (%)
単身世帯	35	9.5
夫婦のみ世帯	134	36.2
その他	200	54.1
無回答	1	0.3
計	370	100.0

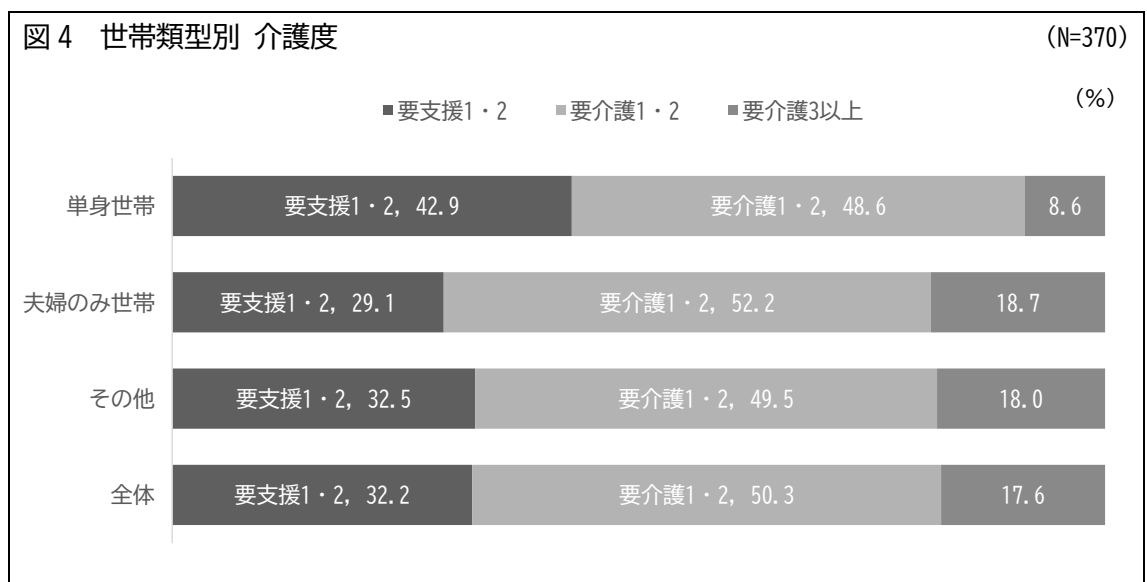
世帯類型別で主な介護者を見ると、単身世帯では「子」が77.1%、「夫婦のみ世帯」では「配偶者」が82.8%とそれぞれ最も高くなっています。



世帯類型別で主な介護者の性別をみると、全体では「女性」が64.3%と「男性」の30.8%より高くなっています。また、「単身世帯」では、「女性」が71.4%とさらに高くなっています。

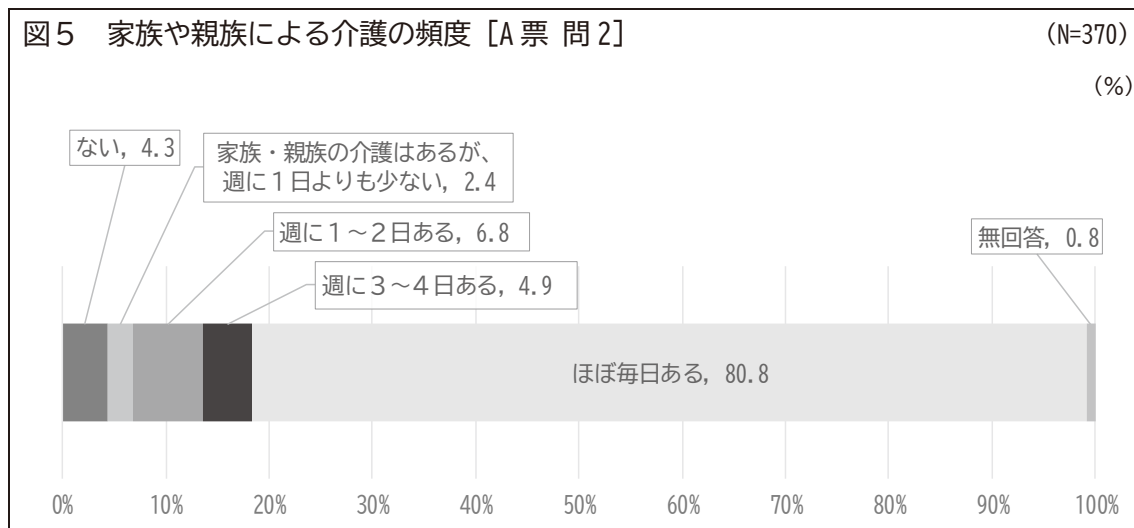


世帯類型別で介護度をみると、全体では「要支援1・2」が32.2%、「要介護1・2」が50.3%、「要介護3以上」が17.6%となっています。また、「単身世帯」では「要支援1・2」が42.9%と高くなっています。



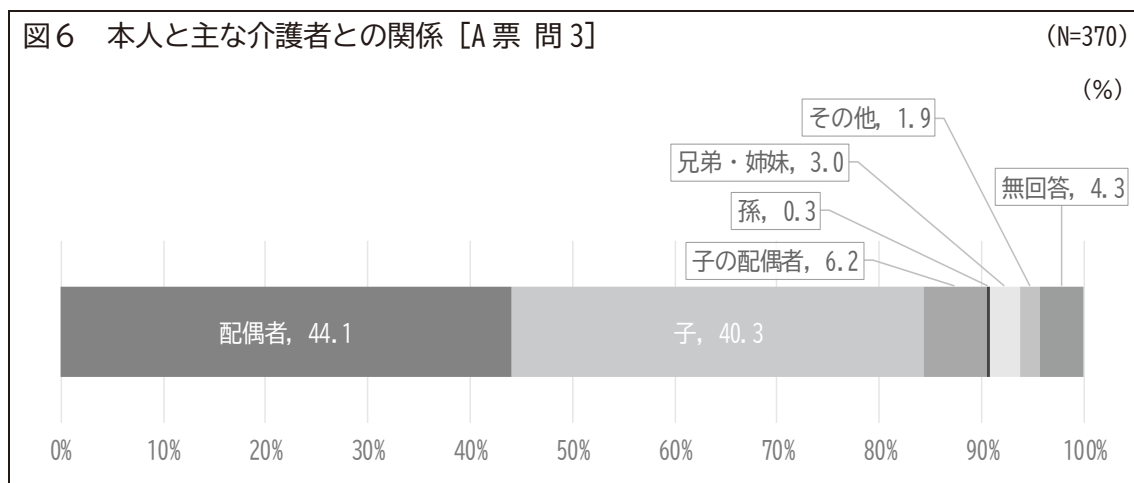
## 2 家族や親族による介護の頻度

家族や親族による介護(同居していない子や親族等からの介護を含む)の頻度については、「ほぼ毎日ある」が80.8%と最も高く、次いで「週に1~2日ある」が6.8%、「週に3~4日ある」が4.9%などとなっています。



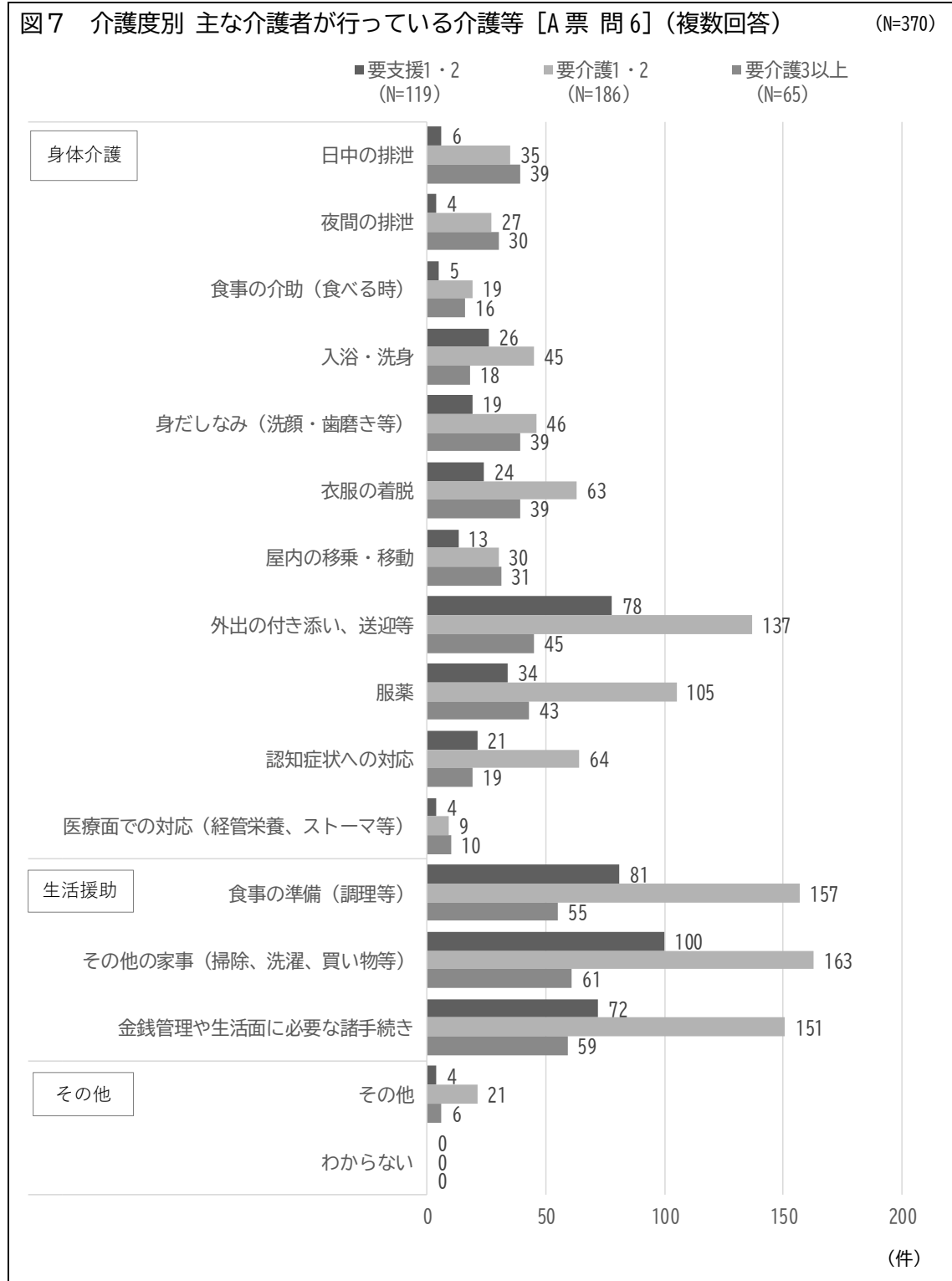
## 3 本人と主な介護者との関係

本人と主な介護者との関係については、「配偶者」が44.1%と最も高く、次いで「子」が40.3%、「子の配偶者」が6.2%、「兄弟・姉妹」が3.0%などとなっています。



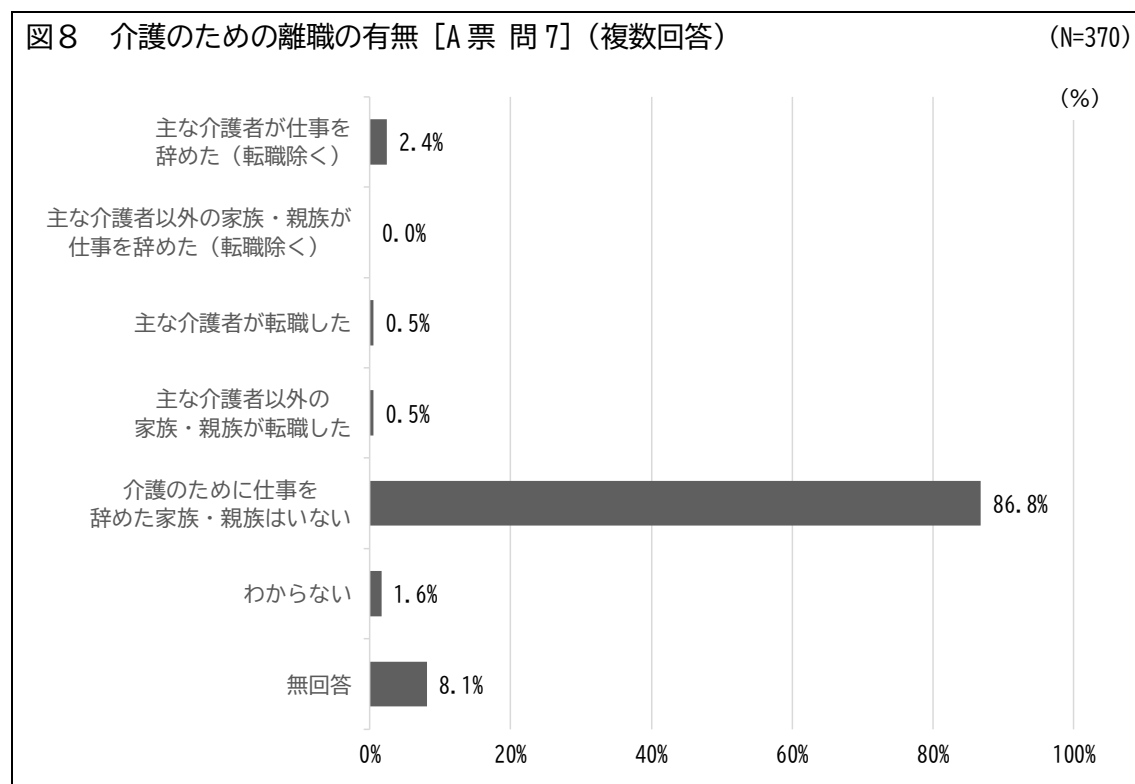
## 4 主な介護者が行っている介護等

主な介護者が行っている介護等については、身体介護では、「要介護1・2」で「外出の付き添い、送迎等」(137件)、「服薬」(105件)、認知症状への対応(64件)、「衣服の着脱」(63件)が多くなっています。また、生活援助では、すべての項目で「要介護1・2」が非常に多くなっています。



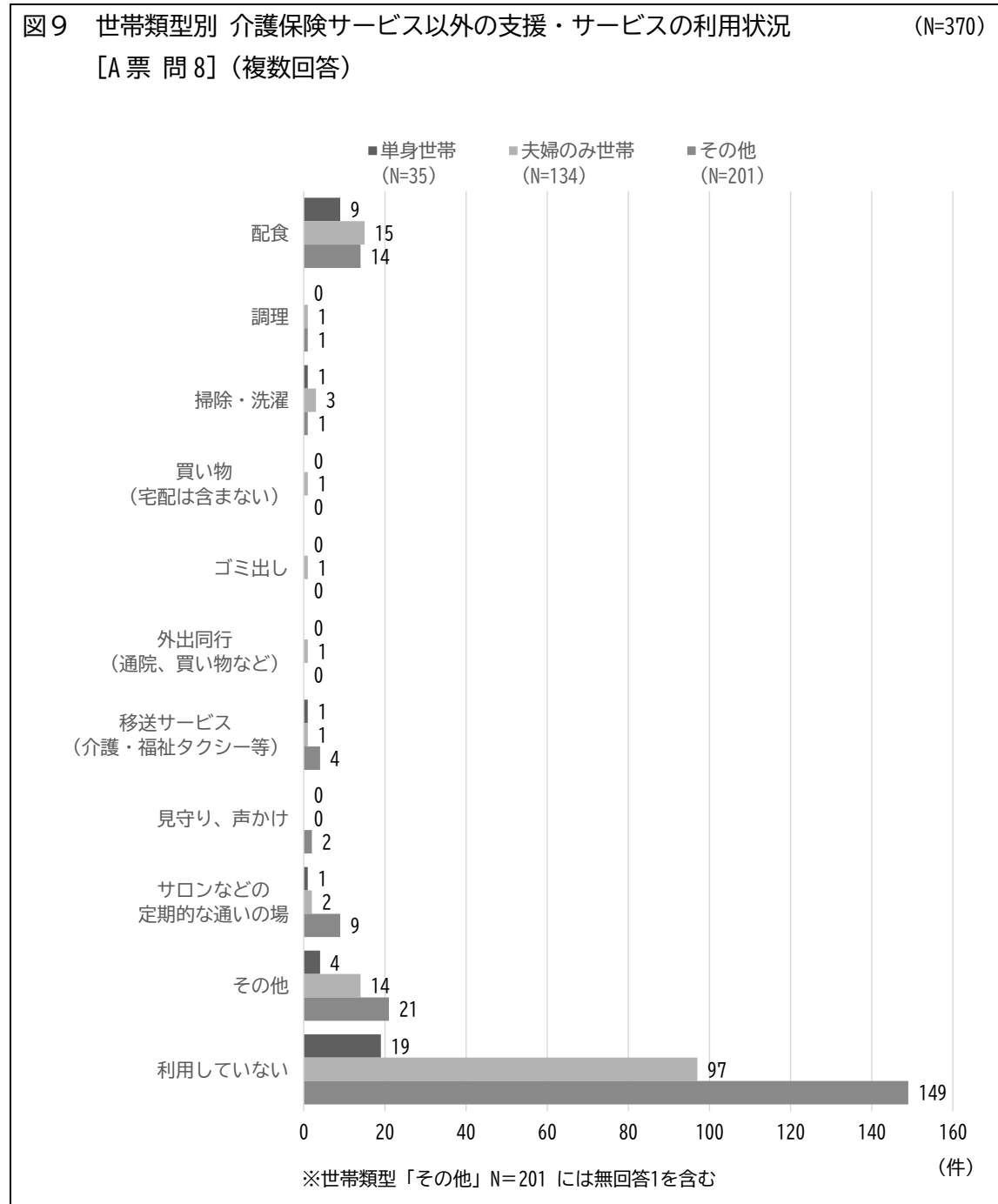
## 5 介護のための離職の有無

介護のための離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が86.8%と最も高くなっています。前回調査（平成29年）では64.9%となっており、21.9ポイント高くなっています。一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は2.4%となっており、前回調査の5.5%より3.1ポイント低くなっています。



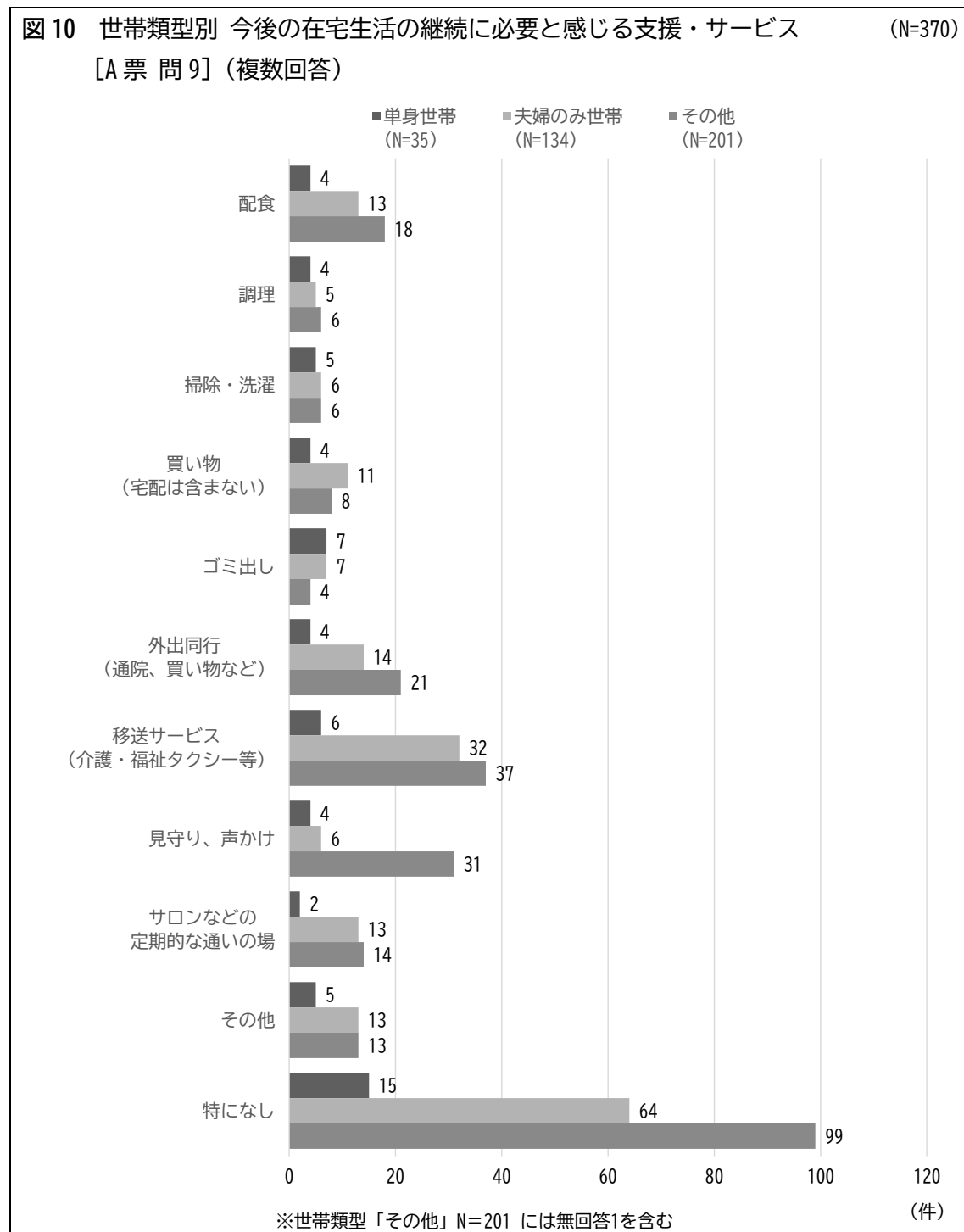
## 6 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」が特に多くなっていますが、利用しているサービスでは、「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」とともに「配食」が多くなっています。



## 7 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

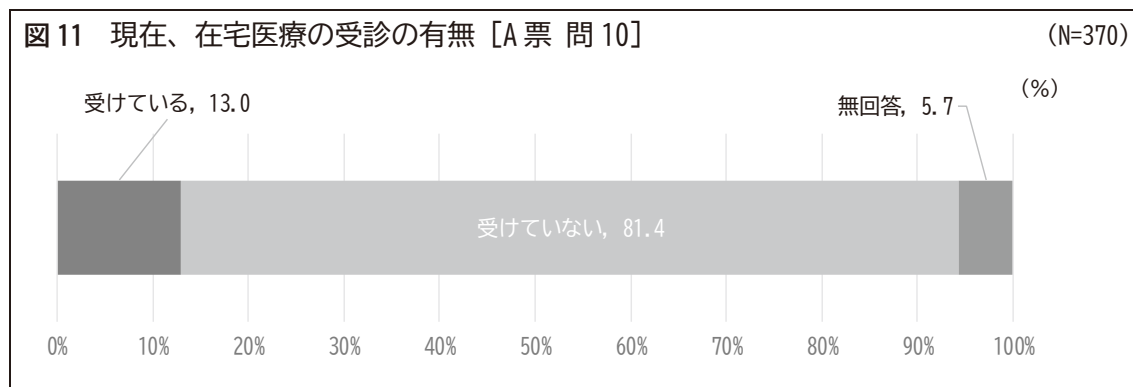
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、いずれの世帯類型においても「特になし」が多くなっています。また、「夫婦のみ世帯」では、「移送サービス」が32件と多くなっています。



## 8 在宅医療について

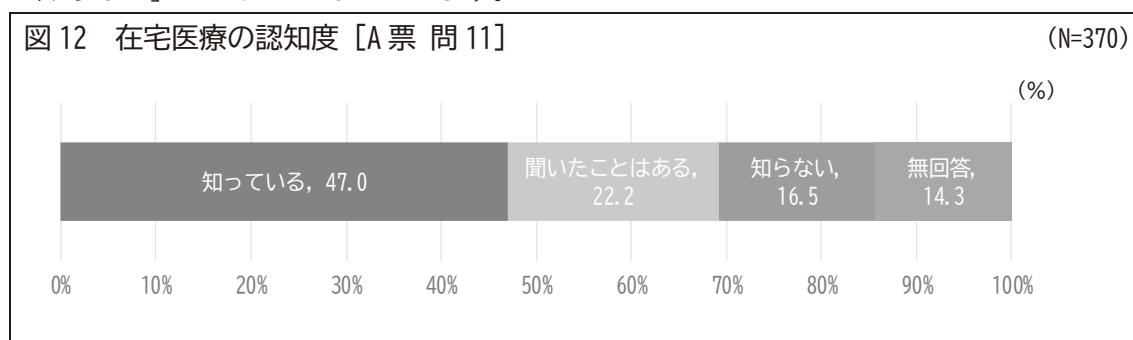
### (1) 現在、在宅医療（病院ではなく自宅で治療を受けること）の受診の有無

現在、在宅医療の受診の有無については、「受けている」が13.0%、「受けていない」が81.4%となっています。



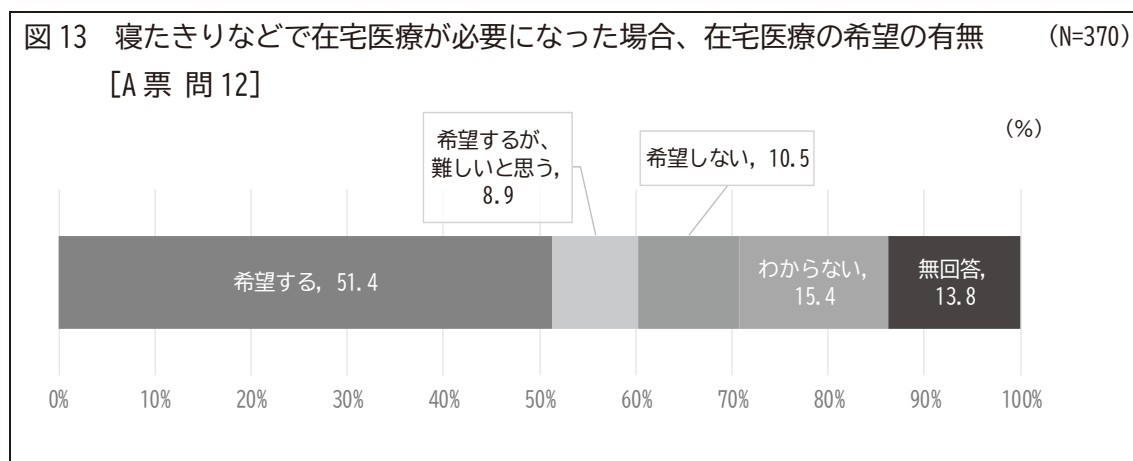
### (2) 在宅医療の認知度

在宅医療の認知度については、「知っている」が47.0%、「聞いたことはある」が22.2%、「知らない」が16.5%となっています。



### (3) 寝たきりなどで在宅医療が必要になった場合、在宅医療の希望の有無

寝たきりなどで在宅医療が必要になった場合、在宅医療の希望の有無については、「希望する」が51.4%、「希望しない」が10.5%、「希望するが、難しいと思う」が8.9%などとなっています。

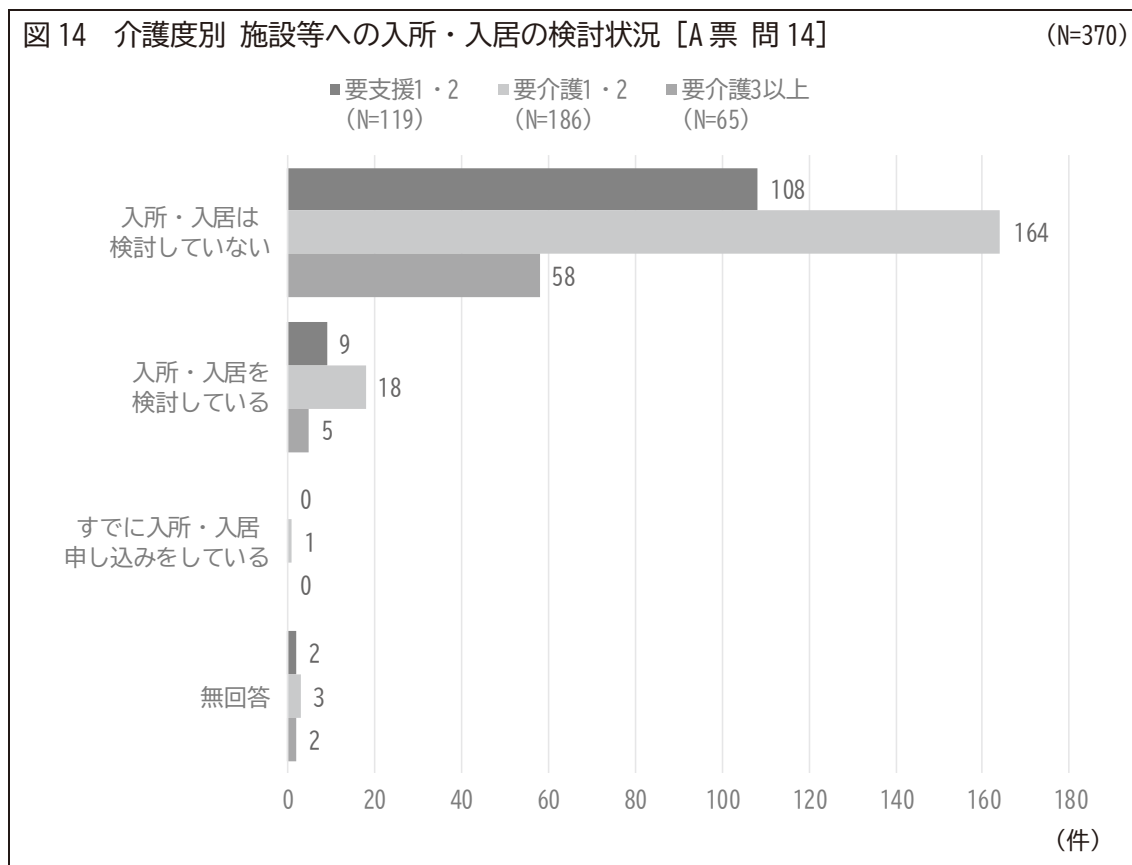




## 9 施設等への入所・入居の検討状況

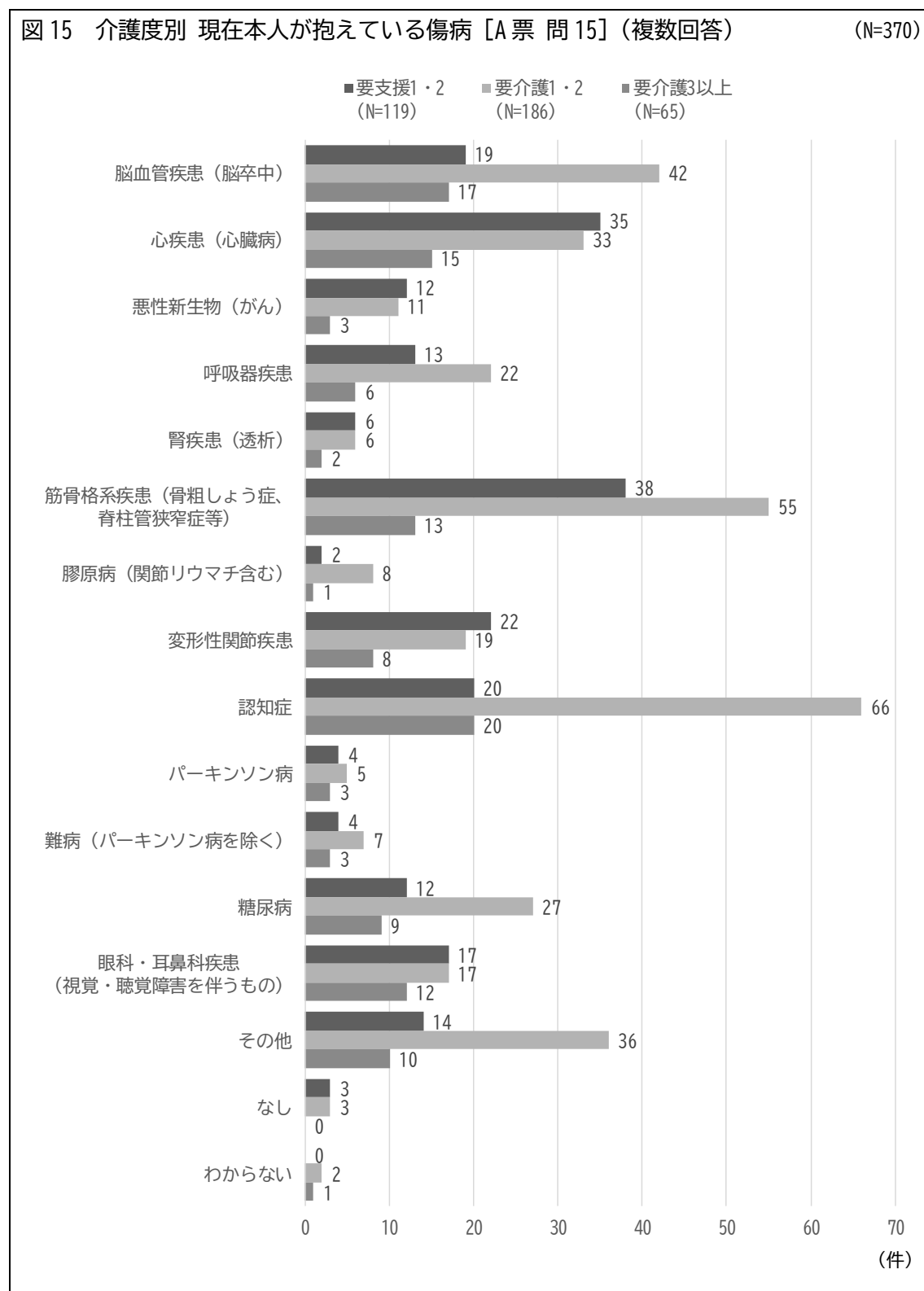
現時点での施設等※への入所・入居の検討状況については、「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」は一部に留まっています。

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。



## 10 現在本人が抱えている傷病

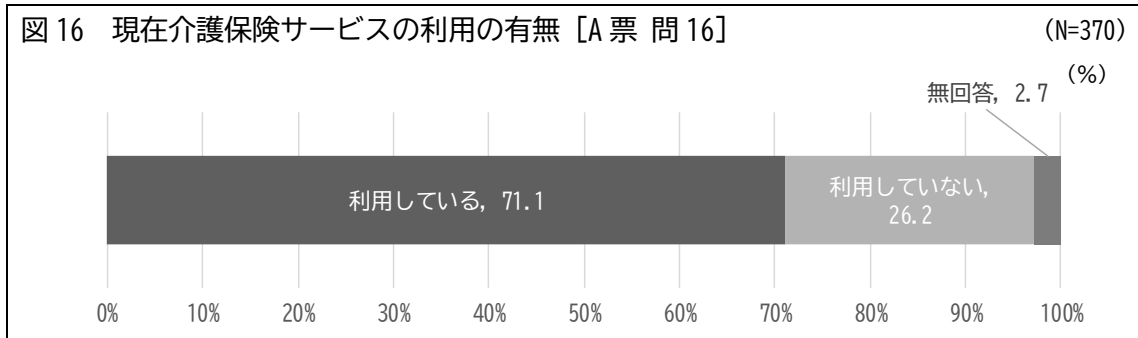
現在本人が抱えている傷病については、特に「要介護1・2」で「認知症」が66件、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が55件と多くなっています。



## 11 介護保険サービスの利用

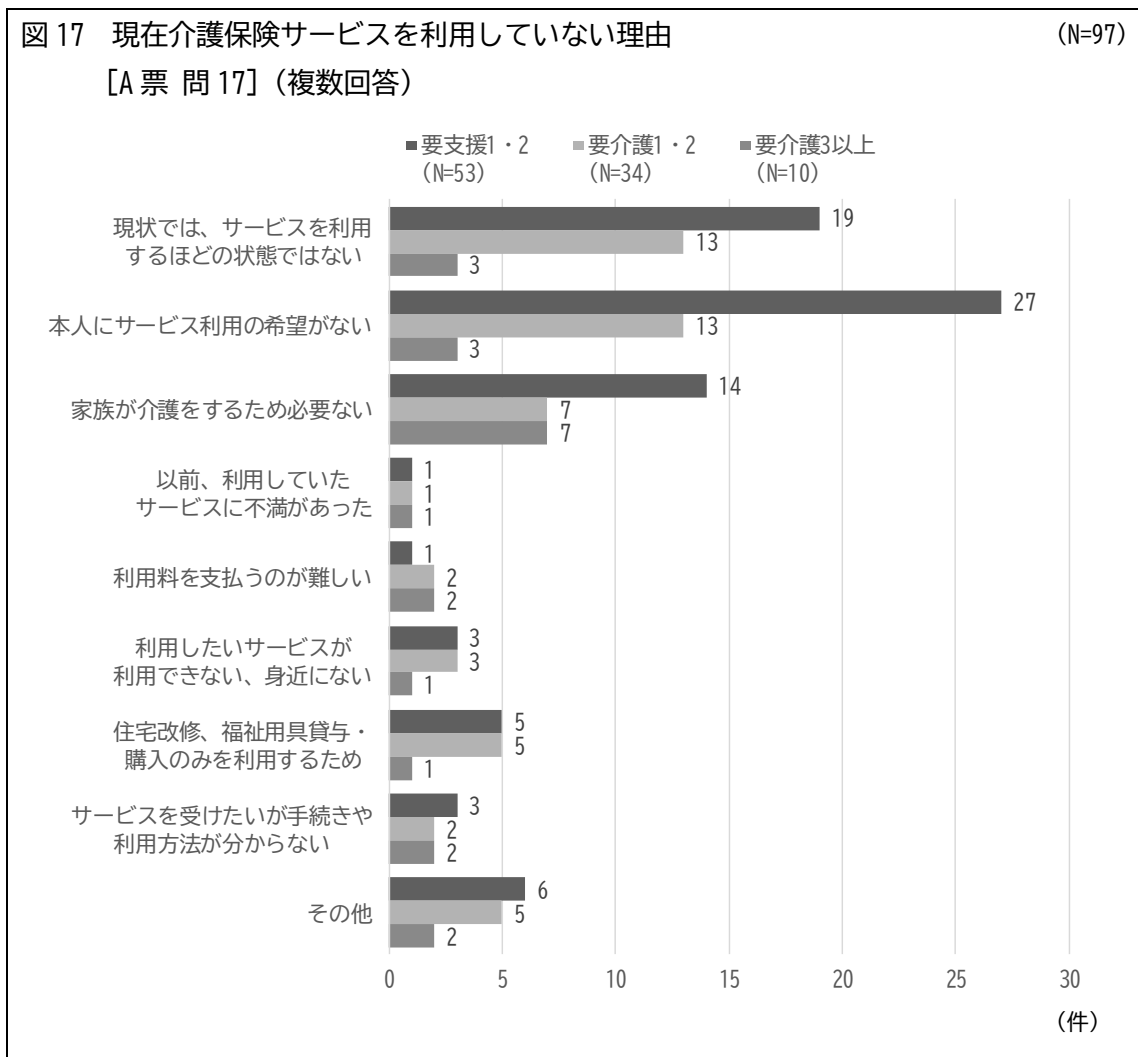
### (1) 介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）の利用の有無

介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が71.1%、「利用していない」が26.2%となっています。



### (2) 介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)を利用していない理由

介護保険サービスを利用していない理由については、「要支援1・2」で「本人にサービス利用の希望がない」、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が多くなっています。





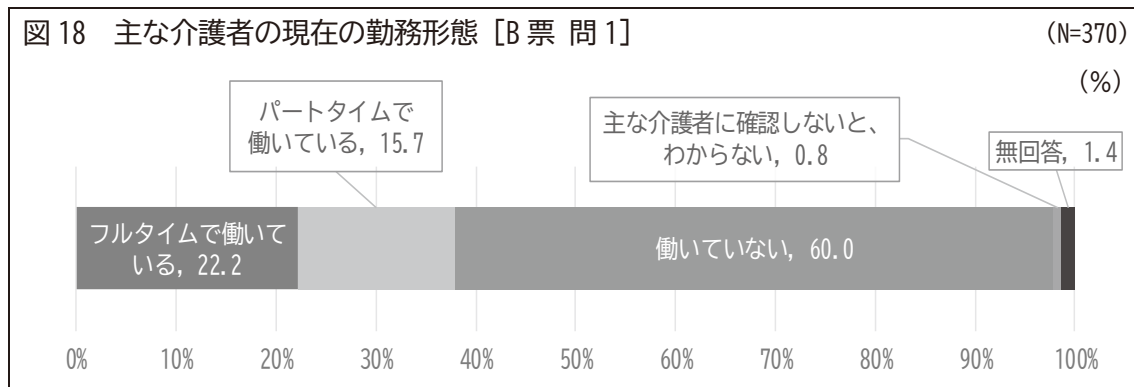
## 第2章 主な介護者の状況（B票）

---



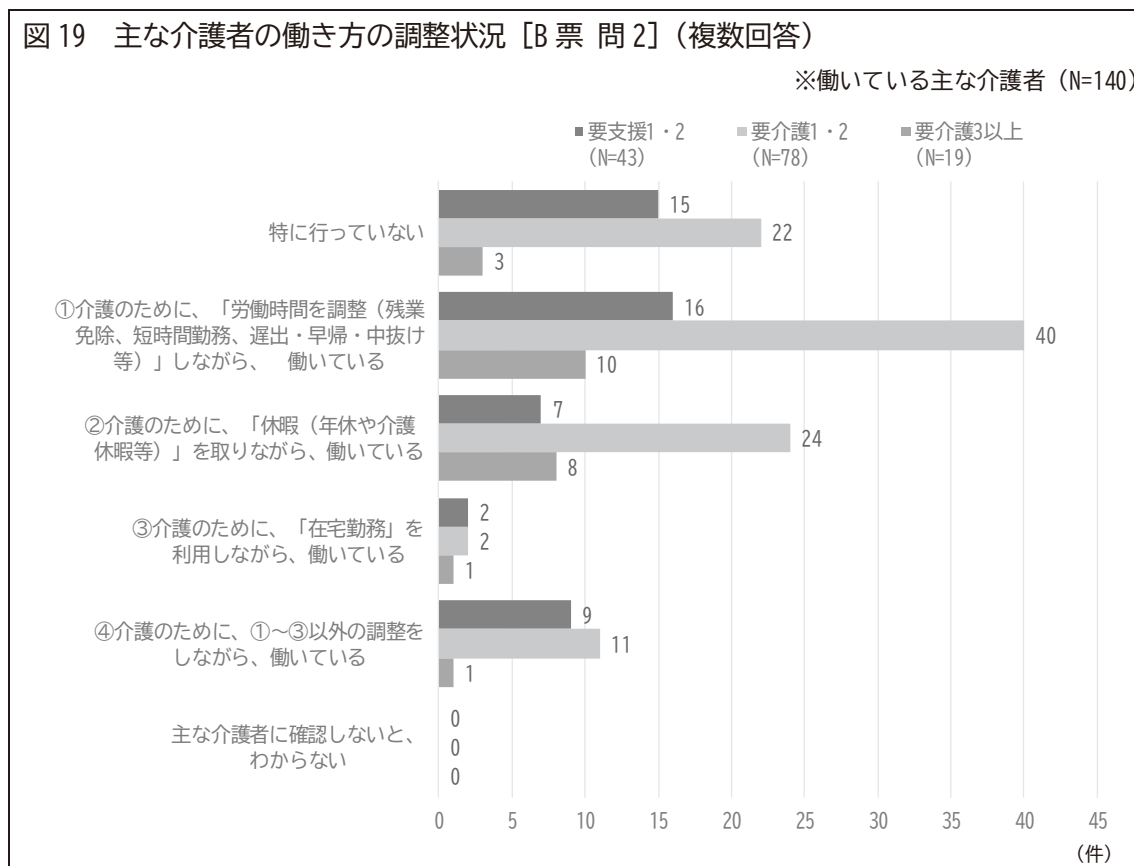
## 1 主な介護者の現在の勤務形態

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が60.0%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が22.2%、「パートタイムで働いている」が15.7%となっています。



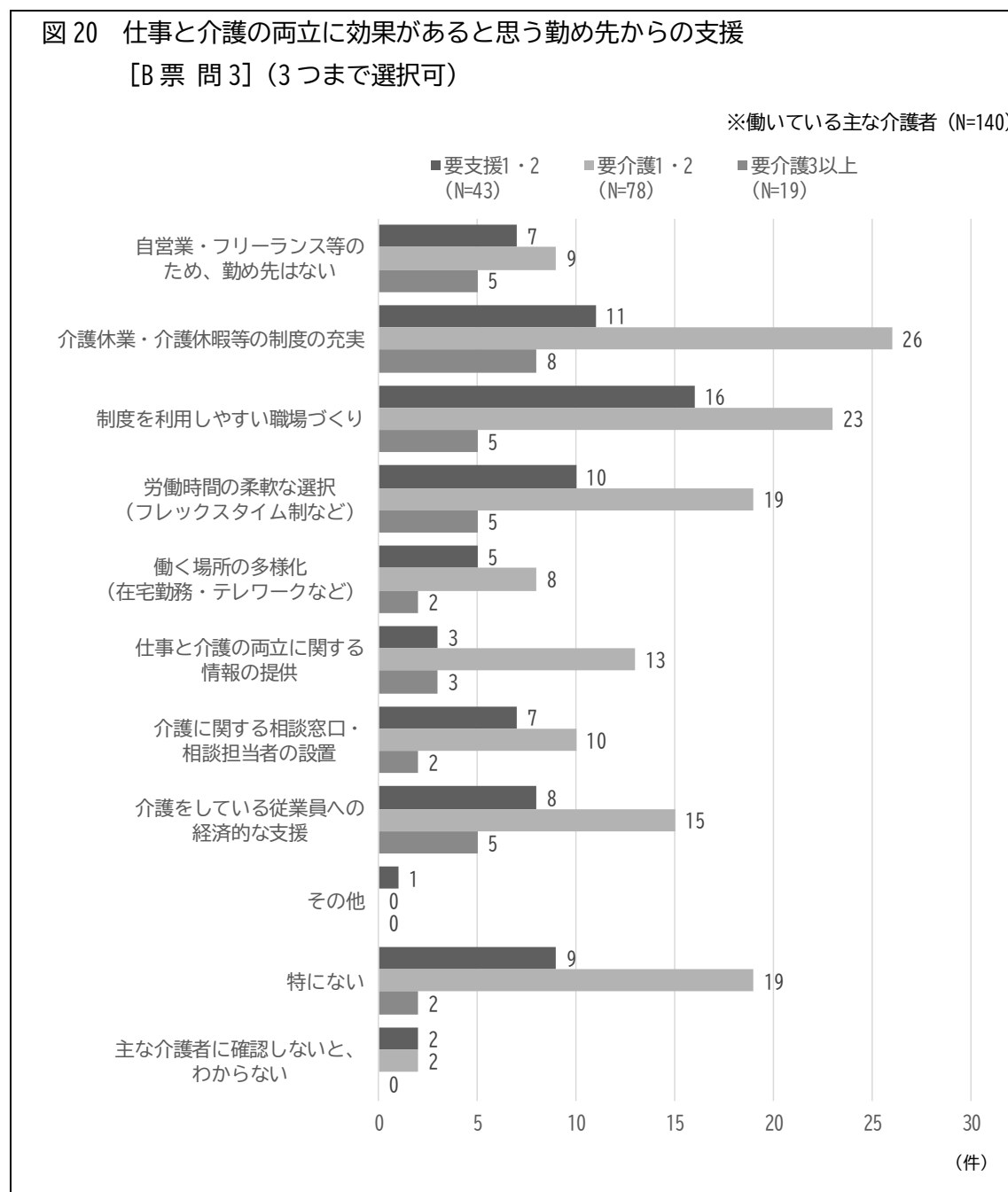
## 2 主な介護者の働き方の調整状況

主な介護者の働き方の調整状況については、「要介護1・2」では、「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」、「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」が多くなっています。一方、「特に行っていない」も多くなっています。



### 3 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

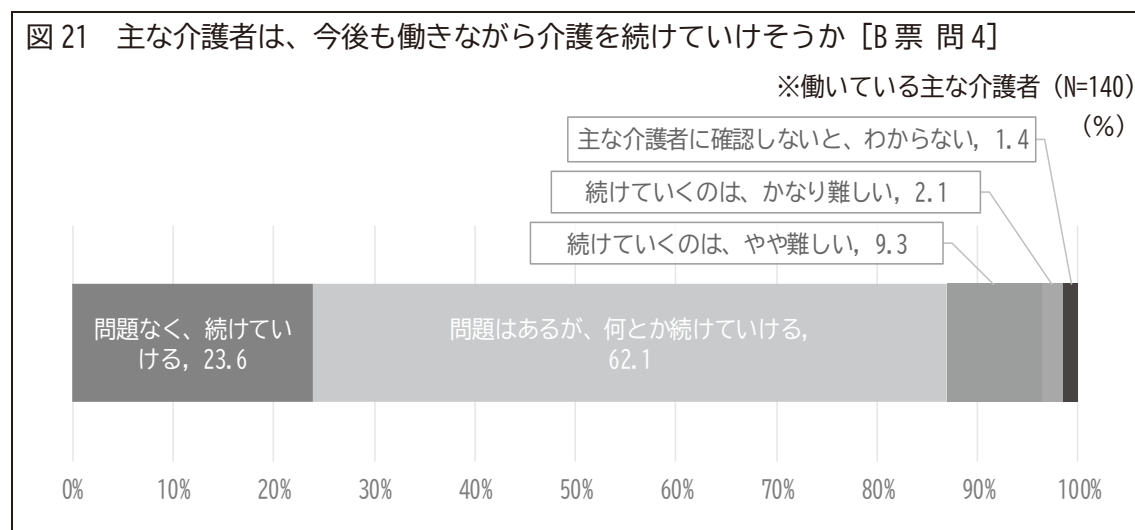
仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援については、「要介護1・2」では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択」などが多くなっている一方、「特にない」も多くなっています。また、「要支援1・2」では、「制度を利用しやすい職場づくり」が多くなっています。





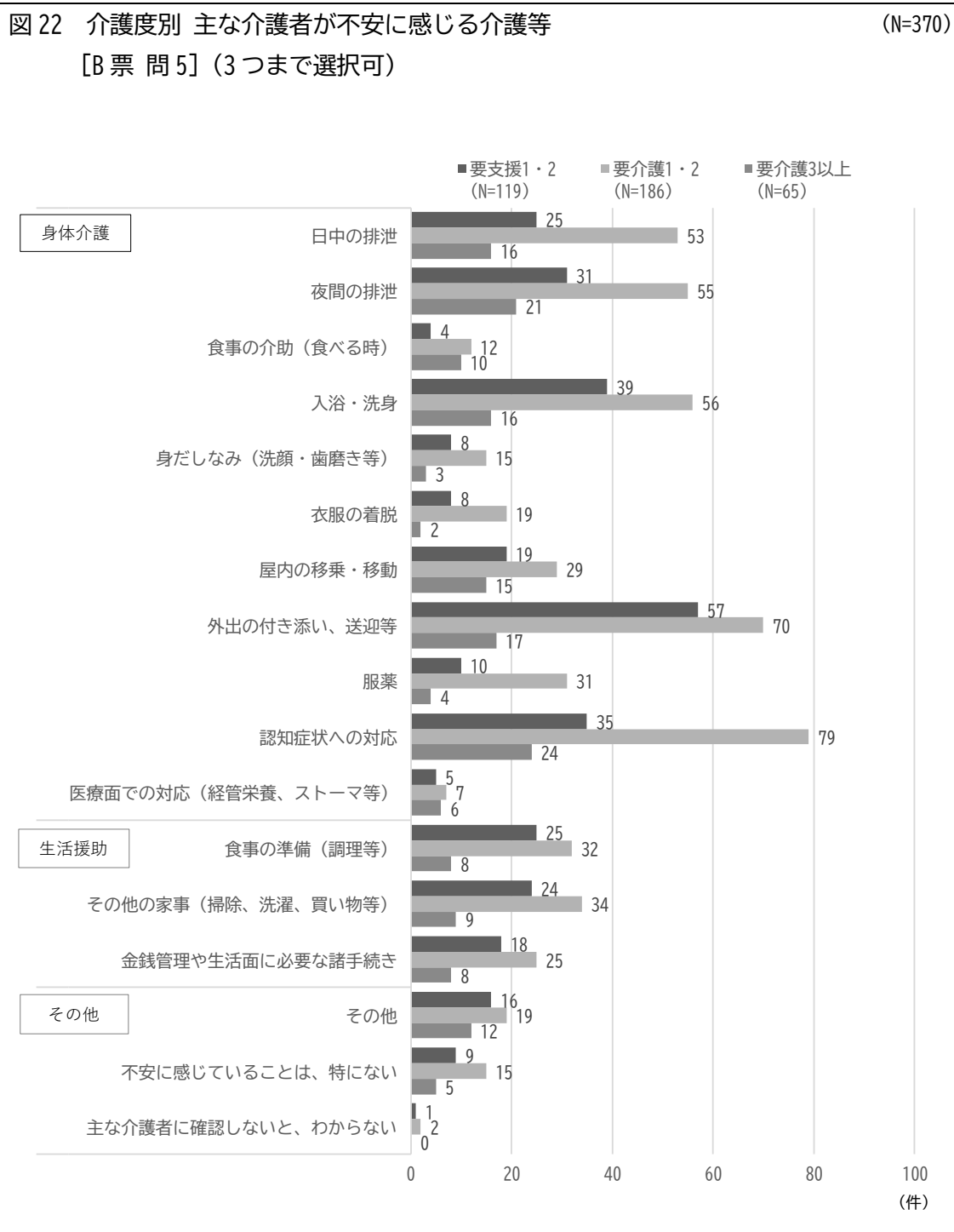
## 4 主な介護者の就労継続の意識

主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうかどうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が62.1%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が23.6%となっている一方、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『難しい』は11.4%となっています。



## 5 在宅生活を継続するにあたって主な介護者が不安に感じる介護

在宅生活を継続するにあたって主な介護者が不安に感じる介護については、「要支援 1・2」では、「外出の付き添い、送迎等」(57件)、「入浴・洗身」(39件)、「要介護 1・2」では、「認知症状への対応」(79件)、「外出の付き添い、送迎等」(70件)、「要介護 3以上」では、「認知症状への対応」(24件)、「夜間の排泄」(21件)が多くなっており、介護度によって、介護者が不安に感じる介護内容に違いがみられます。



## 高齢者本人が在宅医療の実現が難しい又は希望しない、わからないと思う理由（A票 問13 自由記載）

注）※マークをつけた回答は、本人ではなく、介護者によるものです。

- そのときの病気もふくめて、そのときにならないと決められない。(90-94 歳、女性)
- 病院に入りたから。(80-84 歳、男性)
- 動けなくなったら入院した方がよい。(90-94 歳、女性)
- 家族としてはきてほしいが、本人が嫌がるから。(85-89 歳、女性 ※)
- 人工透析で通院の必要があり、通院先でみてもらうだろう。(80-84 歳、女性)
- 本人が、もう歳だから、病院に行けなくなったらそれでいいといっている。息子は希望するけど。(80-84 歳、女性※)
- 介護者が元気で、本人も屋内であれば自立できている為、まだわからないとの事  
(75-79 歳、女性※)
- その時の病気になってみないとわからない。(70-74 歳、男性)
- 自分の生活、自信もない。(75-79 歳、男性)
- その時の病状、家族の状況による。(70-74 歳、女性)
- 病院・施設希望だから。(85-89 歳、女性)
- 自宅では介護しきれないと思うため。(85-89 歳、男性 ※)
- 子供達の支援があるため。(65-69 歳、女性)
- 介助者が高齢な為 (65-69 歳、女性)
- 金額の問題。通院できているから。(75-79 歳、男性)
- 家族に迷惑かける為 (75-79 歳、男性)
- 金銭的にむずかしくない方法にする。老々介護の状態にもよる。(70-74 歳、男性)
- 本人の気持ちが不明 (70-74 歳、男性 ※)
- 病院にいる方が安心な為 (75-79 歳、男性)
- 今はまだ一緒に通院できている。その時に必要があれば使うかもしれないが今はわからない。  
(80-84 歳、女性)
- 夫婦で、要介護の状態、施設希望している為 (80-84 歳、男性)
- 呼吸器系の病気なので、通院できなければむずかしいと思うとの事 (80-84 歳、男性 ※)
- (本人)娘がいつも決めていてわからない。(娘 ※)今の医者じゃないと、治らないから  
(80-84 歳、女性)
- 同居中の二女の夫の同意が難しいと思うので。(90-94 歳、女性、※義理の息子回答)
- 通院ができている。又、在宅酸素療養中で悪化の場合、入院になると思うから。(90-94 歳、男性)
- 家族の不在が多いので、玄関のあけしめなど。(70-74 歳、女性)
- その時の病状によるから (70-74 歳、男性)
- まだ、通院できている。(70-74 歳、男性)
- 今は、本人が動けているから。(85-89 歳、男性 ※)
- 自分も若くないので、夫も自分もその時にならないとわからない。(85-89 歳、男性 ※)
- まだわからない、考えたことない。(80-84 歳、男性)
- まだ、本人が屋内では自立できている。外出がむずかしいので車イスを借りているが、高齢になると足から弱くなる。車イスなどのレンタルをしやすいようにしてほしいとの事  
(90-94 歳、女性 ※)

- 誰かがついていないといけないので難しい。入院希望（70-74 歳、男性 ※）
- 家族に迷惑をかけたくない。（80-84 歳、男性）
- 主介護者が高齢で、在宅生活が限界だと思うから。（80-84 歳、男性 ※）
- 入院したほうがいい。（90-94 歳、女性 ※）
- 専門医が不在のため。（70-74 歳、女性）
- ピンピンコロリといきたいので、それ以外のことは考えてない。（80-84 歳、女性）
- その時になってみなければ、病気の内容によってちがう。（85-89 歳、男性）
- 就業している為。医療は、病院に入院してまかなう。（80-84 歳、男性）
- 寝たきりになれば現状、在宅介護はむずかしい。（85-89 歳、女性）
- した事がないが、介護がむずかしい。（85-89 歳、男性）
- 病気の種類、程度による。その時にならないとわからない。（85-89 歳、男性）
- 考えたことない。（80-84 歳、女性）
- 近所の目が気になるから。（70-74 歳、男性）
- 介護者である夫が困ってしまうと思うから。（70-74 歳、女性）
- 5 階建てだが、エレベータがなく、外に出られない。（75-79 歳、男性）
- 病気の状況による。（90-94 歳、女性）
- 両親に何かあったら施設に入るから。4 才から通う病院以外は考えていない。47 年も通っているから他は考えていない。（65-69 歳、女性）
- 実感がわかなくてわかりません。（75-79 歳、女性）
- その時の状況による。（65-69 歳、女性）
- 多くの科目を 1 人の Dr. に見てもらえるか心配。入院希望する。（85-89 歳、男性）
- その時の病状や家族の介護力による（80-84 歳、男性）
- 専門の知識、器具が必要なため。（75-79 歳、女性）
- 透析があるから通院しなければいけない。（65-69 歳、男性）
- 病院、施設希望（80-84 歳、男性）
- 時期がきたとき考えることにしています。（65-69 歳、男性）
- その時になってみないと分からない。（85-89 歳、男性）
- 本人が何というかが、わからないから。娘は希望するが。（75-79 歳、女性 ※）
- 在宅医療を受ける身体なら 1 人暮らしそのものが無理だと思う、施設を考える。（85-89 歳、女性）
- 家では生活できないと思うので。（85-89 歳、男性）
- 対象者本人が、他人を自宅に入れたくないと訴えるため。（85-89 歳、女性 ※）
- 介護者が身体に不安があるため自宅で介護することが難しい。（85-89 歳、男性）
- 病院でしっかりみていただきたい。（85-89 歳、女性）
- わからない…。 （85-89 歳、女性）
- 入院してほしいから、入院できないとどうしたらいいかわからない。（70-74 歳、男性 ※）
- 施設等入所希望（80-84 歳、女性）
- 今のところまだ考えられない。（65-69 歳、男性）
- 人工透析を受けていて、自宅では困難（70-74 歳、男性）
- 自分が倒れたらどうなるのかが一番不安（70-74 歳、女性 ※）
- なってみないとわからない（90-94 歳、男性）

- 施設入所希望だから。(90-94 歳、女性)
- 今は何とも言えない。(75-79 歳、男性)
- 経済的理由で利用困難 (95-99 歳、女性)
- 就業しており本人にいつも付き添いできない。本人の認知症が中度以上で介護がむずかしい。  
(85-89 歳、女性 ※)
- まだ体は元気、視力低下は気になる。(90-94 歳、男性)
- 想像ができない。娘がどうかしてくれるのでは。(75-79 歳、女性)
- 入院を希望 (80-84 歳、女性)
- 今の時点では考えていないから。(70-74 歳、女性)
- なるべくそういうのにかかわらないで過ごしたいと思っているから。(85-89 歳、女性)
- 症状によって、対応が分かれるため。(75-79 歳、男性)
- 現時点ではわからない、先のことなのでわからない。(85-89 歳、女性)
- 妻、仕事あり対応難しい。(65-69 歳、男性)
- そうなったら施設も考える。(90-94 歳、女性)
- 先のことだから今は分からない。(80-84 歳、女性)
- 現状は寝たきりだが、車いす介護タクシーで通院しているから。(75-79 歳、女性)
- 配偶者が施設に入っているの。(85-89 歳、女性)
- いずれダメになったら救急車で行くわけだから。(80-84 歳、女性)
- 今は気にしていない、現状では必要ない。(75-79 歳、女性)
- 金銭的に厳しいからどうするか分からない。(75-79 歳、女性)
- そうなったら入院か施設へ。1 人暮らしは無理でも本人は家がいいと言うだろうし、その時にならないと。(80-84 歳、女性 ※)
- 家族に負担をかけるから、難しいと思う、これ以上負担はかけられないと本人より。泣き出してしまう。(90-94 歳、女性 ※)
- 在宅生活が困難 (90-94 歳、女性)
- 今、現実ではなく、想像が難しい。(70-74 歳、男性)
- 入院希望 (70-74 歳、男性)
- リハの施設のあるところへ入所の方がよいと考えている。(90-94 歳、女性)
- 透析に行かなければならないから病院で医療は受けるだろう (75-79 歳、女性)
- 同居の息子が統合失調症で人がくるのが嫌がるから。(80-84 歳、女性)
- 施設入所希望である為 (75-79 歳、男性)
- 他に介護を要する人がいる為 (90-94 歳、女性)
- 子供と相談する。(80-84 歳、男性)
- そんな状態になったら日中 1 人で過ごせないと思うので、家での生活そのものを考えなおすため。(85-89 歳、女性)
- 施設希望だから。(85-89 歳、男性)
- 長年かかった Dr. に診てもらいたいから。(90-94 歳、女性)
- 今後のことはわからないから。(85-89 歳、女性)
- 想像できない。(75-79 歳、女性)
- その時にならないとわからない。(90-94 歳、女性)



## 資料 調査票

---





## 在宅介護実態調査へのご協力について

日頃から新座市介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画第8期計画策定のための重要な基礎資料として、『在宅介護実態調査』を実施させていただくことになりました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願いいたします。なお、調査で収集した個人情報は計画策定の目的にのみ使用し、新座市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いをいたします。

令和元年6月新座市

〔問合せ先〕

新座市いきいき健康部介護保険課 048-424-5361（直通）

- 1 この調査の対象者は、調査日現在、在宅で要支援・要介護認定を受けている方と主な介護者（ご家族、ご親族等の介護者）の方です。
- 2 この調査票は、「A票」と「B票」に分かれています。
- 3 「A票」（P1～P4）については、ご訪問した認定調査員が、ご本人様の回答を聴き取り記載します。ご本人様の回答が難しい場合は、ご家族等に回答をお願いします。
- 4 「B票」（P5～P6）については、主な介護者の方がご回答ください。主な介護者の方の回答が難しい場合は、ご本人が回答をお願いします。
- 5 ご回答にあたっては、質問に従って、あてはまる回答の番号に○をつけてください。質問によっては、実際に記述していただくものもあります。

### 個人情報の取扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。  
なお、本調査票のご回答をもちまして、下記にご同意いただいたものとみなさせていただきます。

#### 【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、新座市の介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報を基に実施しています。
- 本調査で得られた情報につきましては、介護保険事業計画策定、効果的な介護政策の立案、効果評価の基礎資料として利用いたします。また、当該情報については、市で適切に管理いたします。
- 上記の基礎資料利用時には、市が保有する介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報とともに利用・分析させていただきます。

# 在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号／調査日〔 0000 / 月 日〕

## 【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

### A票

## ご本人に回答していただく項目（聞き取り調査による）

### 問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

### 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか （同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問8へ

問3へ

### 問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択） ★

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

### 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択） ★

1. 男性
2. 女性

### 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

**問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください★  
(複数選択可)**

**〔身体介護〕**

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

**〔生活援助〕**

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                        |

**〔その他〕**

- |         |           |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

**問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか**

**(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)**

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)         |                       |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |                       |
| 3. 主な介護者が転職した                 | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない      | 6. わからない              |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

**● ここから再び、全員に調査してください。**

**問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)★**

- |                       |            |                   |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理      | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)       | 5. ゴミ出し    | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) |            | 8. 見守り、声かけ        |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場     |            |                   |
| 10. その他               | 11.利用していない |                   |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

**問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)★**

1. 配食      2. 調理      3. 掃除・洗濯      4. 買い物(宅配は含まない)      5. ゴミ出し  
6. 外出同行(通院、買い物など)      7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)  
8. 見守り、声かけ      9. サロンなどの定期的な通いの場      10. その他      11. 特になし

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

**問 10 ご本人は現在、在宅医療(病院ではなく御自宅で治療を受けること)を受けていますか★**

1. 受けている

→ 問 14 へ

2. 受けていない

→ 問 11 へ

**問 11 あなたは在宅医療について知っていますか★**

1. 知っている

2. 聞いたことはある

3. 知らない

**問 12 あなたは寝たきりなどで在宅医療が必要になった場合、在宅医療を希望しますか★**

1. 希望する

→ 問 14 へ

2. 希望するが、難しいと思う

3. 希望しない

4. わからない

} 問 13 へ

**問 13 実現が難しい又は希望しない、わからないと思う理由は何ですか★**

(自由記載)

)

**問 14 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)**

1. 入所・入居は検討していない

2. 入所・入居を検討している (施設名: )

3. すでに入所・入居申し込みをしている (施設名: )

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

**問 15 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)★**

- |                            |                           |           |
|----------------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中)              | 2. 心疾患(心臓病)               |           |
| 3. 悪性新生物(がん)               | 4. 呼吸器疾患                  |           |
| 5. 腎疾患(透析)                 | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |           |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む)           | 8. 変形性関節疾患                |           |
| 9. 認知症                     | 10. パーキンソン病               |           |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く)         | 12. 糖尿病                   |           |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) |                           |           |
| 14. その他                    | 15. なし                    | 16. わからない |

**問 16 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)★**

1. 利用している → A 票終了      2. 利用していない → 問 17へ

**問 17 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)★**

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

- 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方に B 票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
- 「主な介護者」の方が同席されていない場合、B 票の記入にお時間がかかるようであれば、返信用封筒と B 票をお渡しし、後ほど郵送による回答の御協力をお願いしてください。

**B票 主な介護者様にご回答・ご記入頂く項目**

※主な介護者様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

**問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)**

- |                       |   |         |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている        | } | 問2～問5へ  |
| 2. パートタイムで働いている       |   |         |
| 3. 働いていない             | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない |   |         |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

**問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)**

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

**問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)★**

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

**問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)**

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける        | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい      | 4. 続けていくのは、かなり難しい   |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |                     |

● **ここから再び、全員の方にお伺いします。**

**問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)**

**〔身体介護〕**

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

**〔生活援助〕**

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

**〔その他〕**

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他                | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |                      |

**アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。**





# 在宅生活改善調査結果



# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、第8期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、自宅等（サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム含む）に住んでいる方で、現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討することを目的として実施したものです。

## 2 調査対象

市内居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、介護予防支援事業所と事業所に所属するケアマネジャー

## 3 調査期間

令和2年2月5日～令和2年2月19日

## 4 回収結果

[事業所]

(事業所、%)

	調査対象数	回答事業所数	回答率
居宅介護支援事業所	33	21	63.6
小規模多機能型 居宅介護事業所	2	2	100.0
介護予防支援事業所	7	7	100.0
計	42	30	71.4

[ケアマネジャー]

(人、%)

	所属数 <sup>※1</sup>	回答者数	回答率
ケアマネジャー	124	37	29.8

[回答事業所が担当する利用者数]

(人、%)

	利用者総数 <sup>※4</sup>	対象利用者 <sup>※5</sup>	抽出率
自宅等に住む <sup>※2</sup>	2,372	125	5.3
住宅型有料等に住む <sup>※3</sup>	234	20	8.5
計	2,606	145	5.6

※1 回答事業所に所属するケアマネジャーの総数

※2 自宅等（持ち家・借家）に住む利用者数

※3 サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームに住む利用者数

※4 回答事業所の利用者総数（令和2年1月1日現在）

※5 調査対象として抽出された利用者（抽出方法は末尾調査要綱を参照）

## 5 報告書を見る際の留意点

1. サービス名の略称：在宅及び住まい・施設サービスについて、以下に示す略称を用いました。
2. 「自宅等」：各テーマにより定義が一部異なっている場合があります。カッコや注意書きを確認してください。
3. 数値処理：比率など小数点をもつ数の表記では内数の計が表記上一致しない場合があります。

### <在宅サービス>

本書で用いた名称（略称含む）	正式名称
訪問介護	※（同左）
訪問入浴	※（同左）
訪問看護	※（同左）
訪問リハ	訪問リハビリテーション
通所介護	※（同左）
通所リハ	通所リハビリテーション
ショートステイ	短期入居者生活介護
定期巡回サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
夜間対応型訪問介護	※（同左）
認知症対応型通所	認知症対応型通所介護
小規模多機能	小規模多機能型居宅介護
看護小規模多機能	看護小規模多機能型居宅介護

### <住まい・施設等>

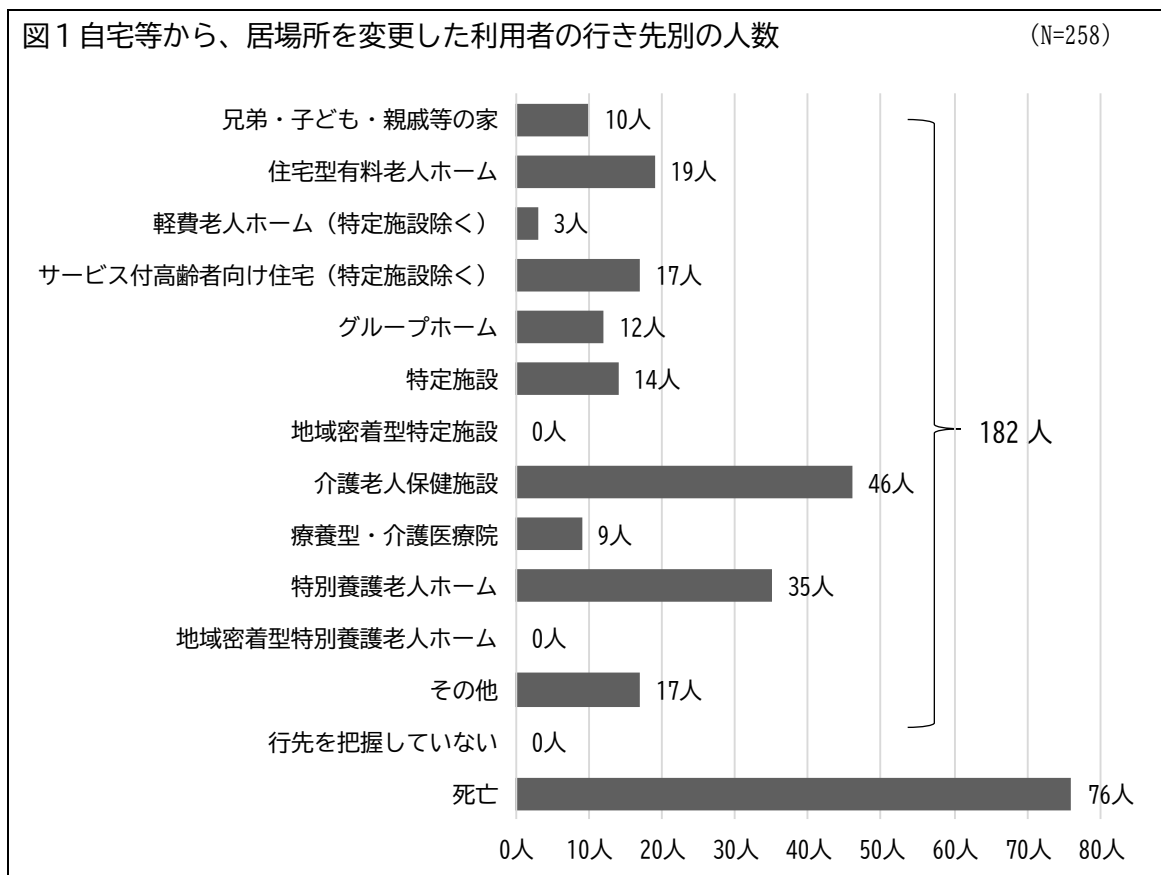
本書で用いた名称（略称含む）	正式名称
住宅型有料	住宅型有料老人ホーム
サ高住	サービス付高齢者向け住宅
軽費老人ホーム	※（同左）
グループホーム	認知症対応型共同生活介護
特定施設	特定施設入居者生活介護
介護老人保健施設	※（同左）
療養型	介護療養型医療施設
介護医療院	※（同左）
特養／特別養護老人ホーム	介護老人福祉施設
地域密着型特定施設	地域密着型特定施設入居者生活介護
地域密着型特別養護老人ホーム	地域密着型介護老人福祉施設

# テーマ1 過去1年の間に、自宅等から、居場所を変更している人はどの程度いるのか？

## (1) 自宅等から、居場所を変更した利用者の行き先別の人数

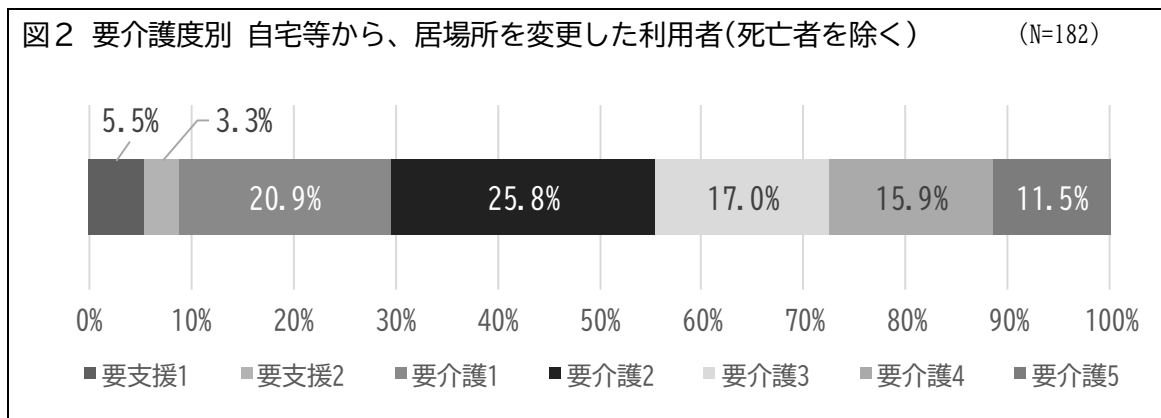
過去1年の間に自宅等から、居場所を変更した人は、死亡者を除くと182人で、そのうち「介護老人保健施設」が46人と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が35人となっています。

※「自宅等」には、サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームは含まれない。



## (2) 自宅等から、居場所を変更した利用者の要介護度

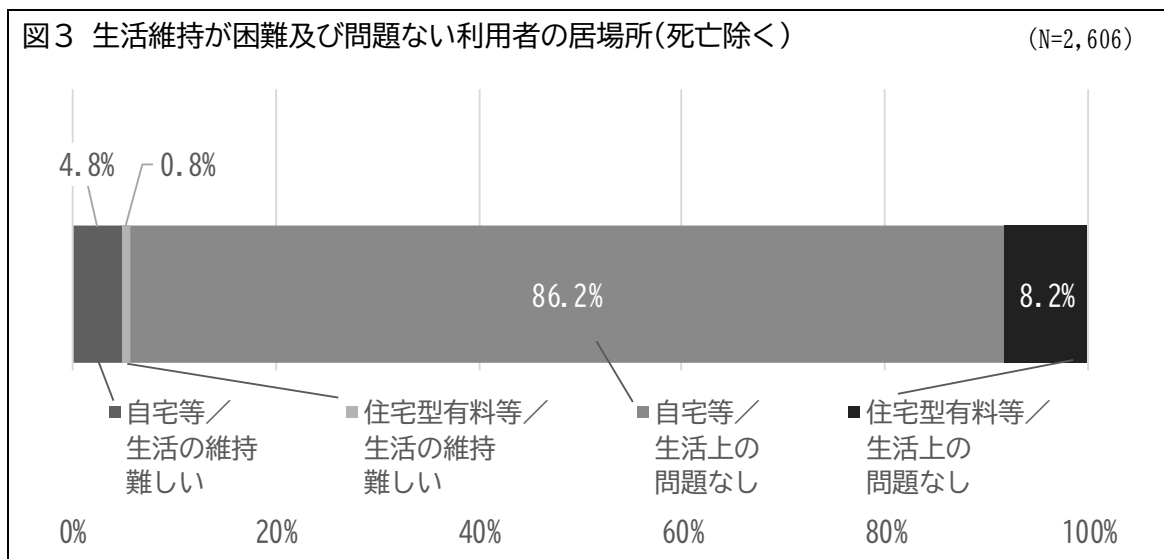
過去1年の間に自宅等から、居場所を変更した人のうち、死亡者を除いた人の要介護度については、「要介護1・2」は46.7%、「要介護3以上」は44.4%と同程度となっています。



## テーマ2 現在、自宅等に住み、生活の維持が難しくなっている人はどの程度いるのか？

このテーマでは、自宅等（持ち家・借家）又は住宅型有料等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホーム含む）で生活している要支援・要介護者のうち、「生活の維持が困難になり始めている人」の割合をみていくこととします。

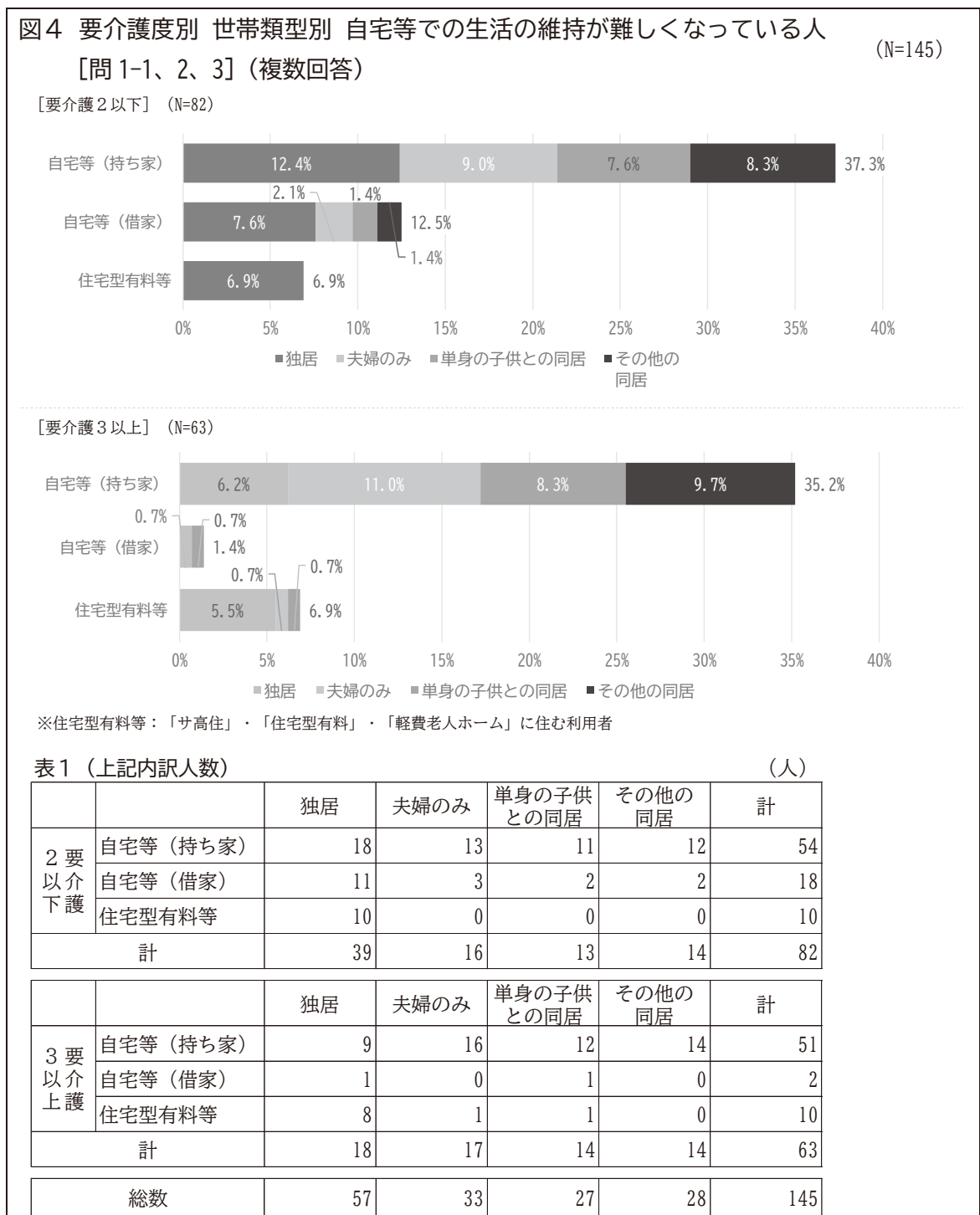
生活の維持が困難になり始めている人は、「自宅等（持ち家・借家）」は125人（4.8%）、「住宅型有料等（「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」に住む利用者）」は20人（0.8%）で合計145人（5.6%）となっています。



### テーマ3 現在、自宅等での生活の維持が難しくなっている人はどのような人か？

このテーマでは、現在、自宅等に住んでいて、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている人」を要介護度別・世帯類型別にみていくこととします。

「独居で、自宅等（持ち家）に住む、要介護2以下」が12.4%と最も高く、次いで「夫婦のみで、自宅等（持ち家）に住む、要介護3以上」が11.0%となっています。

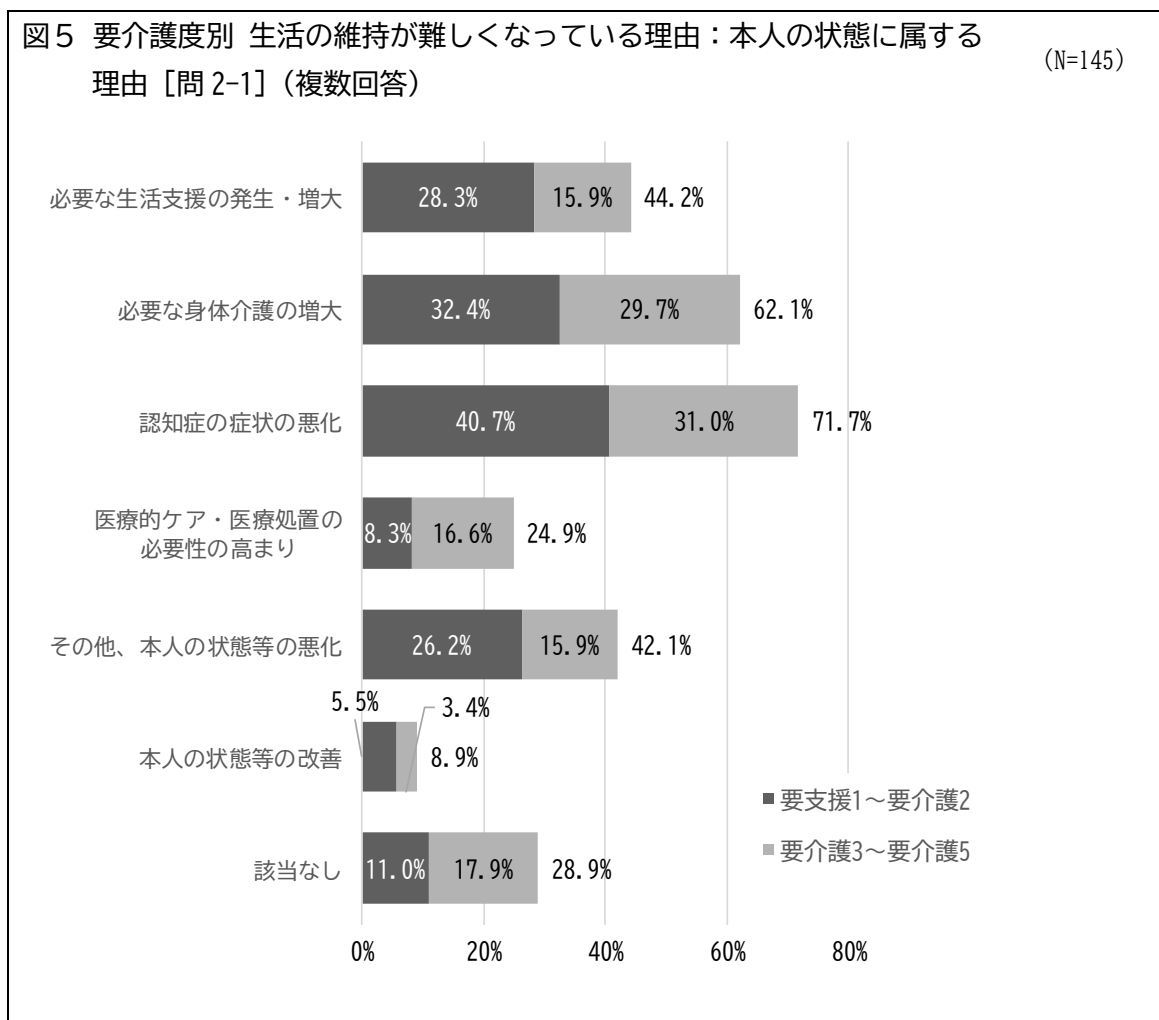


## テーマ4 自宅等で、現在の生活の維持が難しくなっている理由(1)～(6)

このテーマ(1)～(3)では、現在、自宅等に住んでいて、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている人」の理由を「本人の状態」、「本人の意向」、「家族等介護者の意向・負担等」ごとにみていくこととします。

### (1) 現在の介護で生活の維持が難しくなっている理由：本人の状態に属する理由

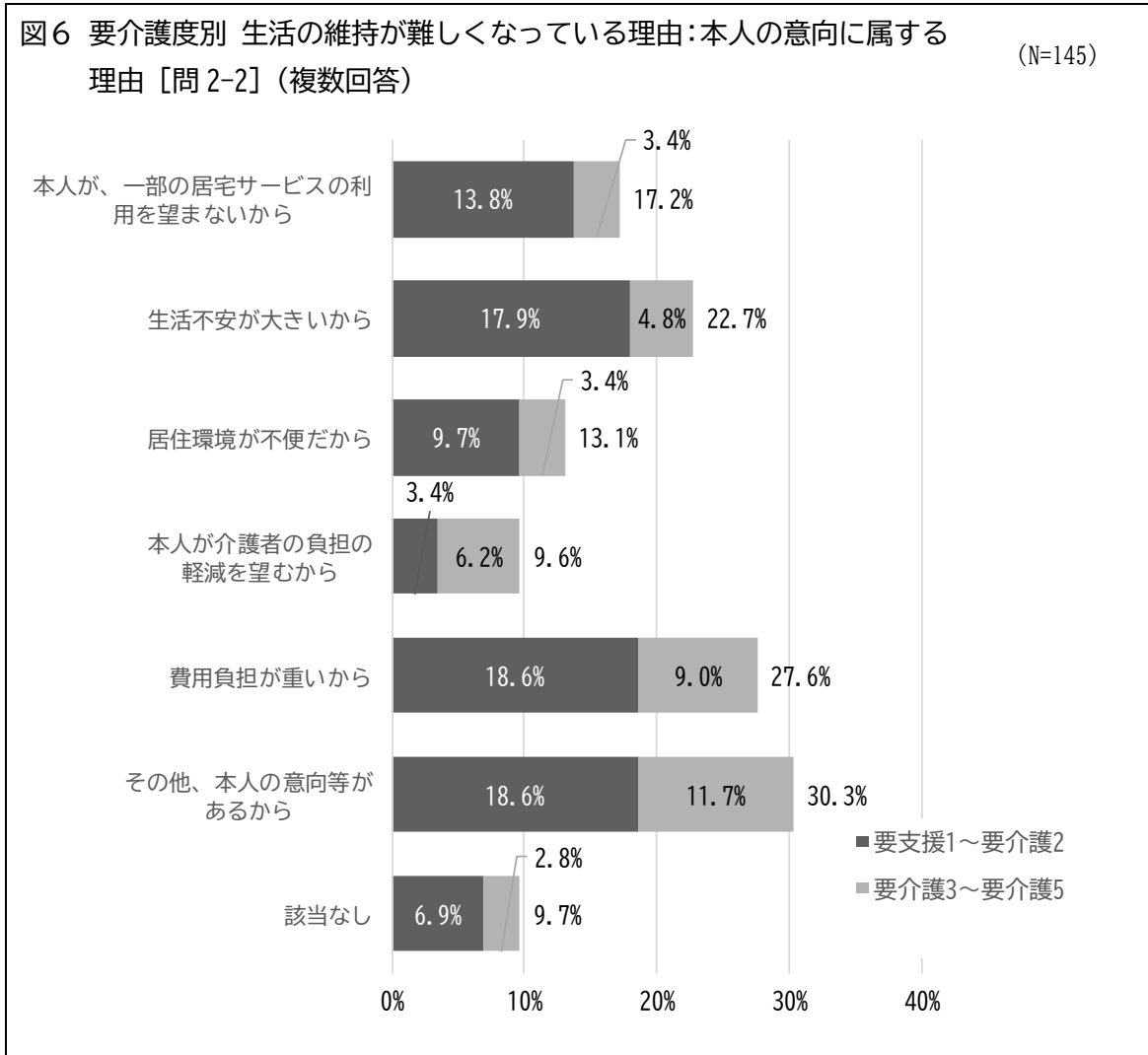
本人の状態に属する理由については、「要支援1～要介護2」では、「認知症の症状の悪化」が40.7%、「必要な身体介護の増大」が32.4%、「要介護3～5」では、「認知症の症状の悪化」、「必要な身体介護の増大」が30%前後と高くなっています。また、「要支援1～要介護2」は、「必要な生活支援の発生・増大」、「その他、本人の状態等の悪化」も高くなっています。





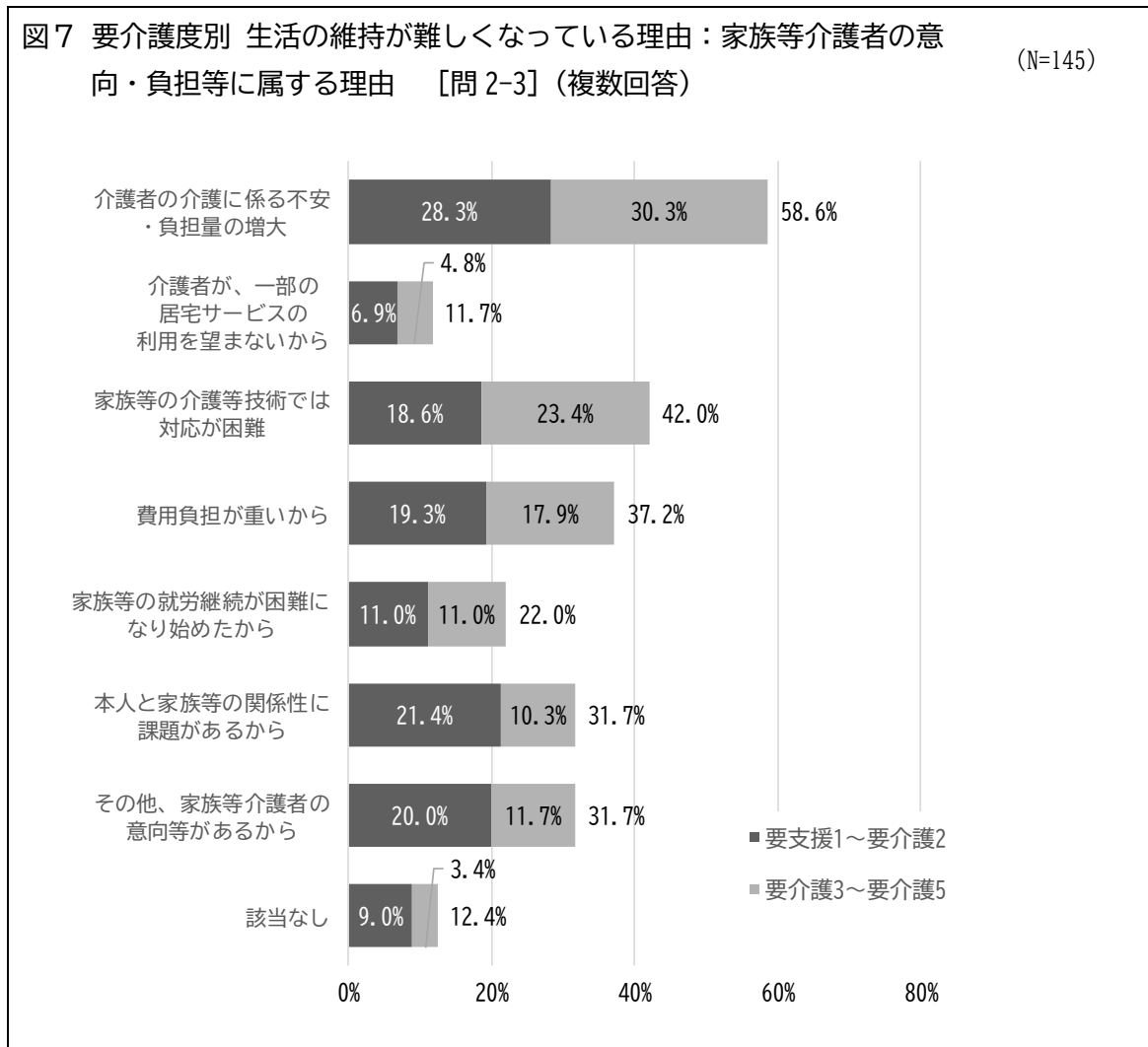
(2) 現在の介護で生活の維持が難しくなっている理由：本人の意向に属する理由

本人の意向に属する理由については、「要支援1～要介護2」では、「費用負担が重いから」、「その他、本人の意向等があるから」がともに18.6%、「生活不安が大きいから」が17.9%、「要介護3～5」では、「その他、本人の意向等があるから」が11.7%、「費用負担が重いから」が9.0%と上位を占めています。



### (3) 現在の介護で生活の維持が難しくなっている理由：家族等介護者の意向・負担等に属する理由

家族等介護者の意向・負担等に属する理由については、「要支援1～要介護2」、「要介護3～5」ともに「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」がそれぞれ28.3%、30.3%と高くなっています。

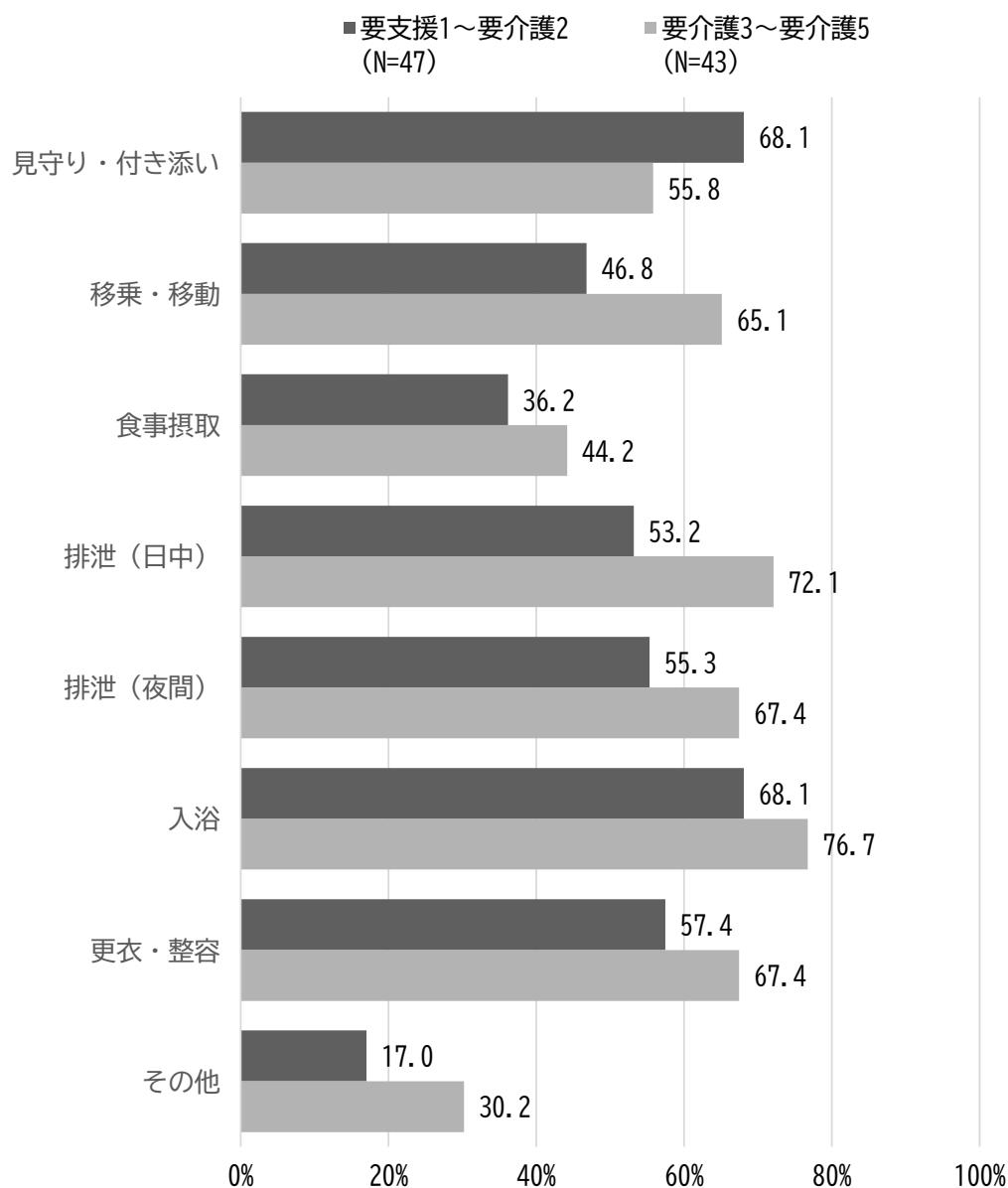


(4)～(6)は、「生活の維持が難しくなっている理由」で、「必要な身体介護の増大」、「認知症の症状の悪化」、「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」について、それぞれ具体的な介護内容をみていくこととします。

#### (4) 「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な介護内容

必要な身体介護の増大が理由の人の具体的な介護内容については、「要支援1～要介護2」では、「見守り・付き添い」、「入浴」がともに68.1%と上位を占めています。また、「要介護3～5」は、「入浴」(76.7%)、「排泄(日中)」(72.1%)、「排泄(夜間)」、「更衣・整容」(ともに67.4%)、「移乗・移動」(65.1%)が上位を占めています。

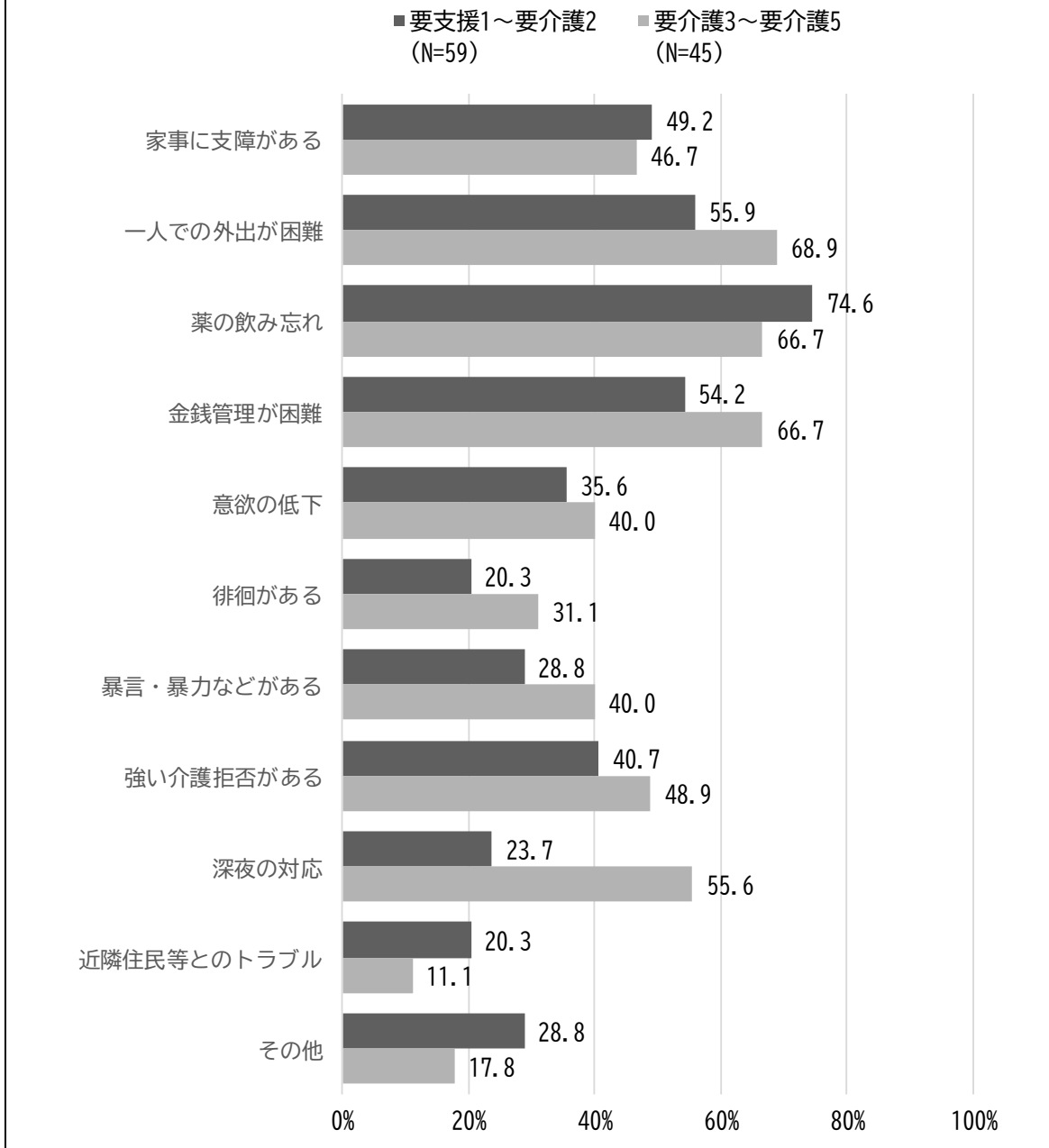
図8 要介護度別 「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な介護内容  
[問2-4] (複数回答)



### (5) 「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な介護内容

認知症の症状の悪化が理由の人の具体的な介護内容については、「要支援 1～要介護 2」では、「薬の飲み忘れ」(74.6%)、「一人での外出が困難」(55.9%)、「金銭管理が困難」(54.2%)と上位を占めています。また、「要介護 3～5」は、「一人での外出が困難」(68.9%)、「薬の飲み忘れ」(66.7%)、「金銭管理が困難」(66.7%)が上位を占めています。

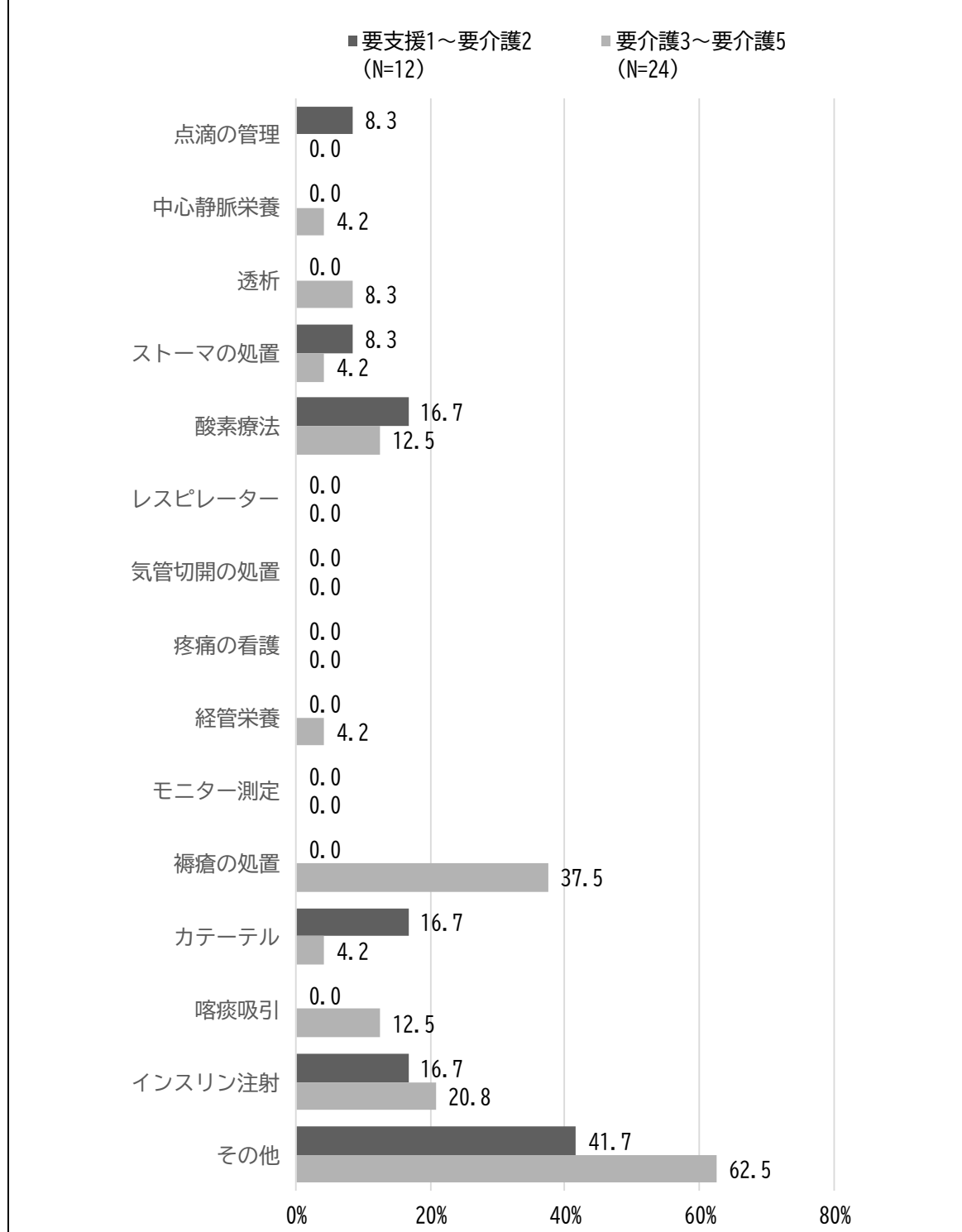
図9 要介護度別 「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な介護内容  
[問 2-5] (複数回答)



(6) 「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な介護内容

医療的ケア・医療処置の必要性の高まりが理由の人の具体的な介護内容については、その他を除くと、「要支援1～要介護2」では、「酸素療法」、「カテーテル」、「インスリン注射」がいずれも16.7%と上位を占めています。また、「要介護3～5」は、「褥瘡の処置」(37.5%)、「インスリン注射」(20.8%)が上位を占めています。

図10 要介護度別「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な介護内容 [問2-6] (複数回答)

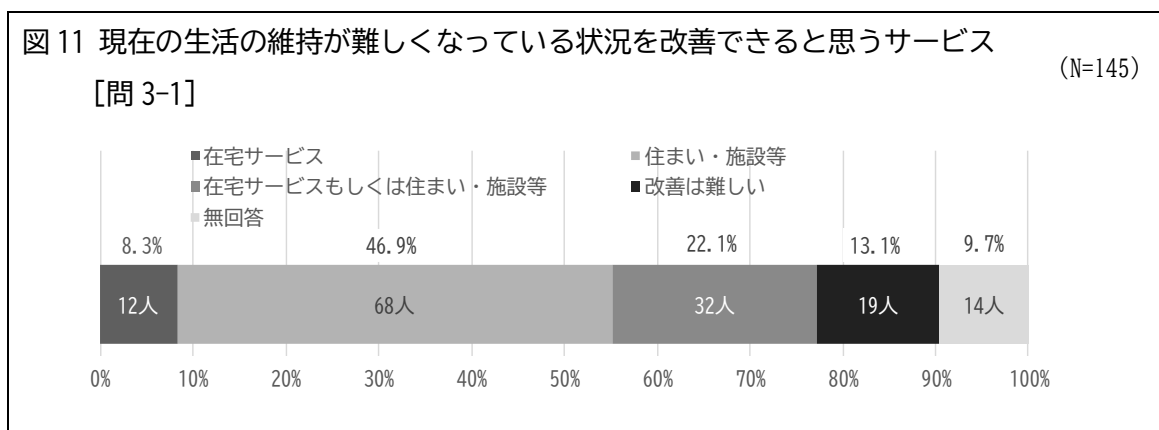


## テーマ5 自宅等で、現在の生活の維持が難しくなっている人たちに、必要なサービスは何か？

このテーマでは、生活改善に必要なサービスである「在宅サービス」もしくは「施設・住まい等」や「入所・入居の緊急性」などの視点からみていくこととします。

### (1) 生活の改善を期待できるサービス

「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思うかについては、「より適切な『住まい・施設等』に変更する」が68人(46.9%)、「より適切な『在宅サービス』もしくは『住まい・施設等』に変更する」が32人(22.1%)と上位を占めています。



## (2) 生活を改善できると思う具体的なサービス

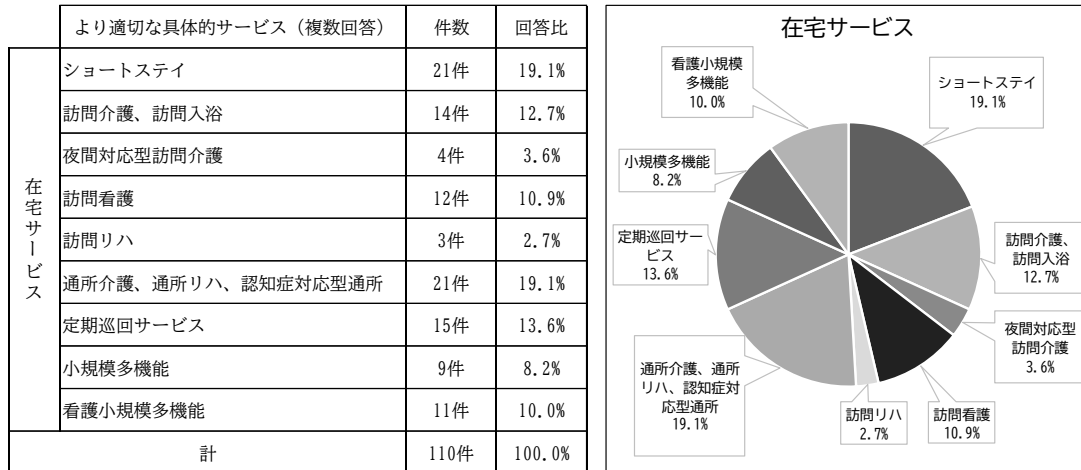
### ① 在宅サービス

「ショートステイ」、「通所介護、通所リハ、認知症対応型通所」がともに19.1%(21件)と高くなっています。

表2 図12 生活を改善できると思う具体的なサービス 【在宅サービス】

(N=112)

【問3-2】(複数回答)



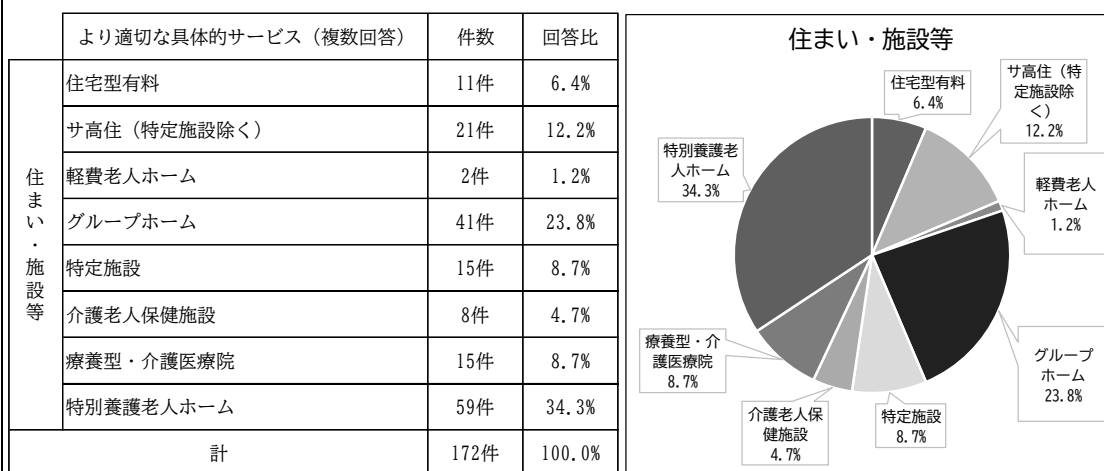
### ② 住まい・施設等

「特別養護老人ホーム」が34.3%(59件)、次いで「グループホーム」が23.8%(41件)が高くなっています。

表3 図13 生活を改善できると思う具体的なサービス 【住まい・施設等】

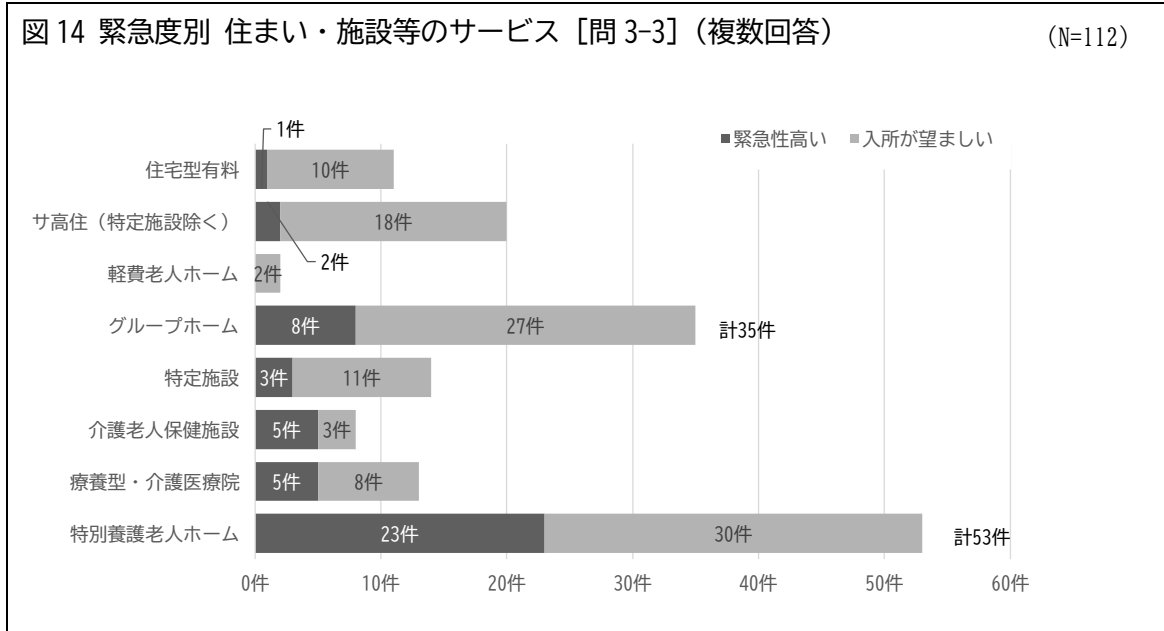
(N=112)

【問3-2】(複数回答)



### (3) 住まい・施設等のサービスの緊急度

入所・入居の緊急度については、「緊急性が高い」では、「特別養護老人ホーム」が23件と最も多くなっています。また、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」では、「グループホーム」が27件と多くなっています。





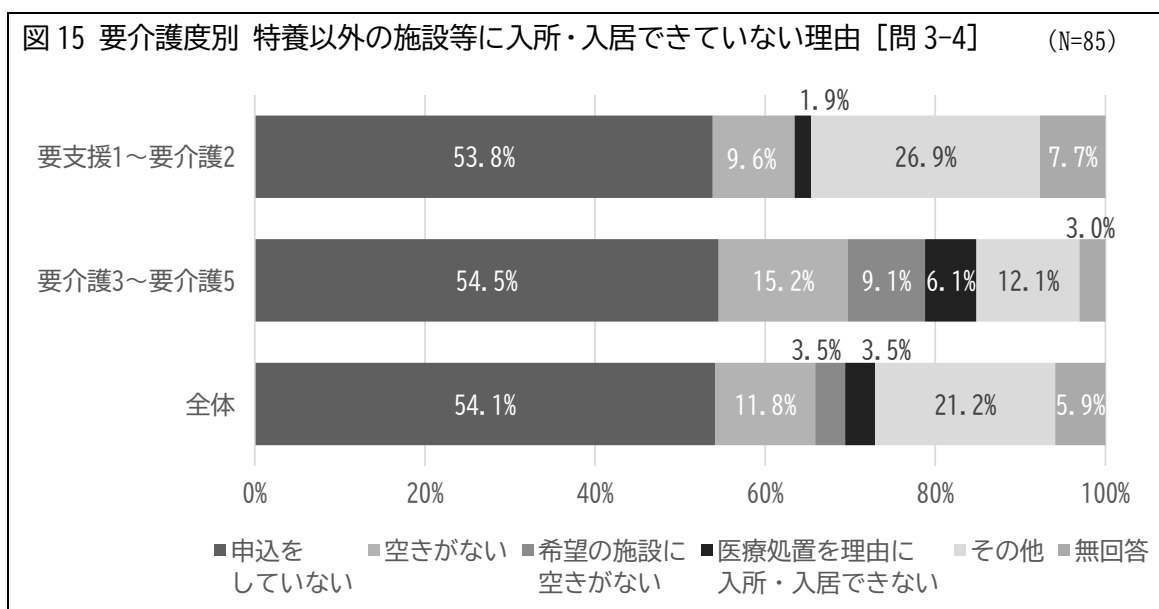
## テーマ6 特養やその他施設等に入所・入居できていないのは何故か？

このテーマでは、「生活の改善のために特養、もしくは特養以外の施設等※が必要」という人で、現時点で特養及び特養以外の施設等に入所・入居できていない理由をみていくこととします。

### (1) 特養以外の施設等に入所・入居できていない理由

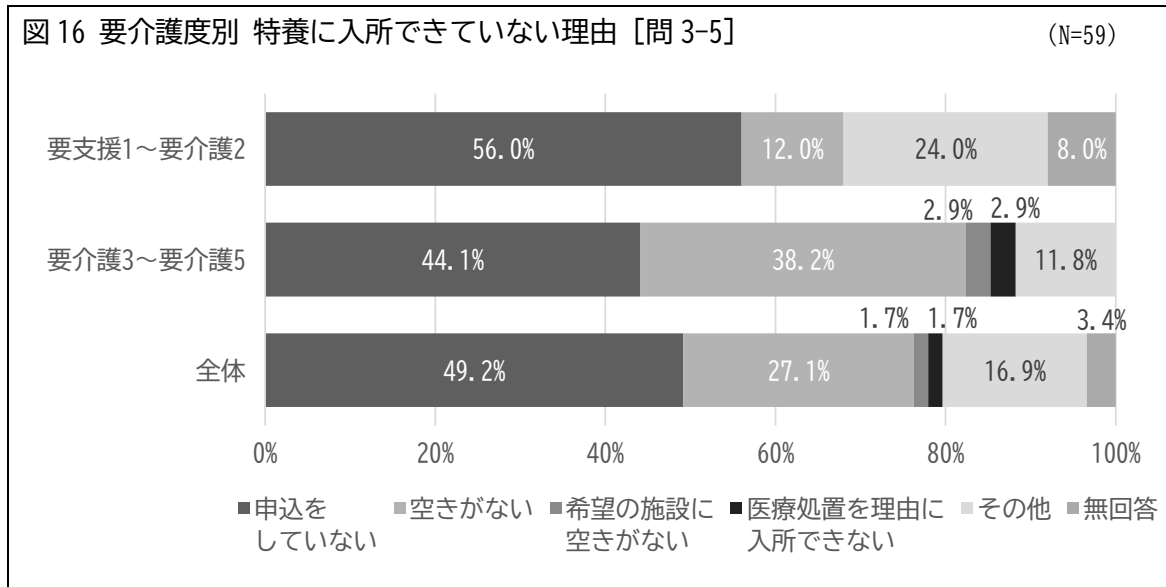
特養以外の施設等に入所・入居できていない理由については、「まだ、申込をしていない」、「その他」を除くと、「申込済だが、空きがない」では、「要介護3～5」が15.2%と高くなっています。

※「特養以外の施設等」とは、テーマ5(2)②の「住まい・施設等」に示す施設を指す



## (2) 特養に入所できていない理由

特養に入所できていない理由については、「まだ、申込をしていない」、「その他」を除くと、「申込済だが、空きがない」では、全体では27.1%ですが、特に「要介護3～5」で38.2%と高くなっています。



## 資料 調査要綱及び調査票

---



# 調査要綱

## 1 調査の目的

- ・ 自宅等（サ高住、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム含む）に住んでいる方で、現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討することを目的に実施します。

## 2 ご回答にあたって

- ・ 本調査票は、新座市内の全ての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所を対象に送付しております。
- ・ ご回答いただいた内容を、貴事業所の許可なしに、貴事業所が特定される形で公表することはございません。
- ・ 本調査はメールでのご回答をお願いしておりますが、郵送でご回答していただいても構いません。

## 3 本調査の回答者

- ・ 「事業所票」については、管理者の方に回答をお願いしております。
- ・ 「利用者票」については、貴事業所に所属する全てのケアマネジャーの方に回答をお願いしております（非常勤の方も含みます）。

## 4 調査票のご回答方法

この度お送りしたアンケート調査では、以下の2種類の調査票があります。

### 【事業所票（エクセル形式）】

管理者の方を対象とした調査票です。

### 【利用者票（エクセル形式）】

- ・ ケアマネジャーの方を対象とした調査票です。
- ・ 各ケアマネジャーのご担当の利用者のうち、「（自宅等にお住まいの方）現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」についての調査票です。
- ・ 次ページのフローにしたがって対象者を抽出し、対象となる利用者の方について「利用者票」にご回答をお願いします。
- ・ 各ケアマネジャーのご回答は1ファイル（15人分まで）でご回答ください。

## 5 調査票の提出方法

- ・ 管理者の方は、回答済みの調査票すべてを、メールに添付していただき、  
**令和2年2月12日（水）までに**下記メールアドレスにご返信いただきますよう、お願い申し上げます。

## 6 提出先メールアドレス

[kaiho@city.niiza.lg.jp](mailto:kaiho@city.niiza.lg.jp)

## 7 問い合わせ先

新座市役所 介護保険課 事業計画係  
電話：048-424-5361（直通）

## 8 「利用者票」の対象者の抽出方法

「利用者票」は、ケアマネジャーの視点からみた「（自宅等にお住まいの方で）現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の実態を把握し、地域に不足する介護サービスを検討することを目的としています。

各ケアマネジャーの方は、ご担当の利用者のうち、調査への回答の対象となる利用者を以下のフローにしたがって抽出し、「利用者票」の各設問にご回答ください。

<回答の対象となる要支援者・要介護者の抽出方法>

本調査は、地域に不足する介護サービスを検討することを目的としています。

### ステップ1

ご担当の利用者のうち、

- ① 自宅
- ② サービス付き高齢者向け住宅
- ③ 住宅型有料老人ホーム
- ④ 軽費老人ホーム

のいずれかにお住まいの要支援者・要介護者の人を選んでください

### ステップ2

さらに、その中から、

**「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」**

を、ケアマネジャーとしての判断に基づいて選んでください。

例えば、

- ADLの低下に伴い、頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用がより適切と思われる利用者
- 認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思われる利用者

などのケースが該当します。

### ステップ3

選ばれた利用者全員について、調査票の各設問にご回答ください。

## 在宅生活改善調査 事業所票

事業所名

※ 令和2年1月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

※整数のみ入力ください(人)

1) 所属するケアマネジャーの人数	
2) 「自宅等(3)を除く」にお住まいの利用者数	
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	

問2 貴事業所において、過去1年の間(平成31年1月1日～令和元年12月31日)に「自宅等(※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数(要介護度別)」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。

※整数のみ入力ください(人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
							人★

問3 貴事業所において、過去1年の間(平成31年1月1日～令和元年12月31日)に「自宅等(※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から居場所を変更した利用者数(行き先別)」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた1)～13)の合計と、問2でご記入いただいた合計人数(★欄)が一致することをご確認ください。

※整数のみ入力ください(人)

	市内	市外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)		
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 療養型・介護医療院		
10) 特別養護老人ホーム		
11) 地域密着型特別養護老人ホーム		
12) その他		
13) 行先を把握していない		
14) 死亡(※搬送先での死亡を含む)		

1~13 合計

人

人数欄には  
整数のみ入  
力します

## 在宅生活改善調査 利用者票

※利用者ごとに1シート (A4・3頁)

事業所番号をご記入ください . . . . . 事業所番号

※利用者欄に個人名などを記入しないで下さい (利用者) 利用者1

- ・本調査票は、貴事業所の各ケアマネジャーにご回答いただきます。
- ・担当されている利用者で「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち、**「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」**が対象です。
- ・例えば**「頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と思う利用者」**、
- ・同じく**「認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方」**などが対象です。

問1. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。(該当する番号1つを選択)

問1-1 世帯類型

- 1.独居
- 2.夫婦のみ
- 3.単身の子供との同居
- 4.その他の同居

問1-2 現在の居所

- 1.自宅等(持ち家)                       4.サ高住
- 2.自宅等(借家)                          5.軽費老人ホーム
- 3.住宅型有料

問1-3 要支援・要介護度

- 1.要支援1                                   5.要介護3
- 2.要支援2                                   6.要介護4
- 3.要介護1                                   7.要介護5
- 4.要介護2                                   8.新規申請中

問2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。

問2-1 本人の状態等に属する理由について、お答えください(あてはまる番号すべて選択)

- 1.該当なし                                       5.医療的ケア・医療処置の必要性の高まり
- 2.必要な生活支援の発生・増大                                      ⇒後で【問2-6】にご回答ください。
- 3.必要な身体介護の増大                                       6.その他、本人の状態等の悪化
- ⇒後で【問2-4】にご回答ください。                                       7.本人の状態等の改善
- 4.認知症の症状の悪化
- ⇒後で【問2-5】にご回答ください。

問2-2 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください(あてはまる番号すべて選択)

- 1.該当なし                                       5.本人が介護者の負担の軽減を望むから
- 2.本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから                                       6.費用負担が重いから
- 3.生活不安が大きいから                                       7.その他、本人の意向等があるから
- 4.居住環境が不便だから



問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください（あてはまる番号すべて選択）

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1.該当なし                     | <input type="checkbox"/> 5.費用負担が重いから           |
| <input type="checkbox"/> 2.介護者の介護に係る不安・負担量の増大       | <input type="checkbox"/> 6.家族等の就労継続が困難になり始めたから |
| <input type="checkbox"/> 3.介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから | <input type="checkbox"/> 7.本人と家族等の関係性に課題があるから  |
| <input type="checkbox"/> 4.家族等の介護等技術では対応が困難         | <input type="checkbox"/> 8.その他、家族等介護者の意向等があるから |

問2-4 【問2-1で「3.必要な身体介護の増大」を選択の場合】

理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください（あてはまる番号すべて選択）

- |                                     |                                   |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1.見守り・付き添い | <input type="checkbox"/> 5.排泄（夜間） |
| <input type="checkbox"/> 2.移乗・移動    | <input type="checkbox"/> 6.入浴     |
| <input type="checkbox"/> 3.食事摂取     | <input type="checkbox"/> 7.更衣・整容  |
| <input type="checkbox"/> 4.排泄（日中）   | <input type="checkbox"/> 8.その他    |

問2-5 【問2-1で「4.認知症の症状の悪化」を選択の場合】

理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください（あてはまる番号すべて選択）

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 1.家事に支障がある  | <input type="checkbox"/> 7.暴言・暴力などがある   |
| <input type="checkbox"/> 2.一人での外出が困難 | <input type="checkbox"/> 8.強い介護拒否がある    |
| <input type="checkbox"/> 3.薬の飲み忘れ    | <input type="checkbox"/> 9.深夜の対応        |
| <input type="checkbox"/> 4.金銭管理が困難   | <input type="checkbox"/> 10.近隣住民等とのトラブル |
| <input type="checkbox"/> 5.意欲の低下     | <input type="checkbox"/> 11.その他         |
| <input type="checkbox"/> 6.徘徊がある     |   |

問2-6 【問2-1で【「5.医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」を選択の場合】

理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください（あてはまる番号すべて選択）

- |                                    |                                    |                                     |
|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1.点滴の管理   | <input type="checkbox"/> 6.レスピレーター | <input type="checkbox"/> 11.褥瘡の処置   |
| <input type="checkbox"/> 2.中心静脈栄養  | <input type="checkbox"/> 7.気管切開の処置 | <input type="checkbox"/> 12.カテーテル   |
| <input type="checkbox"/> 3.透析      | <input type="checkbox"/> 8.疼痛の看護   | <input type="checkbox"/> 13.喀痰吸引    |
| <input type="checkbox"/> 4.ストーマの処置 | <input type="checkbox"/> 9.経管栄養    | <input type="checkbox"/> 14.インスリン注射 |
| <input type="checkbox"/> 5.酸素療法    | <input type="checkbox"/> 10.モニター測定 | <input type="checkbox"/> 15.その他     |

### 問3. 状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。

問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。実際にサービスがあるかないかに関わらず、利用者にとって適切と思うサービスを選択してください。なお「在宅サービス」と「住まい・施設等」の定義は、問3-2を参照

- 1.より適切な「在宅サービス」に変更する（例：小多機等）
  - 2.より適切な「住まい・施設等」に変更する（例：サ高住への入居、特養への入所等）
  - 3.より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する  
（例：定期巡回の利用、もしくは特養への入所が適切等）
- ⇒ 【「1.」～「3.」を選択した場合は、問3-2にご回答ください】
- 4.「1.」～「3.」では、改善は難しいと思う ⇒ 【この利用者についての回答は終了です】

問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください

<在宅サービス>

- 1.ショートステイ
- 2.訪問介護、訪問入浴
- 3.夜間対応型訪問介護
- 4.訪問看護
- 5.訪問リハ
- 6.通所介護、通所リハ、認知症対応型通所
- 7.定期巡回サービス
- 8.小規模多機能
- 9.看護小規模多機能

<住まい・施設等>

- 10.住宅型有料
- 11.サ高住（特定施設除く）
- 12.軽費老人ホーム
- 13.グループホーム
- 14.特定施設
- 15.介護老人保健施設
- 16.療養型・介護医療院
- 17.特別養護老人ホーム

⇒住まい・施設等を1つでも選択した場合は、問3-3以降も回答

問3-3 【問3-2で「10.住宅型有料」～「17.特養」を選択の場合】 ※該当する番号1つを選択

利用者の入所・入居の緊急度をお答えください

- 1.緊急性が高い
- 2.入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫
- 3.その他

問3-4 【問3-2で「10.」～「16.」（※特養以外）を選択の場合】 ※該当する番号1つを選択

入所・入居できていない理由をお答えください

- 1.まだ、申込をしていない
- 2.申込済みだが、空きがない
- 3.申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない
- 4.申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない
- 5.その他

問3-5 【問3-2で「17.特養」を選択の場合】 ※該当する番号1つを選択

特養に入所できていない理由をお答えください

- 1.まだ、申込をしていない
- 2.申込済みだが、空きがない
- 3.申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない
- 4.申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない
- 5.その他

このご利用者についてはここまで。次は画面下部のシートタブで移動します。

(↑エクセルご利用向けのコメント)

第8期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画策定のための  
アンケート調査結果報告書

---

発行年月：令和2年3月

発行：新座市

編集：新座市 いきいき健康部 介護保険課

所在地：〒352-8623 埼玉県新座市野火止一丁目1番1号

電話：048-424-5361（直通）

F A X：048-482-5882



